

国道403号土口バイパス
埋蔵文化財発掘調査報告書

やしろ
厩代遺跡群

2000. 1

長野県更埴建設事務所
長野県埋蔵文化財センター

平成 12 年 2 月 21 日

各 位

(財)長野県文化振興事業団
長野県埋蔵文化財センター
所 長 佐久間 鉄四郎

埋蔵文化財発掘調査報告書の贈呈について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃当センターの事業に対しまして格別のご協力、ご指導を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、平成 9 年に発掘調査を行いました屋代遺跡群土ロバイパス地点の調査報告書を『国道 403 号土ロバイパス埋蔵文化財発掘調査報告書』として刊行しましたのでお送りいたします。

遺跡は、屋代遺跡群高速道地点から続く古墳時代中期～平安時代後半の集落跡が主体です。屋代遺跡群の、高速道地点より西方の広がりを考える上で、良好な資料が出土しています。それ以外にも、この地域では希少な縄文時代後期後葉の土器が出土したこと、弥生時代中期後半の住居跡や、中世の館に関する堀跡の一部が確認できたことなどが報告されています。これらの資料の評価が十分にはできず、資料提示に不十分な点もございますが、ご活用頂ければ幸いです。

連絡先

〒388 - 8007 長野市篠ノ井布施高田 963 - 4
長野県埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟
Tel.026-293-5926

国道403号土口バイパス
埋蔵文化財発掘調査報告書

やしろ
厩代遺跡群

2000. 1

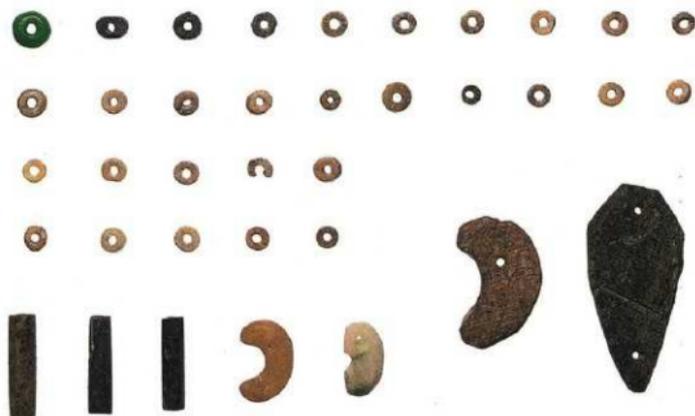
長野県更地建設事務所
長野県埋蔵文化財センター



縄文時代後期の土器



緑釉陶器 (1: SB61埋土中、2: 4区飛鳥・平安時代面)



玉類・石製模造品

序

長野市松代町から更埴市に入り、土口・雨宮の集落を迂回して通る国道403号土口バイパスは、雨宮・屋代地籍で屋代遺跡群を通過します。その建設に先立つ埋蔵文化財発掘調査は、これまで更埴市教育委員会が実施してきましたが、その一部について長野県埋蔵文化財センターが分担して実施しました。対象地区は、さきに当センターが調査した屋代遺跡群上信越自動車道地点に直交し、また更埴市教育委員会が発掘した、大境遺跡の一部にもかかっており、その成果が目玉されました。

調査結果の一部は、すでに年報や、現地説明会、遺物展示会等で、その一端を紹介してまいりましたが、整理作業を進める中で得られた新たな知見も含め、本書に収録することができました。本遺跡では、縄文時代後期から中世にわたる生活の痕跡を発見しています。この地域では資料の少ない縄文時代後期後葉の土器が出土したこと、屋代遺跡群における古墳時代の集落の西端を捉えることができたこと、また中世の館に関係する堀跡の一部が確認できたことなど、今後の研究に貴重な資料を提供することができました。

最後になりましたが、発掘調査から本報告書の刊行に至るまで、深い御理解と御協力をいただいた、長野県土木部更埴建設事務所、地元更埴市、同教育委員会、屋代・雨宮地区の方々、発掘・整理作業に従事協力された多くの方々、また適切な御指導・御助言をいただいた長野県教育委員会文化財・生涯学習課の皆様、心から敬意と感謝を表す次第であります。

平成12年1月11日

長野県埋蔵文化財センター

所長 佐久間 鉄四郎

例 言

1. 本書は、国道403号線（土ロバイパス）建設工事にかかわる屋代遺跡群および屋代遺跡群に属する大境遺跡の発掘調査のうち、長野県埋蔵文化財センター実施地区の発掘報告書である。発掘調査の概要は、当センター発行の『長野県埋蔵文化財センター年報』14・15で紹介しているが、本書の報告を持って本報告とする。
2. 遺構番号は、一部を除き発掘調査時の記号や番号を変更していない。その為、欠番などが存在する。
3. 註・参考文献は各章あるいは節の末尾にまとめた。
4. 発掘調査・報告書作成にあたり下記の諸氏に御指導・御援助をいただいた。記して謝意を表する。
京都大学霊長類研究所教授 茂原信生
国立歴史民俗博物館教授 平川 南
5. 執筆は、第2章第2節2（1）・第3章2（2）を青木一男が、それ以外を西 香子が行った。編集・構成は西が行い、土屋が校閲した。遺物の写真撮影は、西嶋 力が行った。石材鑑定は、市川桂子・町田勝則が行った。また、上記以外の職員の協力も得た。
6. 航空写真は、縄写真測図研究所に撮影を委託した。また、黒曜石の原産地推定を、榎バリノ・サーヴェイに、樹種同定を、榎パレオ・ラボに委託し、付章に掲載した。
7. 本編で報告した記録および出土遺物は更埴市教育委員会が保管している。

凡 例

1. 本書に掲載した実測図の縮尺は原則として下記の通りで、該当箇所のスケールの上に記してある。

1) 主な遺構実測図

遺構平面図 1 : 200 建物跡個別平面図・断面図 1 : 80

2) 主な遺物実測図

土器拓本 1 : 3 土器 1 : 4 石器・石製品 1 : 3 ~ 1 : 6 小型石器 2 : 3

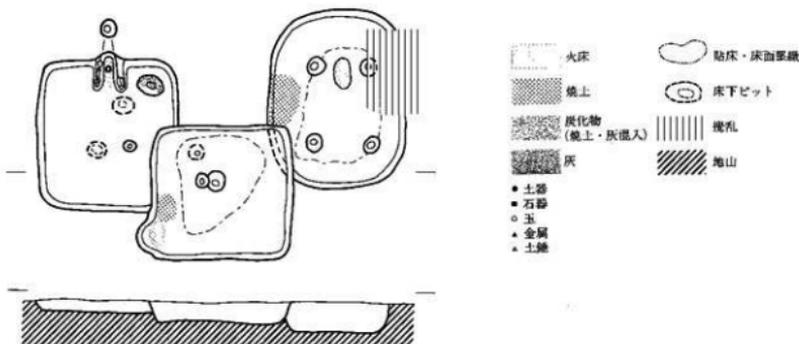
金属製品 1 : 2 木製品 1 : 3 ~ 1 : 8

1. 本書に掲載した主な遺物写真の縮尺は、下記の通りである。

土器 1 : 3 石器・石製品 1 : 2 ~ 1 : 4 金属製品 1 : 2 木製品 1 : 4

1. 実測図中のスクリーン・トーンなどは下記のように用いた。これ以外の場合は、当該項目の中で説明するか、図中に凡例を示した。

1) 遺構実測図



2) 遺物実測図

須恵器の断面を黒塗りし、灰釉の断面及び、土器の表面処理については以下のスクリーン・トーンで示した。

灰釉の断面 黒色処理を施した土器 赤色塗彩を施した土器

金属器・木製品などについては、その都度図版に凡例を示した。

本文目次

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

第1章 発掘調査の概要

第1節 調査の経過	1
1 調査にいたる経緯	1
2 調査の経過	1
3 調査体制と調査期間	1
4 発掘および整理作業参加者	2
第2節 調査の方法	2
1 発掘調査の方法	2
2 整理作業の方法	4
第3節 遺跡周辺的环境	4
1 遺跡の立地と位置	4
2 遺跡群の歴史的概観	4
第4節 基本層序	7

第2章 遺構と遺物

第1節 縄文時代	9
第2節 弥生時代	10
1 遺構各説	10
(1) 竪穴住居跡 (2) 溝 (3) 土坑	
2 遺物	10
(1) 土器・土製品 (2) 石器・石製品	
第3節 古墳時代	33
1 遺構各説	33
(1) 竪穴住居跡 (2) 掘立柱建物跡 (3) 溝 (4) 土坑	
2 遺物	44
(1) 土器・土製品 (2) 石器 (3) 玉類・石製模造品 (4) 金属製品・鉄生産関連遺物	
第4節 飛鳥・平安時代	60
1 遺構各説	60
(1) 竪穴住居跡 (2) 掘立柱建物跡 (3) 溝 (4) 土坑	
2 遺物	61
(1) 土器・土製品 (2) 石器・石製品 (3) 木製品 (4) 金属製品・鉄生産関連遺物	
第5節 平安時代(9世紀末)	118
1 遺構各説	118

	(1) 溝 (2) 土坑 (3) 畝跡	
2	遺物	118
	(1) 土器・土製品 (2) 石器・石製品 (3) 木製品 (4) 金属製品・鉄生産関連遺物	
第6節	平安後期～中世	125
1	遺構各説	125
	(1) 溝 (2) 土坑	
2	遺物	125
	(1) 土器・土製品 (2) 石器・石製品 (3) 木製品 (4) 貨幣 (5) 金属製品・鉄生産関連遺物	
第3章	まとめ	159
付 章	自然科学的分析	
第1節	出土黒曜石の原産地推定	163
第2節	出土木製品の樹種同定	166
写真図版		
報告書抄録		
奥付		

挿図目次

- 第1図 大・中地区設定図
- 第2図 仮地区名設定図
- 第3図 周辺の遺跡
- 第4図 土層
- 第5図 SK371
- 第6図 縄文時代の土器
- 第7図 弥生時代の遺構分布図 1
- 第8図 弥生時代の遺構分布図 2
- 第9図 弥生時代の遺構分布図 3
- 第10図 弥生時代の遺構分布図 4
- 第11図 弥生時代の遺構分布図 5
- 第12図 弥生時代の遺構個別図
- 第13図 弥生時代の土器 1
- 第14図 弥生時代の土器 2
- 第15図 弥生時代の土器 3
- 第16図 弥生時代の土器 4
- 第17図 弥生時代の土器 5 土製品
- 第18図 弥生時代の石器・石製品
- 第19図 古墳時代の遺構分布図 1
- 第20図 古墳時代の遺構分布図 2
- 第21図 古墳時代の遺構個別図 1
- 第22図 古墳時代の遺構個別図 2
- 第23図 古墳時代の遺構個別図 3
- 第24図 古墳時代の遺構個別図 4
- 第25図 古墳時代の遺構個別図 5
- 第26図 古墳時代の土器 1
- 第27図 古墳時代の土器 2
- 第28図 古墳時代の土器 3
- 第29図 古墳時代の土器 4
- 第30図 古墳時代の土器 5
- 第31図 古墳時代の土器 6
- 第32図 古墳時代の土器 7 土製品
- 第33図 古墳時代の石器
- 第34図 古墳時代の玉類・石製模造品・鉄製品
- 第35図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 1
- 第36図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 2
- 第37図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 3
- 第38図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 4
- 第39図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 5
- 第40図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 6
- 第41図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 1
- 第42図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 2
- 第43図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 3
- 第44図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 4
- 第45図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 5
- 第46図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 6
- 第47図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 7
- 第48図 飛鳥・平安時代の土器 1
- 第49図 飛鳥・平安時代の土器 2
- 第50図 飛鳥・平安時代の土器 3
- 第51図 飛鳥・平安時代の土器 4
- 第52図 飛鳥・平安時代の土器 5
- 第53図 飛鳥・平安時代の土器 6
- 第54図 飛鳥・平安時代の土器 7
- 第55図 飛鳥・平安時代の土器 8
- 第56図 飛鳥・平安時代の土器 9
- 第57図 飛鳥・平安時代の土器 10
- 第58図 飛鳥・平安時代の土器 11
- 第59図 飛鳥・平安時代の土器 12
- 第60図 飛鳥・平安時代の土器 13 土鍾・土製品・
炬燵・羽口
- 第61図 飛鳥・平安時代の石器・石製品 1
- 第62図 飛鳥・平安時代の石器・石製品 2
- 第63図 飛鳥・平安時代の木製品
- 第64図 飛鳥・平安時代の金属製品
- 第65図 平安時代（9世紀末）の遺構分布図 1
- 第66図 平安時代（9世紀末）の遺構分布図 2
- 第67図 平安時代（9世紀末）の土器・土製品
- 第68図 平安時代（9世紀末）の石器・石製品
- 第69図 平安時代（9世紀末）の木製品・金属製品
- 第70図 平安後期～中世の遺構分布図 1
- 第71図 平安後期～中世の遺構分布図 2
- 第72図 平安後期～中世の遺構分布図 3
- 第73図 平安後期～中世の遺構分布図 4
- 第74図 平安後期～中世の遺構分布図 5
- 第75図 平安後期～中世の遺構分布図 6
- 第76図 平安後期～中世の土器 1
- 第77図 平安後期～中世の土器 2 土鍾
- 第78図 平安後期～中世の石器・石製品 1
- 第79図 平安後期～中世の石器・石製品 2

第80図	平安後期～中世の石器・石製品	3
第81図	平安後期～中世の石器・石製品	4
第82図	平安後期～中世の石器・石製品	5
第83図	平安後期～中世の木製品	1

第84図	平安後期～中世の木製品	2
第85図	平安後期～中世の木製品	3
第86図	貨幣	
第87図	平安後期～中世の金属製品	

表目次

表1	弥生時代竪穴住居跡 (SB) 一覽		表19	飛鳥・平安時代の木製品一覽	
表2	弥生時代溝 (SD) 一覽		表20	飛鳥・平安時代の金属製品一覽	
表3	弥生時代土坑 (SK) 一覽		表21	平安時代 (9世紀末) 出土石器組成表	
表4	弥生時代出土石器組成表		表22	平安時代 (9世紀末) 溝 (SD) 一覽	
表5	弥生時代の石器・石製品属性表		表23	平安時代 (9世紀末) 土坑 (SK) 一覽	
表6	古墳時代竪穴住居跡 (SB) 一覽		表24	平安時代 (9世紀末) の石器・土製品一覽	
表7	古墳時代溝 (SD) 一覽		表25	平安時代 (9世紀末) の石器・石製品属性表	
表8	古墳時代土坑 (SK) 一覽		表26	平安時代 (9世紀末) の金属製品一覽	
表9	古墳時代出土石器組成表		表27	平安後期～中世出土石器組成表	
表10	古墳時代の土器・土製品一覽		表28	平安後期～中世溝 (SD) 一覽	
表11	古墳時代の石器属性表		表29	平安後期～中世土坑 (SK) 一覽	
表12	古墳時代の玉類・石製模造品一覽		表30	平安後期～中世の土器・土製品一覽	
表13	飛鳥・平安時代竪穴住居跡 (SB) 一覽		表31	平安後期～中世の石器・石製品属性表	
表14	飛鳥・平安時代溝 (SD) 一覽		表32	平安後期～中世の木製品一覽	
表15	飛鳥・平安時代土坑 (SK) 一覽		表33	貨幣一覽	
表16	飛鳥・平安時代の土器・土製品一覽		表34	平安後期～中世の金属製品一覽	
表17	飛鳥・平安時代出土石器組成表		表35	飛鳥・平安時代の土器の消長	
表18	飛鳥・平安時代の石器・石製品属性表				

写真図版目次

PL1	弥生時代の遺構	PL13	飛鳥・平安時代の遺物
PL2	縄文時代・弥生時代の遺物	PL14	飛鳥・平安時代の遺物
PL3	弥生時代の遺物	PL15	飛鳥・平安時代の遺物
PL4	弥生時代の遺物	PL16	平安時代 (9世紀末) の遺構
PL5	古墳時代の遺構	PL17	平安時代 (9世紀末) の遺物
PL6	古墳時代の遺物	PL18	平安後期～中世の遺物
PL7	古墳時代の遺物	PL19	平安後期～中世の遺物
PL8	古墳時代の遺物	PL20	平安後期～中世の遺物
PL9	飛鳥・平安時代の遺構	PL21	平安後期～中世の遺物
PL10	飛鳥・平安時代の遺構	PL22	平安後期～中世の遺物
PL11	飛鳥・平安時代の遺物	PL23	平安後期～中世の遺物
PL12	飛鳥・平安時代の遺物		

第1章 発掘調査の概要

第1節 調査の経過

1 調査に至る経緯

本報告書収録の遺跡群の発掘調査は、長野県更地建設事務所建設課による国道403号（土ロバイパス）建設に伴う事前調査として実施されたものである。長野県においては、従来、国道建設にかかわる発掘調査は市町村教委が実施してきた。国道403号関係の発掘調査も、更地市教育委員会により継続されていた。しかし、調査区域中央の高速道地点の調査をセンターが行ったこと、事業量等の問題から県教委・市・建設事務所・センターの間で調整の結果、上信越自動車道より西側は、当センターが分担して実施することとなった。

発掘調査の契約面積は4,000㎡である。

2 調査の経過（調査日誌抄）

- 4月7日 機材搬入・重機による表土剥ぎ開始
- 4月14日 1区調査開始
- 4月21日 2区調査開始
- 6月9日 3区調査開始
- 6月11日 2・3区平安時代（9世紀末）面、空撮・空洞
- 6月13日 塩崎小学校6年生見学
- 7月14日 6区調査開始
- 7月25日 4区調査開始
- 9月14日 現地説明会
- 10月16日 5区調査開始
- 10月20日 4区市道部分調査開始
- 11月18日 1・2区市道部分調査開始
- 12月19日 調査終了



現地説明会

3 調査体制と調査期間

平成9年度 発掘調査

事務局長	青木 久
同 総務部長	山崎悦雄
同 調査部長	小林秀夫
長野調査事務所長	小林秀夫
同 庶務課長	戸谷 功

第1章 発掘調査の概要

長野調査事務所調査課長	百瀬長秀
調査担当者	西山克巳 西 香子
調査期間	平成9年4月7日～同年12月19日

平成10年度 整理作業

所長	佐久間鉄四郎
副所長	山崎祝雄
管理部長補佐	宮島孝明
調査部長	小林秀夫
調査第二課長	土屋 積
整理担当者	西 香子

平成11年度 報告書印刷・刊行

4 発掘および整理作業参加者

荒井かち 池内なつ子 石浦光子 牛沢輝雄 内山友江 太田里子 岡藤清流 小河原惣四郎 長田圭二
春日恭子 北沢利子 窪田 順 小林英子 駒村和子 小山弘六 矢戸静江 清水威子 瀬下利男
滝沢修子 竹内吉晴 田中研一 千賀久男 塚口延子 中沢スミ子 中沢 幸 西沢京子 野沢新作
長谷川敦子 深沢優子 保坂豊子 真島たけの 真島友見 松沢 守 村田雅子 山下大輔 吉池光子
米沢須美子

第2節 調査の方法

1 発掘調査の方法

本調査に先駆けてすでに更埴市教育委員会にて発掘された大境遺跡や、当埋文センターで発掘した、隣接する上信越自動車道屋代遺跡群の報告に基づいて調査の範囲の確定が行われた。市道4127号線の切りまわしや市道から農地等への入口の確保、用水の確保等、いくつにも分割して調査せざるを得ず、それらの問題を考慮した結果、わずかではあるが一部調査を行えない箇所も出てきた。

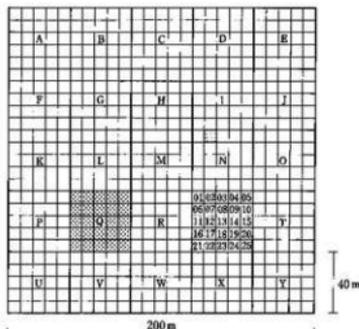
(1) 遺跡名称と遺跡記号

本書で報告する遺跡の名称と遺跡記号は下記のとおりである。遺物・写真他の記録類の注記なども全てこれによる。

屋代遺跡群国道403号土ロバイパス地点 BYO

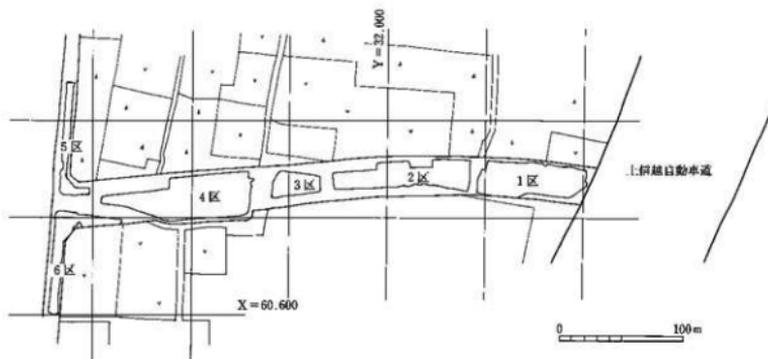
(2) グリッドの設定と呼称法(図1)

グリッドの設定は国家庫標を利用して大々地区・大地区・中地区の3段階に区分した。まず調査区全体にかかる200m×200mの区画を設定し、これを大々地区としてⅠ・Ⅱ・Ⅲ……とローマ数字で表記した。この大々地区を40m×40mの25区画に分割し大地区とした。大地区の呼称は北西から南東へAからYまでの大文字アルファ



この大々地区がⅠ区の場合 ■は大地区ⅠQ □は中地区ⅠN-02

第1図 大・中地区設定法



第2図 仮地区設定図

ベツトを用いた。その大地区を8m×8mの25区画に分割し中地区とした。中地区の呼称は、北西から南東へ1から25の算用数字を用いた。これらの呼称を組み合わせ、大々地区「I区」に属する大地区「N区」の中地区「2区」は、「IN-02」のように表記される。なお、分割調査の為に設定した仮地区は図2に示した。

(3) 遺構記号・遺構番号

記録・注記等の便宜を図るために遺構名称は記号を用い、遺構番号は時代等にかかわらず種類ごと、検出順に付した。遺構記号は基本的に検出時に決定するため、主として平面的な形態や遺物の分布状況等を指標としたもので、必ずしも個々の遺構の性格を示すものではない。混乱を避けるため原則として遺構記号・遺構番号の変更は行わず、本報告書は発掘時に付した遺構記号・遺構番号を使用している。このため整理段階で遺構と認めなかった場合、遺構番号に欠番が生じている。また、遺構番号が重複してしまったものについてのみ整理作業段階で遺構番号の変更を行っている。

なお、本書で用いた遺構記号は当理文センターで共通に用いているもので、以下のとおりである。

- [SB] 直径あるいは一辺または最大長が2m以上の、円形・長円形・方形・長方形・不整形等の掘り込み。(竪穴住居跡、竪穴状遺構)
- [SK] 単独もしくは他の掘り込みと関係が認められないSBより小さな掘り込み。(土坑、貯蔵穴、井戸等)
- [ST] SBより小さな落ち込みや石が一定間隔で方形、円形に配列されるもの。(掘立柱建物跡)
- [SD] 帯状の掘り込み。(溝跡)
- [SC] 連続する固い面や帯状の盛り土やSDに挟まれる帯状の面。(道路・畦・堤防)
- [SL] 複数の帯状の掘り込みや盛り上がりが規則的に配列し、ひとつの面を形成しているもの。(魚跡・水田跡)

なお、SB内の柱穴・貯蔵穴等やSTを構成する個々の掘り込みにはPを付した。

(4) 遺構検出と遺構調査の手順

基本的な調査の進め方は、重機で表土を削除した後、前述のようにグリッドを設定して人力で遺構検出を行った。遺構検出の際、出土した遺物は含まれた層位名またはグリッド名あるいは帰属遺構名を付して取り上げた。遺構調査面が2面以上ある場合は、次の調査面まで、重機による剥ぎを行った。検出され

た遺構の調査には、平面形で重複関係を把握してから掘り下げ作業にかかった。精査する順番は、重複関係の新しい遺構から古い遺構へ、という流れで行った。平面形で新旧のわからないものは、随時トレンチを入れて断面より確認して作業を進めた。遺構はそれぞれに十文字方向あるいは単一方向で土層を観察し、記録した。掘り下げが終了した遺構は測量・写真撮影を経て終了した。

遺構の測量は簡易走り方測量（オフセット測量）により、中地区（8m×8m）単位に区切った割付図として、住居跡は個別遺構図として実測した。縮尺はほとんどの場合1：20で、必要に応じて1：10で実測した。その他、畝跡では1：20の航空測量を業者委託した。

2 整理作業の方法

(1) 調査時点および同年度の整理

発掘調査時点での整理は、遺物洗浄・図面整理・写真整理の一部を行った。発掘調査終了後の冬季整理作業では、現場で作成された図面類と写真の整理を優先に行った。図面類は、平面図と断面図を照合して補修した。遺物への注記は、注記マシンにより行った。インクが黒色の為、遺物が同色の場合は白のポスターカラーで手作業により注記を行った。土器の接合作業も一部行った。

(2) 報告書作成にかかわる整理

報告書作成にかかわる整理作業は、平成10年度に長野県埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟で行った。土器の接合・復元作業、土器・石器等遺物の実測、遺物の写真撮影、遺構図・遺物実測図のトレース、遺構・遺物写真の選定・レイアウト、版組み、原稿執筆と編集、収納等を行った。金属器は、保存処理をした上で実測、写真撮影を行った。遺物の写真撮影は、当埋文センター篠ノ井整理棟の写真室が担当して焼付けまで行った。

遺物は、原則として遺構単位に収納した。遺物記録類の全ては整理終了後、更埴市教育委員会に移管した。

第3節 遺跡周辺の環境

1 遺跡の立地と位置

屋代遺跡群と大境遺跡は長野盆地（善光寺平）の南端にあたる。千曲川の蛇行のひとつの屈曲部に相当する更埴市屋代・雨宮地区では、千曲川の営為により河岸には厚い土砂が堆積して広大な自然堤防が形成されている。屋代遺跡群はこの自然堤防状に位置する遺跡群である。

自然堤防上には、五十里・郷津・古道・大塚・馬口・北中原・荒井・松ヶ崎・町浦・城ノ内・大境・窪河原・下條・灰塚・大宮・唐崎・生仁・島といった遺跡が連なり、縄文時代から中世にいたるまで人の営みの痕跡を刻んでいる。現時点では、これらの遺跡の境界線が未確定であるか、不可分である状況もあり、これらを屋代遺跡群として総称している。

2 遺跡群の歴史的概観

上田市から坂城町・戸倉町を経て北西方向に流れ来る千曲川は、更埴市八幡のあたりで北東方向へ進路を変え始める。さらに西部山地から長野盆地に流れ込む犀川が大扇状地を形成し、これが千曲川の北進を妨げて進路を圧迫したとされる。この所々によどみを持つ緩やかな流れによって、両岸に広大な自然堤防が形成され、屋代遺跡群周辺では水田可耕土である細砂やシルトが堆積する。



- 1-1 屋代遺跡群国道403号土ロバイパス地点 1-2 大境遺跡 1-3 城ノ内遺跡 1-4 荒井遺跡
 1-5 松ヶ崎遺跡 1-6 北中原遺跡 1-7 屋代遺跡群高速遺地点 1-8 馬口遺跡 1-9 古道遺跡
 1-10 程河原遺跡 1-11 屋代遺跡群新幹線地点 2 郷津遺跡 3 大塚遺跡 4-1 下條遺跡 4-2 灰塚遺跡
 4-3 雨宮廃寺跡 4-4 大宮遺跡 4-5 唐崎遺跡 4-6 生仁遺跡 5-1 更地糸里遺跡高速遺地点
 5-2 更地糸里遺跡新幹線地点 6 島遺跡 7 屋代清水遺跡 8 大穴遺跡 9 有明山將軍塚古墳
 10 森將軍塚古墳 11 土口將軍塚古墳 12 倉科將軍塚古墳 13 屋代古城 14 屋代城 15 生仁館

第3図 周辺の遺跡

以上のような成因による自然堤防と後背湿地は、居住と生産の舞台として繁栄していたことは周知のとおりであるが、こうした地形の利用はすでに縄文時代から始まっていたことが最近の調査で明らかになりつつある。上信越自動車道屋代遺跡群では縄文中期の集落が地表下4mに埋没し、自然堤防形成の初源段階から居住が開始されていることを知らしめ、縄文時代の居住が丘陵や台地ばかりではないことを証明している。高速道地点では、縄文前期や後・晩期の遺物や遺構も見つかっている。この他、城ノ内遺跡では縄文後期、大宮・生仁遺跡や有明山の麓の屋代清水遺跡では縄文晩期の資料が見つかっている。

弥生時代には千曲川の左岸において、篠ノ井塩崎や壘川堤防沿いなどの自然堤防上やそれらの北西側の後背湿地に、稲作の受容を背景に集落や水田が大規模に広がっていることがよく知られているが、右岸の屋代遺跡群内においても弥生時代の生業は確実に根を下ろし、自然堤防を中心とした一帯にも集落が発見されている。城ノ内遺跡では稲作農耕社会の萌芽を裏付ける遺賀川系の土器が見つかっている。弥生中期以降は荒井・松ヶ崎・大宮・生仁・島遺跡が、有明山崖面～麓では大穴・屋代清水遺跡などで遺構・遺物が見つかっている。中期の遺跡や資料は数量的には多くはなく、生仁遺跡など拠点的な集落の多くは後期のものである。堤防上には点在する形で集落を営む一方、後背湿地の更埴系遺跡内に水路を設けて水田を開発し始めたのはこの頃であると考えられる。しかし水田はまだ大規模なものではなく、低湿地化した限られた地域であったと考えられる。当センターで調査した更埴系遺跡の、有明山の麓の地点では弥生時代のものと思われる水田が見つかっている。

古墳時代に入ると、集落は増大して自然堤防上全体に広がり始める。前半期では郷津・灰塚・城ノ内・生仁遺跡と高速道地点、有明山崖面下の屋代清水遺跡など、後半期では大宮・生仁遺跡や高速道地点が挙げられる。4世紀後半から5世紀には、全長100mの規模をもつ森将軍塚古墳、東方の尾根上には全長70メートル前後の土口将軍塚古墳と倉科将軍塚古墳、森将軍塚古墳の上方には有明山将軍塚古墳などの前方後円墳が築造されている。しかし、これらの突出した規模をもつ古墳の時期において、また円墳や群集墳へ移行した後半期においても、それらの古墳群に見合うだけの規模を持った集落や生産基盤は、更埴系遺跡・屋代遺跡群内では十分に見出すにはいたっていない。

古代では8世紀後半から集落は飛躍的に増大し、自然堤防上の全域、後背湿地内の微高地にも分布する。9世紀代に入ると、後背湿地内には条里的地割を持った水田が大規模に展開し、自然堤防上にはこれらと関連すると考えられる基幹水路が数条見つかっている。また、集落域周囲では条里区画にのらない水田も開発され、最近の調査では自然堤防の内側にも水田が造成されていることがわかってきている。しかし、後背湿地内の水田はもちろん、自然堤防上の集落の一部までもが9世紀後半とされる大洪水によって埋没してしまう。この洪水は、千曲川流域の諸遺跡から長野盆地南部に普遍的に確認されている広域の洪水堆積で、場所によっては2mにも及ぶ砂を堆積し、仁和4(888)年の文献記録に対比されるものと現在考えられている。洪水以降の9世紀末～平安時代後半期の遺跡は、洪水前とは比較にならないような僅少な割合でしか確認できなくなっている。

当センターで調査した屋代遺跡群高速道地点では千曲川の旧河動が見つかり、多数の木簡が出土した。その内容は従来の知見を大幅に書き換えるものであり、埴科郡衙との関連が注目される。しかし、木簡を伴う遺構の時期は7世紀後半～8世紀前半で、現在までの調査例では屋代遺跡群内の集落が希薄となる時期に相当する。近接する雨の宮廃寺跡からも有力者層の存在は推定できるが、木簡の出土量と内容に見合った規模や内容の遺構は、自然堤防上に見つかっていない。中世は文献資料によっては多くのことが知られる一方、考古学的な手法による調査事例は希薄かつ断片的である。自然堤防上においては、井戸跡や大きな溝跡など洪水砂を貫くようなある程度の深さを持った遺構は検出されるが、建物跡などの検出例は稀である。この傾向は平安時代後半、すなわち大洪水の後の遺構において共通しており、近世から現代の

耕作などの土地利用がこれらを攪拌してしまっていることによって、とらえられないものになっていると考えられる地点が少なくない。なお文献に見られ、自然堤防上にかかわる中世の城跡としては屋代城と生仁館がある。屋代城は屋代一帯を支配した屋代氏が、城ノ内地籍に居を構えたたとされている。その新城は一重山の山頂にある。生仁館跡は五十里川と生仁川の合流点付近にあり、現在は畑地になっている。

第4節 基本層序

本遺跡の基本層序を、各地区毎に対比できるように柱状概念図で表した(第4図)。分層は以下のとおりである。

0層:客土。

I層:にょい黄褐色土(10YR5/3)。表土。

II層:褐灰色(10YR4/1)～黒褐色砂(10YR3/1)。高速道屋代遺跡III-1層に対応する。

III層:暗灰黄色(2.5Y4/2)～オリーブ褐色砂(2.5Y4/3)。高速道屋代遺跡III-2層に対応する。

IV層:にょい黄褐色(10YR5/4)～灰黄褐色(10YR4/2)。

V層:褐灰色(10YR4/1)～黒褐色(10YR3/1)。

VI層:明黄褐色(10YR6/6)～黄褐色(10YR5/6)。

II層は、平安後期～中世の洪水砂で3区を中心に2区の西側、4区の東側で認められる。III層は、平安時代(9世紀末)の洪水砂で、2区から6区のひとつの地区で認められる。IV層は、古墳時代～飛鳥・平安時代の包含層で、5区の一部で認められない他は、すべての地区に堆積している。V層は、弥生中期の包含層で、2区から6区全ての地区で認められる。VI層は、弥生中期以前の堆積で全ての地区で認められる。

引用・参考文献

- 勸長野県埋蔵文化財センター 1997 「長野県埋蔵文化財センター 年報14」
- 勸長野県埋蔵文化財センター 1998 「上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書25—更埴市内その4— 更埴条里遺跡・屋代遺跡群 弥生・古墳時代編」
- 勸長野県埋蔵文化財センター 1998 「北陸新幹線埋蔵文化財発掘調査報告書3—更埴市内— 更埴条里遺跡・屋代遺跡群」
- 長野県埋蔵文化財センター 1998 「長野県埋蔵文化財センター 年報15」
- 長野県埋蔵文化財センター 1999 「上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書26—更埴市内その5— 更埴条里・屋代遺跡群 古代編」

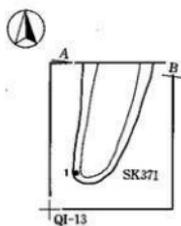
第2章 遺構と遺物

第1節 縄文時代

調査区が狭い為、縄文時代の面的な調査はできなかったが、1区で平安後期～中世の井戸跡を重機で半截した際に縄文後期の土器が出土したので、およそ2×2mのトレンチを入れて調査したところ、縄文時代に属すると思われる土坑が1基検出された。

SK371は、トレンチの外へ広がっている為、全体の形状は不明であるが、底面はほぼ平らで、壁は底部から緩やかに立ち上がる浅い土坑である。埋土中より完形に近い土器が1点出土している。遺構の時期は、はっきりとは解らないが、埋土から出土している土器より、縄文時代後期に属すると思われる。

縄文時代の遺物は、縄文時代後期の土器が2点出土している。1はSK371から出土した口縁内屈の小型



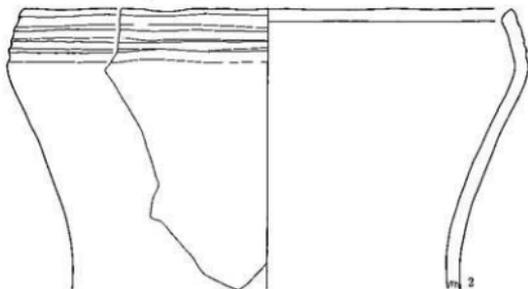
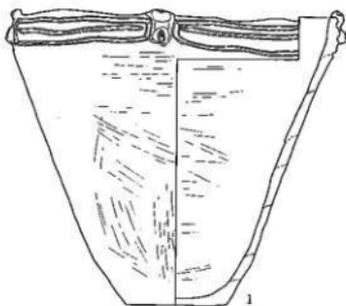
A 354.1 B



1. 明黄褐色土 (10YR5/6)
粘土・炭化物多く含む

0 2m

第5図 SK371



0 10cm

第6図 縄文時代の土器

の深鉢形土器で、口縁に円管状工具による刺突が施された突起が4単位に貼り付けられる。口縁部文様帯には長方形に変化しかけている楕円モチーフの沈線文が施され、文様帯には甘いミガキが施されている。2は、1区で平安後期～中世の井戸跡を重機で半載した時に出土した土器で、中世の遺構に混入していたものか、周りの包含層からの出土かは不明である。口縁内屈の深鉢形の土器で、口縁文様帯には4条の浅く幅広い沈線が施される。いずれも後期後葉の土器で、1は安行Ⅰの後半からⅡ式に、2は安行Ⅰ式に併行すると考えられる。

第2節 弥生時代

1 遺構各説

本項に掲載した遺構は、V層を削いで検出された遺構で、いずれも弥生時代中期に属すると思われる。検出された遺構は、竪穴住居跡(竪穴状遺構含む)4軒、溝跡14条、土坑174基である。

遺構は1区を除いて、全ての調査区で確認されているが、2～4区にやや集中して検出されている。

(1) 竪穴住居跡

弥生時代中期の住居とした遺構は4軒で、いずれも2区と3区で検出された。このうちSB39・40の2軒は炉が確認できず、住居跡かどうかは不明であるが、竪穴状遺構としてこの項で扱うこととする。遺構の詳細な説明は、表1に示した。

SB36 (図12、PL1)

楕円形に近い平面形を呈し、中央付近やや南よりに炉が確認されている。本住居跡の時期は、床面より出土している甕より、中期後半栗林期と認定される。

SB38 (図12、PL1)

北側が一部調査区域外になるものの平面形は、ほぼ円形を呈すると思われる。中央には円形の炉が確認されている。本住居跡の時期は埋土中より出土している土器片より、中期後半栗林期と認定される。

(2) 溝

弥生時代の溝跡は、2～6区より14条検出されている。SD33は、2～3区にわたって東西方向に流れる溝である。本溝跡の時期は、埋土中より出土している土器片より、中期後半栗林期と認定される。溝跡の詳細な説明は、表2に示した。

(3) 土坑

弥生時代の土坑は174基で、2～6区の調査区に分布している。柱穴かと思われる土坑が若干あるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表3に示した。

2 遺物

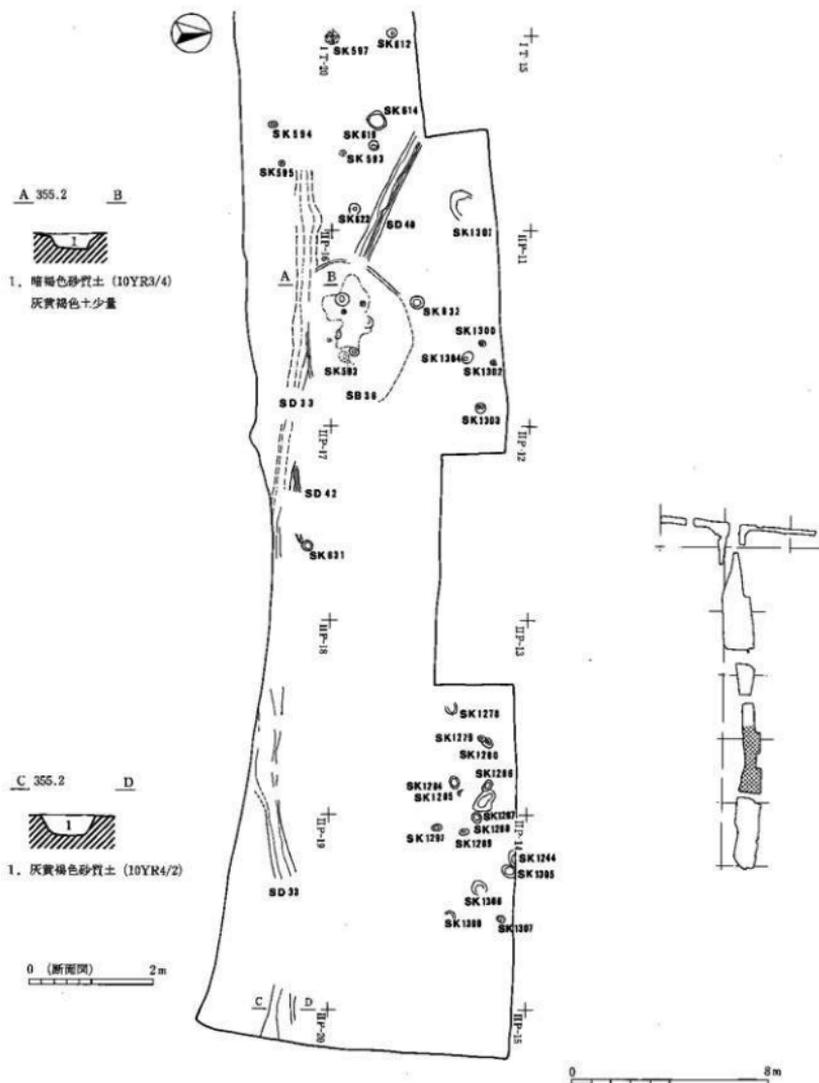
(1) 土器・土製品

V層および弥生時代の遺構から出土した土器・土製品は、5箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示(図13～17)した。

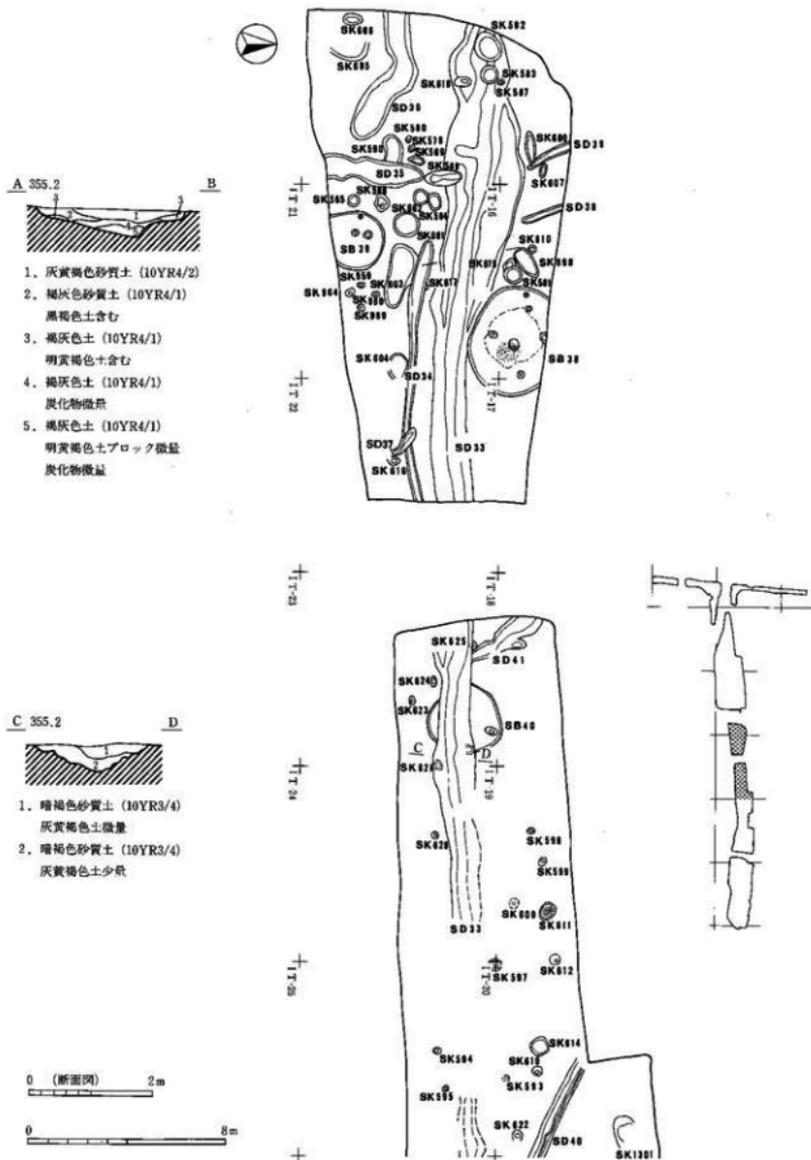
SB36 (第13図1～17)

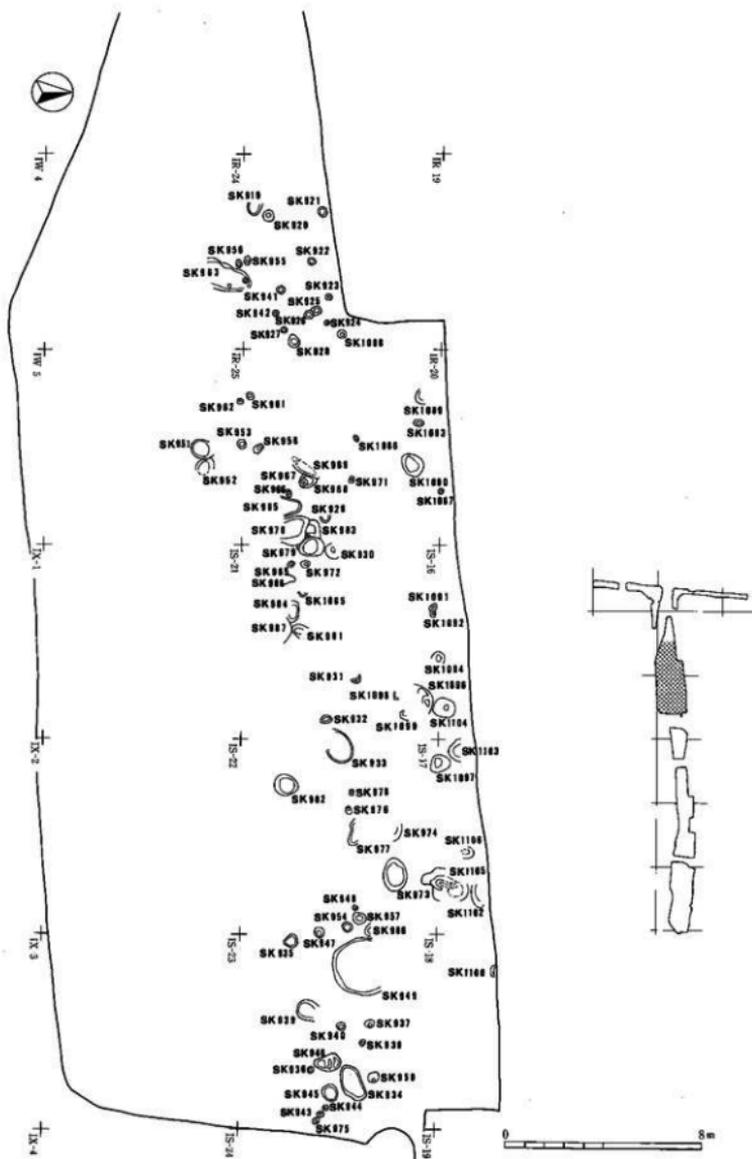
1～16は埋土中からの出土で細片、17は床面出土で完形に復元された。1～9が壺、11～17が甕、10については細片のため保留し、拓本の向きについても検討を要す。

壺は細頸承壺で、1～2が口縁および頸部、3～6が肩部、7～9が胴最大径を含む胴部である。8は

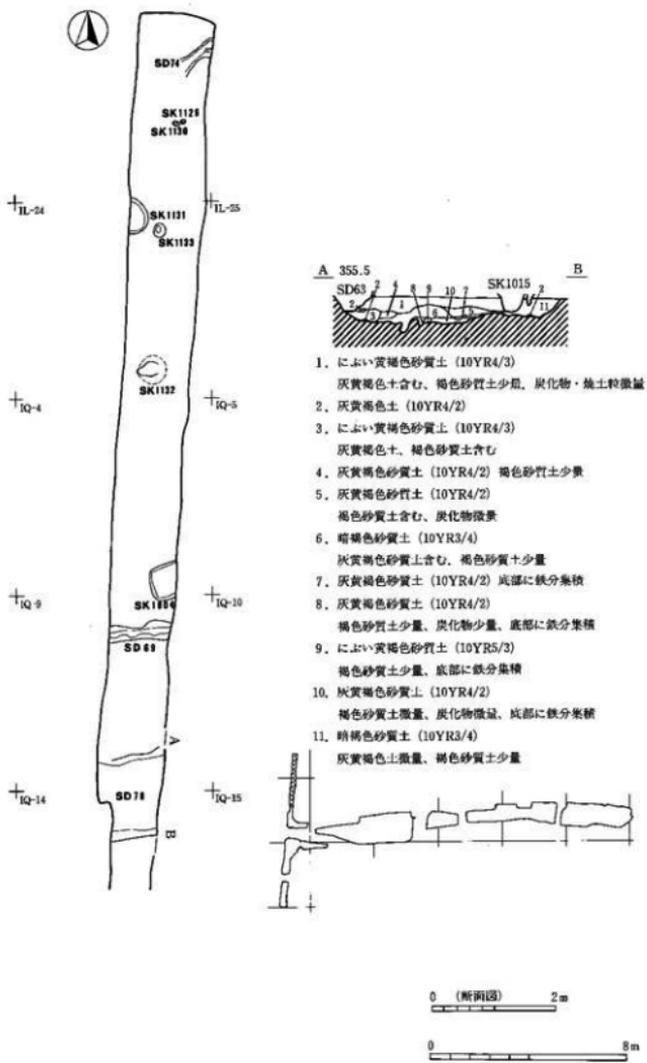


第7図 弥生時代の遺構分布図 1

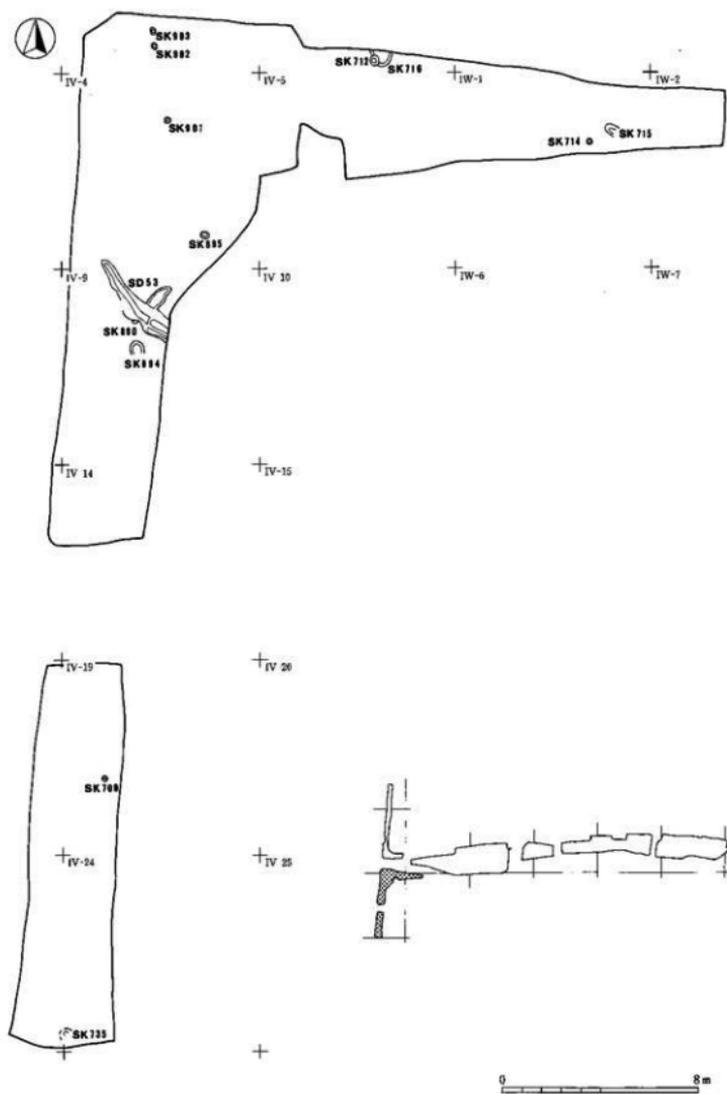




第9図 弥生時代の遺構分布図 3

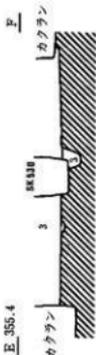
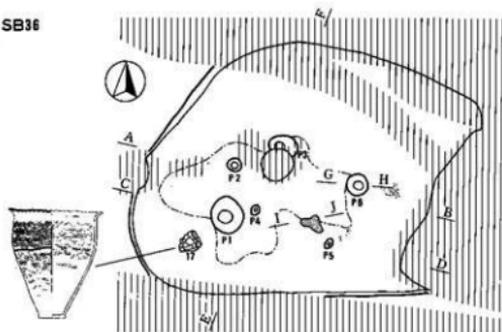


第10図 弥生時代の遺構分布図 4



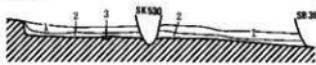
第11図 弥生時代の遺構分布図 5

SB36



7. 褐色土(0YR4/1)
8. 褐色土(0YR4/1)量、焼土アロック含む
9. 灰化物少量、灰化土アロック含む
10. 焼土層
11. 褐色土(0YR6/6)
12. 褐色土(0YR4/1)
13. 褐色土(2.5YR4/8)
14. 焼土アロック

A 355.4



B

G 355.4 H



I 355.4 J



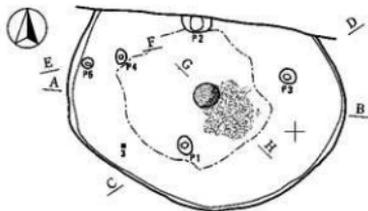
C 355.4



D

1. 褐色土(0YR6/1)
2. 褐色土(0YR6/1)
3. 1層より少し弱い
4. 褐色土(0YR4/1)
5. 褐色土(0YR4/1)量、明褐色土アロック含む
6. 明褐色土(0YR6/6)
7. 明褐色土(0YR6/6)
8. 明褐色土(5YR3/6)
9. 焼土層
10. 褐色土(0YR4/1)
11. 褐色土(0YR6/6)

SB38



D



1. 褐色土(0YR4/1)
2. 灰化物少量、明褐色土アロック含む
3. 褐色土(0YR4/1)量、明褐色土アロック、灰化物少量
4. 明褐色土(0YR6/6)
5. 明褐色土アロック含む
6. 褐色土(0YR4/1)
7. 明褐色土(0YR6/6)
8. 明褐色土(5YR3/6)
9. 焼土層
10. 褐色土(0YR4/1)
11. 灰化物、焼土アロック含む

A 355.4

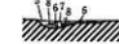


B

E 355.4



F



G 355.4

H



第12図 弥生時代の遺構個別図

表1 弥生時代 堅穴住居跡 (SB) 一覽

調査年度	時期	調査区	調査区番号	調査区形状	平面形状	土軸方位	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	床面積 (㎡)	炉位置	柱位置	柱間距離	柱高	色調	土色観測号	壁土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物目録	印合関係 (古)	印合関係 (新)
36	弥生中期	土	P11, 16	7	楕円	—	—	—	0.25	—	1	中央付近	6	凹凸あり	にぶい黄褐色 褐色	10YR5/2, 5/1	2層	床面に壁	土器・石器類	13	SD33	SB33, 37, SK23, SK24, 27, 374, SK30 541, 556
38	弥生中期	土	T 11, 12, 16, 17	8	円	N74°W	22.8	18.8	0.19	—	1	中央	5	なし	にぶい黄褐色 黄灰色, 灰黄 褐色	10YR5/2 4/1-4/2	5層	床面にお椀 皿・中に石器 多し	土器・石器類・ 種子 骨・ペンガラ	14	SD33	
39	弥生	土	T16	8	円	—	13.3	(12.2)	0.10	—	—	3	なし	にぶい黄褐色 暗黄褐色	10YR5/4, 6/5	1層	—	土器	—	—	SK512	
40	弥生	土切	T 13, 14	8	円	—	—	—	0.8	—	—	2	中央に方 形の穴	—	10YR5/4, 4/4	5層	—	土器・石器	—	—	SD33	

表2 弥生時代 溝 (SD) 一覽

調査年度	SD番号	時期	調査区	調査区番号	平面形状	延び方向	全長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	色調	土性	埋積状況	遺物出土状況	遺物目録	印合関係 (古) → (新)	備考
2	33	弥生中期	P16, 17, 18, 19, 20 T11, 16, 17, 18, 19, 20 S15, 20	7	直線的	西→東	(79.50)	3.22	0.63	灰黄褐色～暗 灰色～暗褐色	シルト	5層	上部・石器	14 ・ 18	SD41, SD40, SK621, 625→SB11, 22, 24, 26, 27, 28, 30, 34, 36, 38, SK254, 255, 263, 341, 348, 376, 383, 384, 448, 506, 508, 532, 562, 563, 566, 587, 589, 618, SD 24	
3	34	弥生	T16, 17	8	直線的	西→東	(6.74)	0.58	0.23	褐色 ～黒褐色	シルト	1層	上部・石器	—	SK604, 617→SK603, 483, SD37	
3	35	弥生	T16, S20	8	直線的	北→南	(4.66)	1.04	0.30	褐色 ～黒褐色	シルト	1層	上部・石器	—	SK599→	
3	36	弥生	S20	8	緩やかに湾曲	西→南東	(5.46)	1.24	0.15	褐色 ～黒褐色	シルト	1層	土器	—	—	
3	37	弥生	T17	8	緩やかに湾曲	北西→南東	(1.32)	0.32	0.29	褐色 ～黒褐色	シルト	1層	—	—	SK616, SK34→SK501	
3	38	弥生	T11	8	直線的	北西→南東	(1.88)	0.28	0.10	褐色 ～灰黄褐色	シルト	1層	土器	—	—	
3	39	弥生	S15	8	直線的	北西→南東	(2.10)	0.24	0.16	褐色 ～灰黄褐色	シルト	1層	—	—	SK669	
2	40	弥生	P11, T15	8	直線的	南東→北西	(5.80)	0.38	0.25	褐色～暗褐色	シルト	2層	上部・石器	—	→SK382, 555, 556	
2	41	弥生	T13, 18	8	緩やかに湾曲	南東→北西	(2.60)	1.28	0.30	—	砂	—	—	—	→SD33, SK374	
2	42	弥生	P17	7	直線的	東→西	(3.30)	0.54	0.11	暗褐色	シルト	1層	—	—	→SK30	
6	53	弥生	V4, 5	11	緩やかに湾曲 徒あり	—	南北 (4.00) 東西 (1.14)	0.52	0.46	にぶい黄褐色 ～暗褐色	シルト	1層, 砂を多く混入	土器・石器	—	SK899→SK905	
5	69	弥生	Q9	10	直線的	—	(2.60)	0.80	0.33	暗褐色	砂	1層	土器	—	—	
8	70	弥生中期	Q9, 14	10	直線的	—	(2.80)	3.40	0.44	灰黄褐色～ 暗褐色	シルト 砂	11層, 一部鉄分染黒	土器・石器	14	→SD5, SK100, 1002, 1015	
8	74	弥生	L19, 20	10	緩やかに湾曲	—	(1.60)	0.70	0.35	暗褐色	砂	1層	土器	—	→1070, 1111	

表3-1 弥生時代土坑(SK)一覽

調査地区	SK番号	時期	遺構区	中地区	平面形状	周壁形状	直径(m)	深さ(m)	土色	土色配分	築造状況	遺物	遺物種	備考
3	369	弥生	8	S20	不整形	A	0.70	0.42	0.15	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	—	—
3	370	弥生	8	S20	円形	C	0.30	0.36	0.16	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	—	—
3	380	弥生	8	S20	楕円形	C	0.32	0.24	0.14	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	—	—
3	591	弥生	8	T11	円形	D	0.74	0.72	0.35	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器、石器	—
3	582	弥生	8	S15,20	楕円形	H	1.30	1.10	0.34	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層(砂質)	土器	—
3	583	弥生	8	S20	円形	B	0.74	0.62	0.27	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器	—
3	584	弥生	8	T16	方形	C	0.68	0.54	0.18	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器、土器	—
3	585	弥生	8	T16	円形	C	0.48	0.47	0.14	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器	—
3	587	弥生	8	S15	円形	A	0.24	0.24	0.08	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	—	—
3	588	弥生	8	T16	不整形	E	0.82	0.70	0.18	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器、石器	—
3	589	弥生	8	T16、S20	長楕円形	A	1.48	0.68	0.31	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	土器	—
3	590	弥生	8	S20	長楕円形	—	—	—	0.16	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	土器、石器	—
2	593	弥生	7-8	T15	円形	B	0.26	0.26	0.23	褐色色	10YR3/4	1層	土器	—
2	594	弥生	7-8	T20	円形	C	0.36	0.32	0.34	褐色色-黄褐色	10YR4/3-4/4	2層	土器	—
2	595	弥生	7-8	T20	円形	B	0.28	0.26	0.49	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	596	弥生	8	P11	円形	F	0.48	0.43	0.24	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	597	弥生	7-8	T14,15,18,20	円形	E	0.54	0.54	0.50	褐色色-黄褐色	10YR4/4-2/4	2層	土器、石器	—
2	598	弥生	8	T14	円形	C	0.36	0.26	0.18	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	599	弥生	8	T14	円形	H	0.34	0.30	0.40	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	600	弥生	8	T14	円形	B	0.42	0.46	0.24	褐色色	10YR3/4	1層	土器、石器	IS
3	601	弥生	8	T16	円形	C	1.62	1.00	0.38	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	602	弥生	8	T16	円形	C	0.64	0.52	0.13	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	磁砂多く混入	土器
3	603	弥生	8	T16	長楕円形	C	2.26	—	0.19	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	土器	—
3	604	弥生	8	T16	—	C	—	—	0.14	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	605	弥生	8	S20	—	—	—	—	0.11	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	606	弥生	8	S20	楕円形	C	0.76	0.48	0.25	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	607	弥生	8	S15	長方形	A	0.56	0.22	0.68	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	608	弥生	8	T11	不整形	C	1.33	0.66	0.57	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	2層	磁砂多く混入	土器、石器
3	609	弥生	8	S15	長楕円形	A	—	0.42	0.07	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	土器	—
3	610	弥生	8	T11	円形	C	0.32	—	0.12	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
2	611	弥生	8	T14	楕円形	H	0.70	0.52	0.34	褐色色-暗褐色	10YR4/4-3/4	2層	土器、石器	—
2	612	弥生	7-8	T14,15	方形	E	0.40	0.38	0.34	褐色色	10YR3/3	1層	—	—
2	614	弥生	7-8	T15	楕円形	C	0.80	0.72	0.11	褐色色-暗褐色	10YR4/4-3/4	2層	土器	IS
3	615	弥生	8	T11	—	C	—	—	0.14	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	磁砂多く混入	土器
3	616	弥生	8	T17	楕円形	A	0.54	—	0.12	褐色色-黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	—	—
3	617	弥生	8	T16	—	—	—	—	0.10	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
3	618	弥生	8	S20	楕円形	C	0.46	0.46	0.29	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	磁砂多く混入	土器
2	619	弥生	7-8	T15	円形	B	0.38	0.36	0.46	褐色色	10YR3/4	1層	土器	—
2	620	弥生	8	T19	楕円形	C	0.32	0.26	0.33	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	621	弥生	8	T18,19	楕円形	C	0.38	0.30	0.22	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	622	弥生	7-8	T15	円形	B	0.42	—	0.49	—	—	—	—	—
2	623	弥生	8	T18	楕円形	B	0.46	0.32	0.54	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	624	弥生	8	T18	楕円形	B	0.38	0.30	0.37	褐色色	10YR3/4	1層	土器	—
2	625	弥生	8	T18	円形	B	0.42	0.38	0.51	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	631	弥生	7	P17	円形	A	0.56	0.44	0.12	褐色色	10YR3/4	1層	—	—
2	632	弥生	7	P11	円形	C	0.51	0.50	0.66	褐色色	10YR3/4	1層	土器、石器	—
6	709	弥生	11	V19	円形	C	0.24	0.24	0.19	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—
6	712	弥生	11	Q25	円形	C	0.40	0.36	0.29	灰黄褐色	5Y4/2	1層	土器	—
6	714	弥生	11	W1	円形	A	0.22	0.22	0.07	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
6	715	弥生	11	W1	—	E	—	—	0.23	褐色色-灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—
6	716	弥生	11	Q25	—	—	—	—	0.08	黄褐色	10YR6/6	1層	土器	—
6	735	弥生	11	V23,24	—	—	—	—	0.22	褐色色	10YR3/3	1層	—	—
6	800	弥生	11	V9	—	—	—	—	0.18	褐色色	10YR4/1-4/3	3層	—	—
6	894	弥生	11	V9	円形	C	—	—	0.29	褐色色	10YR3/3	1層	土器	—
6	895	弥生	11	V4	楕円形	G	0.41	0.37	0.35	褐色色	10YR3/3	1層	—	—

表3-2 弥生時代土坑(SK)一覽

塚地次	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面図	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色層記号	堆積状況	遺物	遺物附	備考
6	901	弥生 11	V 4	円形	C	0.28	0.28	0.21	—	暗褐色	10YR2/4	1層	土器	—	—
6	902	弥生 11	Q24	円形	C	0.22	0.22	0.18	—	暗褐色	10YR2/4	1層	—	—	—
6	903	弥生 11	Q24	円形	C	0.32	0.28	0.20	—	暗褐色	10YR2/4	1層	—	—	—
4	919	弥生 9	R19	—	E	—	—	0.21	—	灰褐色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	920	弥生 9	R19	円形	A	0.44	0.40	0.14	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	921	弥生 9	R19	円形	C	0.38	0.34	0.20	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	922	弥生 9	R19	円形	C	0.32	0.30	0.19	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器	—	—
4	923	弥生 9	R19	円形	C	0.22	0.22	0.41	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	924	弥生 9	R19	円形	C	0.25	0.22	0.19	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	925	弥生 9	R19	円形	C	0.36	0.30	0.19	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	926	弥生 9	R19	円形	C	0.42	0.40	0.09	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	927	弥生 9	R19	円形	C	0.23	0.22	0.12	—	暗褐色	10YR5/4	1層	—	—	—
4	928	弥生 9	R19	楕円形	C	0.48	0.42	0.32	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器	—	—
4	929	弥生 9	R20	—	—	—	—	—	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	930	弥生 9	S16	—	—	—	—	0.25	—	灰褐色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器・鹿十ノロツクを多数に混入	—	—
4	931	弥生 9	S16	—	E	—	—	0.17	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	932	弥生 9	S16	楕円形	C	0.40	0.32	0.05	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	933	弥生 9	S16,17	楕円形	G	—	1.04	0.28	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	934	弥生 9	S18	不整形	G	1.60	0.85	0.34	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	935	弥生 9	S18	楕円形	C	0.60	0.48	0.11	—	暗灰色—黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器・明黄褐色土ブロックを多く混入。鉄分粉を少量に混入	—	—
4	936	弥生 9	S18	円形	C	0.24	0.23	0.19	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	937	弥生 9	S18	円形	C	0.38	0.35	0.17	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	938	弥生 9	S18	楕円形	C	0.24	0.20	0.09	—	暗褐色	10YR3/4	1層	土器	—	—
4	939	弥生9期	S18	円形	C	—	0.84	0.25	—	灰褐色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器	15	—
4	940	弥生 9	S18	円形	C	0.28	0.27	0.17	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器	—	—
4	941	弥生 9	R19	楕円形	C	0.32	0.25	0.12	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	942	弥生 9	R19	円形	C	0.22	0.20	0.07	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	943	弥生 9	S18	楕円形	B	0.30	0.26	0.32	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	944	弥生 9	S18	円形	C	0.28	0.24	0.10	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	945	弥生 9	S18	円形	C	0.62	0.54	0.27	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	946	弥生 9	S18	不整形	G	1.14	0.28	0.24	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	947	弥生 9	S17,18	円形	C	0.40	0.38	0.26	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	土器	—	—
4	948	弥生 9	S17	円形	C	0.26	0.24	0.15	—	暗褐色	10YR3/4	1層	石器	—	—
4	949	弥生 9	S18	—	C	—	—	0.12	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	950	弥生 9	S18	楕円形	G	0.42	0.36	0.27	—	明黄褐色	10YR6/6	1層	—	—	—
4	951	弥生9期	R25	円形	C	0.90	0.90	0.15	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器、石器	15	—
4	952	弥生9期	R25	—	C	—	—	0.16	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器	15	—
4	953	弥生 9	R20,25	楕円形	C	0.56	0.38	0.14	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	954	弥生 9	S17	円形	G	0.40	0.38	0.23	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	955	弥生 9	R19	楕円形	K	0.40	0.22	0.28	—	暗褐色	10YR3/4	1層	—	—	—
4	956	弥生 9	R24	円形	B	0.30	0.25	0.42	—	暗褐色	10YR3/4	1層	竹	—	—
4	957	弥生 9	S17	円形	C	0.56	0.52	0.24	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	958	弥生 9	R20	楕円形	A	0.38	0.38	0.17	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	959	弥生 8	T16	円形	B	0.24	0.24	0.24	—	暗灰色—灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—	—
4	960	弥生 9	R20	円形	C	0.26	0.26	0.13	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	962	弥生 9	R20,25	楕円形	C	0.30	0.24	0.13	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	963	弥生 9	R19,24	不整形	G	—	—	0.31	—	暗灰色—正褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器	土器、石器、骨	—
3	964	弥生 8	T16	円形	A	0.34	0.32	0.13	—	暗灰色—灰黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—	—	—
4	965	弥生 9	R20	—	—	—	—	—	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	966	弥生 9	R20	楕円形	C	0.40	0.24	0.11	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—	—	—
4	967	弥生 9	R20	円形	C	0.36	0.36	0.17	—	暗黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—
4	968	弥生 9	R20	円形	C	0.08	0.60	0.25	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器・炭化物粉を多数に混入	—	—
4	969	弥生 9	R20	楕円形	C	1.42	0.42	0.32	—	暗褐色	10YR3/4	1層	土器	—	—
4	970	弥生 9	R20	—	C	—	—	0.13	—	暗灰色—明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器	—	—
4	971	弥生 9	R20	円形	C	0.16	0.16	0.14	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器・炭化物粉を多数に混入	—	—

表3-3 弥生時代土坑(SK)一覽

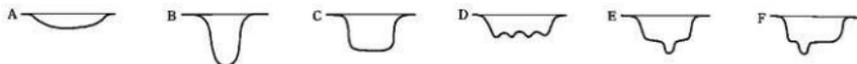
調査地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面形状	反軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色標記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
4	972	弥生	9	S16	楕円形	B	0.40	0.30	0.21	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器		
4	973	弥生	9	S17	楕円形	C	1.30	0.98	0.25	緑灰色～明黄褐色	10YR6/1-6/6	1層	—		
4	974	弥生	9	S17	—	—	—	—	0.30	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器、炭化物粒を多量に混入		
4	975	弥生	9	S18	円形	C	0.32	0.30	0.15	灰青褐色	10YR4/2	1層	—		
4	976	弥生	9	S17	楕円形	G	0.30	0.24	0.20	灰青色	10YR4/2	1層	土器		
4	977	弥生	9	S17	不整形	—	—	—	0.14	緑灰色～明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器		
4	978	弥生	9	S17	楕円形	C	0.29	0.24	0.20	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器		
4	979	弥生	9	R20、S16	円形	C	1.00	1.00	0.44	緑灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層	土器		
3	980	弥生	8	T16	楕円形	C	0.28	0.24	0.22	緑灰色～明黄褐色	10YR4/1-4/2	1層	—		
4	981	弥生	9	S16	—	C	—	—	0.30	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器		柱状状
4	982	弥生	9	S17	円形	C	0.92	0.92	0.26	灰オリブ～オリブ色	5Y5/3-5/4	1層砂質	—		
4	983	弥生	9	R20、S16	—	G	—	—	0.40	緑灰色～明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器、炭化物、土プロックを多く混入		土器、鉄滓
4	984	弥生	9	S16	長方形	C	0.50	0.46	0.20	緑灰色～明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	—		
4	985	弥生	9	S16	円形	C	0.28	0.24	0.14	灰青褐色	10YR4/2	1層	—		
4	986	弥生	9	S17.18	—	—	—	—	0.20	明黄褐色	10YR6/6	1層	炭化植物、炭化物プロックを多く混入		
4	987	弥生	9	S16	—	—	—	—	0.35	緑灰色～明黄褐色	10YR4/1-6/6	1層	土器、炭化物粒を多く混入		土器
4	988	弥生	9	S16	不整形	—	—	—	0.17	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器、土プロックを多く混入		
3	989	弥生	8	T16	円形	A	0.24	0.22	0.10	緑灰色～灰青褐色	10YR4/1-4/2	1層	—		
5	1004	弥生	10	Q4.9	—	A	—	—	0.19	暗褐色	10YR2/3-2/4	2層	土器		
4	1005	弥生	9	S16	—	C	—	—	0.13	—	—	—	土器		
4	1006	弥生	9	R20	楕円形	C	0.28	0.22	0.12	黒褐色	10YR3/1	1層	—		
4	1007	弥生	9	R15	円形	C	0.24	0.14	0.15	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6-2/3	1層	鉄分、マンガンを多く混入		
4	1008	弥生	9	R19	円形	C	0.36	0.30	0.24	黒褐色	10YR3/1	1層	—		
4	1009	弥生	9	R20	—	C	—	—	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層	—		
4	1000	弥生	9	R20	不整形	C	0.30	0.20	0.10	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6-2/3	1層	鉄分、マンガンを多く混入		
4	1001	弥生	9	S16	円形	E	0.32	0.30	0.18	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6-2/3	1層	鉄分、マンガンを多く混入		土器
4	1002	弥生	9	S16	楕円形	B	—	0.22	0.17	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6-2/3	1層	鉄分、マンガンを多く混入		
4	1003	弥生	9	R20	楕円形	C	0.18	0.14	0.07	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6-2/3	1層	鉄分、マンガンを多く混入		
4	1004	弥生	9	S11.16	—	C	—	—	0.29	黒褐色	10YR3/1	1層	—		
4	1006	弥生	9	S16	—	G	—	—	0.83	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
4	1007	弥生	9	S12.17	楕円形	C	0.40	0.74	0.62	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
4	1008	弥生	9	S16	円形	C	0.40	0.38	0.21	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
4	1009	弥生	9	S16	—	—	—	—	0.21	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
4	1100	弥生	9	S13	—	—	—	—	0.90	灰～黄褐色	10YR5/4	1層	土器プロックを多く混入		
4	1102	弥生	9	S12	不整形	G	—	—	0.79	オリブ色	5Y2/4	1層	—		
4	1103	弥生	9	S12	不整形	G	—	—	0.52	オリブ色	5Y2/4	1層	—		
4	1104	弥生	9	S11.16	円形	H	0.84	0.84	0.55	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
4	1105	弥生	9	S12.17	不整形	G (L.96)	1.28	0.36	0.26	褐色～黒褐色	10YR4/4-3/4	4層	炭化物を多量に混入		
4	1106	弥生	9	S12	—	C	—	—	0.63	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
5	1129	弥生	10	L19	円形	A	0.27	0.20	0.17	暗褐色	10YR3/4	1層砂質	—		
5	1130	弥生	10	L19	円形	A	0.30	0.30	0.09	暗褐色	10YR3/4	1層砂質	—		
5	1131	弥生	10	L19.24	—	C	—	—	0.23	暗褐色	10YR3/3-3/4	2層	—		
5	1132	弥生	10	L24	円形	C	1.20	1.08	0.61	オリブ色	5Y5/4	1層	—		
5	1133	弥生	10	L24	楕円形	B	0.57	0.44	0.27	暗褐色	10YR3/4	1層	—		
2	1214	弥生	7	P14	—	A	—	—	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1278	弥生	7	P12	楕円形	C	0.53	0.40	0.16	暗褐色	10YR3/3	1層	—		
2	1279	弥生	7	P13	円形	C	0.26	0.24	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層	—		
2	1280	弥生	7	P13	楕円形	G	—	0.36	0.23	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1284	弥生	7	P13	円形	A	0.48	0.40	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層	—		
2	1285	弥生	7	P13	—	—	—	—	0.30	暗褐色	10YR3/3	1層	—		

表3-4 弥生時代土坑 (SK) 一覧

区域	SK番号	時期	遺構目	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色観察号	埋没状況	遺物	遺物図	備考
2	1286	弥生	7	F13	横門形	A	0.52	0.34	0.19	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1287	弥生	7	F13	不整形	A	1.14	0.56	0.15	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1288	弥生	7	F13,14	門形	A	0.30	0.30	0.06	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1289	弥生	7	F14	横門形	A	0.40	0.32	0.11	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1291	弥生	7	F14	円形	C	0.33	0.30	0.30	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1300	弥生	7	P11	門形	C	0.21	0.18	0.12	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1301	弥生	7-8	T15	-	-	-	-	0.19	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1302	弥生	7	P11	不整形	C	0.18	0.16	0.07	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1303	弥生	7	P11	横門形	E	0.46	0.38	0.40	暗褐色	10YR2/4	1層	-		
2	1304	弥生	7	P11	横門形	E	0.50	0.42	0.43	暗褐色	10YR2/4	1層	土器		
2	1305	弥生	7	P14	横門形	C	-	-	0.30	暗褐色	10YR2/3	1層	-		
2	1306	弥生	7	P14	円形	E	0.60	0.58	0.38	暗褐色	10YR2/3	1層	土器		
2	1307	弥生	7	P14	門形	A	0.26	0.28	0.13	-	-	-	-		
2	1308	弥生	7	P14	-	A	-	-	0.22	暗褐色	10YR2/3	2層	土器		

凡 例

A = なだらかなU字形 B = 急なU字形 C = 落ち込みが直で、底面がほぼ平ら D = 底面の凹凸が激しいもの
E = 中央部に凹があるもの F = 壁際に凹があるもの G = その他



球形の胴を呈し、肩部と頸部境界に変換点があり、直立的に立ち上がる。胴部から頸部の形状は阿島式の壺を想起させるものがある。7、9は肩部と頸部の境界に変換点は認められない。

1は細頸壺で、口縁部が短く外反する。図示し得た最下部に横走沈線が1条認められる。頸部から肩部にかけて多段横帯施文が予想される。口縁部内外面はヨコナデ後丁寧なヘラミガキが施されている。口縁部に円孔が1つ確認できるが、欠損部を考慮すると2孔であろう。口縁端部はLR縄文、赤彩の痕跡が認められる。

2は細頸壺の頸部で、3条の横走沈線が施文され、その最上位区画には、右回りの押し引き列点文が充填される。頸部および文様帯はヘラミガキされる。

3～5は横走沈線文により横帯区画され、3がLR縄文、4がLR縄文と刺突文、5が横斜線文で重填される。6～7は横走沈線で区画される肩部文様帯で、6は重山形文系連繫文と縄文帯で、7は横斜線文と、波状沈線文で充填される。8は肩部に工字文系の長楕円系文が2段連続、頸部には押し引き列点文が弧状に垂下している。9は胴最大径下半に文様帯が認められ、沈線による重三角文が想定される。地文はLR縄文である。10は重四角文で、その間に波状沈線文、凹形浮文が付加する。地文はLR縄文である。

11～14は羽状文を施文する甕である。11～12は口縁端部近くまで文様帯となり、11は縦羽状文、12は横羽状文が想定される斜線文を施文する。施文原体は4本結束の樽であるが、1本あたりのヒゴが太い。13はヨコナデを施した口縁部が無文帯となり、頸部以下に横羽状文が想定される斜線文が施文される。13は横羽状文の下部部分にあたる斜線文である。右回りに施文され、その下位に刺突列点文が施されている。口唇端部には、11、13に指オサエ、12、13にLR縄文が施文される。

16、17は横斜線文を施文する甕である。17は倒鐘型をなし、頸部の括れが弱く、頸部最小径と胴最大径がほぼ等しいことから、頸部と胴部が直線的になる。内外面をヨコハケ調整し、胴外面大半をタテミガキ、内面にタテミガキを施す。横斜線文は、頸部以下から胴最大径上位にかけて施文される。口縁部に施文されることはない。横斜線文は5本結束の樽原体で施文され、静止部をもちながら右回りに施文する中部高地型横斜線文で、下から上に向かって施文される。文様帯下半は刺突列点文によって文様帯を区画する。口唇端部はLR縄文が施され、指オサエにより口唇端部が波状を呈する。15は文様帯を区画する刺突列点文が認められる。

S B 38 (第14図18～26)

18～26は、埋土中より出土した細片で、18～19が甕、20～26が壺である。

18～19は甕の口縁部である。軽いヨコナデを施した後、横斜線条痕で充填する。19の原体は2本組の可能性があり、右から左へ施文する。口唇端部は18がLR縄文を、19がLR縄文施文後指オサエを行う。

20は壺の肩部で、横斜線文を数条重ねる。21は肩部から頸部への立ち上がり部で、横走沈線間に長楕円形の沈線文様を並べ、押し引き列点文で囲郭する。22は肩部と想定され、弧状の沈線文と押し引き列点文で充填する。23～26は胴部最大径付近の破片である。23はLR縄文施文後に横走沈線を引く。24は上位の横走沈線間に波状沈線が、その下位に重三角連繫文が付加し、押し引き列点文で充填する。沈線施文後、文様帯全体にLR縄文を施文する。25はLR縄文施文後、重菱形連繫文が施文される。26は重三角連繫文をLR縄文と押し引き列点文で充填する。

S D 33 (第14図27～46)

27～46は埋土中より出土した細片で、27～36が甕、37～45が壺、46が鉢である。

27～34は甕の口縁部、35は甕の胴部最大径付近である。27～31は口縁部付近まで横斜線条痕を充填する。原体は、27～30が2～3本のヒゴを結束し1本あたりのヒゴが太く、31が多条で細い。施文方向は28が左回りである。口縁部は軽いヨコナデ後に施文を行い、27、30、31は文様上にナデあるいはミガキを行い、

光沢がある。口唇端部は27、28、30にLR縄文が、27、28に刺突、31に内側から外側に向けて指オサエが施される。内面はヨコミガキする。32は大きく外反する口縁部に描波状文を充填する。ヨコナデ調整後に上位から下位に向けて施文される。口唇端部にはLR縄文が施され、後期箱清水式土器でないことが理解される。33、34は口縁部が無文帯となり、33は内外面に精製ヨコミガキを施す。35は描描羽状条痕を施文し、ハケ原体の小口で押し引き状の刺突列点文を右回りに施文する。36は重四角沈線文で、上位はLR縄文帯となる。

壺に分類される37～45のうち、37は肩部から頸部、38～45は胴最大径上位の肩部～頸部である。37は頸部径8cmの細頸壺である。LR縄文帯を横走沈線で多段区画し、押し引き列点文・重菱形文で充填する。重菱形文は2段認められる。38は横走沈線、押し引き列点文で横帯区画し、複合鋸歯文で充填する。鋸歯文帯の地文にはLR縄文が認められる。39も複合鋸歯文になるものと思われる。40～41は、40が頸部の、41が肩部の横帯区画文である。40は押し引き列点文と沈線で横帯区画し、縄文で充填する。41は工字文系の長楕円形を連続させ、上位にLR縄文帯が認められる。

42～43は壺の肩部で、横帯区画された文様帯を斜状沈線で充填する。42は横走沈線で区画するが、その下位に沈線施文原体で刺突列点文を配列している。43は描波直線文で区画する。44～45は、44が肩部、45が胴最大径部である。波状の描描文を有し沈線で区画する。45では刺突文が認められる。44は貼り付けの凸帯をもち、凸帯上は横走沈線を1本施文し縦位の刺突を行う。無頸壺の可能性もある。46は口縁部が外反する鉢で、口縁部は強いヨコナデが施される。胴部には刺突列点文、沈線区画文が施され、LR縄文が充填される。

S D70 (第14図47～53)

47～53は埋土中より出土した細片で、47～52が壺、53が甕である。

47、48が細頸壺の口縁部である。口径は47・48ともに8cmを測る。いずれも口縁部に文様帯があり、47は2条の波状沈線下に1条の横走沈線文が、48はLR縄文帯が認められる。47内面はミガキが施される。49a・bは細頸壺の頸部で径10cmを測る。頸部文様帯は2条の横走沈線で区画され、LR縄文施文後に波状沈線文、重山形連続文を充填する。頸部文様帯以下は、図示できない破片から推定すると文様帯は認められない。胴上位はタテミガキ、胴下位はヨコミガキを施す。50～52は壺の肩部である。50は横走沈線下にLR縄文帯を施文し、その両端を竹管刺突列で区画する。文様帯以下はヨコミガキが施され、以下ミガキ帯になるものと思われる。51は横走沈線下に鋸歯状文が付加する。52はLR縄文施文後、横走沈線および押し引き列点文を施文する。

53は倒錐型のプロポーシオンをなし、口縁部は左上がりのハケ調整を行い、描描施文を行う。波状文は右から左へ、下から上へ向って施文し、最後に縦の垂下文をかきおろしている。垂下文同志の横の間隔は短く、多条である。口縁端部は指オサエされる。

S K800 (第15図54)

54は埋土中より出土した壺で沈線文、描描文による横帯構成をとる。胴上位文様帯には、横走沈線文、押し引き列点文で区画された横帯間を4条の連弧文で充填する。地文はLR縄文。胴下位文様帯では、横帯区画内を充填する文様に沈線文と描描文があり、横走沈線文間を描描直線文、描描横羽状文で充填する。

S K814 (第15図55)

55は埋土中より出土した土器である。図示部分の1/2が残存する。器形は口径と胴最大径がほぼ等しく頸部が括れ、口縁部が長く外反するものである。栗林様式に同様なプロポーシオンはなく、前階段の在来系甕の伝統上に位置するものとみたい。外面は数本を束ねた条痕で右下がりに調整あるいは施文を行った後、口縁部から胴部にかけて荒い縦方向の条痕を施す。条痕の原体は明らかにし得なかったが、他

の甕に認められる条痕と異なり、痕跡が細く弱い感じがする。器形と同様に前段階からの変容型として捉えたい。栗林式の甕における調整手法、文様手法とは明らかに異なるものである。

SK939 (第15図56)

56は埋土中より出土した甕で、1/4残存の大型破片を図示した。プロポーシオンは、口径 > 胴最大径となり倒鉢型をなすもので、頸部にやや括れをもつ。口縁部にはヨコナデが施され、この手法が頸部の括れと密接に関連する。

文様帯は頸部から胴上位に施文され、口縁部に文様帯は認められない。文様は櫛描横羽条文で、その下位は刺突列点文で区画される。原体はストロー状のヒゴが5本結束される。施文方向は上位斜線文が左回り、下位斜線文が右回りである。口唇端部はLR縄文を施す。

SK951 (第15図57~62)

57~62は埋土中より出土した土器で、57~60が細片、61が完形、62が1/2残存の大型破片を図示した。58~60が壺、57・61が鉢、62が甕である。

58・59は壺の肩部から胴最大径付近に至る破片で、横帯文構成の文様が施される。58は横走沈線、櫛描直線上に指ナデによる文様が施され、その周囲をオサエによる刺突文で囲郭する。59、60は横帯構成の文様帯で、59は櫛描文と横走沈線を配し、LR縄文を充填する。60は横走沈線文と押し引き列点文を配列し、無文帯間はミガキ調整する。

57は内唇口縁の鉢で、口唇部内面側に1条の沈線を施す。内面はヨコハケ調整後ナデ、外面はナデ調整を行う。器壁が厚い。61は口縁が外反する鉢で、内面はヨコハケ調整後ナデを施しハケを残す。外面は荒いミガキを施す。口唇部に縄文を施文する。

62は羽状条痕を施文する甕である。頸部の括れない深鉢型を呈する。条痕原体は4本のヒゴを結束したもので、1本あたりのヒゴが太い。羽状文は横羽状文で、上位斜線は右回り、下位斜線は左回りに施文する。胴下半部はミガキが、内面はヨコハケ後ナデ調整が施される。

SK952 (第15図63、第16図64~65)

63~65は埋土中より出土した土器で、いずれも壺である。63は図示部分の1/5が残存する。受口状口縁を呈する太頸壺で、その所属時期が問題となろう。口縁部は直立し、その端部が短く外反した受口部を形成する。受口部の外面は明瞭な稜をもち、内面には強いヨコナデが施される。口縁部上位は無文帯であるが、下位には棒状工具による円形刺突文列、横走沈線文、櫛描直線文が認められる。受口部外面にはLR縄文帯を地文に、複合鋸歯状文が連続する。2本組の棒状浮文を添付している。

64、65は壺の底部で、底部に布目匠痕が認められる。平織系の布と想定されるが目は1mm程で緻密に織られている。外面はいずれもミガキ調整される。

1区出土土器 (第16図、66)

66はII層中より出土した甕の細片である。長く外反する口縁の端部で器壁が厚い。内外面に丁寧なミガキを加える。口唇部には指オサエが認められる。

2区出土土器 (第16図、67~79)

67~75が壺、79は甕、76・77については保留。78は弥生時代後期の甕である。69、75がIII層より、他は弥生面の出土で、67はP-11グリッド、79はT-19グリッドより取り上げられた。67が図示部分ほぼ残存、79が図示部分の1/4個体が残存した。

67は口縁部が短く外反する細頸系の壺である。文様帯は頸部以下に位置し、横走沈線区画内を押し引き列点文とLR縄文を交互に施し、多段横帯文を構成する。図示部以下、胴部に至るまで横帯文が連続すると想定される。縄文は沈線施文後施されている。口縁部は強いヨコナデを行い、外面には荒いタテミガキ、

内面にはヨコミガキが施される。68は頸部最小径以下の破片で、口縁部が短く外反する細頸系の壺である。頸部に器形の変換点があり、最小径が締まる点は67と異なる。器形変換点以下が文様帯となり、頸部から肩部にかけて沈線がLR縄文上に施文される。

69~71は細頸系壺の頸部から肩部で、いずれも多段横帯系の文様構成をとる。69は横走沈線区画内を上位にLR縄文、下位に刺突文を施文する。刺突原体は小口板である。70にも刺突文が認められる。71はLR縄文を地文とし、横走沈線で多段区画が連続する。

72~75は胴最大径付近の文様帯である。72は横走沈線区画内を6本連結の櫛で、上位に直線文、下位に押し引き状の刺突列点文を施す。73は胴下半部で、LR縄文地文帯に横走沈線で横帯区画し、同一原体で左回りに押し引き列点文を施文する。その下位は連弧文が付加するものと思われる。74、75は別個体ながら同一のモチーフをとるものと想定され、74が胴最大径以下、75が胴最大径以上の破片である。73は胴最大径に3本の横走沈線を配し、その上位に同一原体による右回りの押し引き列点文を、その下位に3本1組の重三角文を施文する。

76の器形、器種については保留することにしたい。内面は左上がりのハケ調整後、全面にヨコミガキが施されている。文様は5本1組の櫛で、上から下方向に4条の櫛描直線文を配し、同一原体で垂下文を3条以上施文する。垂下文は左回りに施文する。籾ノ井遺跡群高速道地点に類似がある。77は大型の鉢か。LR縄文帯上に重山形文を施文する。

79は甕の胴下半部である。器壁および底部を非常に薄く仕上げている。器壁が荒れ、調整は不明瞭であるが内面はミガキが施される。

3 区出土土器 (第17図、80~89)

80・81・83~85が壺、82が壺、86~89が甕である。80・81がII層、82がIII層、83~89が弥生面より取り上げられた。82が完存した外は破片資料である。

80は細頸壺の口縁部で、口縁外面に有段部をもち短く外反する。有段部に刺突列点文を、その上位にはLR縄文帯を施す。1mm程の小砂粒を多量に含む。81は細頸壺の口縁部であるが80と異なり大きく外反する。ヨコナデ調整後、内外面に丁寧なミガキを施す。口唇部に擬似縄文を施し、突起も認められる。

82は蓋形を呈する小型土器である。器面が荒れ文様調整が不明瞭ではあるが、沈線を放射状に配しその間に刺突充填している。2孔の紐穴が対面上に2箇所認められる。

83は細頸壺の口縁部端部で、口縁部は短く外反する。器面が荒れ不明瞭ではあるが、口縁部の縄文帯には重山形文が、口唇端部にはLR縄文が施される。

84、85は壺の胴部最大径付近の文様帯で、沈線区画内を84では太い刺突文、85では押し引き列点文を充填する。沈線外部の文様帯にはLR縄文が充填される。

86~89は平底甕の細片で、86は底部、87~89は口縁部である。86は沈線が垂下し、コの字重ね文となる。87~89は口縁部に強くヨコナデを施し、87、89が櫛描文、88が象鼻文を施す。87が縦羽状文、88~89が横羽状文となる。口唇端部は87が縄文、89が縄文施文後指オサエを行う。

4 区出土土器・土製品 (第17図、90~92・95)

90・91が壺、92は匙形土製品、95は土器片加工円盤である。90・91が飛鳥・平安時代面、92が弥生面であり取り上げられた。90は細頸壺の口縁部で、外反は弱く、縦位の棒状浮文が添付される。口縁部文様帯には重菱形文と重山形文が沈線施文され、その下位文様帯は横走沈線による横帯構成になるとと思われる。91は壺の頸部である。頸部内面に強いヨコナデを加え、凸帯部を押し出している。凸帯部は上下をヨコナデして凸帯を形成し、縦位の刺突列を配した後、横走沈線を1状施文する。また指オサエが1箇所確認できる。凸帯より上位の口縁部に文様施文はなく、ミガキが施され、下位の肩部には横走の沈線が認められる。色

調は黄白色、砂粒の混入が少ない。92は椀状部に断面円形の棒状把手がついた匙形土製品である。ハケ後ナデ調整を行う。口唇部上面には擬似縄文が、口縁外面には1条の横走沈線が施文される。95は、土器片を打ち欠いて作られた土器片加工円盤である。中央付近に、径3mmの小穴が両面穿孔される。

5区出土土器 (第17図、93・94)

93がQ-14グリット、94が飛鳥・平安時代面で取り上げられた。93は小型土器で、内外面ナデ調整される。94は細頸壺の肩部から胴部である。肩部は多段横帯構成で横走沈線と連弧が施文され、横帯文間にLR縄文が充塞される。胴部には浮文が添付される。

(2) 石器・石製品

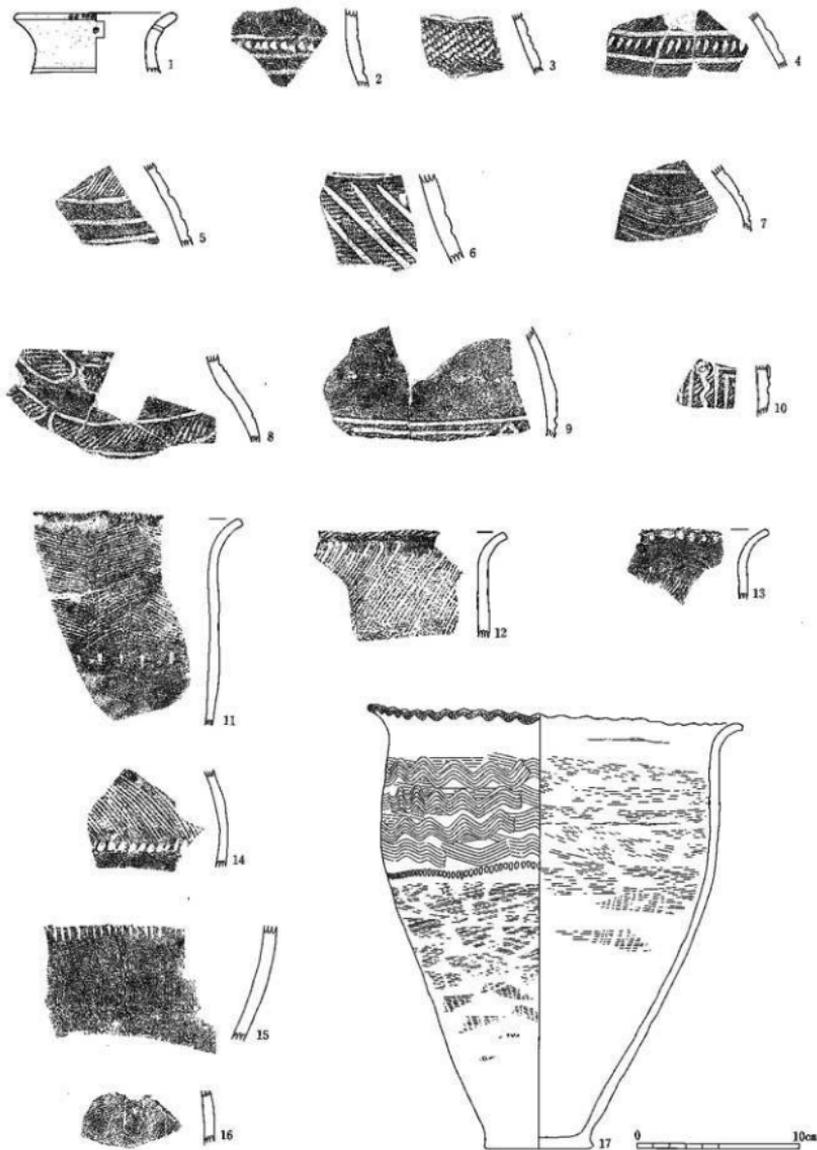
V層及び弥生時代に該当する遺構から出土した資料は、石器381点・石製品1点である。出土層位を重視して報告するため、形式的に所属時期が他の時期と判断できる石器であっても、出土遺構及び検出面の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中325点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、45点が道具として認定できた石器である。その内訳については表4に示す。ここではすべてを紹介することができないため、石器15点・石製品1点を図示(図18)し、掲載した遺物の属性を一覧表(表5)に示した。

表4 弥生時代出土石器組成表

名称	総数	原石	石核	剥片	砕片	石鏃	刃器	敲石	磨石	石錐	石包丁	砥石	みがき石
数量	381	11	9	143(1495.13)	173(136.97)	13	15	1	4	4	2	3	3

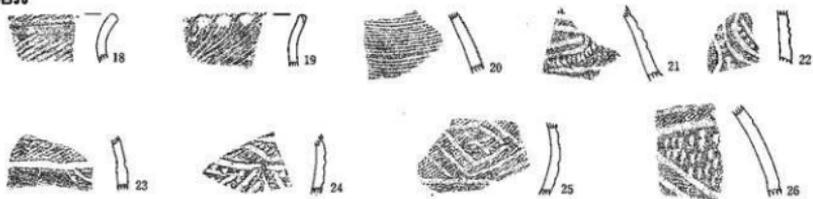
()内は数量<g>を示す

SB38

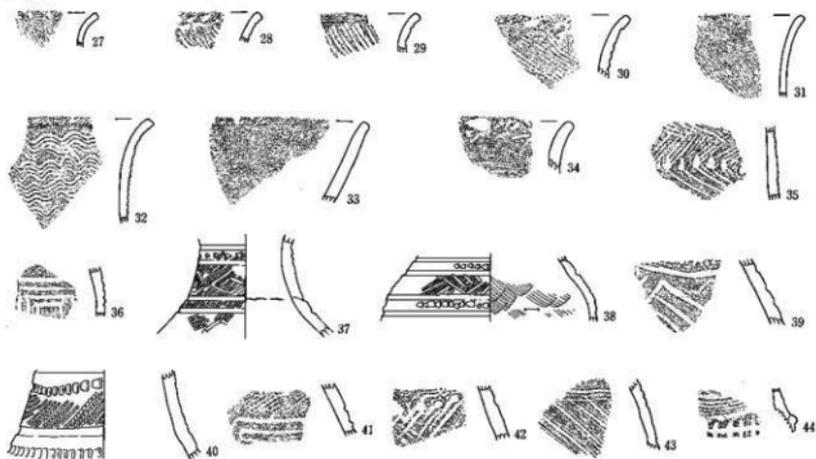


第13図 弥生時代の土器 1

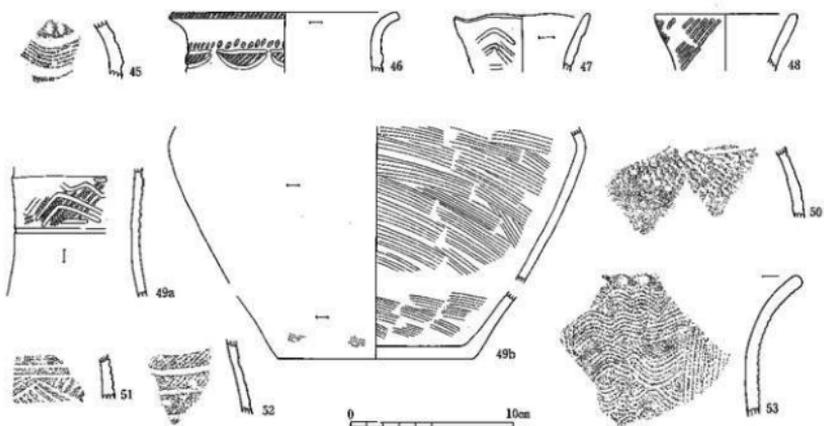
SB38



SD33

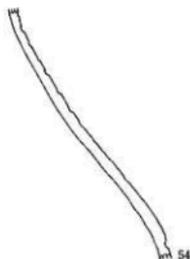
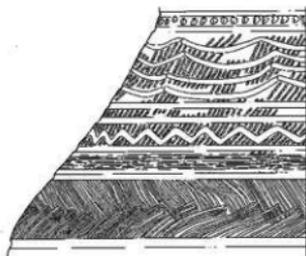


SD78

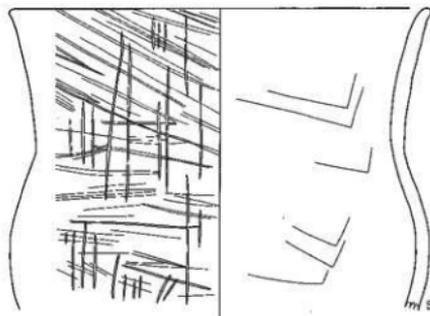


第14図 弥生時代の土器 2

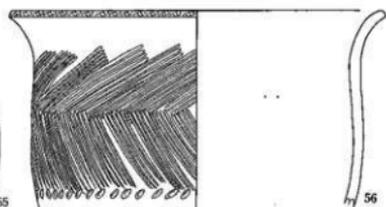
SK600



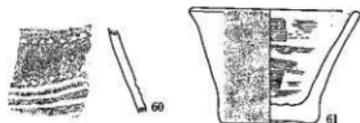
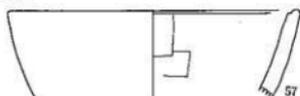
SK614



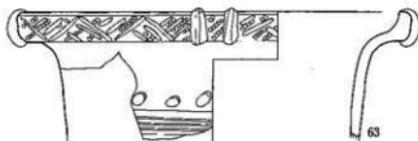
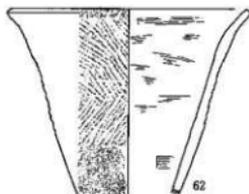
SK939



SK951

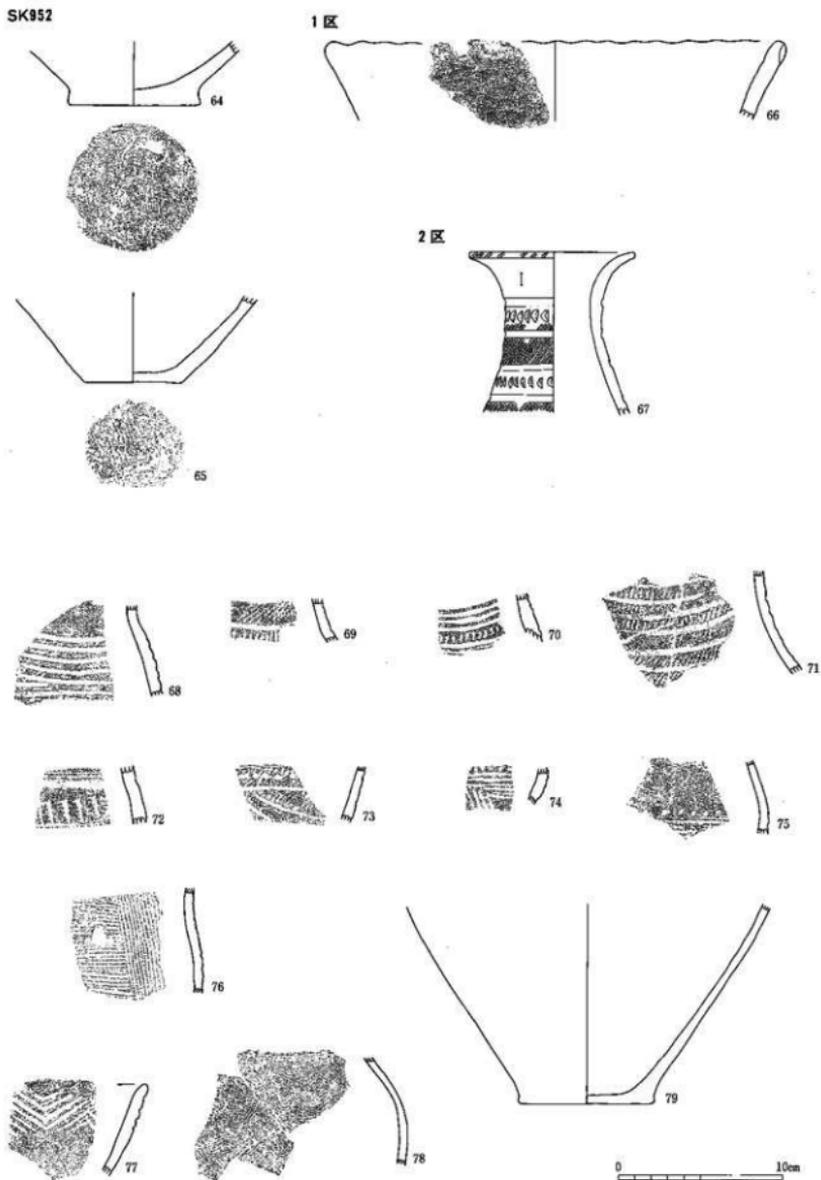


SK952



第15図 弥生時代の土器 3

SK952

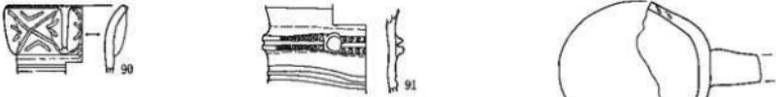


第16図 弥生時代の土器 4

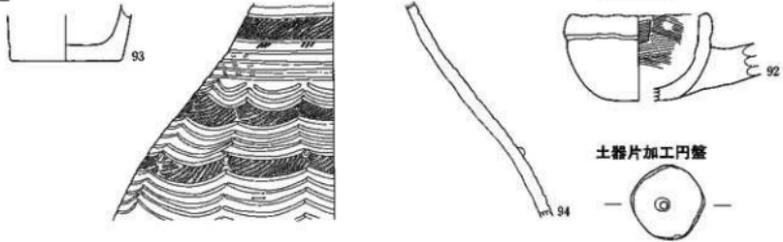
3区



4区



5区



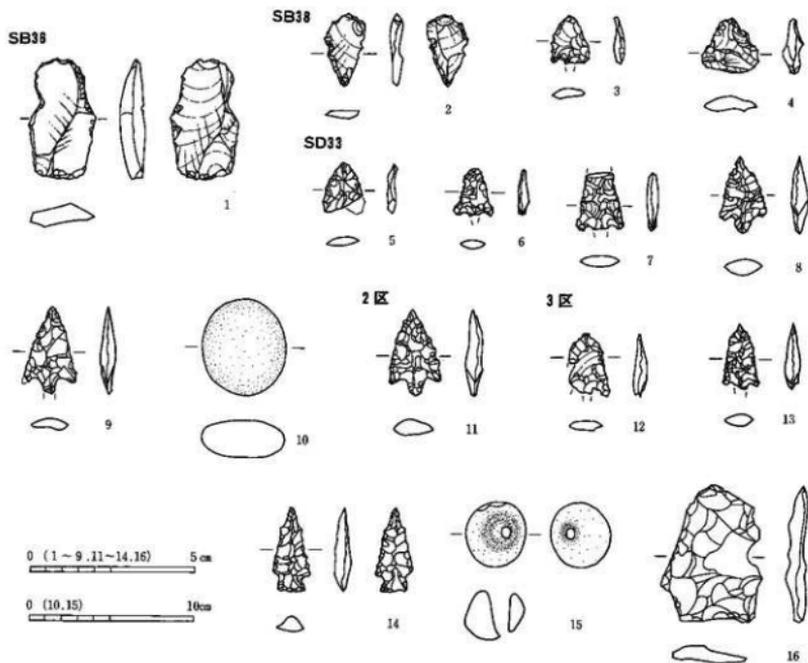
0 (92・93・95) 5cm

0 (80~91・94) 10cm

土器片加工円盤

95

第17図 弥生時代の土器 5 土製品



第18図 弥生時代の石器・石製品

表5 弥生時代の石器・石製品属性表

図番号	番号	遺構番号	出土位置	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
18	1	SB36	埋土	刃器	完形	3.7	2.1	0.8	4.3	黒曜石	
18	2	SB38	埋土	石鎌	完形	2.25	1.2	0.4	0.7	黒曜石	未製品
18	3	SB38	床	石鎌	基部欠損	(1.5)	1.2	0.3	(0.4)	黒曜石	
18	4	SB38	埋土	石鎌	完形	1.7	1.7	0.4	1.15	黒曜石	未製品
18	5	SD33	埋土	石鎌	片脚欠損	(1.5)	1.2	0.3	(0.35)	黒曜石	
18	6	SD33	埋土	石鎌	基部欠損	(1.4)	1.2	0.3	(0.36)	黒曜石	
18	7	SD33	埋土	石鎌	先端・基部欠損	(1.8)	1.4	0.3	(0.78)	黒曜石	
18	8	SD33	埋土	石鎌	完形	2.4	1.4	0.5	0.93	黒曜石	
18	9	SD33	埋土	石鎌	片脚・基部欠損	(2.7)	(1.6)	0.45	(1.14)	珪質頁岩	
18	10	SD33	埋土	磨石	完形	6.0	5.2	2.3	110	安山岩	
18	11		2区V層	石鎌	完形	2.6	1.6	0.5	1.25	黒曜石	
18	12		3区V層	石鎌	片脚・基部欠損	(1.9)	(1.2)	0.4	(0.65)	黒曜石	
18	13		3区V層	石鎌	基部欠損	(2.0)	1.1	0.5	(0.55)	黒曜石	
18	14		3区V層	石鎌	完形	2.6	1.1	0.5	0.93	チャート	アメリカ式石鎌
18	15		3区V層	石製品	ほぼ完形	4.0	3.7	3.2	(15.0)	軽石	
18	16		3区V層	磨製石鎌	完形	4.2	3.1	0.6	7.55	頁岩	未製品

() の数字は残存している所の最大値

第3節 古墳時代

1 遺構各説

古墳時代に所属する遺構は、土坑が1基6区で検出された以外は、1区及び2区の東側に集中する。古墳時代の遺構は、検出面で他の遺構と区別することは困難であったため、遺構内出土遺物及び切り合いにより遺構の時期を判断した。したがってこの他にも、遺物の出土していない遺構で、当概期に所属する遺構も若干存在すると思われる。検出された遺構は、竪穴住居跡11軒、掘立柱建物跡1軒、溝4条、土坑69基である。

(1) 竪穴住居跡

古墳時代の住居跡は、2区よりSB24が検出された以外は、全て1区に集中している。遺構の概要は表6に示した。ただし説明を簡略化できないものについては、ここで番号順に解説を加えることにする。

SB1 (図21)

本住居跡のカマドは、東壁や南よりに一部破壊された状態で検出された。カマドは粘土により構築されている。住居内南東部の床面から、およそ12×5cmの石が9点集中して出土している。埋土中よりガラス玉1点(1)、白玉3点(2~4)、勾玉1点(34)が出土している。

SB7 (図21、PL5)

本住居跡は焼失住居である。床面に炭化した材や灰、焼土が堆積している。カマドは、東壁面南よりにあり、その南側に炭化物の詰まったピット1が検出されている。カマドは、粘土により構築されており、カマド内より、壺(24)と甕(28)が正位の状態出土している。本住居跡の時期は、5世紀末~6世紀初頭、屋代編年の古墳6期と認定される。

SB8 (図22)

本住居跡のカマドは、北西の壁中央付近に破壊された状態で検出された。ピット1・3・5・6に、径15~20cmでほぼ円形の柱竇が認められた。カマド内より鹿の左右の中足骨が、床面より牛の挽骨と中手骨が出土している³⁴⁾。埋土中より鍛冶滓が2点出土している。

SB16 (図23)

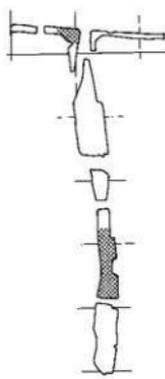
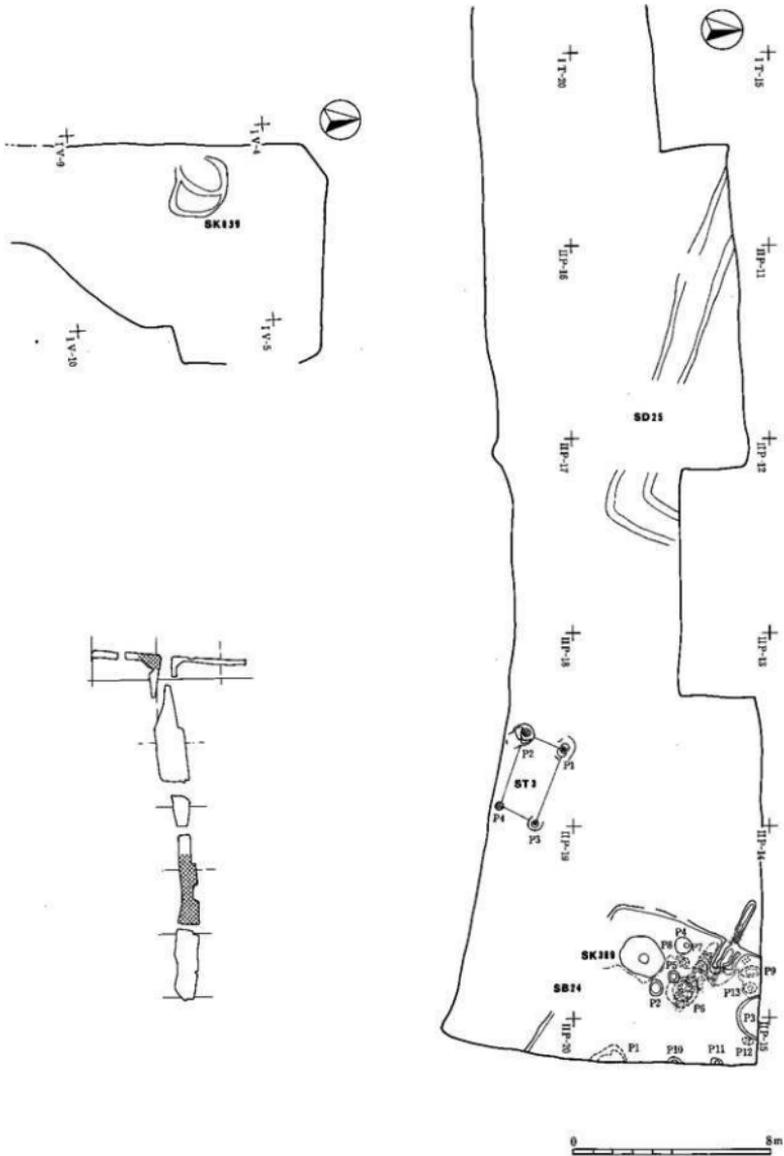
本住居跡のカマドは、南西の壁南よりに破壊された状態で検出された。本住居跡南東壁、中央付近の床面から、およそ16×6cmの石が8点集中して出土している。埋土中より白玉(5)が1点出土している。本住居跡の時期は、5世紀末~6世紀中頃、屋代編年の古墳6~7期と認定される。

SB20 (図23、PL5)

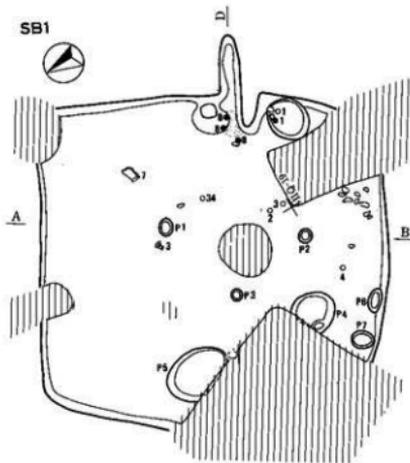
本住居跡は南壁西よりに破壊された状態と推定されるカマドを有し、床下から石製の勾玉模造品(35)が1点出土している。本住居跡の時期は、6世紀前半~7世紀初頭、屋代編年の古墳7~8期と認定される。

SB24 (図24、PL5)

西壁面にカマドを持つやや大型の住居跡である。カマドは粘土により構築されており、天井部は破壊されているものの、袖及び粘土により作られた支脚(69)がカマド中央に残っている。カマド周辺は、床面に炭化物や灰、焼土が廃棄されていた。床面から白玉24点(6~29)・管玉1点(31)が出土している。ピット3の埋土中より鍛冶滓が1点出土している。本住居跡の時期は、5世紀末~6世紀初頭、屋代編年の古墳6期と認定される。



第20図 古墳時代の遺構分布図 2



A 355.4



A 355.4



C 355.6



1. 赤褐色土(10YR4/3) 灰土層、炭化物
2. 灰褐色土(10YR4/2) 灰褐色土ブロック層
3. 赤褐色土(10YR4/2) 炭化物多量、炭化物塊、明黄褐色土ブロック少量
4. 赤褐色土(10YR4/2) 炭化物少量
5. 赤褐色土(10YR4/2) 明黄褐色土を含む、灰土層
6. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、焼土ブロック少量
7. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、焼土ブロック少量
8. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、焼土ブロック少量
9. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、炭化物、明黄褐色土ブロック含む
10. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、炭化物、明黄褐色土ブロック含む
11. 明黄褐色土(10YR4/2) 灰土層、炭化物、明黄褐色土ブロック含む

C 355.4

E 355.0 F



G 355.0 H



1. 赤褐色土(10YR4/3) 灰土層
2. 灰褐色土(10YR4/2) 灰土層、炭化物、炭化物ブロック、炭化物多量
3. 灰褐色土(10YR4/2) 灰土層
4. 赤褐色土(10YR4/3) 灰土層、焼土ブロック少量
5. 灰土層
6. 灰褐色土(10YR4/2) 焼土ブロック、炭化物、明黄褐色土ブロック含む

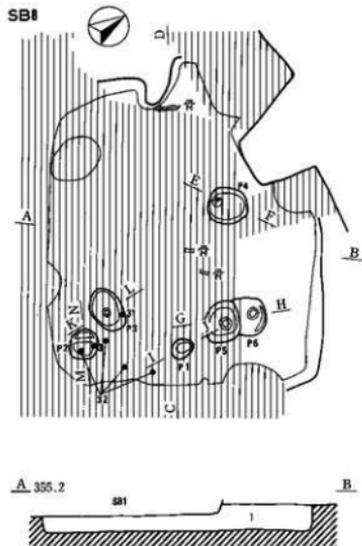
I 355.0 J



1. 赤褐色土(10YR4/3) 灰土層
2. 赤褐色土(10YR4/4) 炭化物含む
3. 赤褐色土(10YR4/3) 炭化物多量



第21図 古墳時代の遺構個別図 1



A 355.2



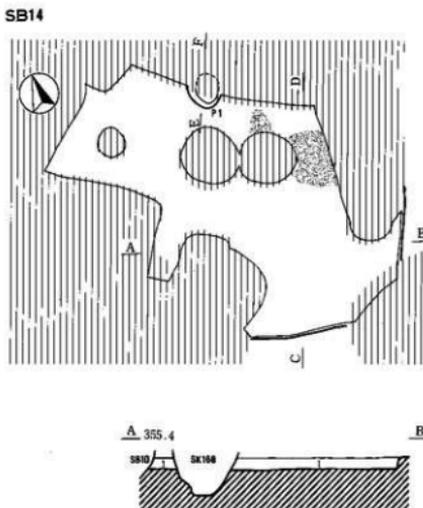
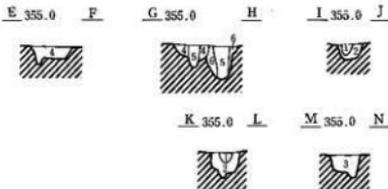
C. 355.2



1. 黒褐色土(10YR3/2)炭化植物・焼土粒・明灰褐色土粒含む
2. 黒褐色土(10YR3/2)焼土アロック含む
3. 明灰褐色土(10YR6/6)炭化植物・焼土粒含む
4. 黒褐色土(10YR3/2)炭化植物・焼土粒含む
5. 黒褐色土(10YR3/2)焼土粒豊富
6. 黒褐色土(10YR3/1)焼土粒少量、炭化植物・明灰褐色土を含む
7. 炭化植物黒土を含む
8. 黒褐色土(10YR3/1)焼土粒少量、炭化植物・明灰褐色土アロックを含む
9. 明灰褐色土(10YR6/6)黒褐色土含む、焼土粒豊富

PI-4

1. 焼褐色土(10YR4/1)焼土粒・炭化植物含む、柱状
2. 灰黄褐色土(10YR4/2)
3. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土アロック多量
4. 黒褐色土(10YR3/1)焼土粒・明灰褐色土アロック多量
5. 黒褐色土(10YR3/1)焼土アロック・炭化植物・明灰褐色土アロック含む
6. 黒褐色土(10YR3/1)炭化植物・焼土粒多量、柱状
7. 灰黄褐色土(10YR4/2)
8. 灰黄褐色土(10YR6/6)焼土アロック・炭化植物・明灰褐色土アロック含む



A 355.4



C. 353.4

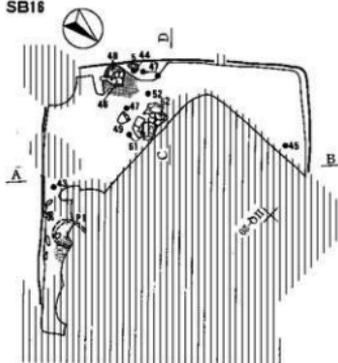


1. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・焼土アロック多量
2. 灰黄褐色土
3. 明灰褐色土(7.5YR5/6)焼土アロック多量
4. 明灰褐色土(10YR6/8)焼土粒豊富



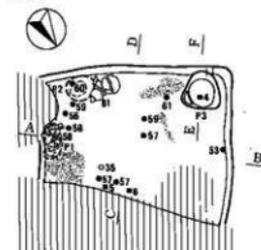
第22図 古墳時代の遺構個別図 2

SB16



1. 灰黄褐色土(10YR4/2)
明黄褐色土ブロック多量、焼土粒・炭化物粒少量

SB20



1. におい黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物粒・明黄褐色土ブロック微量
2. におい黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物粒多量
3. 灰黄褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物粒微量、明黄褐色土ブロック含む
4. 褐色土(10YR4/4)
焼土粒微量
5. 灰黄褐色土(10YR4/2)
炭化物粒・明黄褐色土ブロック含む
6. 灰黄褐色土(10YR4/2)
明黄褐色土ブロック含む
明黄褐色土ブロック含む

SB24 P2~P5・9

1. におい黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物微量
2. におい黄褐色土(10YR4/3)
焼土ブロック多量
3. 焼土ブロック
4. におい黄褐色土(10YR4/3)
炭化物・焼土粒多量
5. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土多量
6. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土含む、炭化物・焼土粒微量
7. 暗褐色土(10YR3/3)
炭化物多量、焼土粒・褐色土含む
8. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土多量、炭化物・焼土粒微量
9. 暗褐色土(10YR3/3)
炭化物少量、褐色土含む
10. 褐色土(10YR4/4)
暗褐色土・炭化物・焼土粒微量
11. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土含む
12. 炭化物層
褐色土少量、焼土粒微量
13. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土多量、焼土粒・炭化物少量
14. 暗褐色土(10YR3/3)
焼土粒・焼土ブロック多量、炭化物含む、褐色土少量
15. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土少量
16. 暗褐色土(10YR3/3)
におい黄褐色土・焼土粒少量、褐色土・炭化物微量
17. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土多量、灰黄褐色土少量
18. 褐色土(10YR4/4) 暗褐色土少量



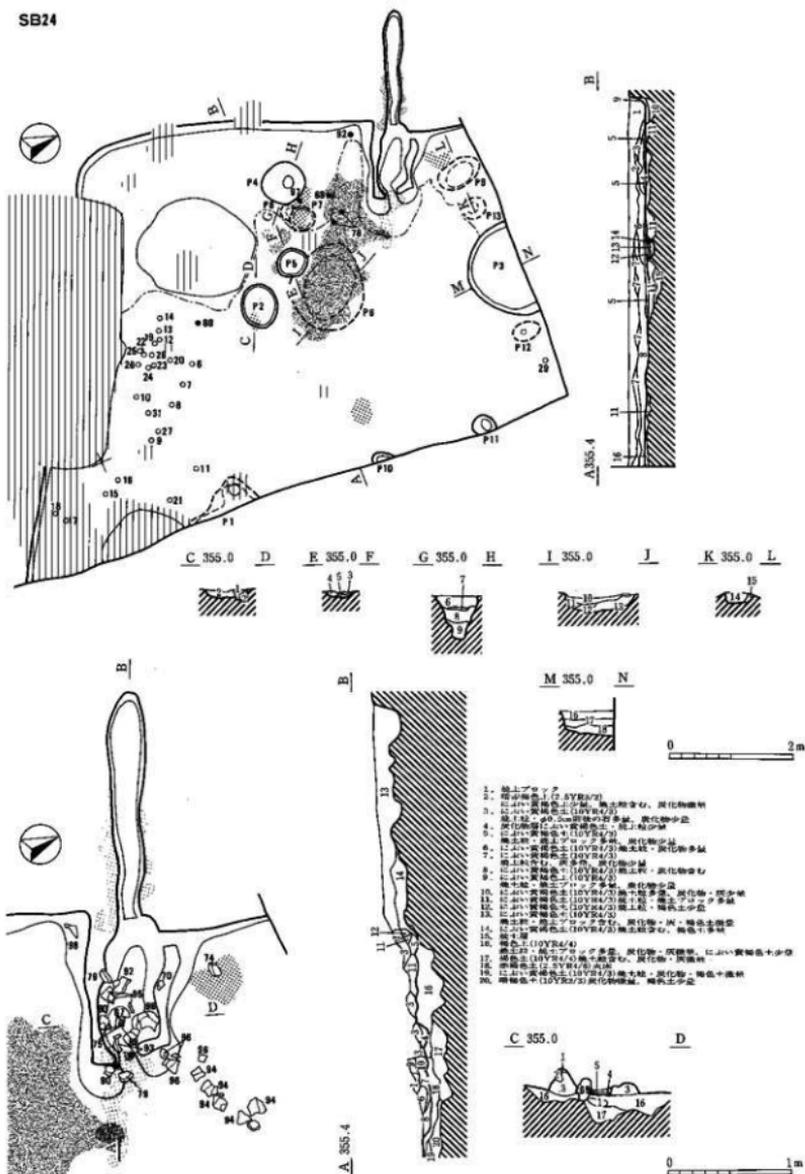
SB24

1. におい黄褐色土(10YR4/3)
鉄分集積
2. におい黄褐色土(10YR4/3)
褐色土含む、炭化物・焼土粒微量
3. 灰黄褐色土(10YR4/2)
褐色土少量、炭化物・焼土粒微量
4. 暗褐色土(10YR3/4)
褐色土多量
5. 灰黄褐色土(10YR4/2)
褐色土(10YR4/6)
6. 暗褐色土ブロック微量
7. 灰黄褐色土(10YR4/2)
8. におい黄褐色土(10YR4/3)
褐色土含む、焼土粒少量、炭化物微量
9. 暗褐色土(10YR3/4)
褐色土多量
10. 暗褐色土(10YR3/4)
褐色土多量、炭化物・焼土粒微量
11. 暗褐色土(10YR3/4)
褐色土多量
12. 炭化物層
13. 暗褐色土(10YR3/4)
褐色土多量
14. 暗褐色土(10YR3/4)
焼土ブロック・炭化物多量
15. 褐色土(10YR4/6)
暗褐色土少量、焼土粒微量
16. 褐色土(10YR4/6)
におい黄褐色土少量、炭化物微量



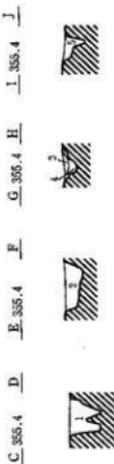
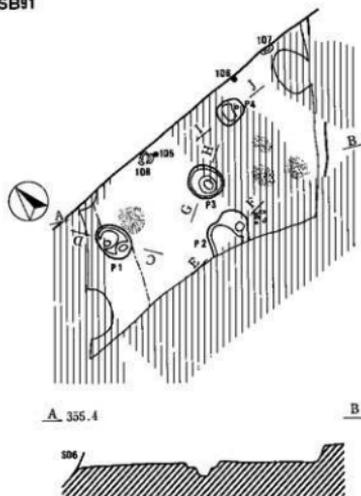
第23図 古墳時代の遺構個別図 3

SB24



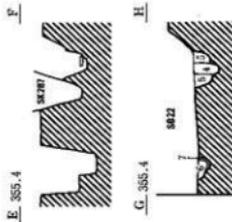
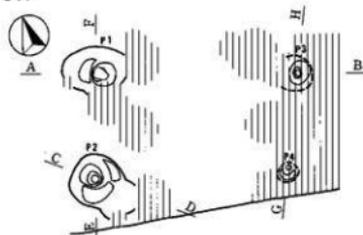
第24図 古墳時代の遺構個別図 4

SB91

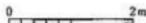
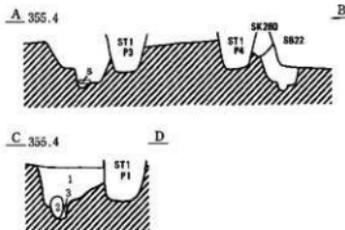


1. 灰黄褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物粒散在
2. 灰黄褐色土(10YR4/2)
明黄褐色土ブロック含む
3. 暗褐色土(10YR3/3)
炭化物粒・焼土粒・明黄褐色土ブロック多量
4. 黒色土(10YR1.7/1)
焼土粒含む
5. 灰黄褐色土(10YR4/2)
炭化物粒・焼土粒含む、明黄褐色土ブロック多量

ST3



1. 暗褐色土(10YR3/3)
によい黄褐色土・黄褐色土ブロック多量
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 砂質
3. によい黄褐色土(10YR5/3)
4. 灰黄褐色土(10YR4/2)
褐色土ブロック少量、暗褐色土ブロック散在、底部に鉄分集積
5. 暗褐色土(10YR3/3)
褐色土ブロック多量
6. 灰黄褐色土(10YR4/2)
7. によい黄褐色土(10YR5/3)
底部に鉄分集積



第25図 古墳時代の遺構個別図 5

表6 古墳時代 聖穴住居跡 (SB) 一覽

古墳番号	古墳時代時期	築年代比	墳区	墳区番号	平面形状	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	傾斜度(°)	高さ(m)	石室(坪)	カマド位置	柱間数	石室施設	カマド構造	特徴	色調	十色検出号	土壌構造	遺物出土状況	遺物	発掘年度	発掘関係(坪)	切分関係(坪)	切分関係(坪)
1	古墳5期(前期)	5C表	1	Q13, 18, 19	方形	S122E	5.66	5.54	0.30	28.01	1	東壁 やや石	8	なし	軸上	-	にやや黄褐色、 灰黄褐色	10YR4/3, 4/2	硬土中より玉 など	土器、石器、 土、瓦器類、 玉	26 34	S106, 7, 8, 14 SK100, 181, 184, 186, 194	SB4, SB25, 88, 114, 116		
6	古墳	5C表	1	Q14	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	埋没のみ	にやや黄褐色、 灰黄褐色	10YR4/3, 2/2	-	土器	SB7	SB1			
7	古墳6期	5C表 6C初期	1	Q14, 15, 21	-	S122E	-	-	0.26	-	1	南東壁 石	7	四方 あり	軸上	南北柱間 に柱あり	にやや黄褐色、 灰黄褐色	10YR4/3, 4/2	カマドより玉 など	土器、石器、 土、瓦器類、 銅化片	26 27	SK111, 129, SK24, 154, 184, SD1, 14	SB1, 6, 8, 23, 29 SK24, 154, 184, SD1, 14	SB1, 11, 61, 116	
8	古墳	5C表	1	Q13, 14, 22	方形	N54W	3.20	4.48	0.45	19.09	1	北西壁 中央	6	なし	-	P. 1, 3, 5, 6 に柱あり	10YR2/2	硬土中より土 器	土器、石器、 土、瓦器類、 銅片、骨	33	SB17	SB1, 4, 89 SK25, 184, 1144, 1146, 1242			
10	古墳	5C表	1	Q18	19	N22E	-	-	0.26	-	1	南東壁 やや石	1	なし	-	-	10Y15/3	-	土器、石器		SB12, 14 SK22, 245, 291				
12	古墳	5C表	1	Q18	19	方形	-	-	0.21	-	-	2	なし	-	-	-	10YR4/2	1層 硬土より土 器	土器、石器		SB19 SK22, 243, 244, 142, 143, 161, 211, 222				
14	古墳5期(前期)	5C表	1	Q13, 18, 19	19	-	-	-	0.17	-	1	なし	-	-	-	-	灰黄褐色	10YR4/2	硬土中より土 器	土器、石器、 骨、銅片	27	SK226, 238, 278, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300, 301, 302, 303, 329	SB1, 4, 10, 12, SK41, 70, 75, 163, 168, 194, 229		
16	古墳7期	5C表 6C中期	1	Q19, 20, 23	19	-	-	-	0.33	-	1	南東壁 石	1	なし	-	-	灰黄褐色	10YR4/2	硬土中より玉 など、瓦器類 や土、銅片 カマドより瓦	土器、石器、 土	29 34	SD10	SB17, SK2, 10, 120, 121, 172, 191, 214, 247, 261, 278		
20	古墳7期	6C前半 7C初期	1	Q19, 20, 23	19	-	-	-	0.35	-	1	南東壁 石	2	四方 あり	-	-	にやや黄褐色、 灰黄褐色、褐色	10YR4/2, 5/2 -4/4	硬土中より土 器、瓦器類 や土、銅片 カマドより瓦	土器、石器	29 33	SD4	SK16, 38, 59, 170, 231		
24	古墳6期	5C表 6C初期	1	P14, 15, 19, 24, 26	22	N65W	-	-	0.45	-	1	西壁	13	四方 あり	軸上	部分のみに お供けてい る、瓦器類 組立	10YR4/3	4層 硬土より土 器、銅片、 カマドと関連 より土器多い	土器、石器、 土、銅片、 土、瓦器類、 土、銅片、土 カマドと関連 より土器多い	29 30 31 32 34	SD5 SK329, 1308	SB11, SK226, 21, 222, 258, 274, 286, 288, 304, 343, 1255, 1256			
31	古墳5期(前期)	5C表	1	Q11, 12, 25	19	-	-	-	0.29	-	4	-	-	-	-	一部埋没	黒褐色	10YR3/1 -3/2	硬土より 瓦など	土器、石器	31	SK1245	SK6, SK1142, 1143, 1157, 1204, 1243		

表7 古墳時代 溝(SD)一覽

区画 地区	SD 番号	時期	中地区	関係 番号	平面形	掘削 方向	全長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	色 調	土性	堆積状況	遺物出土 状況	遺物 目録	関係図 (前)→(後)	備考
1	2	古墳	Q11, 16, 17	19	直線的	南東 → 北西	01.30	0.60	0.39	灰黄褐色	シルト	1層	土師	SK185,186,200, 201,202→		
1	4	古墳	Q19	19	2ヶ所で折曲、 直線的		5.98	0.34	0.36	淡褐色	シルト	1層	-	SK31→SH7,20		建物跡?
2	25	古墳	P11, 12	20	1ヶ所で折曲、 直線的	北西 →東南 →北東	18.20	1.60	0.63	灰褐色	シルト	3層 明黄褐色土ブロック を多く混入	土師、石師	SK633,1301→ SB37,SD23,24 SK185		
1	84	古墳	Q14	19	直線的	北 →南	3.10	0.42	0.36	灰褐色	シルト	1層	-	→SH7,SK1293		

表8-1 古墳時代 土坑(SK)一覽

区画 地区	SK番号	時期	中地区	平面形	掘削 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色標記号	堆積状況	遺物	遺物目録	備考
1	58	古墳	Q18	円形	A	0.80	0.80	0.08	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層 炭化物を多量に混入 焼土粒・焼土ブロッ クを多く混入	土師、石師	33	
1	180	古墳	Q13,16	楕円形	E	1.16	0.73	0.83	灰褐色	10YR3/2	1層	土師		
1	181	古墳	Q13,18	楕円形	K	0.56	0.50	0.28	黒褐色	10YR3/2	1層	-		
1	182	古墳	Q13	円形	E	0.56	0.52	0.71	灰褐色	10YR3/2	1層	土師		
1	185	古墳	Q15	円形	A	0.30	0.26	0.17	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土師		
1	186	古墳	Q11	円形	E	0.50	0.46	0.48	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	190	古墳	Q14	不整形	G	0.78	0.60	0.52	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土師		
1	200	古墳	Q16	-	-	-	-	-	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	201	古墳	Q16	-	-	-	-	-	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土師		
1	202	古墳	Q16	円形	C	0.28	0.24	-	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	238	古墳	Q16	楕円形	G	0.54	0.42	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層 明黄褐色土ブロック を多く混入	土師		
1	239	古墳	Q18	円形	G	0.98	0.98	0.41	灰黄褐色	10YR4/2	2層 焼土粒・焼土ブロッ ク・炭化物・炭化物ブ ロックを多量に混入	土師、骨		
1	242	古墳	Q18	円形	C	1.04	1.00	0.68	灰黄褐色	10YR4/2	2層 焼土粒・焼土ブロッ ク・明黄褐色土ブロッ クを多く混入	土師		
1	243	古墳	Q18	円形	B	1.10	1.06	0.26	黒褐色	10YR2/1	1層	土師		
1	244	古墳	Q18	楕円形	B	0.60	0.46	0.51	灰褐色	10YR3/1	1層	-		
1	245	古墳	Q18	楕円形	O	-	0.64	0.26	黒褐色	10YR3/1	2層 焼土粒・焼土ブロッ ク・明黄褐色土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	246	古墳	Q18	不整形	C	-	-	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層 明黄褐色土ブロック を多く混入	-		
1	261	古墳	Q20	-	A	-	-	0.48	褐色	7.5YR4/3	2層 明黄褐色土ブロック を多く混入	土師		
1	279	古墳	Q18	円形	G	0.90	0.82	0.72	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/2	2層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	290	古墳	Q18	楕円形	E	1.04	-	0.21	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2～2.5YR 5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師、骨		
1	291	古墳	Q18	円形	A	0.40	0.36	0.20	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2～2.5YR 5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	292	古墳	Q18	-	-	-	-	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2～2.5YR 5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	293	古墳	Q18	-	-	-	-	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	294	古墳	Q18	不整形	B	0.60	0.44	0.38	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師	32	
1	295	古墳	Q18	楕円形	A	0.30	0.18	0.08	暗褐色	10YR3/4～3/3	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	-		
1	296	古墳	Q18	-	-	-	-	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	297	古墳	Q18	-	-	-	-	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロッ クを多量に混入	土師		
1	298	古墳	Q18	B	-	-	-	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量 に混入	土師		
1	299	古墳	Q18	不整形	G	0.64	0.44	0.18	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量 に混入	土師		
1	300	古墳	Q18	不整形	G	-	0.12	-	灰黄褐色 →明赤褐色	10YR4/2 →2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量 に混入	-		

表 8-2 古墳時代 土坑 (SK) 一覧

区 組名	SK番号	時期	透視図	中地区	平面形	断面 形状	口輪 (m)	深輪 (m)	底径 (m)	色 調	土色記号	埋積状況	遺物	遺物図	備考
1	301	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰青褐色～褐色	2.5YR5/3 ～10YR4/4	2層 地上柱・礎+ブロック を多数に遺入	—		
1	302	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰青褐色 ～暗赤褐色	10YR4/2 ～2.5YR5/3	1層 地上+ブロックを多数 に遺入	土器		
1	303	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰青褐色 ～暗赤褐色	10YR4/2 ～2.5YR5/3	1層 地上+ブロックを多数 に遺入	—		
1	311	古墳	19	Q14,19	—	—	—	—	(0.36)	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	313	古墳	19	Q20	円形	C	0.36	0.34	0.28	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	314	古墳	19	Q20	不整形	A	0.65	0.60	0.20	黒褐色	10YR3/2	1層 明黄褐色土+ブロック を多く遺入	土器		
1	316	古墳	19	Q20	不整形	C	0.80	0.44	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	317	古墳	19	Q13	円形	A	0.20	0.16	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
1	318	古墳	19	Q19	楕円形	A	0.40	0.39	0.07	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	319	古墳	19	Q13,18	楕円形	E	0.32	0.36	0.32	灰褐色	10YR3/2	1層	—		
1	320	古墳	19	Q19	円形	A	0.22	0.22	0.07	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	321	古墳	19	Q18	円形	A	0.28	0.28	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	322	古墳	19	Q18	楕円形	E	0.40	0.24	0.43	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	323	古墳	19	Q19	円形	A	0.34	0.30	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	2層	—		
1	324	古墳	19	Q19	円形	A	0.38	0.26	0.08	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
1	325	古墳	19	Q18	円形	A	0.31	0.32	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	2層	—		
1	326	古墳	19	Q13	楕円形	C	0.66	0.24	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
1	327	古墳	19	Q13	不整形	D	0.60	0.24	0.20	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	328	古墳	19	Q13	円形	A	0.28	0.24	0.09	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	329	古墳	19	Q16	円形	A	0.48	0.42	0.12	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	330	古墳	19	Q16	円形	E	0.59	0.44	0.32	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	331	古墳	19	Q13,18	円形	A	0.32	0.28	0.16	黒褐色	10YR3/2	2層	土器		
1	333	古墳	19	Q13	楕円形	C	—	0.48	0.25	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
1	335	古墳	19	Q16	円形	A	0.22	0.22	0.08	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	337	古墳	19	Q18	円形	C	0.38	0.34	0.50	灰褐色	10YR3/2	1層	—		
1	339	古墳	19	Q17	円形	A	0.66	0.58	0.33	黒褐色	10YR3/2	2層	—		
1	353	古墳	19	Q17	楕円形	E	0.38	0.28	0.32	灰褐色	10YR3/2	2層	—		
1	354	古墳	19	Q17	円形	A	0.36	0.32	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
1	357	古墳	19	Q17	不整形	G	1.56	1.32	0.37	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
1	359	古墳	19	Q11	楕円形	G	0.54	0.29	0.16	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	360	古墳	19	Q16	円形	C	0.26	0.24	0.32	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—		
2	360	古墳	20	P14	不整形	C	1.82	1.60	1.27	褐色～黒褐色	10YR4/1～3/4	1層	土器、石器		
6	839	古墳 跡群	20	V4	不整形	—	—	—	0.36	灰黄褐色～褐色	10YR4/2～4/4	7層 炭化物・焼土料を多 く遺入	土器、石器	32-33	
1	1235	古墳	19	Q12	円形	A	0.50	0.47	0.39	黒褐色	10YR3/2	1層 炭化物・焼土料・ 明黄褐色土+ブロック を多く遺入	土器		
1	1237	古墳	19	Q13	楕円形	A	0.60	0.43	0.43	黒褐色	10YR3/1	1層	土器		
1	1245	古墳	19	Q12	円形	E	0.49	0.36	0.30	灰褐色	10YR4/4	1層	土器		
1	1281	古墳	19	Q13	円形	C	0.59	0.48	0.27	黒褐色	10YR2/2	1層	土器		
1	1296	古墳	19	Q12	円形	B	0.54	0.46	0.60	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	1298	古墳	19	Q12	円形	C	0.56	0.46	0.16	黒褐色	10YR2/2	1層	—		

SB91 (図25)

本住居跡ピット2東側の床面から、およそ9×4cmの石が5点出土している。本住居跡の時期は、5世紀中頃～5世紀末、屋代編年の古墳5～6期古相と認定される。

(2) 掘立柱建物跡 (図25)

古墳時代の掘立柱建物跡は2区から1棟検出されている。ST3は、2区の南端に位置し調査区の外側に続くと思われ、また古代の遺構にも切られている為全体はわからない。南北1間、東西1間の建物で、軸は東へ20°ふれている。柱間寸法は東西方向が315～330cmとやや不規則で、南北方向はほぼ160cmと一定である。掘り方は楕円形に近く、深さは70～90cmである。柱痕はピット2・3にみられ、径20cmほどで円形である。ピット1は底部に礎石と思われる板状の石が配されていた。

(3) 溝

古墳時代の溝跡は、1区から3条、2区から1条検出されている。SD25は2区調査区の北側から南東の方向に直線的に伸び北東方向に直角に折れ、人工的な溝と思われる。古代の遺構に切られている。本溝跡の時期は、埋土と切り合いなどから古墳としたが、前時期まで、廻る可能性がある。溝の概要は、表7に示した。

(4) 土坑

古墳時代の土坑は69基で、2区と6区で1基ずつ検出された以外は、すべて1区に分布する。土坑の概要は表8に示した。

2 遺物

(1) 土器・土製品

古墳時代の遺構から出土した土器・土製品は、10箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示し(図26～32)、掲載した遺物の属性を一覧表(表10)に示した。器種分類は歴代遺跡群高速度地点の分類に準じた。

(2) 石器

古墳時代に該当する遺構から出土した資料は石器118点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中14点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、78点が道具として認定できた石器である。その内訳については表9に示した。ここでは、全てを紹介することができないため、主なものの9点を図示し(図33)、掲載した遺物の属性を一覧表(表11)に示した。

表9 古墳時代出土石器組成表

名称	総数	原石	剥片	砕片	石鏃	刃器	敲石	磨石	砥石	台石	こもみ石	玉石	みがき石
数量	118	26	9 (565.5)	5 (4.75)	1	2	7	6	6	1	45	2	8

()内は数量<g>を示す

(3) 玉類・石製模造品

本遺跡から出土した、古墳時代の玉類・石製模造品は、ガラス玉1点、白玉29点、管玉5点、勾玉1点である。石製模造品は勾玉模造品と剣形模造品の2点が出土している。後者は古代の住居跡からの出土であるが、本項で扱うこととする。出土した玉類はそのほとんどが住居跡床面からの出土である。以下に住

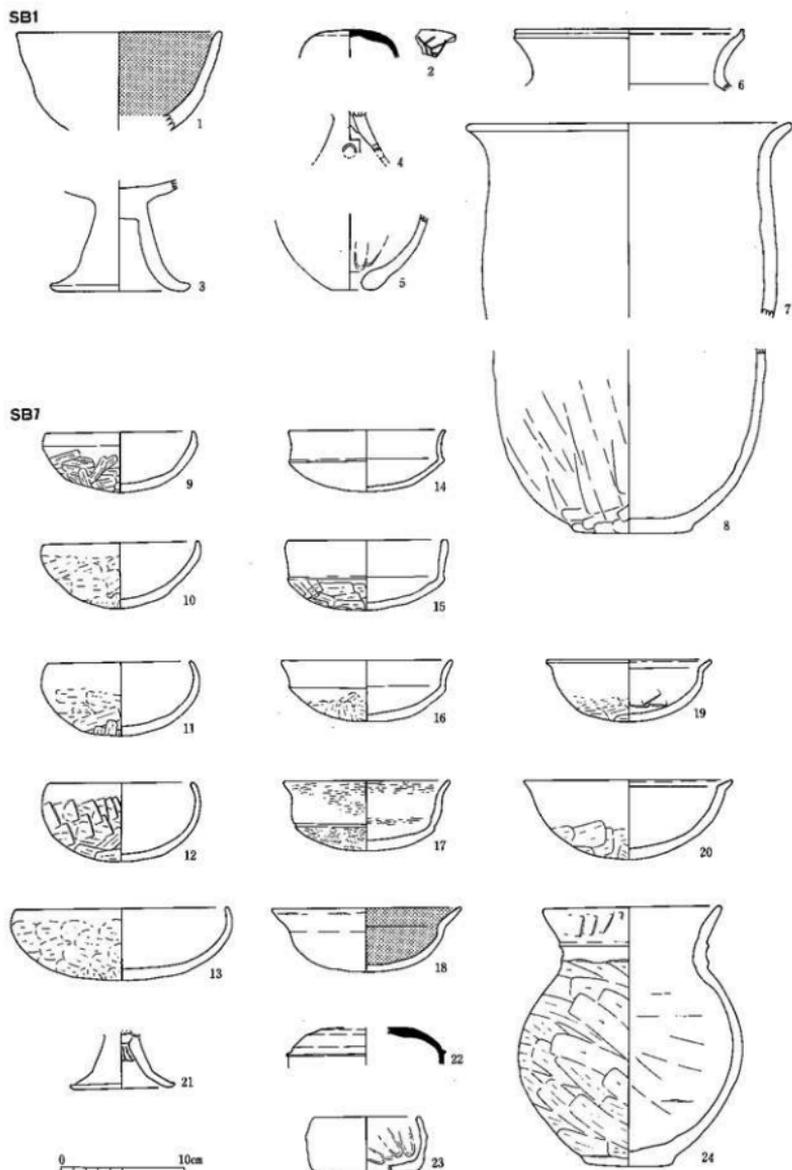
居跡出土の資料を中心に図示し(図34)、掲載した遺物の属性を一覧表(表12)に示した。

(4) 金属製品・鉄生産関連遺物

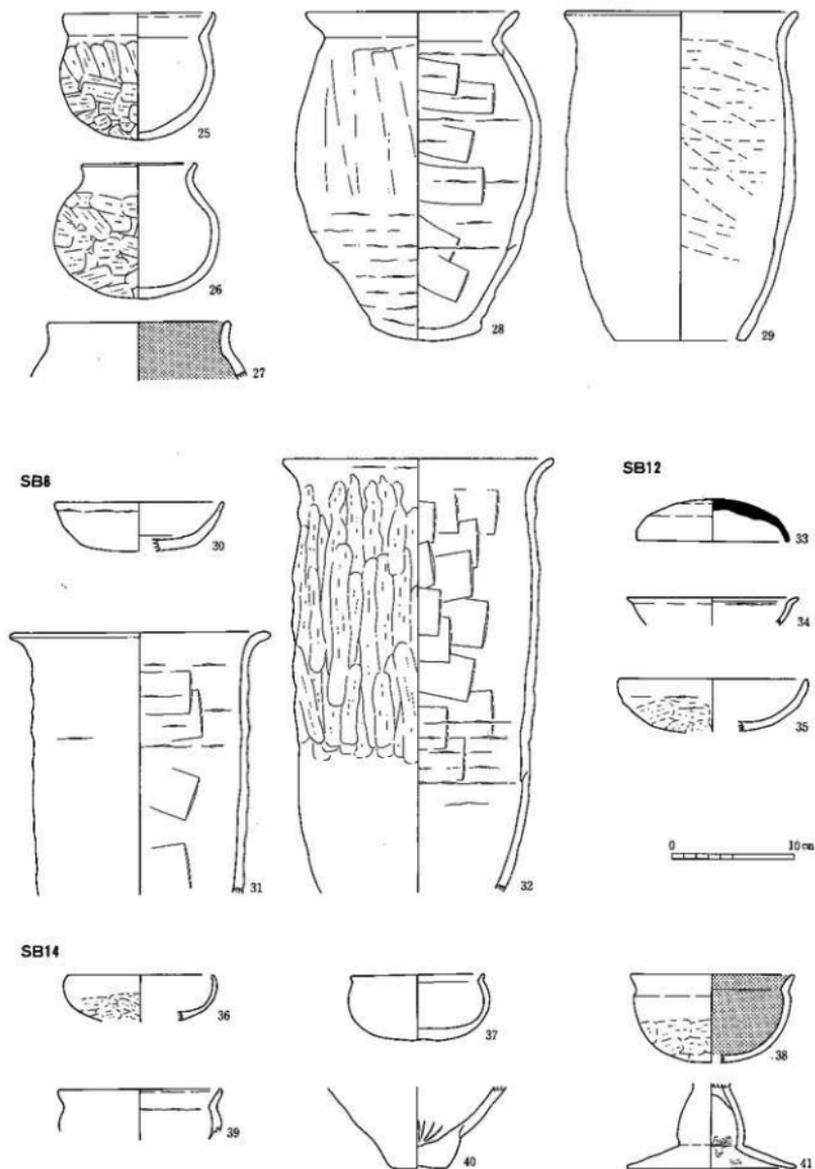
古墳時代に該当する遺構から出土した金属製品は3点、鉄生産関連遺物は、5点27.2区である。金属製品のうち2点は鉄製品で、もう1点は銅製品である。いずれも住居跡からの出土である。うち、器種のみわかる鉄製品のみ2点を図示した(図34)。1は、SB1の埋土中からの出土で、鎌刃部の接合部付近の破片である。現存する長さは5cm、幅3.2cm、厚さ0.2cmを計る。2は、SB7の埋土中からの出土で、先端が欠損した角釘である。現存する長さは5.3cm、幅1.3cm、厚さ0.8cmを測る。鉄生産関連遺物は全て鍛冶滓で、4点が住居跡埋土中より、残る1点が土坑埋土中より出土している。

註

- 1 茂原信生氏の御教示による。

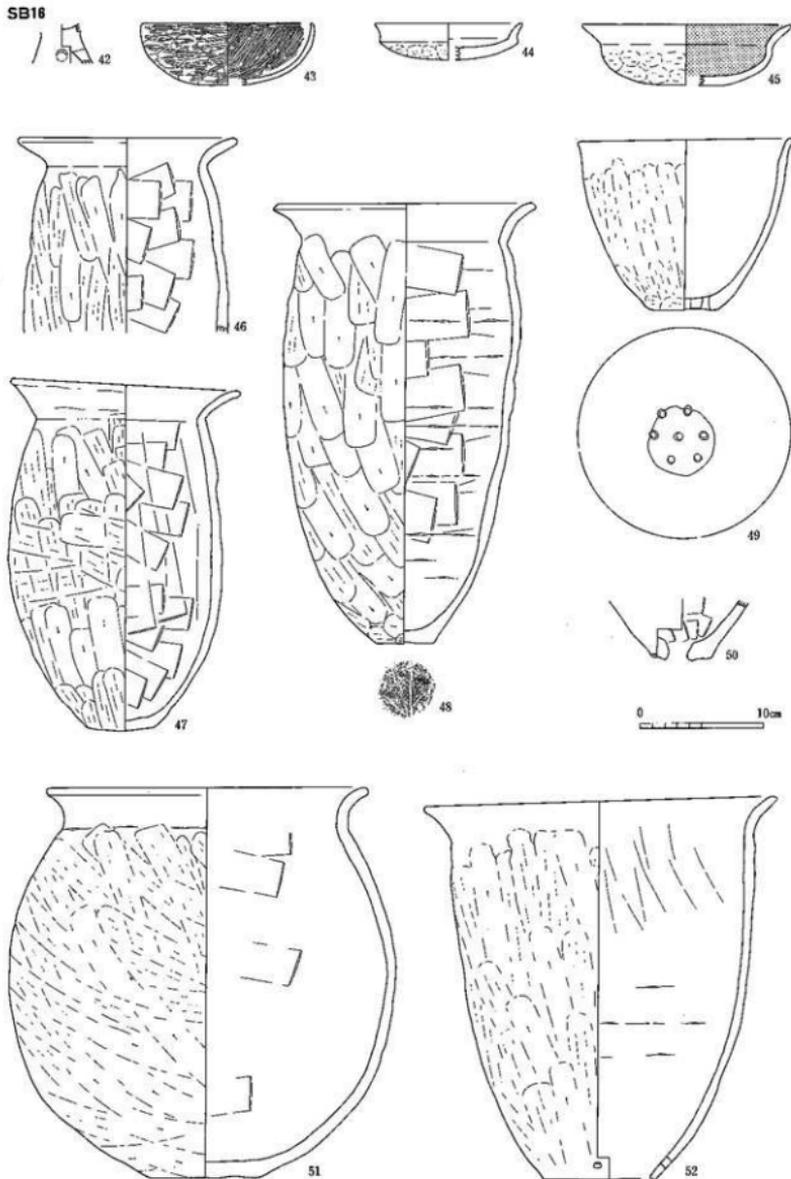


第26図 古墳時代の土器 1



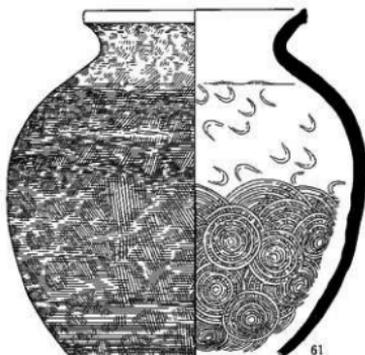
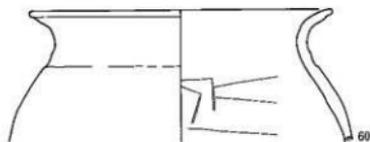
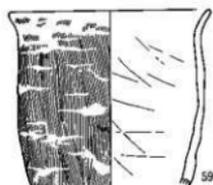
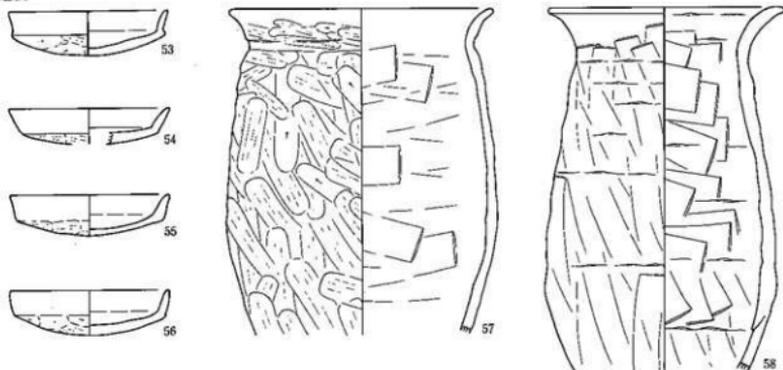
第27図 古墳時代の土器 2

SB16

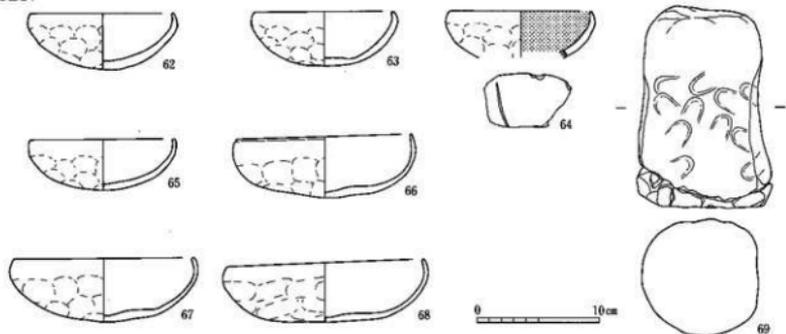


第28図 古墳時代の土器 3

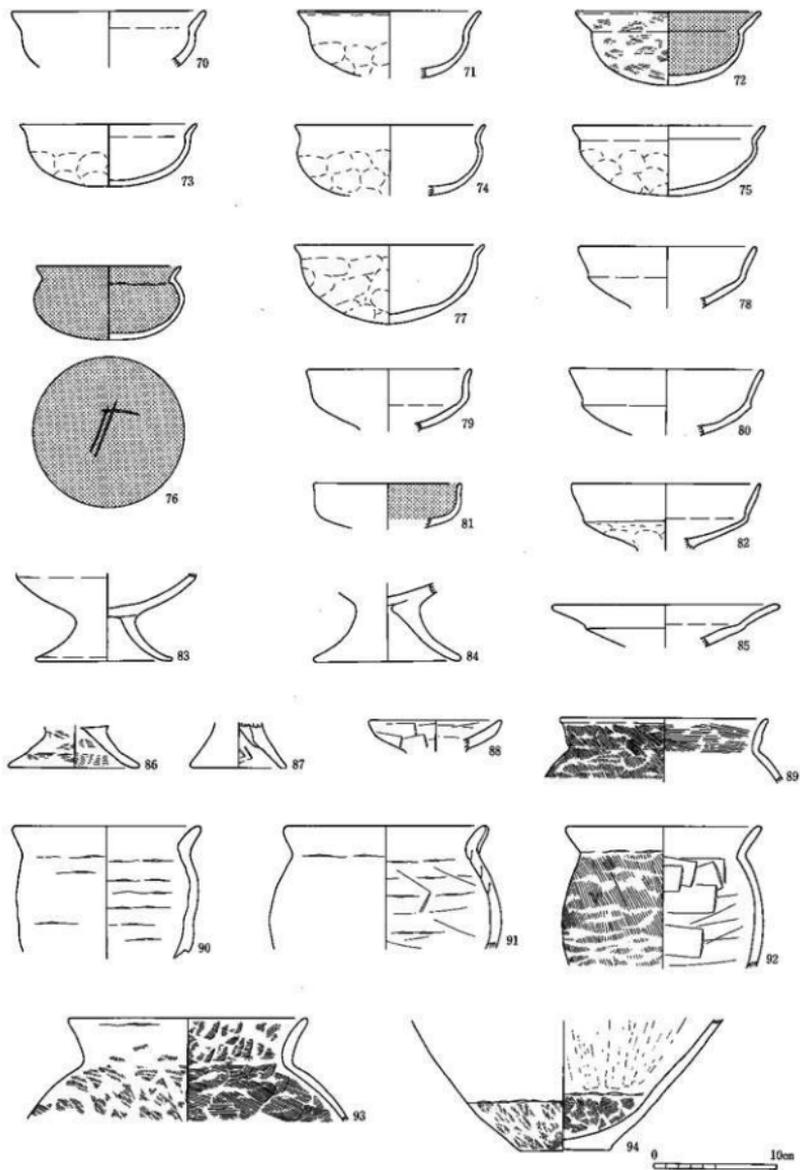
SB20



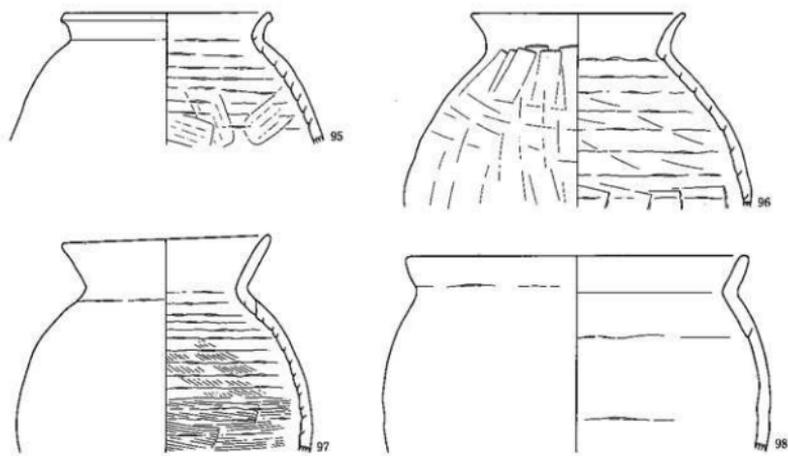
SB24



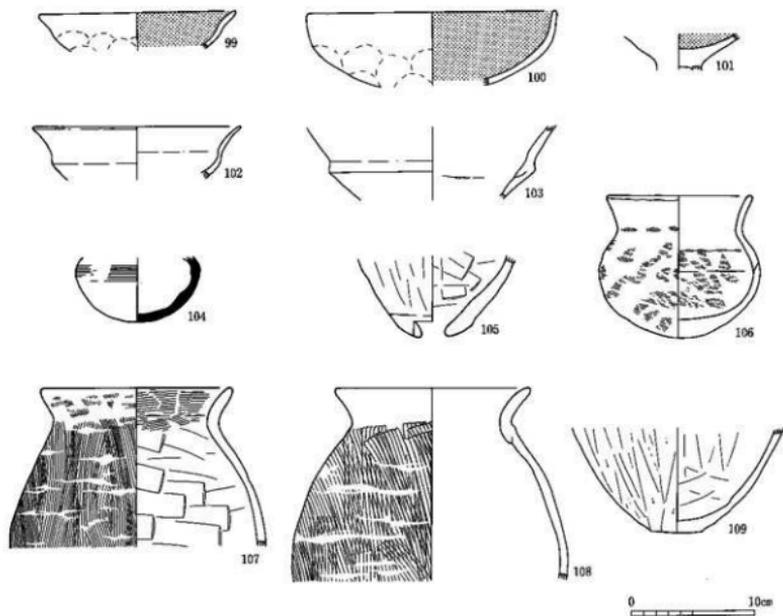
第29図 古墳時代の土器 4



第30図 古墳時代の土器 5

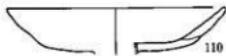


SB81

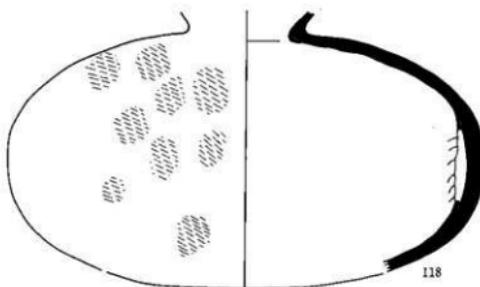
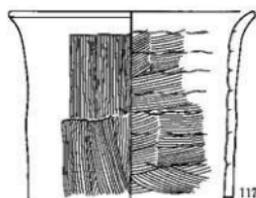
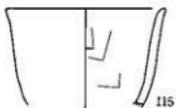


第31図 古墳時代の土器 6

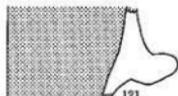
SK294



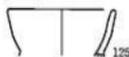
SK839



1区



2区



0 10cm

土製品



0 5cm

第32図 古墳時代の土器 7 土製品

表10-1 古墳時代の土器・土製品一覧

遺跡番号	坑内番号	出土位置	器種	器体形状	口径	底径	器高	残存率	色 調	外観形状	内観形状	底部形状	備 考	
SB1	26	1	唐	鉢	内径	16.6	—	1/4	外に白い赤褐色内装	口縁ヨコミガキ 他ナメミガキ	ミガキ→黒色処理			
SB1	26	2	雄土	杯蓋	直径	—	—	1/6	赤灰	口縁ヘラケズリ、 ナデ	口縁ナデ		縁取	
SB1	26	3	雄土	高杯	内径	—	11.3	—	黄2/3	胴部ナメミガキ すそ部ヨコミガキ	胴部ミガキ→黒色処理 縁部ミガキナデ すそ部みぎき			
SB1	26	4	雄土	器台	土師	—	—	胴1/3	黄	ナデ→ナメミガキ	ナデ	—	脚部3孔	
SB1	26	5	床下	瓶	土師	—	3.7	—	黄1/5	にぶい黄褐色	ナデ	—	穿孔	
SM1	26	6	カマド、P8、IV層	釜	土師	18.2	—	—	PI1/4	黄黄	ナデ→ナメミガキ	ヨコミガキ	—	外表面
SB1	26	7	床フキ	甕	土師	25.4	—	—	1/3	外周+黒内 内におい黄褐色	口縁ヨコミガキ 胴部ナメミガキ	口縁ヨコミガキ 胴部ナメミガキ		
SB1	26	8	カマド 跡上	甕	土師	—	9.5	—	1/2	外赤褐色 内におい黄褐色	ケズリ→ミガキ		ケズリ	
SB7	26	9	床	杯	土師	12.0	—	6.0	ほぼ黄	黄	口縁ナデ 他ケズリ→ミガキ	口縁ミガキ 他ナデ	ケズリ	
SB7	26	10	P1	杯	土師	12.5	—	5.4	ほぼ黄	にぶい黄褐色	上ナメミガキ 下ケズリ	タナミガキ	ケズリ	
SB7	26	11	床	杯	土師	11.5	—	6.0	ほぼ黄	外赤褐色 内におい黄	上ナメミガキ 下ケズリ	上ナメミガキ 下ナメミガキ	ケズリ	
SB7	26	12	床、礎土	杯	土師	11.6	—	6.4	ほぼ黄	外赤褐色 内赤褐色	口縁ナデ 中央部ケズリ→工具ナメ ミガキ	口縁ヨコミガキ 中央部ナメミガキ 底部工具ナデ	ケズリ	
SB7	26	13	P1	杯	土師	17.1	—	5.9	ほぼ黄	黄	口縁ヨコミガキ 他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ 他ミガキ	ケズリ、ミガキ	
SB7	26	14	P1	杯	土師	12.8	—	5.1	ほぼ黄	黄+灰褐色	口縁ナデ 他ケズリ→ナデ	ナデ	ケズリ→ナデ	
SB7	26	15	P1	杯	土師	13.0	—	5.8	黄	外周+灰褐色 内赤褐色	口縁ナデ 下ナメミガキ	ナデ	ケズリ	口縁部取り
SB7	26	16	床	杯	土師	13.8	—	5.0	9/10	外周+灰褐色 内赤褐色	口縁ナデ 他ケズリ→ミガキ	ナメミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB7	26	17	床	杯	土師	13.5	—	5.8	ほぼ黄	外周 内におい黄	上ナメミガキ→ヨコミガキ 下ナメミガキ	口縁ハケ→ヨコミガキ 他ハケ→ミガキ	ハケ→ミガキ	
SB7	26	18	床	杯	内径	15.3	—	5.2	黄	外周 内周+黄	口縁ヨコミガキ 他ナメミガキ	口縁ヨコミガキ 他放射状ミガキ →黒色処理	ミガキ	
SB7	26	19	カマド	杯	土師	13.5	—	5.1	ほぼ黄	黄	口縁ナデ、下ナメミガキ 下ナメミガキ	口縁ヨコミガキ 中央部ナメミガキ 底部工具ナデ	ケズリ	口縁部取り
SB7	26	20	カマド、床	杯	土師	17.0	—	6.5	ほぼ黄	黄	口縁ナデ、下ナメミガキ	口縁ナデ 中央部ナメミガキ 底部ナデ	ケズリ	
SB7	26	21	雄土	酒杯	土師	—	8.3	—	胴1/2	黄内周	タナミガキ すそ部ヨコミガキ	シヨリ、ナデ 他内周黒色処理	—	
SB7	26	22	雄土	杯蓋	直径	—	—	—	胴1/4	黄褐色	口縁ヘラケズリ、ナデ	口縁ナデ	—	
SB7	26	23	雄土	杯	土師	8.5	8.0	4.5	1/3	外におい黄褐色 内装	ナデ	ナデ		
SB7	26	24	カマド	甕	土師	14.5	7.3	21.2	ほぼ黄	外周 内赤褐色	口縁ナデ 他ケズリ	口縁ナデ 他工具ナデ	ナデ	
SB7	26	25	カマド 礎土	甕	土師	12.4	—	10.5	2/3	外赤褐色 内黄	口縁ナデ ナデ、ケズリ	口縁ナデ 上ナメミガキ 下ナメミガキ	ケズリ	外周スス
SB7	26	26	P1	釜	土師	9.3	—	11.1	ほぼ黄	外赤褐色	口縁ナデ、他ケズリ	ナデ	ケズリ	
SB7	26	27	礎上	鉢	内径	14.7	—	1/4	外におい黄褐色 内周	口縁ヨコミガキ 胴部ナメミガキ	ヨコミガキ→ 黒色処理	—		
SB7	26	28	カマド	甕	土師	17.3	10.0	26.9	2/3	外赤褐色 内赤褐色	口縁ナデ 上ナメミガキ 下ナメミガキ	口縁ナデ 他工具ナデ	ナデ	
SB7	26	29	礎上	瓶	土師	15.0	10.6	27.1	1/3	外赤褐色 内におい赤褐色	口縁ヨコミガキ 胴部ナメミガキ	口縁ナデ 他ケズリ、ミガキ	底部取り	
SB8	27	30	礎土	杯	土師	13.8	9.2	4.0	1/4	黄	上ナメミガキ、下ナメ ミガキ	ミガキ	ミガキ	
SB8	27	31	P1、礎土	甕	土師	21.1	—	1/3	黄	ナデ	口縁ナデ、他工具による ナデ		外周スス	
SB8	27	32	P1、床	甕	土師	22.0	—	1/2	外赤褐色 内赤褐色	口縁ナデ 上ナメミガキ 下ナメミガキ	口縁ナデ 他工具によるナデ			
SH12	27	33	床	杯蓋	直径	13.5	—	3.4	ほぼ黄	外赤褐色 内黄	口縁ヘラケズリ 口縁ナデ	口縁ナデ	—	

表10-2 古墳時代の土器・土製品一覧

遺物 番号	図 番	発掘 番号	出土位置	器種	形状 特徴	口径	高さ	底径	残存率	色 調	外面形状	内面形状	底部形状	備 考
SB12	27	34	棟上, SK41	杯M	土師	14.0	-	-	1/6	淡黄緑	ヨコミガキ	ヨコミガキ	-	
SB12	27	35	棟上	杯C	土師	16.4	-	4.3	1/8	外壁、内におい ぬき	下平ケズリミガキ	口縁ヨコミガキ 他ミガキ	-	
SB14	27	36	棟上	杯C	土師	12.0	-	-	1/5	黄緑	ケズリヨコミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	-	
SB14	27	37	棟上, SK102	杯M	土師	11.0	8.0	6.3	2/3	黄緑	上平ヨコミガキ、下平ミ ガキ	上平ヨコミガキ、下平ミ ガキ	ミガキ	
SB14	27	38	棟上	杯E	内島	13.4	-	7.2	1/4	外においぬき、内 島	ケズリヨコミガキ、ミ ガキ	口縁ヨコミガキ、下平ミ ガキ→黒色焼斑	ケズリミガキ	
SB14	27	39	礎十	杯	土師	13.5	-	-	1/6	黄緑	ナデヨコミガキ	ナデヨコミガキ	-	
SB14	27	40	礎十	杯	土師	-	5.2	-	1/4	外壁、内におい ぬき	ナデ	工几ナデ	ナデ	
SB14	27	41	礎十	細形 杯	土師	-	14.9	-	1/2	黄	ナデミガキ、すき部ヨコ ミガキ	ナデ、すき部ハケ→ナデ	-	
SB16	28	42	礎土	杯十	土師	-	-	-	1/4	外においぬき、内 壁	ナデミガキ	ナデ、受部ミガキ	-	舞踏非孔 盗入
SB16	28	43	礎土	杯C	土師	14.0	-	-	1/2	外壁、内淡黄緑	口縁ヨコミガキ、他ケズ リヨコミガキ	口縁ヨコミガキ、他ナデ ミガキ	ケズリミガキ	
SB16	28	44	カマド、SB 20	杯十	土師	22.0	-	-	1/3	においぬき	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	ケズリミガキ	
SB16	28	45	床フシ	杯E	内島	17.0	-	-	1/3	外においぬき、内 島	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	上平ヨコミガキ、他ミガ キ→黒色焼斑	ケズリミガキ	
SB16	28	46	カマド	堂II	土師	18.0	-	-	2/5	外淡黄緑、内淡 黄	口縁ナデ、胴部タケズ リ	口縁ナデ、胴部ミナナデ	-	
SB16	28	47	カマド、礎土	鏡土	土師	18.8	5.6	28.4	4/5	外においぬき、内 壁	口縁ナデ、胴部タケズ リ	口縁ナデ、他ミナナデ	ケズリ	外面スス
SB16	28	48	カマド、礎土	鏡土	土師	21.2	4.6	26.1	4/5	外においぬき、内 においぬき	口縁ナデ、胴部タケズ リ、下部ヨコミガキ	口縁ナデ、胴部工具ナデ、 下部ナデ	木葉痕	内面成こげ、 外面スス
SB16	28	49	床	杯	土師	17.3	5.6	14.0	ほぼ完 全赤焼	口縁ナデ、胴部ケズ リミガキ	ナデミガキ	-	7孔	
SB16	28	50	棟上	杯	土師	-	5.1	-	1/4	においぬき	口縁ナデ、胴部ケズ リミガキ	口縁ナデ、胴部工具ナ デミガキ	-	非孔
SB16	28	51	床、礎上	堂	土師	26.2	9.0	31.9	1/2	外壁、内におい ぬき	口縁ナデ、ケズリミガ キ	口縁ナデ、他工具ナ デ	ケズリ	内面成こげ
SB16	28	52	床、礎上	杯	土師	28.6	9.7	31.6	4/5	外明赤焼、内 壁	口縁ナデ、胴部ケズ リミガキ	口縁ナデ、胴部工具ナ デミガキ	-	底部取り、 底部付近3 孔
SB20	29	53	床	杯A	土師	13.0	12.5	3.7	2/3	外壁、内におい ぬき	上平ヨコミガキ、下平ケ ズリミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射 状ミガキ	ケズリミガキ	
SB20	29	54	棟上	杯A	土師	13.0	11.1	-	1/6	黄	上平ヨコミガキ、下平ケ ズリミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射 状ミガキ	ケズリミガキ	
SB20	29	55	棟上	杯A	土師	13.0	11.9	3.3	1/4	外においぬき、内 壁	上平ナデ、下平ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	ケズリミガキ	
SB20	29	56	床	杯A	土師	13.0	12.2	3.7	4/5	外壁、内におい ぬき	口縁ヨコミガキ、下平ケ ズリミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	ケズリミガキ	
SB20	29	57	床、礎上	堂H	土師	21.3	-	-	1/2	外においぬき、内 においぬき	口縁ナデ、胴部ナメ、 タケズリ	口縁ナデ、胴部工具ナ デ	-	
SB20	29	58	床	堂A	土師	19.0	-	-	2/3	外においぬき、内 淡黄緑	口縁ナデ、胴部ミナ ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナ デ	-	外面スス
SB20	29	59	床、礎上	堂B	土師	16.4	-	-	1/2	外明赤焼、内 壁	口縁ナデ、胴部タケのハ ケ	口縁ナデ、胴部工具ナ デ	-	外面スス
SB20	29	60	P2、礎土	堂	土師	24.7	-	-	2/5	黄	ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナ デ	-	
SB20	29	61	カマド、床	堂	灰土	18.2	-	-	2/3	外灰白、内黄緑	口縁ナデ、胴部平打タ キ→赤黄	口縁ナデ、胴部ナナ デ、赤黄、胴部平打四 文	-	
SB24	29	62	床D	杯C	土師	11.4	-	4.7	2/3	明赤焼	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	ケズリミガキ	
SB24	29	63	床D	杯C	土師	10.3	4.5	4.4	1/3	明赤焼	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	上平ヨコミガキ、下平ミ ガキ	ケズリミガキ	
SB24	29	64	床D	杯C	内島	11.6	-	-	口1/5	外明赤焼、内 島	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ→黒色焼斑	-	へうガキ
SB24	29	65	P6、床下	杯C	土師	12.0	-	4.1	1/4	外島、内におい ぬき	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	ケズリミガキ	口縁取り
SB24	29	66	床、礎上、 SK369	杯C	土師	14.4	-	5.9	1/2	外壁、内明赤焼	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	ミガキ	ケズリミガキ	
SB24	29	67	カマド	杯C	土師	14.8	-	5.2	ほぼ完 全	外淡黄緑、内淡 黄	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射 状ミガキ	ケズリミガキ	
SB24	29	68	床、礎土	杯C	土師	16.2	9.4	4.8	ほぼ完 全	淡黄緑	口縁ヨコミガキ、他ケズ リミガキ	上平ヨコミガキ、下平ミ ガキ	ケズリミガキ	

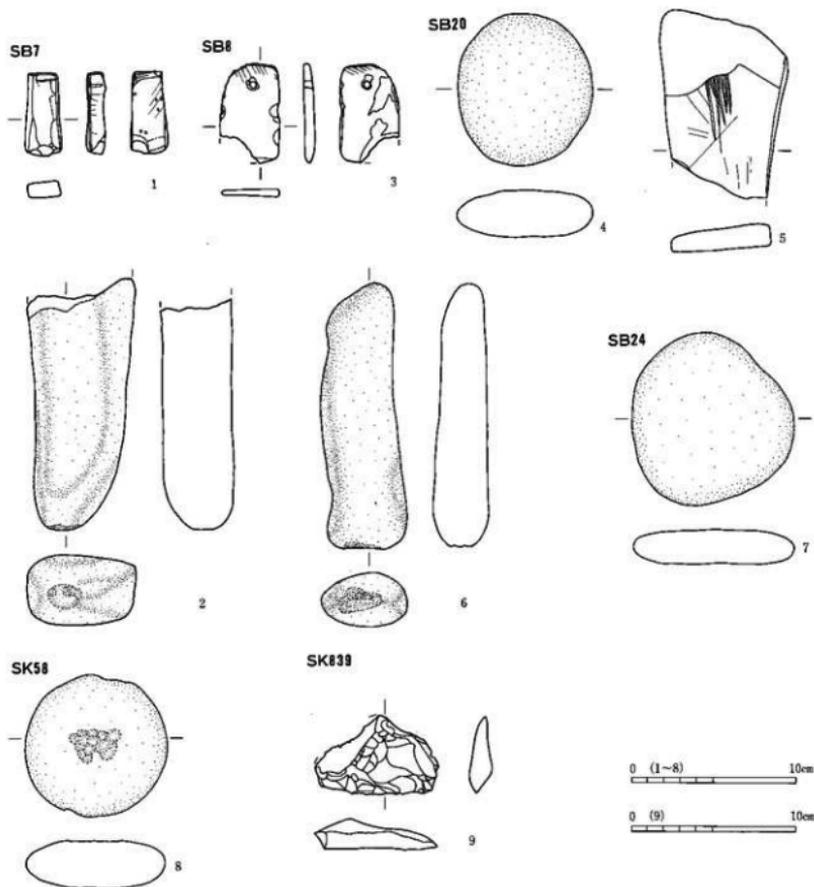
表10-3 古墳時代の土器・土製品一覧

遺 跡 番 号	図 番 号	出土位置	器 種	口 径	高 径	器 高	残 存 率	色 調	外面形状	内面形状	底 部 形状	備 考		
SB24	29	60	カマド	土師	上脚	—	短 9.4 長さ 15.4	白	外周	ナデ	—	—		
SB24	30	70	カマド、礎土	土師	上脚	16.0	—	1/4	外周、内におい び	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	—		
SB24	30	71	P9	土師	上脚	14.8	—	2/3	礎	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミ ガキ	—	口縁面取り	
SB24	30	72	床下	土師	中脚	15.0	—	6/5	外周黄緑、内黒	ハケニミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ→黒色処理	ハケニミガキ	—	
SB24	30	73	床下	土師	中脚	14.4	9.0	5.1	1/2	外におい黄緑、内 に黄緑	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射 状ミガキ	ケズリニミガキ	—
SB24	30	74	カマド、礎土	土師	中脚	15.0	—	1/2	外周黄緑、内黄 緑	口縁ナデ、他ケズリニ ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	—	—	
SB24	30	75	カマド	土師	土脚	15.0	—	5.8	1/2	外黄緑、内明赤 褐色	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	—	ケズリニミガキ
SB24	30	76	床下	土師	内出	11.6	5.8	6.0	ほぼ完 全	上半ヨコミガキ、下半ミ ガキ→出色処理	口縁ヨコミガキ、他放射 状ミガキ→出色処理	ヘラダキ	ヘラダキ	—
SB24	30	77	P5、床下	土師	土脚	15.3	—	6.5	1/2	外周黄緑、内にお い黄緑	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ、ミガキ	—	ケズリニミガキ
SB24	30	78	床、埋上	土師	土脚	14.5	—	6/3	外黄緑、内黒	口縁ヨコミガキ、底部他 ミガキ	口縁ヨコミガキ、底部他 ミガキ	—	—	
SB24	30	79	カマド	高杯	七脚	13.3	—	杯3/4	外周赤褐色、内黄 緑	杯部ナデミガキ	杯部ナデミガキ、杯部 放射状ミガキ	—	—	
SB24	30	80	床	土師	土脚	16.0	—	杯1/3	外黄緑、内明赤 褐色	ミガキ?	ミガキ?	—	内外周黄緑	
SB24	30	81	礎土	土師	内出	12.0	—	1/4	外周赤褐色、内黒	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ	上半ヨコミガキ、下半ミ ガキ→黒色処理	—	—	
SB24	30	82	カマド	土師	土脚	15.4	—	杯1/3	礎	杯部上半ハケ→ヨコミガ キ、杯部下半ケズリニ ミガキ	杯部上半ヨコミガキ、下 半ミガキ	—	—	
SB24	30	83	床下	高杯	土脚	—	11.1	1/2	黄褐色	ミガキ?	黄褐色ナデ	—	内外周黄緑	
SB24	30	84	礎土	高杯	上脚	—	12.0	杯1/2	外におい黄、内 に黄	脚部ナデミガキ、ナデ部 ヨコミガキ	杯部ミガキ、脚部ナデ	—	—	
SB24	30	85	礎土	有段 高杯	上脚	18.6	—	杯1/4	外におい黄、内 に黄	杯部ミガキ	杯部ミガキ	—	流入?	
SB24	30	86	P2	高杯	土脚	—	10.7	杯2/3	外周、内黒褐色	脚部ハケニミガキ	脚部ハケニミガキ	—	—	
SB24	30	87	カマド埋り方	高杯	土脚	—	8.5	杯2/5	礎	脚部ナデミガキ	脚部高脚ナデ	—	ナデ部面取り	
SB24	30	88	礎土	高杯	土脚	16.9	—	受部1/ 16	礎	受部口縁ナデ	受部口縁ナデ	—	流入?	
SB24	30	89	礎土	高杯	上脚	17.0	—	口1/5	外明赤褐色、内黒	ハケ	口縁ハケ、他ナデ	—	流入?	
SB24	30	90	カマド、礎土	土師	上脚	15.4	—	2/3	外におい赤褐色、 内におい黄	ナデ	ナデ	—	—	
SB24	30	91	カマド、礎土	土師	上脚	16.8	—	2/5	におい赤褐色	ナデ	ナデ	—	—	
SB24	30	92	カマド、床	高杯	七脚	15.8	—	2/3	外赤褐色、内明赤 褐色	口縁ナデ、脚部ハケ	口縁ナデ、脚部口縁ナデ	—	—	
SB24	30	93	カマド、礎土	土師	土脚	19.6	—	口1/2	明赤褐色	口縁ナデニミガキ、杯部 ハケニミガキ	口縁ハケニミガキ、脚部ハ ケニミガキ	—	流入?	
SB24	30	94	カマド、埋上、 床下	土師	土脚	—	7.4	1/4	外におい黄褐色、 内におい黄	脚部ミガキ、底部付近ハ ケ→ナデミガキ	脚部ケズリニミガキ、底 部付近ハケ	ケズリニミガキ	—	
SB24	31	95	カマド	高杯	土脚	17.2	—	1/5	明赤褐色	ナデ	口縁ナデ、脚部ケズリ ニミガキ	—	—	
SB24	31	96	カマド、埋上	土師	土脚	17.4	—	1/2	外におい黄、内 におい赤褐色	口縁ナデ、脚部口縁ナ デ	ナデ	—	外周黄緑	
SB24	31	97	礎土	土師	土脚	16.9	—	2/3	外におい黄、内 明赤褐色	ナデ	口縁、脚上ナデナデ、脚 部ハケ	—	—	
SB24	31	98	カマド、P6、 床、床下	土師	土脚	27.8	—	1/4	礎	口縁ヨコミガキ、脚部ナ デニミガキ	ヨコミガキ	—	—	
SB91	31	99	埋上	土師	内出	15.9	—	1/5	外におい黄褐色、 内出	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガ キ→出色処理	—	—	
SB91	31	100	埋上	土師	内出	20.4	—	1/3	外におい黄褐色、 内黒	口縁ヨコミガキ、他ケズ リニミガキ	上半ヨコミガキ、下半放 射状ミガキ→出色処理	—	—	
SB91	31	101	埋上	高杯	内出	—	—	杯1/5	外周赤褐色、内黒	—	杯部ミガキ→黒色処理	—	外周黄緑	
SB91	31	102	P3	高杯?	土脚	16.9	—	杯1/5	外におい黄褐色、 内におい黄褐色	杯部上半ヨコミガキ、他 ミガキ	杯部上半ヨコミガキ、他 ミガキ	—	—	

第2章 遺構と遺物

表10-4 古墳時代の土器・土製品一覧

遺物番号	図番号	報告番号	出土状況	器種	発掘層	口径	底径	体高	残存率	色 調	外面整形	内面整形	底部整形	備 考	
SH01	31	103	Ⅱ	有段高杯	土師				約1/6	明赤褐色	ロコシガキ	ヨコシガキ	-		
SH01	31	104	Ⅱ	高 須山					1/3	暗灰	ロクロナデ→中央部ホキ	ロクロナデ	ロクロナデ		
SH01	31	105	Ⅱ上	瓶	土師	6.0	-	1/4		外にホコ、内黒	上黒ナデ	工具ナデ	-	単孔	
SH01	31	106	Ⅱ	埴	土師	11.8	-	1/2		外にホコ、内黒	上ホコナデ→ヨコシガキ、下ホコナデ→ミガキ	上ホコシガキ、下ホコナデ	ハケ→ミガキ		
SH01	31	107	Ⅱ	甕	土師	15.1	-	1/2		外黄緑、内黒	口縁ハケナデ、腹部ハケ	口縁ハケ、胴部ミナナデ	-	外周ニス、内周黄土け	
SH01	31	108	Ⅱ	甕	土師	14.9	-	2/3		黄	口縁ナデ、腹部ハケ	口縁ナデ、胴部ミナナデ	-	外周ニス、内周黄土け	
SH01	31	109	Ⅱ上	甕	土師	-	4.2	-	1/6		外にホコ、内黄灰	ケズリ	工具ナデ	ケズリ	外周ニス
SK294	32	110	Ⅱ上	高存	土師	17.6	-		約1/4	黄	胴部上平ナデ、杯部ナデ	口縁ヨコシガキ、他ミガキ	-		
SK739	32	111	Ⅱ上	杯	内黒	12.8	-	4.8	1/8		外にホコ、内黒	ケズリ→ヨコシガキ	口縁ヨコシガキ、他ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SK839	32	112	Ⅱ上	杯	内黒	12.4	-		約1/8		外にホコ、内黒	ナデ	ヨコシガキ→黒色処理	-	
SK839	32	113	Ⅱ上	杯	内黒	16.8	-		約1/4		外にホコ、内黒	ヨコシガキ	ヨコシガキ→黒色処理	-	
SK839	32	114	Ⅱ上	鉢	土師	14.8	-		1/4		外周赤褐色、内にホコ	ミガキ?	口縁ヨコシガキ、胴部ミガキ	-	外周赤褐色
SK839	32	115	Ⅱ上	鉢	土師	12.8	-		1/3		外にホコ、内にホコ	ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	-	
SK839	32	116	Ⅱ上	甕	土師	-	7.2	-	約1/3		外にホコ、内にホコ	工具ナデ	ミナナデ	木黒灰	
SK839	32	117	Ⅱ上	甕	土師	20.6	-		1/4		外周赤褐色、内黒	口縁ナデ、腹部ハケ	口縁ナデ、腹部ハケ	-	
SK839	32	118	Ⅱ上	甕	土師	18.8	-		1/4		灰	タタキ→ロクロナデ	胴部ロクロナデ、底部ナデ	-	
	32	119	ⅡCIV層	杯	須山	12.8	-		小片		外黒、内黒	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
	32	120	ⅡCIV層	杯	須山	15.2	-		小片		オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
	32	121	ⅡCIV層	瓶	内黒	-	-				外黒	杯部ミナナデ、胴部ナデ→ミガキ	工具ナデ→ヨコシガキ→黒色処理	-	
	32	122	ⅡCIV層	高杯	内黒	-	5.6	-	2/3		外にホコ、内黒	杯部ヨコシガキ、胴部ナデミガキ、予そ部ヨコシガキ	杯部ミガキ→黒色処理、胴部工具ナデ、予そ部ヨコシガキ	-	
	32	123	ⅡCIV層	高杯	須山	-	12.0	-	約1/4		黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	胴部黄土形造、4孔
	32	124	ⅡQ-ⅡIV層	高杯	内黒	14.8	-		1/2		外粉、内黒	杯部ヨコシガキ、胴部ナデミガキ	口縁ヨコシガキ、杯部ミガキ→黒色処理、胴部シボリ→ミナナデ	-	
	32	125	ⅡCIV層	壺	土師	8.8	-		約1/4		黄	タタミガキ	タタミガキ	-	
	32	126	ⅡCIV層	高杯	須山	-	-	-	約1/2		外灰、内黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
	32	127	ⅡCII層	瓶	須山	-	-	-	小片		灰	ロクロナデ、沈着2本、縁状工具による黄灰文	ロクロナデ	-	
	32	128	ⅡCIV層	瓶	須山	-	-	-	小片		灰	ロクロナデ、沈着2本、縁状工具による黄灰文	ロクロナデ	-	
	32	129	ⅡCIV層	高杯	土師	12.8	10.2	10.0	1/3		外黄緑	杯部ヨコシガキ、胴部ナデミガキ、予そ部ヨコシガキ	杯部ミガキ、胴部ミナナデ	-	杯内周赤褐色
	32	130	ⅡCIV層	壺	土師	-	2.0	-	1/2		外赤褐色、内にホコ	ナデ	ナデ	ナデ	



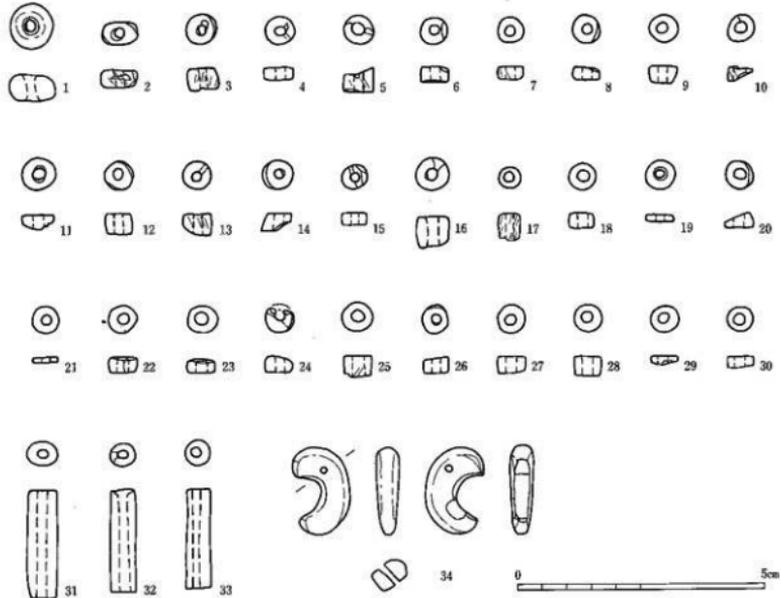
第33図 古墳時代の石器

表11 弥生時代の石器属性表

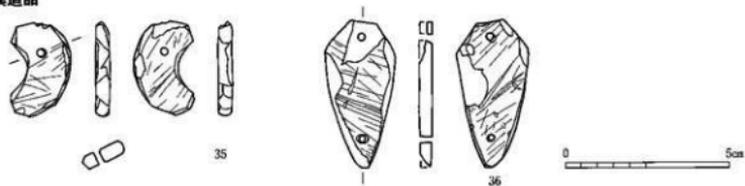
図番号	番号	遺構番号	出土位置	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
33	1	SB 7	埋土	砥石	ほぼ完形	5.2	2.2	1.1	(15.0)	凝灰岩	
33	2	SB 7	埋土	敲石	一部欠損	(14.6)	6.7	4.6	(720.0)	閃緑岩	
33	3	SB 8	P 2	砥石	ほぼ完形	6.3	3.7	0.5	(15.0)	頁岩	
33	4	SB 20	P 3	磨石	完形	9.4	8.3	3.0	300.0	安山岩	
33	5	SB 20	床	砥石	1/2 残存	(10.5)	(7.7)	(1.4)	(260.0)	頁岩	
33	6	SB 20	床	敲石	完形	16.4	5.2	3.3	440.0	粘板岩	
33	7	SB 24	床	磨石	完形	10.7	9.9	2.1	335.0	砂岩	
33	8	SK 58	埋土	敲石	ほぼ完形	8.6	8.8	3.0	(290.0)	安山岩	
33	9	SB 839	埋土	刃器	一部欠損	(3.75)	(2.45)	0.9	(6.45)	珪質岩	

() の数字は残存している所の最大値

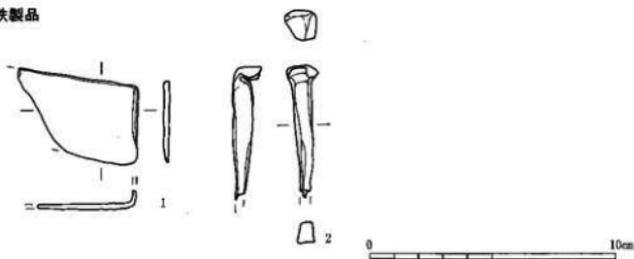
玉類



石製模造品



鉄製品



第34図 古墳時代の玉類・石製模造品・鉄製品

表12 古墳時代の玉類・石製模造品一覧

図番号	番号	器種	造構	層位	側部 形態	高さ (mm)	径 (mm)	孔径 (mm)	重量 (g)	石材	色調	備考
34	1	ガラス玉	SB1	埴土		5.3	8.5	2.0	0.5		緑	
34	2	白玉	SB1	埴土	B	3.5	7.0	2.0	0.2	滑石	灰	
34	3	白玉	SB1	埴土	B	4.5	6.0	1.8	0.2	滑石	暗オリーブ灰	
34	4	白玉	SB1	埴土	B	2.5	6.0	2.0	0.1	滑石	灰	
34	5	白玉	SB16	埴土	C	5.0	6.0	2.0	(0.2)	滑石	灰オリーブ	
34	6	白玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	(0.1)	滑石	オリーブ灰	
34	7	白玉	SB24	床	B	2.5	5.0	2.0	0.1	滑石	オリーブ灰	
34	8	白玉	SB24	床	B	2.8	5.5	2.0	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	9	白玉	SB24	床	B	3.5	5.5	2.0	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	10	白玉	SB24	床	B	3.0	5.0	2.5	(0.05)	滑石	オリーブ灰	
34	11	白玉	SB24	床	B	2.5	6.3	2.5	(0.1)	滑石	灰	
34	12	白玉	SB24	床	B	4.0	5.5	1.8	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	13	白玉	SB24	床	B	4.0	6.0	2.0	0.1	滑石	灰	
34	14	白玉	SB24	床	B	4.0	6.0	2.0	(0.12)	滑石	灰オリーブ	
34	15	白玉	SB24	床	B	2.5	5.0	1.8	0.1	滑石	灰	
34	16	白玉	SB24	床	B	6.0	6.5	2.5	0.27	滑石	灰	
34	17	白玉	SB24	床	B	5.7	4.2	1.8	0.1	滑石	暗緑灰	
34	18	白玉	SB24	床	B	3.0	5.0	2.0	0.08	滑石	灰	
34	19	白玉	SB24	床	B	1.5	5.5	1.9	0.05	滑石	灰オリーブ	
34	20	白玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.1	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	21	白玉	SB24	床	B	1.0	5.0	1.9	0.01	滑石	オリーブ黄	
34	22	白玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	0.1	滑石	灰オリーブ	
34	23	白玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.2	0.15	滑石	灰	
34	24	白玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	(0.05)	滑石	灰	
34	25	白玉	SB24	床	B	4.2	6.0	2.4	0.2	滑石	灰	
34	26	白玉	SB24	床	B	3.5	5.5	1.9	0.07	滑石	灰	
34	27	白玉	SB24	床	B	3.8	5.5	2.1	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	28	白玉	SB24	床	B	4.0	5.8	2.1	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	29	白玉	SB24	床	B	1.8	5.2	2.0	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	30	白玉		1区IV層	C	2.3	5.0	2.1	0.05	滑石	灰オリーブ	
34	31	管玉	SB24	床		22.5	6.0	2.0	1.3	滑石	オリーブ灰	
34	32	管玉		1区IV層		21.0	5.0	2.0	0.92	滑石	暗緑灰	
34	33	管玉		IIQ-11 IV層		20.5	5.0	1.8	0.75	滑石	暗緑灰	
34	34	勾玉	SB1	埴土				1.0	(1.25)	めのう	灰オリーブ	
34	35	勾玉模造品	SB20	床下				2.0	(3.72)	滑石	褐色	
34	36	剣形模造品	SB11	埴土				2.0/2.0	(6.6)	滑石	暗灰	混入

*側部形態は、層代遺跡群高速道地点の分類に準じた。

第4節 飛鳥・平安時代

本項に掲載した遺構は、飛鳥時代から平安時代9世紀末の洪水より前に所属する遺構で、粗密の差はあるが1～6区のほぼ全域に分布している。当該期に所属する遺構は、IV層を剥いで検出した。検出された遺構は、竪穴住居跡70軒、掘立柱建物跡2棟、溝51条、土坑506基である。粗密の差はあるが1～6区のほぼ全域に分布している。

1 遺構各説

(1) 竪穴住居跡

当概期の竪穴住居跡は、1区西側及び3区で、やや少ないもののほぼ全域で確認されている。遺構の概要は、表13に示した。ただし説明を簡略化できないものについては、ここで番号順に解説を加えることにする。

SB3 (図41, PL9)

本住居跡のカマドは、北壁中央に一部破壊された状態で検出された。カマドは粘土により構築されている。ピット1・4・5に、径15～25cmでほぼ円形の柱痕が認められた。本住居跡の時期は、7世紀最末～8世紀前半、屋代編年の古代2期と認定される。

SB11 (図42, PL9)

本住居跡は検出段階で、a～cの4本の煙道が認められたが、一番新しいカマドはcとしたカマドで、東壁面中央付近に板状の石を芯材としてその周りを粘土で固めて構築されている。構築材に使われた石の石材は、主に閃緑岩で一部安山岩や凝灰岩が使われている。天井部は残存していないものの袖・火床部分は、良好に残存していた。本住居跡は、掘り方などの様子から、少なくとも2段階の変遷がたどれる。床下に一部残っている貼床や、掘り方・床下の焼土の出土状態から前段階の住居は、やや小さめのプランであったと思われる。この前段階の住居に伴うカマドは、dとしたカマドである。埋土中より、石製模造品・土鏃・鉄鏃・腕形鐵治津が、床下より、土鏃・鉄釘が出土している。本住居跡の時期は、9世紀第3四半期、屋代編年の古代7期後半と認定される。

SB18 (図42, PL9)

本住居跡のカマドは、東壁面南よりに板状の石を芯材としてその周りを粘土で固め構築されている。構築材に使われた石の石材は、全て閃緑岩である。カマド内から赤く焼けた凝灰岩の切石が出土しているが、支脚として使われていた可能性が高い。本住居跡の時期は、9世紀後半、屋代編年の古代8期前半と認定される。

SB25 (図43)

本住居跡のカマドは、北壁面東端に石を芯材としてその周りを粘土で固め構築されている。構築材に使われた石の石材は、全て閃緑岩である。本住居跡の時期は、9世紀前半、屋代編年の古代6期と認定される。

SB27 (図43, PL9)

本住居跡は東壁面南端に破壊された状態と推測されるカマドを有し、床面には炭化物・焼土・灰が散乱している。埋土中より鉄製の刀装具が出土している。本住居跡の時期は、9世紀中頃、屋代編年の古代7期と認定される。

SB34 (図43)

本住居跡のカマドは、攪乱により破壊されているが、煙道の一部と床下の様子から、北壁面東端と推定

される。床面より椀形鍛錬鍛冶さいが、カマド付近よりわずかに炭化米が出土している。

S B 41 (図43)

本住居跡は北壁面中央付近に破壊された状態と推測されるカマドを有し、床面には炭化物・焼土が散乱している。床面より石包丁が、埋土中より土鍬が出土している。本住居跡の時期は、9世紀後半、屋代編年の古代8期と認定される。

S B 77 (図46)

埋土中より椀形鍛冶滓・石包丁の破片が出土している。本住居跡の時期は、8世紀後半、屋代編年の古代4期と認定される。

(2) 掘立柱建物跡 (図47, P L 10)

飛鳥・平安時代の掘立柱建物跡は2区でS T 1、4区でS T 2の2棟が検出されている。S T 1は古墳時代の掘立柱建物跡としたS T 3とほぼ同じ位置にあり、南側が調査区域外へ広がると思われるので全体は不明である。東西1間南北2間の総柱建物と推定され、軸は東へ15°ふれる。柱間寸法は東西方向が200cmと一定で、南北方向は100~120cmとやや不規則である。掘り方は径70~80cmの円形あるいは楕円形で、深さは50~60cmである。S T 2は南側をS B 60に切られて全体は不明であるが、東西1間、南北1間の建物と推定される。軸は西へ10°ふれている。柱間寸法は東西方向350cmと一定で、南北方向130~150cmとやや不規則である。掘り方は径60~110cmの円形か楕円形で、深さは40~50cmである。ピット1~4の底部に径15~20cmで円形の硬く締まった鉄分の集積が認められる。

(3) 溝

飛鳥・平安時代の溝跡は51条検出されていて、1区でS D 6の1条のみと少ないもののほぼ全域で確認されている。溝の詳細な説明は全て表14に示した。

(4) 土坑

飛鳥・平安時代の土坑は506基検出されていて、粗密の差はあるもののほぼ全域に分布する。S K 305・711・713・840・900・1061・1082・1167は井戸跡で、全て掘り抜きの井戸である。S K 305からは木製品や墨書土器が、S K 864からは木製品が、埋土中より出土している。井戸跡の調査は調査区が狭いという条件の中で、可能な限り重機による半掘を行い、その底部の確認と遺物の採集を行ったが、遺構によっては底部の確認ができなかったものもある。S K 1109の埋土中より鍛冶滓・粒状滓・鍛造刺片及びか壁の一部が出土している。少量ではあるがまとまって廃棄されたものかと思われる。その他に柱穴と思われる土坑がいくつかあるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表15に示した。

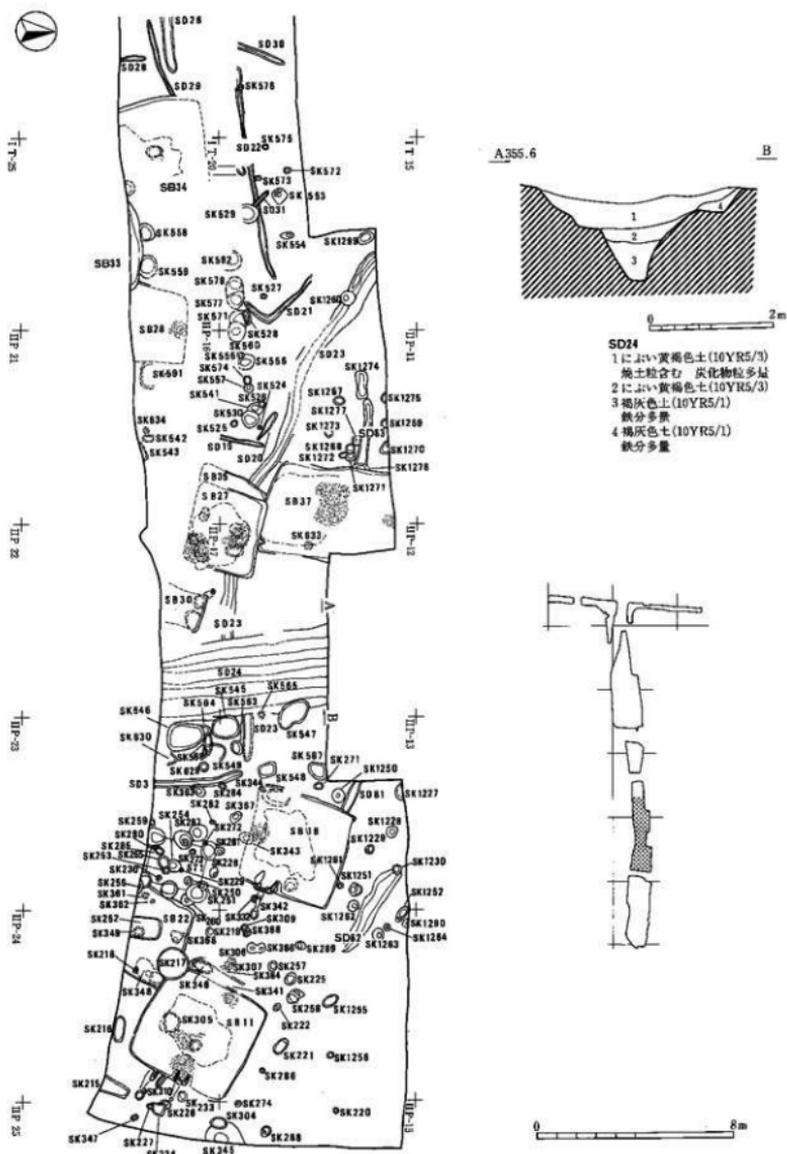
2 遺物

(1) 土器・土製品

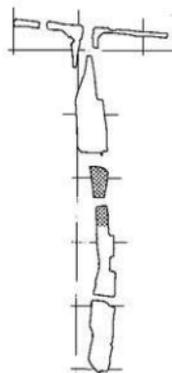
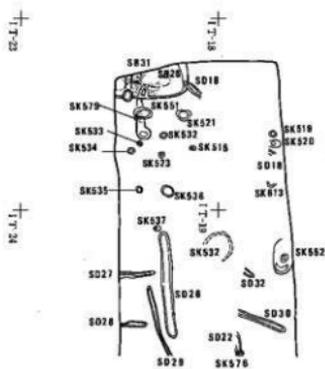
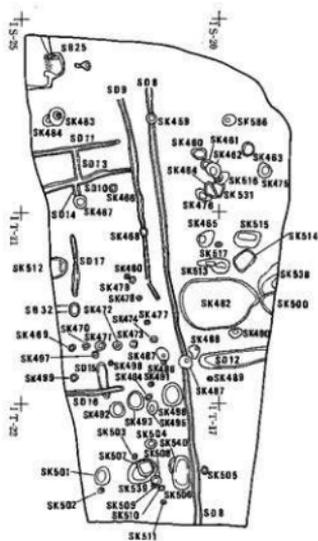
IV層及び飛鳥・平安時代の遺構から出土した土器・土製品は、46箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示し(図48~60)、掲載した遺物の属性を一覧表(表16)に示した。土器の器種分類は、累代遺跡群高速道地点の分類に順ずる。

(2) 石器・石製品

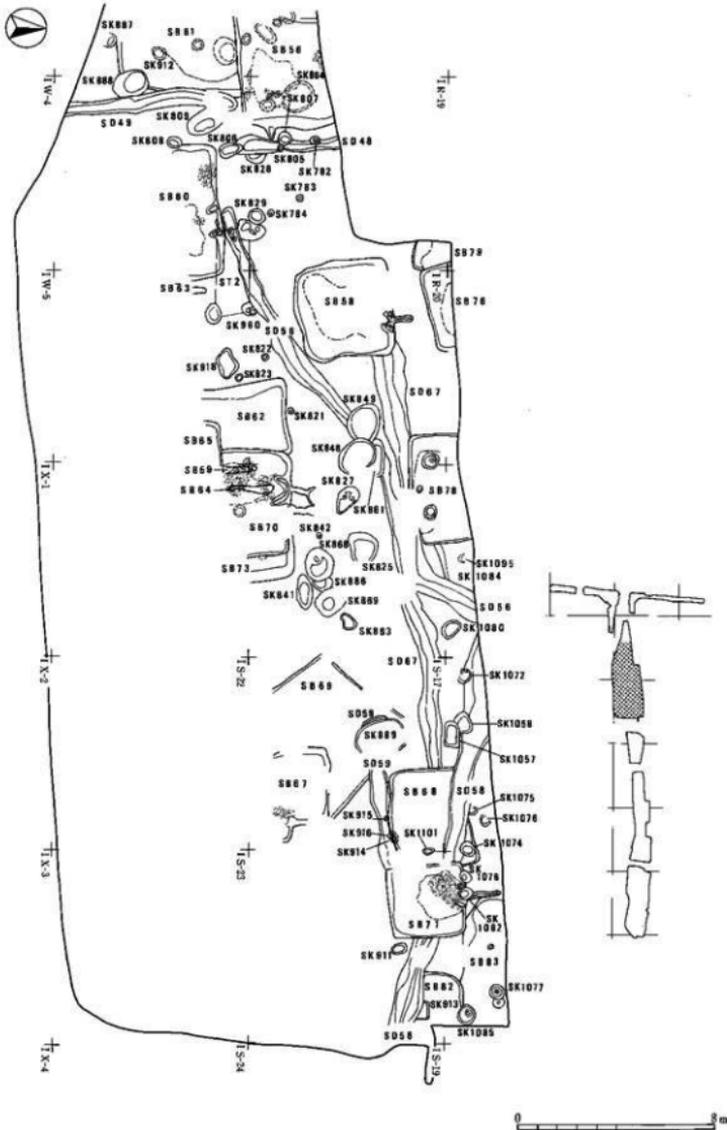
IV層および飛鳥・平安時代の遺構から出土した資料は石器791点、石製品2点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中467点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、215点が道具として認定できた石器である。その内訳については表17に示した。ここでは、全てを紹介することができない為、主なもの17点を図示し(図61・62)、掲載した遺物の属性を一覧表(表18)に示した。



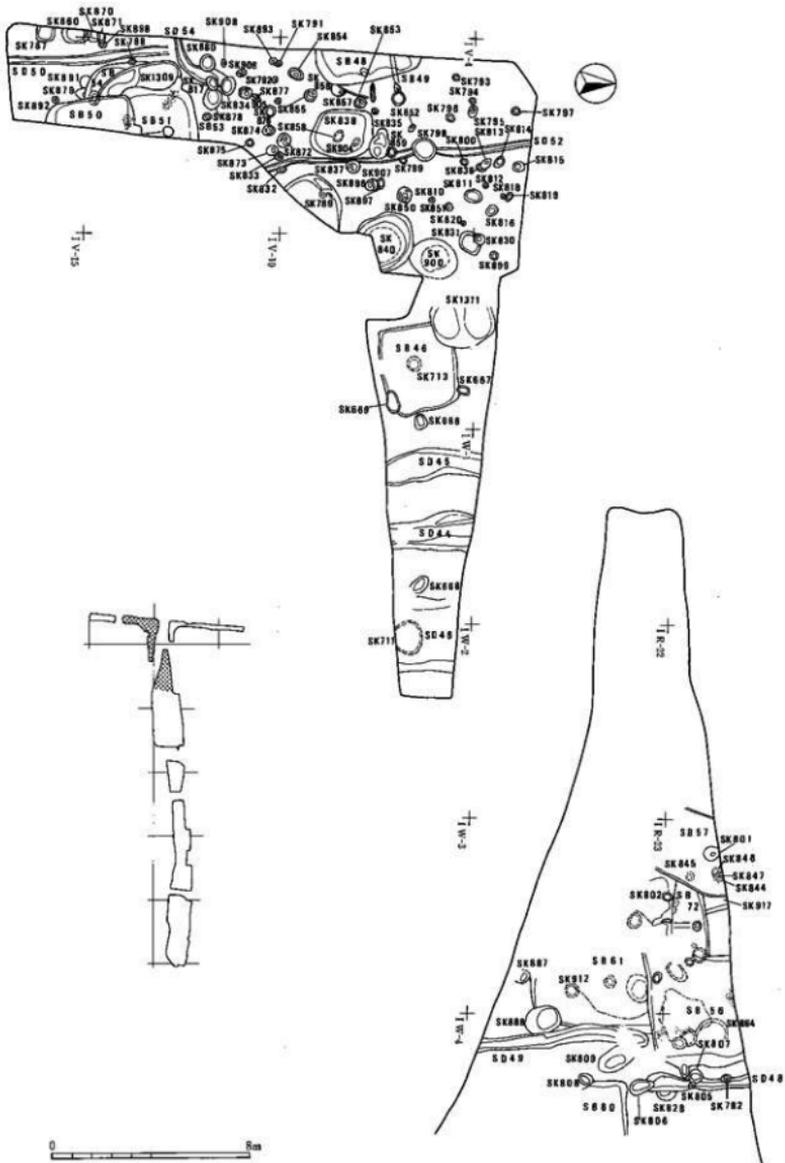
第36図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 2



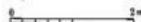
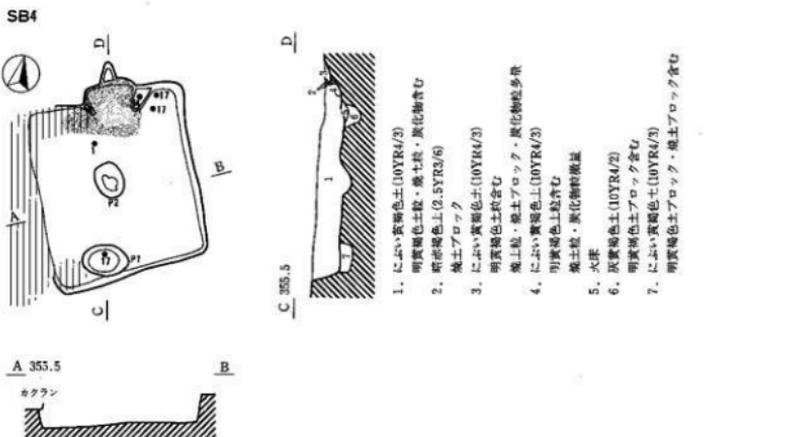
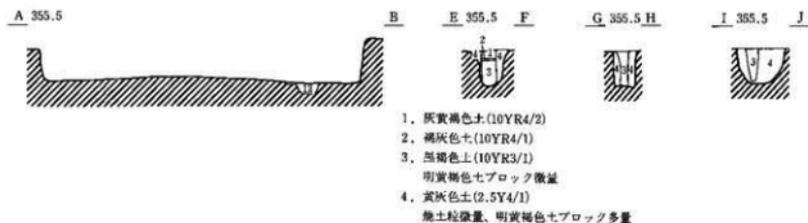
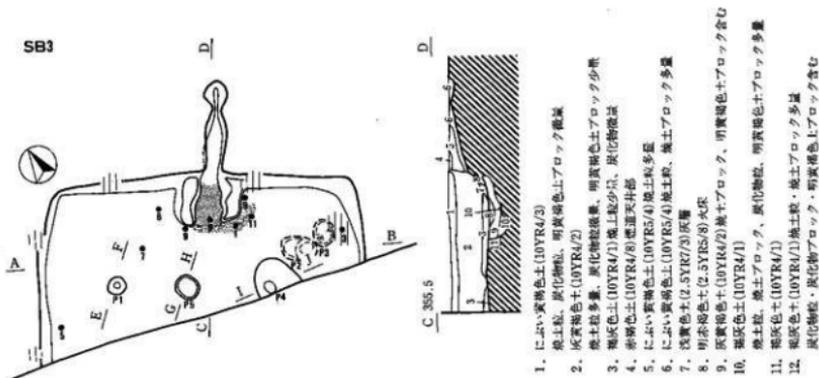
第37図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 3



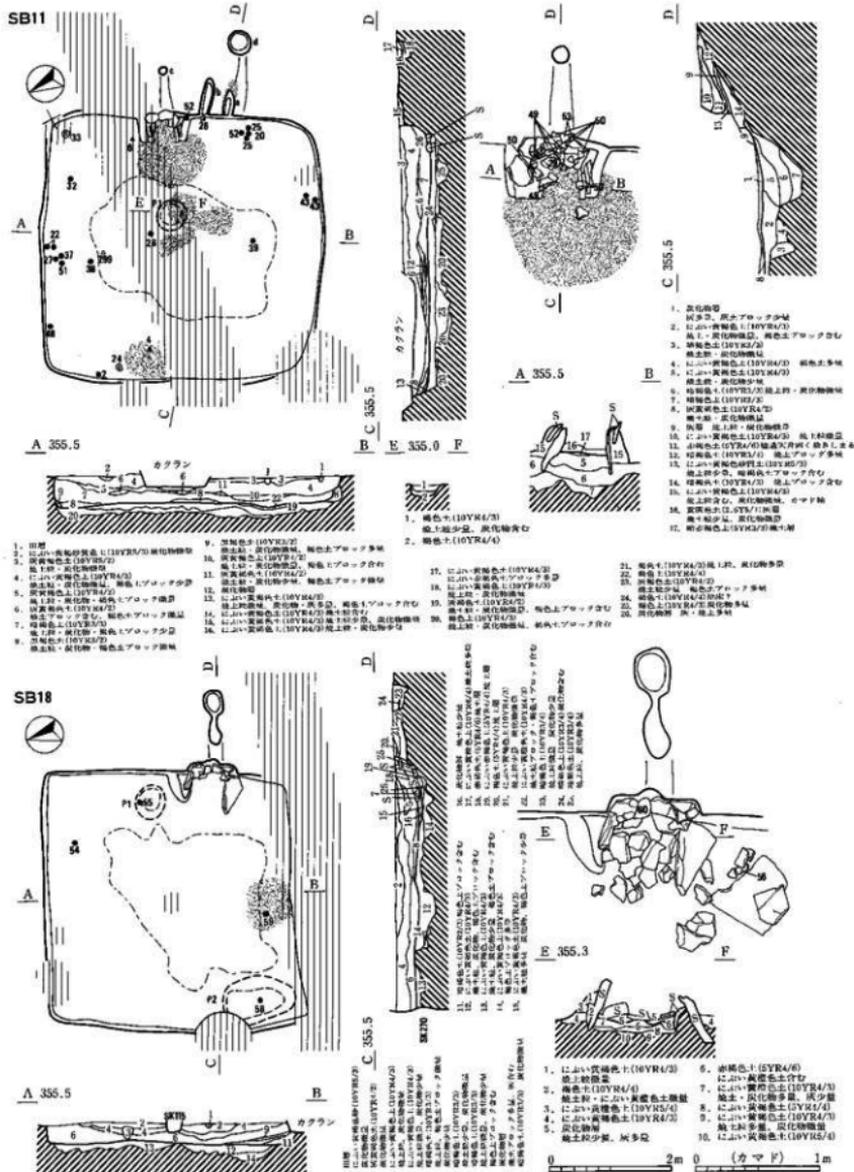
第38図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 4



第39図 飛鳥・平安時代の遺構分布図 5

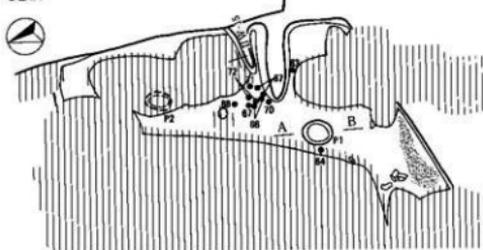


第41図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 1



第42図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 2

SB21

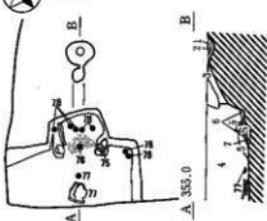


A 355.0 B

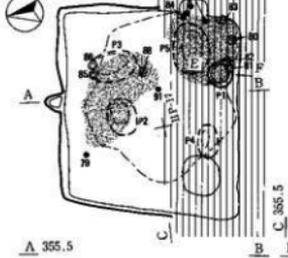


1. 黒色土(10YR1.7/1)炭化物層
2. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・焼土粒アロップ・炭化物粒含む
3. 明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物層・炭化物粒微量

SB25



SB27

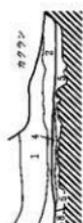
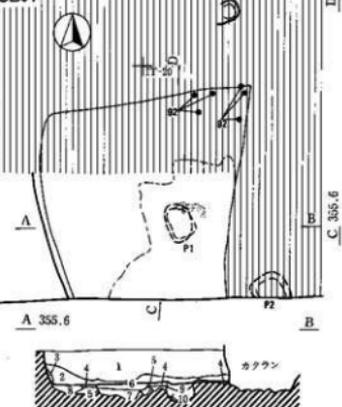


1. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量
2. 明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒微量
3. 黒土アロップ含む、明黄褐色土アロップ少量
4. 黒色土(10YR1.7/1)炭化物層
5. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒
6. 明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒
7. 焼土アロップ炭化物層

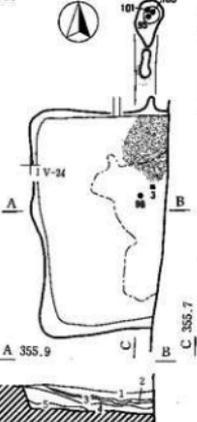
1. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒少量、炭化物少量
2. 10YR4/2明黄褐色土(10YR4/2)焼土粒、炭化物微量
3. 10YR4/2明黄褐色土(10YR4/2)焼土粒含む、炭化物少量
4. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土・灰・焼土アロップ含む
5. 灰・灰・焼土アロップ層、10YR6/6明黄褐色土アロップ含む
6. 不明
7. 不明



SB34



SB41

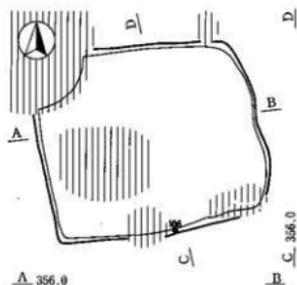


1. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物少量
2. 10YR4/2明黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・炭化物微量
3. 褐色土(10YR2/4)
4. 明黄褐色土(10YR6/6)
5. 褐色土(10YR2/4)
6. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物少量
7. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物少量
8. 10YR4/2明黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・炭化物少量
9. 10YR4/2明黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・炭化物少量
10. 褐色土(10YR2/4)
11. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物少量
12. 10YR6/6明黄褐色土(10YR6/6)焼土粒・炭化物少量

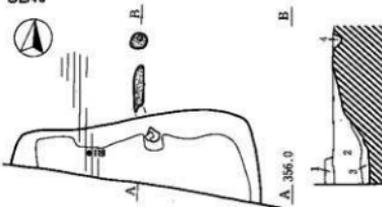


第43図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 3

SB48



SB48



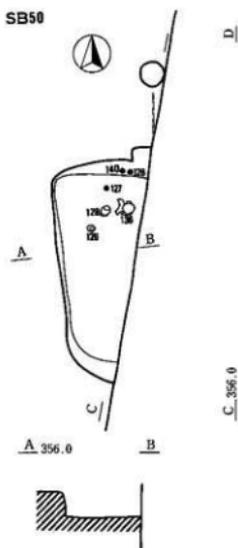
1. 褐色砂質土(10YR4/4)
2. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物灰質褐色土少量、焼土ブロック含む、褐色砂質土多量
3. 灰質褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、炭化物少量、褐色砂質土少量
4. におい質褐色土(10YR4/3)焼土粒微量、炭化物少量、褐色砂質土多量

1. 灰質褐色土(10YR4/2)
2. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒・焼土アロック・炭化物・炭化物ブロック多量
3. 灰質褐色土(10YR4/2)
明質褐色土ブロック多量、鉄分・マンガ含有
4. 褐色土(10YR5/1)鉄分多量
5. 黒褐色土(10YR3/2)焼土粒・炭化物粒微量

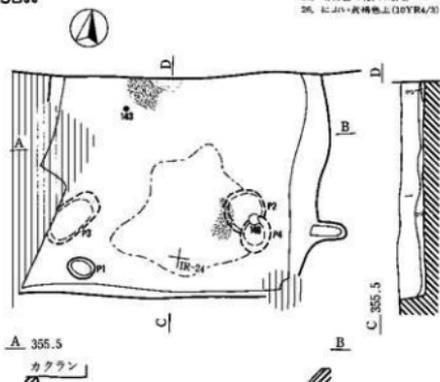
SB48

1. 灰質褐色土(10YR4/2)
2. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物含む
3. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物少量
4. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒少量、炭化物多量
5. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物含む、焼土ブロック少量
6. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒少量、炭化物多量
7. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物含む
8. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物多量
9. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物多量
10. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物多量
11. におい質褐色土(10YR4/3)
炭化物微量
12. におい質褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物多量
13. 褐色土(10YR4/4)
焼土ブロック微量
14. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物少量
15. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物微量
16. 明赤褐色土(10YR6/8)暗褐色土ブロック含む
17. 明赤褐色土(10YR6/8)
焼土粒・炭化物少量
18. 暗褐色土(10YR4/4)
焼土粒・炭化物少量
19. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒微量、炭化物多量
20. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物少量
21. 灰質褐色土(10YR4/2)
焼土粒・炭化物少量
22. 暗褐色土(10YR4/4)
焼土粒・炭化物多量
23. 暗褐色土(10YR3/4)
焼土粒・炭化物微量
24. 暗褐色土(10YR4/4)
焼土粒・炭化物多量
25. 暗褐色土(10YR4/4)
焼土粒・炭化物多量
26. におい質褐色土(10YR4/3)

SB50



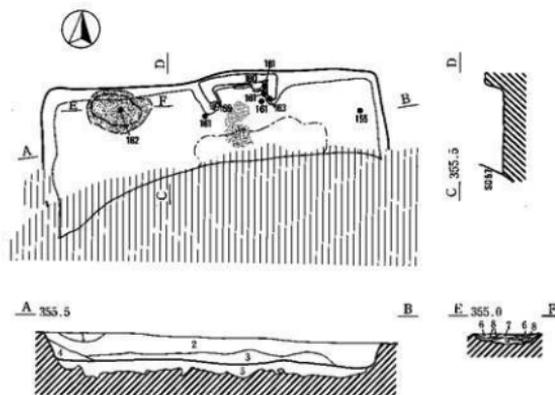
SB56



1. におい質褐色土(10YR4/3)焼土粒、焼土ブロック多量
2. 灰質褐色土(10YR4/2)焼土粒、焼土ブロック少量
3. 明赤褐色土(10YR6/8)暗褐色土ブロック含む

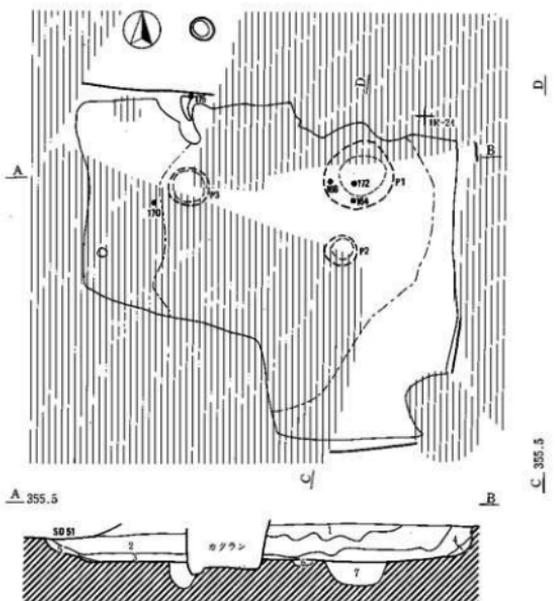
第44図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 4

SB60



1. 黒褐色土(10YR5/2)灰土状硬質
2. 灰褐色土上(10YR4/2)
3. 灰褐色土上(10YR4/2) 明灰褐色土アロック含む
4. 黒褐色土(10YR5/2) 赤褐色土アロック含む
5. 黒褐色土(10YR5/2) 赤褐色土アロック含む
6. 灰化物質 灰多量 (10YR4/2) 焼土粒・焼土アロック多量
7. 灰化物質 灰多量 (10YR4/2) 焼土粒・焼土アロック多量
8. 灰褐色土(10YR5/2) 灰化物質・灰多量
9. 灰褐色土(10YR4/2) 灰化物質・灰多量

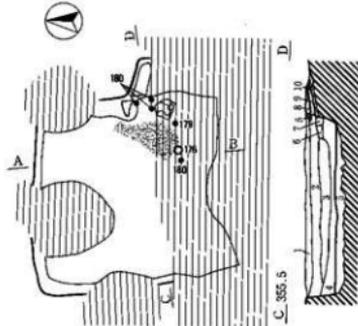
SB61



1. オリーブ褐色土(2.5Y4/3)焼土粒・焼土アロック・灰化物質・灰多量
2. 褐色土(10YR4/4) 焼土粒・灰化物質多量
3. 褐色土(10YR4/4) 灰化物質 焼土粒・灰化物質多量
4. オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 灰化物質・灰多量 明灰褐色土アロック含む
5. オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 灰化物質・灰多量
6. 褐色土(10YR4/4) 焼土粒・焼土アロック 灰化物質・灰多量 明灰褐色土アロック含む
7. 灰褐色土(10YR4/2) 焼土粒・灰化物質・明灰褐色土アロック含む
8. 灰褐色土(10YR4/2) 焼土粒 灰化物質含む 灰多量

第45図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 5

SB67

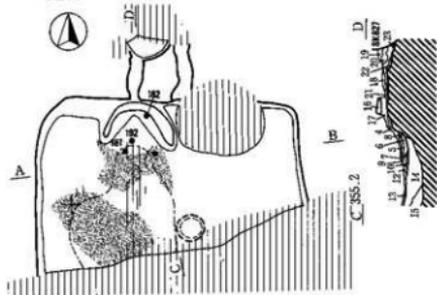


A 355.5

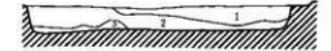


1. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、鉄分・マンガン粒多量
2. 黄褐色土(10YR4/1)焼土粒微量、鉄分・マンガン粒含む
3. 黄褐色土(10YR4/1)焼土粒・炭化物・炭化物アロップ・鉄分・マンガン含む
4. 黄褐色土(10YR4/2)焼土粒・炭化物少量、明黄褐色土アロップ少量
5. 焼土粒微量、焼土アロップ多量、鉄分・マンガン含む
6. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒含む、明黄褐色土アロップ多量
7. 灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、焼土アロップ多量
8. 粘土・灰土
9. 明黄褐色土(10YR4/2)焼土アロップ・明黄褐色土アロップ多量
10. 焼土壁

SB70

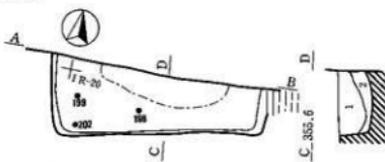


A 355.5



1. 褐色土(10YR4/4)明黄褐色土粒含む
2. 褐色土(10YR4/4)明黄褐色土アロップ多量
3. 明黄褐色土粒・炭化物粒含む
4. 明黄褐色土(10YR4/2)明黄褐色土粒・炭化物粒少量
5. 灰層・焼土粒・炭化物少量
6. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物・炭化物少量
7. 焼土アロップ
8. 炭化物層 焼土粒・炭化物少量
9. 灰層 焼土粒・炭化物少量
10. 焼土層
11. 灰層 焼土粒少量、炭化物含む
12. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物少量
13. 炭化物層 焼土粒・炭化物少量
14. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒少量、炭化物含む、炭化物
15. 褐色土(10YR4/4)
16. 柱礎穴跡 下形跡く残る
17. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・焼土アロップ少量
18. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・焼土アロップ多量、炭化物少量
19. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・焼土アロップ少量
20. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土アロップ少量、炭化物微量
21. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物少量
22. 炭化物層 焼土粒少量

SB76

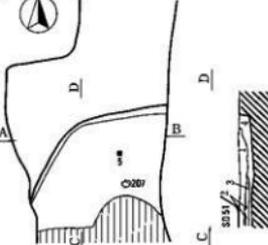


A 355.6



1. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物・鉄分含む
2. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物・鉄分・明黄褐色土アロップ含む

SB77



A 355.1

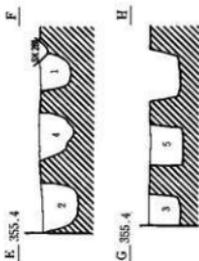
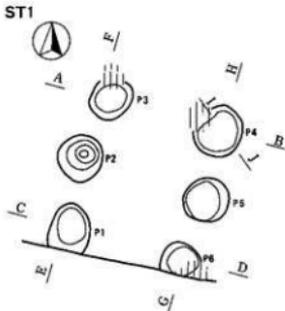


1. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒少量、炭化物多量
2. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒少量、炭化物多量
3. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物少量
4. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・焼土アロップ・炭化物少量
5. 明黄褐色土(10YR4/3)焼土粒微量、炭化物多量、灰土域

0 2m

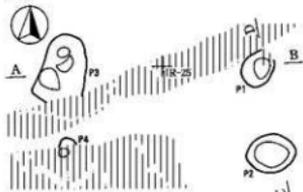
第46図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 6

ST1



1. におい・黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物微量
2. におい・黄褐色土(10YR4/3)炭化物微量
3. におい・黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物微量
4. におい・黄褐色土(10YR4/3)
炭化物微量、黄褐色土ブロック含む
5. におい・黄褐色土(10YR4/3)
焼土粒・炭化物微量
6. におい・黄褐色土(10YR4/3)
におい・黄褐色土ブロック少量
7. 暗褐色土(10YR4/3)
におい・黄褐色土ブロック多量

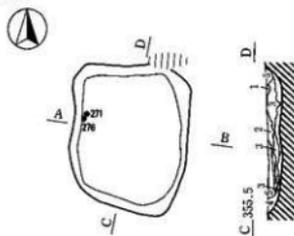
ST2



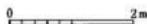
1. 褐灰色土(10YR4/1)+明黄褐色土(10YR6/6)
焼土粒、炭化物粒、暗褐色土ブロック含む
2. 褐灰色土(10YR4/1)-黒褐色土(10YR3/1)
明黄褐色土ブロック、鉄分粒多量
3. 明黄褐色土(10YR6/6)
灰色土、暗褐色土ブロック含む
(P1-4底部鉄文染)



SK838



1. におい・黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物微量
2. におい・黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物多量
3. におい・黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物多量
4. におい・黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物少量
5. におい・黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物微量



第47図 飛鳥・平安時代の遺構個別図 7

表14-1 飛鳥・平安時代の溝 (SD) 一覧

飛鳥地区	SD番号	時期	中地区	田番号	平面形	走向 方向	全長 (m)	北端 深さ (m)	南端 深さ (m)	色 調	土性	層状状況	遺物出土 状 況	遺物 例	組合編號 (内) → (外)	備 考	
	2 3		P13, 18	36	東西的	北→南	(3.90)	0.30	0.19	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡		--SK264		
	1 6	平安	P15, 20, Q11, 16	35	東西的	—	(10.54)	2.90	1.29	灰色～黒褐色	シルト 砂質	4層	鉄舍利・鉄分 アロップを多 く混入。底部 鉄分凝結	土跡、石器、 鉄製品、鉄釘 57 61 64	SB91→SD1, SK65, 1143, 1167, 1243		
	3 8		T16, 17, S20	37	東西的	—	18.4	0.24	0.21	灰黄褐色～暗 褐色	シルト	2層	土跡、石器		--SK459, 487		
	3 9		T16, S20	37	東西的	東→西	8.50	0.22	0.18	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		--SK382, 383, 468		
	3 10		S20	37	東西的	北→南	(3.54)	0.28	0.16	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		SD13, 14→SD9		
	3 11		S30	37	東西的	北→南	(3.28)	0.24	0.11	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		SD13		
	3 12		T11, 16	37	東西的	北→南	(2.74)	0.74	0.29	—	—	1層	土跡、石跡		—		
	3 13		S20	37	東西的	西→東	(1.16)	0.20	0.06	灰黄褐色	シルト	1層	—		--SD10, 11		
	3 14		S20	37	東西的	西→東	(0.40)	0.24	0.07	灰黄褐色	シルト	1層	—		--SD16, SK467		
	3 15		T16	37	東西的	西→東	1.40	0.34	0.36	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡		SK601→SD16		
	3 16		T16	37	東西的	北→南	(2.20)	0.22	0.25	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡		SD13→		
	3 17		T16	37	東西的	西→東	2.80	0.20	0.08	暗褐色	シルト	1層	土跡		—		
	2 18		T13, 18	37	東西的	北東 →南西	(4.88)	0.22	0.15	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		SR26→SK375		
	2 19		P11	36	東西的	北→南	(1.84)	0.20	0.09	灰黄褐色	シルト	1層	—		—		
	2 20		P11	36	東西的	—	1.42	0.24	0.13	灰黄褐色	シルト	1層	—		—		
	2 21		T15	36	1ヶ所で掘出。 直線的	北西 →南東 北→南	(3.96)	0.22	0.09	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		—		
	1 22		T14, 15, 17	36	東西的	東→西	(9.03)	0.24	0.20	灰黄褐色	シルト	1層	土跡		--SD31, SK381, 529, 376		
	2 23		T15, P11, 12, 13	36	東やかに河由	北西 →東	(22.0)	0.86	0.43	灰褐色～灰黄 褐色	シルト	1層	土跡、石器		SB36→SD27, 35, SD94, SK394, 1280		
	2 24	古代3期	P12, 17	36	東西的	—	(6.40)	3.30	1.48	灰褐色～黄褐 色	シルト 砂質	6層	粘土粒、炭化 物粒を多く混 入。鉄分を多 量に混入	土跡、石器、 骨 57 58 61	SD23, 25, 33 * SK 345, 350, 561, 565, 566		
	2 26		T19	36- 37	東西的	東→西	4.44	0.46	0.21	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡		—		
	2 27		T19	37	東西的	北→南	(1.32)	0.22	0.22	にぶい黄褐色	シルト	1層	—		—		
	2 28		T19	36- 37	東西的	北→南	(1.00)	0.22	0.15	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡、石跡		—		
	2 29		T19	36- 37	東西的	西→東 北	(3.70)	0.20	0.05	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡		--SH34		
	2 30		T14	36- 37	東西的	南→北	(2.06)	0.24	0.16	にぶい黄褐色	シルト	1層	土跡、石跡		—		
	2 31		T15	36	東西的	東南 →北西	(9.80)	0.14	0.07	にぶい黄褐色	砂質	1層	—		SD22→SK529		
	2 32		T14	37	東西的	北東 →南西	(9.48)	0.70	0.13	にぶい黄褐色	シルト	1層	—		—		
	6 44	平安?	W1 R21	39	東西的	北→南	(3.52)	1.02	0.52	灰褐色～灰褐 色	シルト	4層	鉄分を多量に 混入	土跡、石器、 鉄製品	38	--SK664	
	6 45		W1 R21	39	東やかに河由	—	(4.21)	1.24	0.52	灰褐色～にぶ い黄褐色	シルト	4層	鉄分・マンガ ンを含み混入 土質。鉄分・ マンガンを含 み混入	土跡、石器	—	—	
	6 46	平安	W1, 2	39	東西的	—	(2.62)	3.04	0.51	明黄褐色～に ぶい黄褐色	シルト	6層	粘土粒、炭化 物粒、鉄分、 マンガン粒を 多く混入	土跡、石跡、 鉄滓、鋸口	38	SK711→SK636, 653, 661	
	6 47		V19	40	東西的	—	(1.26)	0.22	0.12	暗褐色	シルト	1層	土跡		--SK675, 696		
	4 48		R18, 24	39	東西的	北→南	(4.18)	0.74	0.28	暗褐色	シルト	1層	鉄分を多く混 入	土跡		SK828→SK782, 805, 806, 807	
	4 49	平安	R24	38- 39	東西的	南→北	(7.22)	0.70	0.44	暗褐色	シルト	1層	鉄分を多く混 入	土跡、石器		SB61, SK888→	

表14-2 飛鳥・平安時代の溝 (SD) 一覧

表地区	SD番号	時期	中地区	区画番号	平面形	沈積方向	全長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	色 調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物	発見関係 (点) → (層)	備考
5	59		V9, 14	39	直線的	東→北	(5.70)	0.42	0.19	灰黄褐色	シルト	2層	土砂、石砂	—		
6	53		Q24, V4.9	39	直線的	—	(11.80)	8.34	0.25	にじみ黄褐色	シルト	1層	土砂、石砂	SK809→SK798, 799, SK832, 835, 837		
6	54		V9	39	緩やかに南曲	—	(3.10)	0.64	0.57	にじみ黄褐色 →暗褐色	シルト	3層	土砂、石砂	→SK817, 834, 860		
5	55		Q4.8	40	直線的	—	(3.70)	0.60	0.47	にじみ黄褐色	シルト	1層	土砂、石砂	SK1012→		
4	56	平安	R20, 24, 25, S11, 16	38	ゆるやかに河曲	内→北東	(20.07)	1.40	0.61	灰色→暗灰色	細砂、シルト	2層	鉄分を多く含む土	土砂、石砂	SK78, SD47, ST2, SK 863, 869, 1084, 1094→SK849, 1071, 1088	
4	58		S11, 12, 13, 18	38	直線的	—	(18.80)	1.24	0.68	暗灰黄色→オリーブ褐色	粘砂、シルト	2層	鉄分マツタン粒を多く含む	土砂、石砂	61	SK79, 82, SK 913, 1103, 1105, 1106, →SD 71, 74, SK 953, 1026, 1048, 1058, 1072, 1074, 1075
4	59		S17, 18	38	直線的	西→東	(4.74)	0.85	0.46	灰黄褐色、明灰褐色	シルト	1層	土砂、石砂	SK949→SH66, 69, 71, 74, SK730, 733, 889, 914, 915, 916		
5	61		Q9	40	直線的	—	(2.74)	1.24	0.68	オリーブ褐色	シルト	4層	土砂、石砂、砂、鉄滓	→SK1003		
5	62		Q9	40	直線的	—	(2.36)	1.06	0.37	暗灰黄色→オリーブ褐色、暗灰色	砂質、粘土	2層	土砂、石砂、砂	→SK1002		
5	63	飛鳥?	Q9	40	直線的	—	(2.72)	0.98	0.30	にじみ黄褐色	シルト	2層	土砂、石砂、骨	SD70→SK1006, 1001, 1002		
5	64		Q14	40	直線的	—	(1.18)	0.38	0.13	にじみ黄褐色	シルト	1層	土砂	—		
5	55		L19	40	直線的	—	(2.72)	6.80	0.26	灰黄褐色	シルト	1層	裏面鉄分集積	土砂		
4	67	平安	R20, S16, 17	38	直線的	—	(17.50)	1.36	0.72	灰黄褐色	シルト	1層	土砂、石砂、骨	58	SK 1096, 1098, 1099 →SB58, 66, 78, SD 60, SK 1025, 1027, 1028, 1029, 1041, 1071	
5	71		L24	40	直線的	—	(2.48)	1.10	0.19	にじみ黄褐色 →にじみ黄褐色	シルト 粗砂	11層	鉄分を多く含む土	土砂	SD72, 73→SK1109	
5	72		L19, 21	40	直線的	北→南	(8.18)	0.42	0.11	灰黄褐色→黄褐色	シルト	1層	土砂	→SD71, 73, SK1108, 1110		
5	73		L19, 21	40	直線的	北→南	(9.00)	0.42	0.14	灰黄褐色→黄褐色	シルト	1層	土砂	SD72, SK 1131, SD 71, SK1108, 1114		
2	81		P13	36	直線的	北西→南西	(1.32)	0.36	0.08	にじみ黄褐色	シルト	1層	—	—	→SB18	
2	82		P13, 14	36	直線的	東南→北西	4.12	0.80	0.22	灰黄褐色	シルト	2層	土砂、石砂、骨	→SK1230, 1233		
2	83		P11	36	直線的	東→西	(2.64)	0.50	0.13	にじみ黄褐色	シルト	1層	土砂	SK 1277 + SK 1198, 1204, 1276		

表15-1 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

表地区	SK番号	時期	区画番号	中地区	平面形	掘削方向	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	色 調	土色鑑定号	堆積状況	遺物	遺物関係	備考
1	4	35	Q20	円形	C	0.20	0.18	0.30	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	炭化物多量に混入	—	
1	13	35	Q20	楕円形	C	0.38	0.33	0.11	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土砂	—	
1	67	35	Q19	円形	A	0.30	0.18	0.07	0.07	暗褐色→暗褐色	10YR3/2→3/3	1層	—	—	
1	91	35	Q16	楕円形	E	0.46	0.36	0.48	0.48	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	92	35	Q16, 17	楕円形	B	0.54	0.49	0.33	0.33	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	93	35	Q17	円形	G	0.38	0.35	0.28	0.28	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	94	35	Q17	円形	G	0.36	0.25	0.21	0.21	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	136	35	Q15, 20	不整形	C	1.32	1.00	1.35	1.35	暗黄褐色→黒褐色	10YR7/6→2/1	2層	土砂、7層	58	
1	141	35	Q15, 20	円形	B	0.12	0.12	0.17	0.17	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	142	35	Q18	円形	E	0.54	0.48	0.46	0.46	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—	—	
1	147	35	Q13	正方形	C	0.95	0.64	0.27	0.27	黄褐色→黄褐色	10YR4/2→2.5Y 6/6	1層	土砂	—	
1	149	35	Q20	円形	C	0.26	0.22	0.14	0.14	灰褐色	10YR4/1	1層	—	—	
1	150	35	Q20	楕円形	C	0.28	0.22	0.21	0.21	灰褐色	10YR4/1	1層	—	—	
1	161	奈良	35	Q18	不整形	—	—	—	0.21	灰褐色→暗褐色	10YR3/2→3/3	1層	土砂	—	

表15-2 飛鳥・平安時代の土坑(SK)一覧

採掘区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面 形状	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	色 調	土色観記号	堆積状況	遺物	遺物区	備考
1	168	35	Q18	-	-	-	-	-	0.65	黒褐色～暗褐色	10YR3/2-3/3	1層	土器		
1	176	35	Q16	円形	C	0.60	0.58	0.36	0.36	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	177	35	Q16	楕円形	H	1.16	0.94	0.65	0.65	に濃い黄褐色 ～黄褐色	10YR3/3-5/6	3層	土器、炭化物を多量に混入	土器	
1	188	35	Q16	不整形	-	-	-	-	0.31	に濃い灰褐色 ～暗褐色	2.5YR3/3-7.5YR3/4	16層	土器、焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	土器	
1	189	35	Q17	-	-	-	-	-	0.09	に濃い灰褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	192	35	Q20	-	G	-	-	-	0.13	黒褐色～暗褐色	10YR3/2-2/3	2層	土器		
1	193	35	Q17	円形	A	0.40	0.38	0.12	0.12	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	194	35	Q18, 19	-	B	-	-	-	0.95	に濃い黄褐色 ～灰褐色	10YR3/1-4/1	2層	焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	土器	
1	195	35	Q17	-	-	-	-	-	-	に濃い黄褐色	10YR5/4	1層	焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	-	
1	196	35	Q17	円形	B	0.18	0.18	0.08	0.08	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	197	35	Q17	円形	H	0.18	0.18	0.14	0.14	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	198	35	Q17	楕円形	C	0.44	(0.28)	0.14	0.14	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	199	35	Q17	楕円形	E	0.38	0.46	0.49	0.49	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	203	35	Q13	円形	B	0.98	0.85	0.29	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-		
1	206	35	Q13	円形	A	0.53	0.52	0.10	0.10	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	208	35	Q17	円形	C	0.34	0.30	0.20	0.20	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	209	35	Q17	円形	C	0.40	0.38	0.20	0.20	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
2	212	平安?	35	Q19	-	-	-	-	-	に濃い灰褐色	10YR4/3	1層	土器	5B	
2	213	36	P19	長方形	C	-	-	0.19	0.19	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	土器		
2	216	36	P19	楕円形	C	1.14	0.72	0.10	0.10	暗褐色	10YR3/3	1層	-		
2	217	36	P19	円形	C	1.36	1.20	0.23	0.23	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	土器	5B	
2	218	36	P19	円形	A	0.22	0.20	0.10	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層(砂質)	-		
2	219	36	P19	円形	E	-	-	0.36	0.36	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-		
2	220	36	P15	円形	C	0.24	0.22	0.14	0.14	暗褐色	10YR3/4	1層(砂質)	-		
2	221	36	P14	楕円形	G	0.66	0.44	0.14	0.14	に濃い黄褐色	10YR4/3	3層	炭化物を多量に混入	土器	
2	222	36	P14	楕円形	C	0.32	0.22	0.21	0.21	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層	-		
2	223	36	P19	円形	C	-	-	0.35	0.35	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-		
2	224	36	P20	不整形	C	0.62	0.50	0.09	0.09	褐色	10YR4/4	1層(砂質)	土器		
2	225	36	P14	方形	C	0.45	0.28	0.16	0.16	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層	-		
2	226	36	P19, 30	不整形	G	-	-	0.27	0.27	に濃い黄褐色 ～暗褐色	10YR4/3-5YR3/2	3層	焼土粒を多く混入	土器	
2	227	36	P29	楕円形	C	0.38	0.28	0.11	0.11	褐色	10YR4/4	1層(砂質)	土器		
2	228	36	P18	楕円形	A	0.32	0.30	0.24	0.24	に濃い灰褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	229	36	P18	楕円形	A	0.18	0.14	0.08	0.08	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	-		
2	230	36	P18	楕円形	A	0.24	0.20	0.17	0.17	に濃い灰褐色	10YR4/3	1層(砂質)	土器		
1	232	35	Q18	-	C	-	-	0.36	0.36	暗褐色	7.5YR3/4	1層	-		
1	233	35	Q20	-	C	-	-	0.24	0.24	に濃い黄褐色	10YR5/3	1層	土器、炭化物を多量に混入	土器	
1	234	35	Q20	-	C	-	-	0.38	0.38	に濃い黄褐色	10YR5/3	1層	土器、炭化物を多量に混入	-	
1	235	35	Q20, R16	楕円形	A	0.85	0.68	0.46	0.46	黄褐色	2.5Y4/1	1層	土器、炭化物ブロックを多く混入	土器	
1	240	35	R16	円形	C	0.63	(0.63)	0.28	0.28	黄褐色	2.5Y4/1	1層	土器、炭化物ブロックを多く混入	土器	
1	241	35	Q20	円形	A	0.50	0.46	0.32	0.32	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
1	247	35	Q20	楕円形	G	1.32	(0.86)	0.71	0.71	暗褐色	10YR3/1	1層	-		
1	248	35	Q20	楕円形	G	0.60	0.37	0.27	0.27	暗褐色	10YR4/1	1層	-		
1	249	35	Q20	不整形	G	1.10	0.98	0.81	0.81	暗褐色	10YR4/1	1層	土器、石器		
2	250	36	P18	円形	C	0.36	0.32	0.19	0.19	暗褐色	10YR3/4	1層	-		
2	251	36	P18	方形	G	0.44	0.42	0.54	0.54	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	252	平安	36	P19	長方形	C	-	0.88	0.66	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/3	5層(2層砂質)底部鉄分多量	土器	5B	
2	253	36	P18	円形	C	0.32	0.30	0.22	0.22	に濃い黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	254	36	P18	円形	C	0.56	0.50	0.36	0.36	に濃い黄褐色 ～暗褐色	10YR4/3-3/4	4層	土器、石器		柱組み?
2	255	36	P18	円形	C	0.50	(0.46)	0.60	0.60	灰黄褐色 ～に濃い黄褐色	10YR4/2-4/3	2層(1層砂質)	土器		
2	256	36	P18	-	A	-	-	0.11	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-		
2	257	36	P14	円形	C	0.42	0.41	0.29	0.29	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		

表15-3 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

塚地区	SK番号	時期	遺構	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色記号	層積状況	遺物	遺物ID	備考
2	258	36	P14	不整形	G	0.64	0.42	0.55	にぶい黄褐色 ～暗褐色	10YR4/3-2/3	3層	土器			
2	259	36	P18	横円形	C (0.38)	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器	土器			
2	260	36	P18	一	G	--	--	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	黒褐色土ブロックを 多く混入	土器		
1	262	35	Q15.20	--	--	--	--	0.38	灰黄褐色	10YR4/2	1層	--			
1	263	35	Q15	横円形	G	0.44	(0.30)	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	--			
1	264	35	Q15.20	円形	C	0.16	0.16	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	--			
1	267	35	Q26	--	--	--	--	0.52	灰黄褐色	10YR4/2	1層	--			
1	268	35	Q26	--	G	--	--	0.37	黒褐色	10YR3/2	1層	土器			
1	269	35	R16	不整形	G	0.94	0.56	0.35	灰褐色	10YR3/2	1層	土器			
2	271	36	P13	横円形	C	0.36	0.32	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
2	272	36	P18	円形	A	0.18	0.16	0.16	にぶい黄褐色 ～灰黄褐色	10YR3/3-4/2	2層 (砂質) 底部鉄分含積	--			
2	273	36	P18	円形	C	0.24	0.22	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
2	274	36	P15	円形	C	0.38	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
1	276	35	Q30	--	G	--	--	0.66	褐色	7.5YR4/3	1層	土器			
1	277	35	Q20	--	E	--	--	0.37	暗褐色	10YR3/2	1層	土器			
1	278	35	Q20	--	--	--	--	0.48	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器			
2	280	36	P18	円形	A	0.22	0.20	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 (砂質)	--			
2	281	36	P13.15	円形	A	0.42	0.42	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	282	36	P18	円形	A	0.22	0.22	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
2	284	36	P13.16	横円形	C	0.28	0.24	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
2	285	36	P18	横円形	A	0.38	0.30	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	286	36	P14	円形	C	0.20	0.18	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	287	36	P18	円形	B	0.72	0.70	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	暗褐色土ブロックを 多く混入	土器、空		
2	288	36	P15	円形	E	0.48	0.44	0.51	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	289	36	P14	円形	C	0.40	0.39	0.26	暗褐色	10YR3/4-3/3	3層	--		柱礎あり	
2	304	36	P15.20	円形	C	0.60	(0.52)	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	305	7代 7層	P19	円形	C	0.93	0.78	2.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	--	土器、石器、 木製品	89- 63	井戸	
2	306	36	P14	円形	A	0.32	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	307	36	P14	円形	A	(0.36)	0.34	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	308	36	P14	円形	E	0.40	0.38	0.54	にぶい黄褐色 ～暗褐色	10YR4/3-3/4	3層	土器			
2	309	36	P14	円形	A	0.30	0.30	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	310	36	P19	円形	C	0.22	(0.22)	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	--			
1	312	35	Q19	円形	A	0.10	0.08	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	--			
1	315	35	Q26	不整形	G	0.72	0.58	0.31	黒褐色	10YR3/2	1層	--			
2	322	36	P13	円形	C	0.30	(0.30)	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器			
1	334	35	Q18	円形	C	0.58	0.47	0.13	黒褐色	10YR3/2	1層	--			
1	336	35	Q18	横円形	C	0.24	0.16	0.06	黒褐色	10YR3/2	1層	--			
1	338	35	Q17	円形	A	0.30	0.26	0.05	黒褐色	10YR3/2	1層	--			
2	341	36	P14.19	一	G	--	--	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/2	2層	土器			
2	342	36	P13	円形	C	0.24	0.24	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	343	36	P13	横円形	A	0.46	0.40	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層	--			
2	344	36	P13	横円形	C	0.28	0.24	0.12	暗褐色	10YR3/4	1層	--			
2	345	36	P16.20	一	C	--	--	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/2	1層	土器			
2	346	36	P19	横円形	E	0.82	0.50	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	347	36	P20	円形	C	0.28	0.26	0.16	褐色	10YR4/4	1層	--			
2	348	36	P19	不整形	G	--	--	0.36	暗褐色	10YR3/3	1層	土器			
2	349	36	P19	横円形	C	0.40	0.34	0.17	暗色～暗褐色	10YR3/4-4/6	2層	土器			
2	361	36	P18	円形	A	0.21	0.20	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1層	--			
2	362	36	P18	円形	A	0.14	0.12	0.08	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	底部鉄分含積			
2	363	36	P18	方形	A	0.48	0.42	0.22	にぶい黄褐色 ～暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	炭化物・焼土粒を多 く混入	土器		
2	364	36	P14	円形	C	--	--	0.33	暗褐色	10YR3/4	1層	土器			
2	366	36	P14	不整形	G	0.78	0.44	0.26	暗褐色	10YR3/4	1層	--			
2	367	36	P13	長方形	C	0.52	0.34	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層	土器			
2	368	36	P19	不整形	G	0.50	0.42	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			

表15-4 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

地区	SK番号	時期	遺構ID	中地区	平面形	断面形状	口幅 (m)	深さ (m)	底径 (m)	色 調	土色版記号	層状状況	遺物	遺物ID	備考	
3	459	37	S20	円形	A	0.42	0.38	0.17	0.17	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	460	37	S20	楕円形	C	0.70	0.46	0.45	0.45	灰黄褐色-暗褐色	10YR4/2-3/4	3層	土器、石器		柱状穴	
3	461	37	S20	—	C	—	—	—	—	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	J-29			
3	462	37	S13, 20	円形	C	0.62	0.60	0.23	0.23	にじい-黄褐色	10YR4/3	2層	土器			
3	463	37	S16	楕円形	H	0.62	0.20	0.44	0.44	灰黄褐色-暗褐色	10YR4/2-3/4	2層	土器、石器			
3	464	37	S20	楕円形	A	0.68	0.36	0.15	0.15	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	灰黄褐色土ブロックを多く混入			
3	465	37	T16	不整形	G	0.74	0.62	0.47	0.47	灰黄褐色 —にじい-灰褐色	10YR4/2-4/3	3層	土器			
3	466	37	S20	円形	A	0.32	0.30	0.13	0.13	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	467	37	S20	円形	A	0.58	0.32	0.17	0.17	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	炭化物・焼土片を多く混入			
3	468	37	T16	楕円形	A	0.44	0.32	0.15	0.15	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	J-28			
3	469	37	T16	円形	C	0.38	0.30	0.17	0.17	にじい-黄褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層				
3	470	37	T16	楕円形	C	0.36	0.30	0.19	0.19	にじい-黄褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	—			
3	471	37	T16	円形	A	0.38	0.30	0.19	0.19	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	472	37	T16	円形	B	0.34	0.30	0.46	0.46	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	473	37	T16	円形	B	0.36	0.32	0.27	0.27	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器 59			
3	474	37	T16	円形	B	0.26	0.24	0.19	0.19	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	475	37	S15	円形	A	0.62	0.54	0.27	0.27	灰黄褐色-暗褐色	10YR4/2-3/4	2層	土器			
3	476	37	S20	楕円形	K	0.66	0.48	0.58	0.58	灰黄褐色-暗褐色	10YR4/2-3/4	2層	土器			
3	477	37	T16	円形	A	0.28	0.24	0.14	0.14	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	—			
3	478	37	T16	円形	A	0.32	0.28	0.19	0.19	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	479	37	T16	円形	A	0.30	0.24	0.18	0.18	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	—			
3	480	37	T16	円形	A	0.24	0.22	0.17	0.17	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	482	古代2期	37-47	T11, 16	不整形	A	3.14	2.12	0.22	0.22	にじい-灰褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器、石器 59		
3	483	37	S20	楕円形	E	0.76	0.58	0.66	0.66	にじい-黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器		片断あり	
3	484	37	S20	楕円形	C	—	—	0.58	0.58	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器、銅製品			
3	485	37	T16	円形	A	0.54	0.50	0.16	0.16	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
3	486	37	T16	円形	R	0.20	0.20	0.09	0.09	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	487	37	T16	円形	B	0.48	0.48	0.32	0.32	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	488	37	T16	不整形	A	0.48	0.40	0.22	0.22	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	489	37	T16	円形	A	0.18	0.18	0.06	0.06	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	—			
3	490	37	T11	楕円形	A	0.50	0.46	0.29	0.29	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
3	491	37	T16	円形	A	0.14	0.14	0.07	0.07	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	492	37	T16, 17	円形	A	0.64	0.62	0.29	0.29	にじい-灰褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器			
3	493	37	T16, 17	楕円形	A	0.82	0.48	0.34	0.34	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	494	37	T16	楕円形	A	0.28	0.24	0.16	0.16	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	495	37	T16, 17	楕円形	A	0.64	0.46	0.31	0.31	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	496	37	T16, 17	楕円形	A	0.58	0.80	0.29	0.29	にじい-灰褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	にじい-黄褐色の砂を多く混入			
3	497	37	T16	円形	A	0.28	0.26	0.28	0.28	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	498	37	T16	円形	A	0.18	0.18	0.09	0.09	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	—			
3	499	37	T16	円形	R	0.26	0.26	0.51	0.51	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	500	37	T11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	土器、石器			
3	501	37	T17	不整形	A	0.74	0.64	0.44	0.44	にじい-黄褐色 —暗褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器			
3	502	37	T17	円形	A	0.26	0.22	0.27	0.27	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	503	37	T17	円形	A	0.20	0.20	0.16	0.16	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	504	37	T17	円形	A	0.48	0.44	0.16	0.16	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	505	37	T17	楕円形	A	0.26	0.28	0.13	0.13	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	—			
3	506	37	T17	長楕円形	A	1.32	0.62	0.46	0.46	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
3	507	37	T17	方形	A	0.66	0.64	0.35	0.35	にじい-灰褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
3	508	37	T17	楕円形	A	0.48	0.38	0.29	0.29	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
3	509	37	T17	円形	A	0.22	0.22	0.14	0.14	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	510	37	T17	円形	A	0.28	0.26	0.21	0.21	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	—			
3	511	37	T17	円形	A	0.18	0.18	0.12	0.12	にじい-黄褐色	10YR4/3	1層	土器			

表15-5 飛鳥・平安時代の土坑(SK)一覧

坑 周長	SK番号	時期	遺構図	中継図	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	傾斜 (%)	色	層	土色概記号	層位状況	遺物	発物出	備考	
3	312	37	T16	-	不整形	-	-	-	-	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
3	313	37	T11, 16	不整形	G	1.30	0.66	0.31	0.66	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器、石器				
3	314	37	T11	方形	C	0.94	0.80	0.38	0.38	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
3	315	37	T11	長方形	C	1.62	0.60	0.42	0.42	灰黄褐色	10YR4/2	1層	1層 磁器色のブロックを多く 含む	土器、石器			
3	316	37	S15, 20	楕円形	K	0.60	0.46	0.21	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
3	317	37	T11, 16	楕円形	B	0.30	0.20	0.17	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	318	37	T18	楕円形	C	0.38	0.28	0.13	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	319	37	T13	円形	A	0.32	0.32	0.07	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	320	37	T13	楕円形	A	(0.54)	0.32	0.14	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	321	37	T18	円形	C	0.52	0.52	0.09	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	322	36	T18	楕円形	C	0.34	0.28	0.18	0.18	にぶい黄褐色	10YR3/3	1層	土器				
2	323	37	T18	楕円形	B	0.36	0.22	0.20	0.20	にぶい黄褐色	10YR3/3	1層 (砂質)	磁器砕片等 多量に混入	土器			
2	324	36	P11	円形	A	0.20	0.20	0.10	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	325	36	P11	円形	A	0.26	0.26	0.11	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	326	36	P11	円形	C	0.28	0.26	0.13	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	327	36	T15	円形	H	0.24	0.24	0.24	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	328	36	T13	長方形	C	0.60	0.28	0.10	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	329	36	T15	円形	C	-	-	0.37	0.37	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	330	36	P11	円形	C	0.74	0.70	0.56	0.56	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器、灰化物を 多量に混入	土器、石器		柱状あり	
3	331	37	S15, 20	不整形	C	-	-	0.38	0.38	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR4/3-3/4	2層	にぶい黄褐色の砂を 多く含む	土器、土器	60		
2	332	37	T19	円形	C	-	-	-	-	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR5/4-3/2	シルト～砂	鉄	64	竹片		
2	333	37	T18	円形	C	0.21	0.20	0.08	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 (砂質)	土器				
2	334	37	T18	円形	C	0.30	0.26	0.09	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	335	37	T18	円形	A	0.28	0.24	0.13	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	336	37	T18	円形	A	0.43	0.44	0.15	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	337	37	T19	円形	C	0.22	0.22	0.10	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 (砂質)	土器				
3	338	37	T11	-	-	-	-	0.48	0.48	-	-	-	-	-	-	-	
3	339	37	T17	楕円形	K	1.28	0.92	0.30	0.30	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR4/3-4/4	2層	土器				
3	340	37	T17	-	-	-	-	0.40	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	341	36	P11	楕円形	C	(0.68)	0.50	0.49	0.49	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	342	36	P16	長方形	C	0.42	0.34	0.13	0.13	灰黄褐色	10YR3/2	1層	土器				
2	343	36	P16	長方形	C	0.82	0.26	0.16	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	345	36	P13, 18	方形	C	1.04	0.96	0.29	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	346	36	P18	長方形	C	1.54	1.24	0.29	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器				
2	347	36	P12, 13	不整形	A	1.42	0.96	0.14	0.14	灰黄褐色	10YR3/2	1層	土器				
2	348	36	P13	長方形	C	0.74	0.58	0.27	0.27	灰黄褐色	10YR4/2	1層	灰化物を多く混入、 断面に粘土ブロック や灰化物の層がある	土器			
2	349	36	P13, 18	-	-	-	-	0.11	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	灰黄褐色 - 灰化物 ブロックを多量に混入	土器			
2	351	37	T18	楕円形	A	0.70	0.46	0.13	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	352	37	T14	楕円形	E	-	-	0.37	0.37	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器				
2	353	36	T15	円形	E	0.76	0.66	0.34	0.34	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器				
2	354	36	T15	楕円形	A	0.46	0.20	0.26	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	355	36	P11	円形	C	0.34	0.32	0.14	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	356	36	P11	方形	B	0.72	0.72	0.41	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	357	36	P11	楕円形	C	0.42	0.34	0.13	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	358	36	T20	-	-	-	-	0.35	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	359	36	T20	円形	C	0.86	(0.82)	0.38	0.38	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	360	36	P11, T15	円形	C	0.76	0.76	0.48	0.48	にぶい黄褐色 ～褐色	10YR4/3-3/4	2層	土器				
2	363	36	P13	楕円形	C	0.70	0.48	0.21	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器				
2	364	36	P18	楕円形	E	0.60	0.52	0.27	0.27	灰黄褐色	10YR3/2	1層	土器				
2	365	36	P12, 13	不整形	C	0.32	0.32	0.10	0.10	黄褐色	10YR3/2	1層	土器				
2	367	36	P13	-	C	-	-	0.20	0.20	灰黄褐色	10YR3/2	1層	土器				

表15-6 飛鳥・平安時代の土坑(SK)一覧

坑 番号	SK番号	時期	遺構ID	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色編記号	埋没状況	遺物	遺物ID	備考
2	568	36	P18	長持門形	C	0.96	0.33	0.25	1.00	にじみ・黄褐色	10YR5/4	1層	-	-	
2	371	36	T15	円形	C	0.82	(0.80)	0.28	0.30	灰黄褐色~暗褐色	10YR4/2~3/4	3層	土器、刀鏝	-	
2	372	36	T15	円形	B	0.26	0.26	0.13	0.14	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
2	573	36	T15	円形	C	0.26	0.24	0.14	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-	
2	574	36	F11	円形	C	0.30	(0.30)	0.16	0.16	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
2	575	36	T15	円形	C	0.28	0.24	0.16	0.16	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
2	576	36-37	T14	楕円形	G	0.24	0.18	0.26	0.26	灰黄褐色	10YR4/2	1層	炭化物を多量に混入	-	
2	577	36	T15	円形	C	0.78	0.70	0.44	0.44	にじみ・黄褐色	10YR4/3	2層	土器	-	
2	578	36	T15	-	-	-	-	-	0.08	にじみ・黄褐色	10YR4/3	2層	土器	-	
2	579	37	T18	-	-	-	-	-	0.30	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/4	2層	土器	-	
3	586	37	S15	楕円形	H	0.84	0.48	0.23	0.23	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-	
2	591	36	P16	楕円形	C	-	-	-	0.06	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/4	2層	土器、鏝	-	
2	592	36	T15	-	-	-	-	-	0.05	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/4	2層	土器	-	
2	613	36	T13	-	-	-	-	-	-	灰黄褐色	10YR4/2	1層(砂質)	-	-	
2	628	36	P13	方形	G	0.46	0.46	0.22	0.22	にじみ・黄褐色	10YR4/3	2層	土器	-	
2	627	36	P13	円形	A	0.50	0.44	0.19	0.19	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
2	629	36	F18	円形	D	0.38	0.36	0.33	0.33	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
2	630	36	P16	-	C	-	-	-	0.19	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
2	633	36	P12	楕円形	C	0.34	(0.26)	0.14	0.14	暗褐色	10YR3/4	1層	-	-	
2	634	36	P16	円形	C	0.24	0.22	0.22	0.22	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	666	39	V5	楕円形	C	0.72	0.43	0.13	0.13	にじみ・黄褐色	10YR5/3	1層	土器	-	
6	667	39	V5	楕円形	C	0.55	0.32	0.13	0.13	にじみ・黄褐色	10YR5/3	1層	-	-	
6	668	39	W1	楕円形	C	(0.84)	0.56	0.16	0.16	にじみ・黄褐色	10YR5/3	1層	土器	-	
6	669	39	V5	楕円形	C	1.00	0.46	0.11	0.11	にじみ・黄褐色	10YR5/3	2層	土器	-	
6	670	40	V19	楕円形	C	0.32	0.22	0.22	0.22	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	671	40	V23	不整形	C	0.69	0.42	0.23	0.23	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/3	2層	土器	-	
6	672	40	V23	楕円形	C	0.60	0.37	0.21	0.21	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/3	2層	土器	-	
6	673	40	V19	方形	E	0.38	0.53	0.57	0.57	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	674	40	V19	円形	C	0.28	0.22	0.23	0.23	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	675	40	V19	円形	C	0.32	0.26	0.26	0.26	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	676	40	V24	円形	C	0.30	(0.28)	0.28	0.28	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	677	40	V24	円形	A	0.36	0.34	0.40	0.40	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	678	40	V24	方形	C	0.44	0.40	0.23	0.23	にじみ・黄褐色 ~暗褐色	10YR4/3~3/3	3層	土器、石器	-	林蔵入り
6	679	40	V24	円形	E	(0.44)	0.41	0.23	0.23	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	680	40	V24	楕円形	C	0.44	0.32	0.15	0.15	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	681	40	V24	円形	C	0.22	0.21	0.25	0.25	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	682	40	V24	円形	C	0.22	0.22	0.24	0.24	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	683	40	V24	円形	E	0.42	0.35	0.42	0.42	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	684	40	V24	楕円形	C	(0.60)	(0.45)	0.28	0.28	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	685	40	V24	楕円形	C	0.47	0.24	0.23	0.23	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	686	40	V19	円形	A	0.40	0.39	0.29	0.29	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	687	40	V19	円形	C	0.33	0.30	0.26	0.26	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	688	40	V18	楕円形	C	0.46	0.35	0.14	0.14	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	689	40	V18	楕円形	C	0.46	0.36	0.15	0.15	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	690	40	V18	円形	C	0.34	0.28	0.11	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-	
6	691	40	V18	円形	C	0.30	0.26	0.29	0.29	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	692	40	V19	円形	C	0.30	(0.30)	0.15	0.15	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	693	40	V24	円形	E	0.22	0.20	0.23	0.23	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	694	40	V24	円形	C	(0.24)	0.23	0.18	0.18	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	695	40	V19	円形	C	(0.50)	0.46	0.40	0.40	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	696	40	V23	円形	C	0.26	0.25	0.18	0.18	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	-	-	
6	697	40	V23	円形	C	0.38	0.26	0.26	0.26	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器	-	
6	698	40	V23	楕円形	A	0.56	0.44	0.36	0.36	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	699	40	V23	楕円形	A	0.17	0.12	0.10	0.10	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	
6	700	40	V23	不整形	A	0.60	0.32	0.35	0.35	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	-	

表15-7 飛鳥・平安時代の土坑(SK)一覽

塚 周 区	SK番号	時期	遺構区	中地区	平面形	断面 輪郭	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 質	土色顔記号	堆積状況	遺物	遺物出	備考
6	701	40	V23	楕円形	C	0.36	0.26	—	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	702	40	V23	小菱形	G	0.44	0.43	0.30	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	703	40	V23, 24	—	C	—	—	0.42	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器	—	
6	704	40	V23	円形	C	0.30	0.28	0.22	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	705	40	V23	円形	B	(0.26)	0.26	0.23	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	707	40	V23	楕円形	C	0.42	0.26	0.31	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	710	40	V18	—	H	—	—	0.14	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	711	39	W1, 2	円形	C	1.30	(1.30)	—	—	—	—	—	土器、石器	井戸	
6	713	39	V5	円形	C	0.62	0.58	—	—	褐色色→黒褐色	10YR5/1-3/2	鉄分を多く混入	土器	井戸	
6	734	39	V23	円形	B	0.14	0.12	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
4	792	38-39	R19	楕円形	E	0.42	0.34	0.39	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	褐色の砂を多く混入	—	
4	783	38	R19	円形	A	0.26	0.24	0.19	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
4	784	38	R16	円形	A	0.30	0.28	0.38	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	787	39	V13, 14	長方形	C	0.78	0.32	0.17	—	—	—	—	土器	—	
6	788	39	V9	楕円形	C	0.39	0.32	0.39	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	789	39	V4	—	G	—	—	0.35	—	灰青色	10YR4/2	4層 (炭化物層あり)	土器	—	
6	791	39	V9	円形	B	0.24	0.20	0.25	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	792	39	V9	円形	B	0.24	0.24	0.25	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	793	39	V4	円形	H	0.36	0.36	0.14	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	795	39	Q24, V4	楕円形	G	0.48	0.34	0.45	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	796	39	V4	円形	C	0.30	0.26	0.19	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	797	39	Q24	円形	C	0.36	0.32	0.21	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	798	39	V4	円形	E	0.54	0.32	0.42	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	799	39	V4	円形	A	0.28	0.24	0.12	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	800	39	V4	円形	C	0.30	0.30	0.16	—	灰青色	10YR4/2	1層	—	—	
4	801	39	R18	円形	A	—	—	0.25	—	褐色	10YR4/4	1層	黒土粒、炭化物を多量に混入	—	
4	802	39	R18, 23	円形	C	0.44	0.42	0.42	—	灰青色	10YR4/2	1層	黒土粒、炭化物を多量に混入	1層、石器	
4	805	38-39	R19	楕円形	A	0.30	0.22	0.16	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
4	806	38-39	R24	楕円形	A	1.60	0.66	0.27	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
4	807	38-39	R19	円形	A	0.34	0.53	0.14	—	褐色色	10YR4/1	1層	黒土粒、炭化物を多く混入	—	
4	808	38-39	R24	楕円形	A	0.62	0.40	0.33	—	褐色色 —にじみ・黄褐色	10YR4/1-4/3	1層	鉄分を多く混入	—	
4	809	38-39	R24	楕円形	A	—	0.90	0.35	—	にじみ・黄褐色	10YR5/2	1層	土器	—	
4	810	39	V4	円形	B	0.20	0.20	0.36	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	811	39	Q24 V4	楕円形	A	0.68	0.56	0.12	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	黒土粒、炭化物を多く混入	土器	
6	812	39	Q24	円形	H	0.18	0.18	0.21	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	813	39	Q24	楕円形	B	0.50	0.44	0.52	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	814	39	Q24	楕円形	C	0.56	0.38	0.30	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	815	39	Q21	円形	A	0.50	0.42	0.66	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	816	39	Q24	楕円形	C	0.32	0.42	0.34	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	817	39	V9	楕円形	E	0.74	0.62	0.54	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	818	39	Q24	円形	C	0.22	0.22	0.17	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	819	39	Q24	楕円形	B	0.38	0.28	0.24	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
6	820	39	V4	円形	A	0.50	0.18	0.18	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	
4	821	38	R20	楕円形	A	0.28	0.24	0.69	—	褐色色	10YR4/1	1層	鉄分を多く混入	—	
4	822	38	R20	円形	A	0.30	0.30	0.69	—	褐色色	10YR4/1	1層	鉄分を多く混入	—	
4	823	38	R25	長方形	A	0.36	0.28	0.10	—	褐色色	10YR4/1	1層	鉄分を多く混入	—	
4	825	38	S16	不整形	C	—	—	0.18	—	黒褐色	10YR3/2	1層	—	—	
4	827	38	S16	不整形	G	1.56	0.76	0.42	—	にじみ・黄褐色 →灰青色	10YR5/4-5/6	1層	壁面崩れている	土器	
4	828	38-39	R19, 24	—	—	—	—	0.38	—	褐色	10YR4/4	1層	土器	—	
4	829	38	R19, 24	円形	A	0.64	0.60	0.26	—	にじみ・黄褐色 →黄褐色	10YR5/4-5/6	1層	土器	—	
6	830	39	Q24, 25	円形	B	0.45	0.44	0.18	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	
6	831	39	V4, S, Q24, 25	楕円形	C	1.06	(0.82)	0.21	—	灰青色 —にじみ・黄褐色	10YR4/2-4/3	2層	土器、石器	—	
6	832	39	V4, 9	楕円形	C	0.42	0.32	0.12	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	

表15-8 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

所在地	SK番号	時期	遺構間	中地区	平面形	前面 傾斜	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色記号	層階状況	遺物	遺物記	備考
	6 833	39	V4, 9	円形	E	0.36	0.34	0.49	0.68	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 834	39	V9	円形	C	0.74	0.62	0.36	0.38	にぶい黄褐色 - 暗赤褐色	10YR4/1-5/6	6層 (黄土層・炭化物層あり)	土器		
	6 835	39	V4	不整形	G	1.22	0.78	0.23	0.23	にぶい黄褐色 - にぶい赤褐色	10YR4/3-5YR4/3	3層 (黄土層あり) 炭化物を多く混入	土器、石器 鉄器		
	6 836	35	Q24	-	C	-	-	0.33	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 837	39	V4	長方形	E	0.60	0.68	0.56	0.56	灰青褐色 - にぶい黄褐色	10YR4/2-4/3	2層	-		
	6 838	古代5期	39-47	V4	長方形	A	2.72	2.24	6.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	6層 炭化物・黄土層を多量に混入	土器、石器	59	
	6 840	古代7期後半	39	V4, 5	-	-	-	-	-	-	-	-	土器、石器、種子	58	戸内
	4 841	38	S16	長方形	D	1.54	0.60	0.31	0.31	暗灰色	10YR4/1	1層 鉄分を多く混入	-		
	4 842	38	S16	方形	K	0.26	0.22	0.19	-	-	-	2層 炭化物を多く混入	土器		
	4 844	39	R18	円形	E	0.30	0.30	0.25	0.25	暗灰色	10YR4/1	1層 鉄分を多く混入	-		
	4 845	38	R18	円形	A	0.34	0.32	0.17	0.17	黄褐色	10YR3/2	1層 炭化物・炭土粒を多く混入	-		
	4 846	39	R18	円形	E	0.30	0.26	0.26	0.26	黄褐色	10YR3/2	1層 炭化物・炭土粒を多く混入	-		
	4 847	39	R18	-	-	-	-	0.07	0.07	黄褐色	10YR3/2	1層 炭化物・炭土粒を多く混入	-		
	4 848	38	R20, S16	楕円形	A	1.62	1.24	0.43	0.43	黄褐色-褐色	2.5Y3/2-10YR4/6	1層 (砂質)	土器		
	4 849	38	R20	楕円形	C	(1.68)	1.22	0.31	0.31	暗灰黄色	2.5Y4/2	1層 炭化物粒・炭土粒を多く混入	土器		
	6 850	39	V4	円形	G	0.62	0.58	0.46	0.46	にぶい黄褐色 - 暗褐色	10YR4/3-3/3	2層	土器		
	6 851	39	V4	円形	C	0.34	0.31	0.17	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
	6 852	39	V4	楕円形	B	0.30	0.24	0.20	0.20	灰青褐色	10YR4/2	1層	-		
	6 853	39	V4	不整形	-	-	-	0.28	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器		
	6 854	39	V4	楕円形	E	0.63	0.26	0.34	0.34	にぶい黄褐色 - 暗褐色	10YR4/3-3/3	3層	1層		
	6 855	39	V4	円形	E	0.26	0.54	0.35	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
	6 856	39	V4	-	-	-	-	-	-	-	-	4層	土器	柱状	
	6 857	39	V4	円形	E	0.46	0.46	0.10	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
	6 858	39	V4	楕円形	G	0.52	0.38	0.30	0.30	灰青褐色	10YR4/2	1層	土器		
	6 859	39	V4	円形	B	0.43	0.40	0.44	0.44	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-		
	6 859	39	V9, 14	-	-	-	-	0.33	0.33	にぶい黄褐色 - 暗褐色	10YR4/3-3/3	2層	-		
	4 861	38	R20, S16	-	-	-	-	0.14	0.14	暗灰色	10YR4/1	1層 鉄分を多く混入	-		
	4 863	38	S16	不整形	A	0.78	0.00	0.15	0.15	黄褐色	10YR6/6	1層	-		
	4 864	38	R19	円形	C	1.30	1.20	-	-	-	-	壁を混入	土器、石器、木製品	62-63	井戸
	4 868	飛鳥?	38	S16	楕円形	C	1.35	1.08	0.80	暗赤褐色	10YR6/6	1層 黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		
	4 869	38	S16	不整形	C	(1.26)	1.08	0.78	0.78	暗灰色	10YR4/1	1層 鉄分・炭褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		
	6 870	39	V9	-	-	-	-	0.27	0.27	暗褐色	10YR3/3	1層	-		
	6 871	39	V9	-	-	-	-	0.28	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 872	39	V4	楕円形	E	0.60	0.54	0.50	0.50	灰青褐色	10YR4/2	1層 炭化物を多く混入	-		
	6 873	39	V9	楕円形	E	0.46	0.38	0.24	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 874	39	V9	円形	K	0.48	0.42	0.25	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 875	39	V9	円形	C	0.30	0.28	0.11	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 876	39	V9	円形	C	0.46	0.38	0.15	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 877	39	V9	円形	C	0.38	0.26	0.15	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 878	39	V9	楕円形	C	(0.92)	0.70	0.18	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
	6 879	39	V14	-	H	-	-	0.43	0.43	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
	6 880	39	V9	円形	A	0.75	0.54	0.30	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
	4 881	38	S16	円形	E	0.22	0.22	0.38	0.38	にぶい黄褐色 - 黄褐色	10YR5/4-5/6	1層	-		
	4 882	38	S16	円形	A	0.12	0.12	0.06	0.06	灰青褐色	10YR4/2	1層 炭化物粒・炭土粒を多く混入	-		
	4 884	38	S17	楕円形	C	0.56	0.54	0.17	0.17	暗灰色-褐色	10YR4/1-4/4	1層	土器		
	4 886	38	S16	-	-	-	-	0.49	0.49	オリーブ褐色	2.5Y4/3	1層	-		

表15-9 飛鳥・平安時代の土坑(SK)一覧

坑 地区	SK番号	時期	遺構区	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	厚さ (m)	色 調	土色紙記号	埋積状況	遺物	遺物ID	備考
4	887	38-39	R23	-	E	-	-	-	0.31	褐色	10YR4/4	1層 焼土粒・炭化植物を多く混入	土器		
4	888	38-39	R23, 24	楕円形	C	1.44	1.20	0.61	褐色	10YR4/4	1層	土器、石器			
4	889	38	S17	楕円形	C	-	-	-	-	-	-	-	土器、石器		
6	891	39	V9, 14	-	-	-	-	-	-	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	892	39	V14	円形	G	0.28	0.24	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/7	1層	-	-		
6	893	39	V9	円形	C	0.39	(0.36)	0.10	灰褐色	10YR4/2	1層	-	-		
6	896	39	V4	楕円形	C	0.42	0.36	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
6	897	39	V4	-	-	-	-	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
6	898	39	V9	円形	A	0.35	(0.22)	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
6	899	39	Q25	円形	A	0.34	0.32	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
6	900	飛鳥?	V5	楕円形	C	2.00	1.64	-	-	-	-	-	土器、石器、鉄製品、磁器		丹戸
6	904	39	V4	楕円形	A	0.25	0.24	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
6	905	39	V9	円形	G	0.56	0.52	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	褐色の砂を多く混入	-		
6	906	39	V9	円形	F	0.38	0.36	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	褐色の砂を多く混入	-		
6	907	39	V4	楕円形	C	0.44	(0.32)	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
6	908	39	V9	楕円形	C	0.35	0.28	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
4	911	38	S18	長方形	C	0.66	0.36	0.47	灰褐色～褐色	2.5Y5/1～10YR4/1	1層	炭分を多く混入	土器		
4	912	38-39	R23	円形	A	0.59	0.54	0.13	赤褐色	10YR3/1	1層	土器			
4	913	38	S18	-	-	-	-	0.47	灰黄褐色 ～にぶい黄褐色	10YR4/2-4/3	2層	石器			
4	914	38	S17	円形	H	0.32	0.32	0.22	褐色～灰黄褐色	10YR5/1-4/2	2層	炭分を多く混入	-		
4	915	38	S17	円形	B	0.20	0.18	0.10	褐色	5Y4/1	1層	炭分を多く混入	-		
4	916	38	S17	-	-	-	-	0.28	黒褐色	10YR2/3	1層	-	-		
4	917	39	R18	-	-	-	-	0.28	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器、石器			
4	918	38	R25	不整形	C	1.22	0.90	0.18	褐色	10YR4/1	1層	炭分を多く混入	土器		
4	950	38	R20	楕円形	C	0.31	0.24	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-		
1	990	35	Q15, 20	-	G	-	-	0.33	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器			
5	1000	40	Q11	円形	E	0.32	0.24	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	-	-		
5	1010	40	Q14	円形	C	0.44	0.42	0.32	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	-	-		
5	1031	40	Q14	-	-	-	-	-	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層(砂質)	土器			
5	1032	40	Q14	-	A	-	-	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
5	1034	40	Q14	楕円形	A	0.78	0.65	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
5	1035	40	Q14	-	-	-	-	0.16	灰黄褐色～赤褐色	10YR3/2-4/4	6層(5層砂質)	土器、石器			
5	1036	40	Q14	-	-	-	-	-	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
5	1039	40	Q14	円形	B	0.24	0.22	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-		
4	1047	38	S12	長方形	E	1.02	0.58	1.03	褐色 ～にぶい黄褐色	10YR5/1-5/4	2層	-	-		柱礎あり
4	1058	38	S12	長方形	E	0.88	-	0.41	褐色 ～にぶい黄褐色	10YR5/1-5/4	1層	-	-		
5	1060	40	Q14	楕円形	B	0.30	0.64	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	-	-		
5	1061	40	Q14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土器、石器、鉄製品		丹戸
5	1062	40	Q4	-	-	-	-	-	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
5	1063	40	Q14	円形	B	0.26	0.22	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
5	1064	40	Q14	円形	B	0.22	0.20	0.18	灰黄褐色	10YR4/2	1層	-	-		
5	1067	40	L19	-	C	-	-	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	炭化物・焼土粒を多く混入	土器		
5	1068	40	L19	-	C	-	-	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
5	1069	40	L19	円形	A	0.28	0.22	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-	-		
5	1070	40	L19, 20	-	H	-	-	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器			
1	1072	38	S12	円形	G	0.58	0.54	0.19	灰色	10Y5/1	2層	炭分粒・鉄分プロックを多く混入	土器		
4	1074	38	S12, 13	円形	B	0.64	0.64	0.36	灰色	10Y5/1	2層	炭分粒・鉄分プロックを多く混入	-		
4	1075	38	S12	楕円形	G	0.60	0.42	0.19	灰色	10Y5/1	1層	炭分粒・鉄分プロックを多く混入	土器		
4	1076	38	S12	楕円形	C	-	-	0.17	灰色	10Y5/1	1層	炭分粒・鉄分プロックを多く混入	-		
4	1077	38	S13	円形	E	0.60	0.60	0.36	灰色	10Y5/1	1層	炭分粒・鉄分プロックを多く混入	土器、石器		

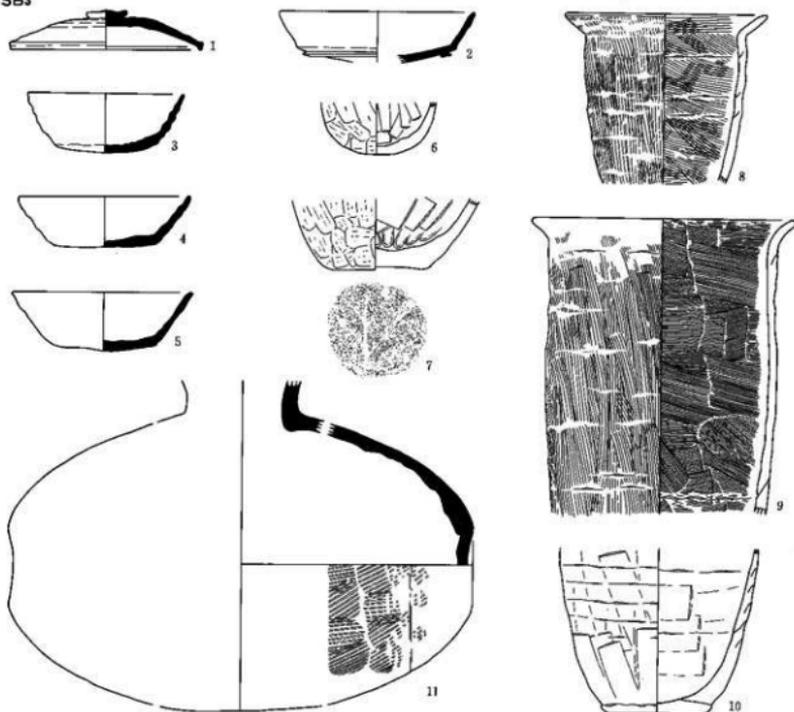
表15-10 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

区域	SK番号	時期	遺構種	中地区	平面形	断面 形状	径長 (m)	埋込 (m)	深さ (m)	色 調	土色測定号	埋込状況	遺物	遺物種	備考	
4	1078	38	S13	楕円形	B	0.56	0.48	0.32	褐色色	10YR3/3	1層	—	—	—		
4	1080	38	S11, 16	楕円形	C	0.86	0.56	0.23	明黄褐色	10YR5/6	1層	灰色土ブロックを多く 混入	—	—		
4	1082	38	S13	円形	C	0.56	0.52	2.62	にじみ-黄褐色	10YR5/4	1層	—	土器、お器	—		
4	1083	38	S18	楕円形	C	0.48	0.36	0.22	褐色	10YR1.7/1	1層	—	土器、骨	—		
4	1084	38	S11, 16	—	—	—	—	0.34	にじみ-黄褐色	10YR5/3	1層	—	土器、お器	—		
4	1085	38	S13	楕円形	E	0.66	0.62	0.46	褐色	10YR4/4	2層	—	土器、お器	—		
4	1095	38	S11	—	C	—	—	0.24	暗褐色	10YR3/4	1層	鉄分粒を多く混入	—	—		
4	1101	38	S17, 18	楕円形	C	0.50	0.34	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層	鉄分粒を多く混入	土器	—		
5	1109	40	L21	不規則形	—	—	—	0.20	明黄褐色 一灰黄褐色	10YR5/6-4/2	4層	炭土粒・炭化物粒・ 鉄分粒・明黄褐色土 ブロック・灰色土ブ ロックを多く混入	土器、鉄片、 製造刻片	—		
5	1111	40	L19	不規則形	G	2.26	1.58	0.39	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	土器、お器	—		
5	1112	40	L19	円形	A	0.38	0.32	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器	土器	—		
5	1113	40	L19	円形	A	0.18	0.16	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—		
5	1114	40	L19, 24	楕円形	A	0.70	0.56	0.22	灰黄褐色	10YR4/2	1層	鉄分粒・明黄褐色土 ブロック・灰色土ブ ロックを多く混入	—	—		
5	1115	40	L24	—	C	—	—	0.12	明黄褐色	10YR5/6	1層	—	—	—		
5	1116	40	L19	円形	A	0.54	0.44	0.33	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器	土器	—		
5	1117	40	L19	円形	A	0.42	0.34	0.24	褐色	10YR4/1	1層	—	—	—		
5	1118	40	L19	円形	B	0.28	0.263	0.43	暗褐色	10YR4/1	1層	—	—	—		
5	1119	40	L19	—	A	—	—	0.11	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	—	—		
5	1120	40	L19	方形	C	0.40	0.35	0.14	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	土器	—		
5	1121	40	L19	不規則形	C	1.00	0.64	0.23	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	土器、お器	—		
5	1122	40	L19	円形	A	0.44	0.38	0.08	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	—	—		
5	1123	40	L19	円形	A	0.30	0.20	0.10	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	—	—		
5	1124	40	L19	不規則形	A	—	—	0.11	褐色	10YR4/1	1層	鉄分・マンガンを多 く混入	—	—		
5	1125	40	L19	円形	A	0.30	0.263	0.07	にじみ-黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—		
5	1126	40	L19	円形	B	0.34	0.32	0.39	灰黄褐色-褐色	10YR4/2-4/4	2層	炭部鉄分を多く 混入	土器	—		
5	1128	40	L19	—	—	—	—	—	にじみ-黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—		
1	1141	35	Q14	円形	C	0.55	0.54	0.09	灰黄褐色	10YR4/2	1層	明黄褐色土ブロック、 炭化物を多量に混入	土器	—		
1	1152	平安?	35	Q15	楕円形	G	1.54	1.24	0.76	灰黄褐色	10YR4/2	1層	明黄褐色土ブロック、 炭化物を多量に混入	土器	—	
1	1154	35	Q12	円形	A	0.52	0.48	0.19	褐色	10YR3/2	1層	—	—	—		
1	1159	35	Q15	楕円形	C	0.85	0.70	0.05	褐色	10YR4/1	1層	径15-30mmの粒が多 く混入	土器、お器、 骨	—		
1	1162	35	Q13	—	C	—	—	0.49	黄褐色	2.5Y5/3	1層	鉄分粒を多く混入	土器	—		
1	1167	平安?	35	Q11	円形	C	0.64	0.60	2.25	—	—	—	土器	土器	片戸	
1	1169	35	Q13	—	C	—	—	0.21	黄褐色	2.5Y4/1	1層	炭化物粒・炭土粒、 鉄分粒を多く混入	土器、骨	—		
2	1227	36	P12	円形	—	—	—	—	—	—	—	—	土器	片戸?		
2	1228	36	P13	楕円形	B	0.54	0.46	0.34	にじみ-黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—		
2	1229	36	P13	円形	E	0.38	0.36	0.29	にじみ-黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—		
2	1230	36	P13	円形	C	0.48	0.48	0.33	にじみ-黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—		
1	1231	35	R11	—	—	—	—	0.68	灰褐色	2.5Y4/1	1層	炭化物粒・炭土粒、 鉄分粒を多く混入	土器	—		
1	1238	35	Q15	—	—	—	—	0.74	褐色	10YR4/1	1層	—	土器、お器 62	—		
1	1239	飛鳥	35	Q15, R11	楕円形	C	—	1.00	0.56	灰褐色	10YR3/2	1層	炭土粒・炭化物粒、 明黄褐色土ブロック を多く混入	土器、骨	—	
1	1240	35	Q15	楕円形	G	0.46	0.38	0.50	黒褐色	10YR3/2	1層	炭土粒、炭化物粒、 明黄褐色土ブロック を多く混入	—	—		
1	1241	35	Q13	—	—	—	—	0.27	黒褐色	10YR3/1	1層	—	—	—		
1	1242	35	Q14	—	C	—	—	0.39	明黄褐色 一灰黄褐色	10YR5/6-4/2	6層	炭化物を多量に混入	土器	—		
1	1246	35	Q13	円形	A	0.21	0.20	0.13	褐色	10YR2/2	1層	—	—	—		
1	1247	35	Q13	円形	C	0.35	0.32	0.21	黒褐色	10YR2/2	1層	—	—	—		

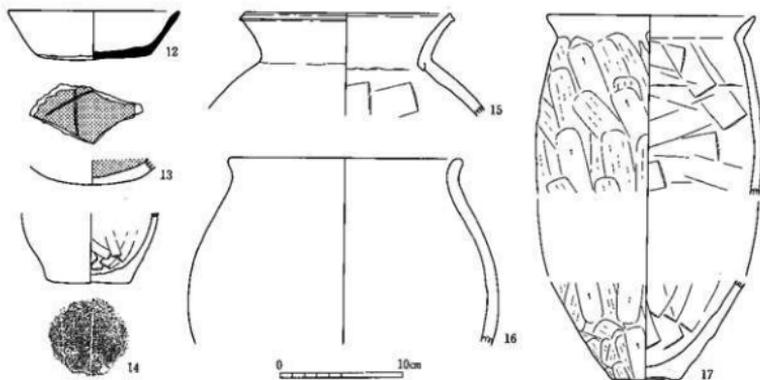
表15-11 飛鳥・平安時代の土坑 (SK) 一覧

坑 地区	SK番号	時期	遺構別	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色標記号	層位状況	遺物	遺物数	備考
1	1248	35	Q13	円形	A	0.56	0.50	0.17	灰褐色	10YR2/2	1層	—	—	—	—
1	1249	35	Q13	円形	A	0.42	0.40	0.20	黒褐色	10YR2/2	1層	—	—	—	—
2	1250	36	P13	円形	B	0.58	0.52	0.46	黒褐色	10YR3/3	1層	土器	—	—	—
2	1251	36	P13	円形	C	0.24	0.22	0.32	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1252	36	P13, 14	楕円形	G	0.64	0.38	0.43	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1254	36	P14	円形	C	0.42	0.40	0.37	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1255	36	P14	楕円形	C	0.62	0.45	0.24	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1256	36	P14	円形	C	0.34	0.30	0.37	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1260	36	T15	円形	C	0.64	0.58	0.56	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器	—	—	—
2	1261	36	P13	円形	G	0.56	0.50	0.31	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	2層	—	—	—	—
2	1262	36	P13	円形	B	0.52	0.50	0.39	12.5Y-R黄褐色 — 黒褐色	10YR4/3-2/3	2層	土器	—	—	—
2	1263	36	P14	円形	A	0.52	0.48	0.35	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	2層	土器	—	—	—
2	1264	36	P14	円形	H	0.34	0.30	0.32	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1267	36	P11	円形	C	0.46	0.44	0.26	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1268	36	P11	円形	C	0.38	0.38	0.36	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1269	36	P11	円形	C	0.38	0.38	0.22	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1270	36	P11	—	—	—	—	0.16	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1271	36	P11	—	C	—	—	0.30	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1272	36	P11	円形	C	—	—	0.06	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1273	36	P11	—	C	—	—	0.30	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
2	1274	36	P11	不規則形	C	1.30	0.44	0.20	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1275	36	P11	円形	C	—	—	0.21	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	3層 (最上層あり)	土器	—	—	—
2	1276	36	P11	—	—	—	—	0.24	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	土器	—	—	—
2	1277	36	P11	—	A	—	—	0.24	12.5Y-R黄褐色	10YR3/3	1層	—	—	—	—
1	1282	35	Q13	円形	A	0.48	0.43	0.24	黒褐色	10YR2/2	1層	土器	—	—	—
1	1283	35	Q13	円形	C	0.46	0.46	0.16	黒褐色	10YR2/2	1層	—	—	—	—
2	1289	36	P14	—	H	—	—	0.32	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	—
1	1292	35	Q14	円形	A	0.40	0.30	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—	—
1	1293	35	Q14	—	—	—	—	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—	—
1	1294	35	Q14	円形	C	0.42	0.35	0.22	灰黄褐色	10YR4/2	1層	—	—	—	—
1	1295	35	Q12	—	C	—	—	0.18	黒褐色	10YR2/2	1層	—	—	—	—
1	1297	35	Q13	—	—	—	—	0.28	黒褐色	10YR2/2	1層	—	—	—	—
2	1299	36	T15	楕円形	C	0.74	(0.48)	0.41	12.5Y-R黄褐色	10YR4/3	1層	炭化物を多く混入	—	—	—
6	1309	39	V9	—	—	—	—	—	12.5Y-R黄褐色 — 黒色	10YR3/2-2/3	3層	土器	59	—	—
6	1311	39	Q25, V3	楕円形	G	2.64	—	0.71	灰黄褐色	10YR4/2	1層	炭化物粒・焼土粒を多く混入	土器、石器	—	—

SB3

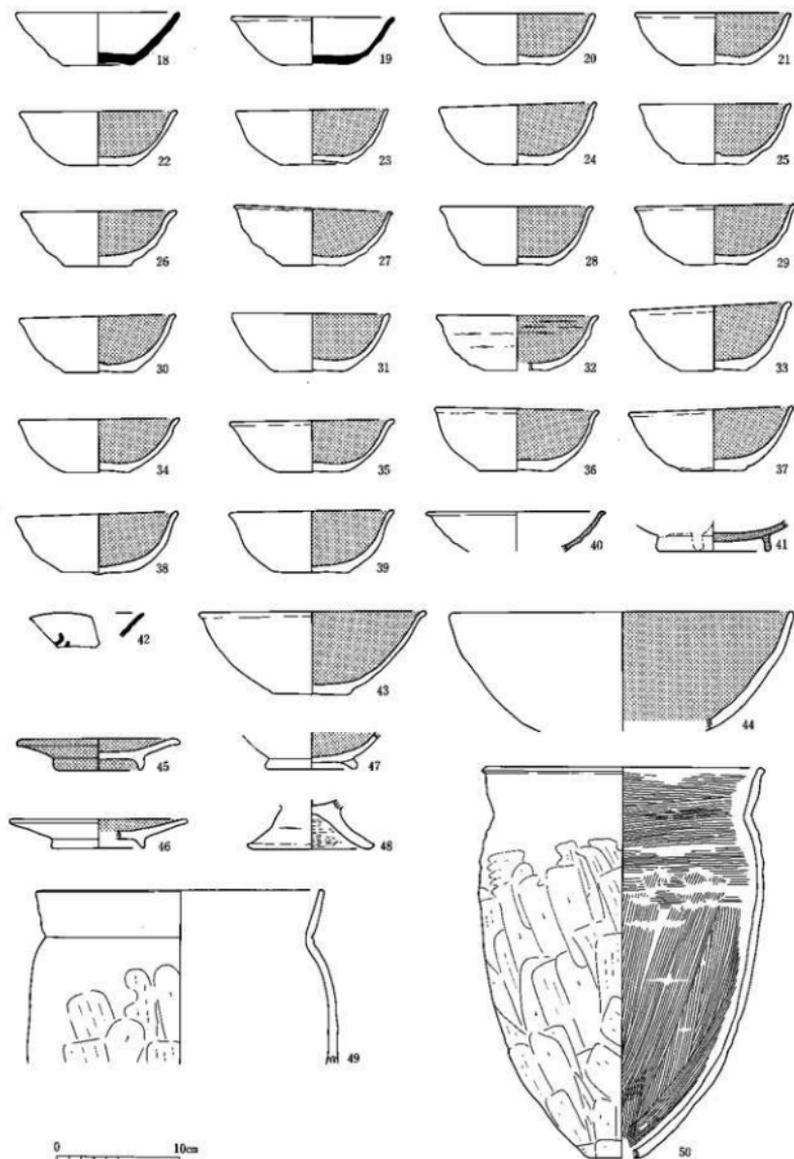


SB4

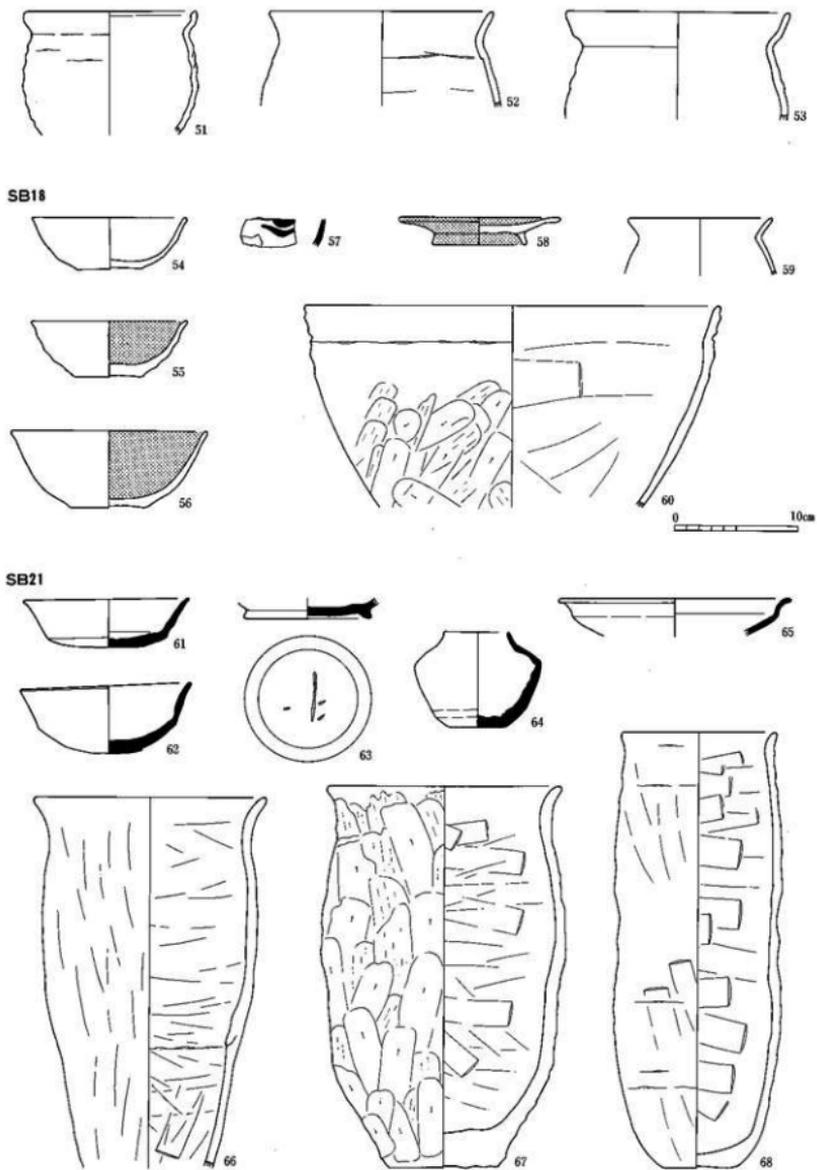


第48図 飛鳥・平安時代の土器 1

SB11



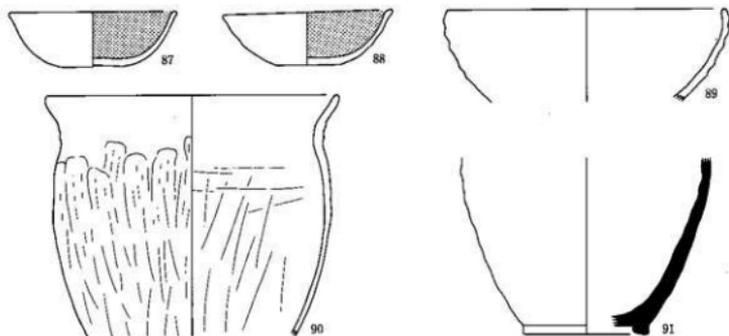
第49図 飛鳥・平安時代の土器 2



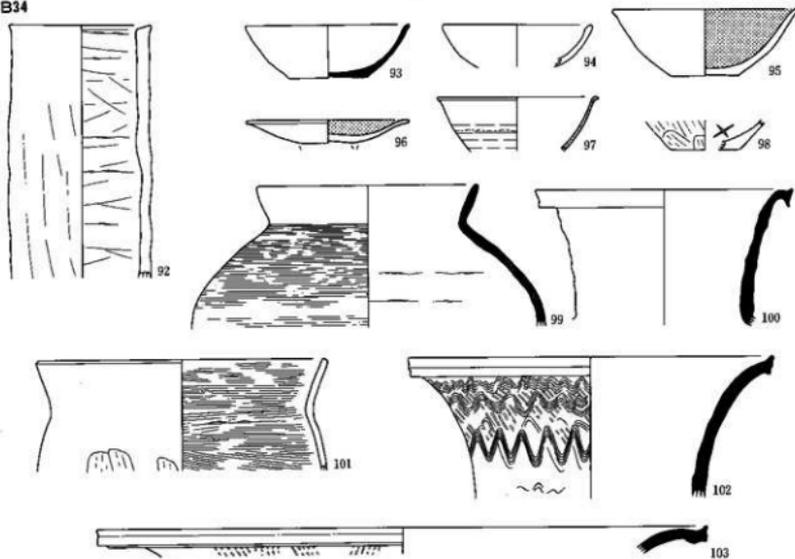
第50図 飛鳥・平安時代の土器 3



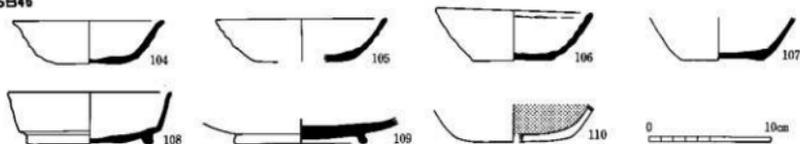
第51図 飛鳥・平安時代の土器 4



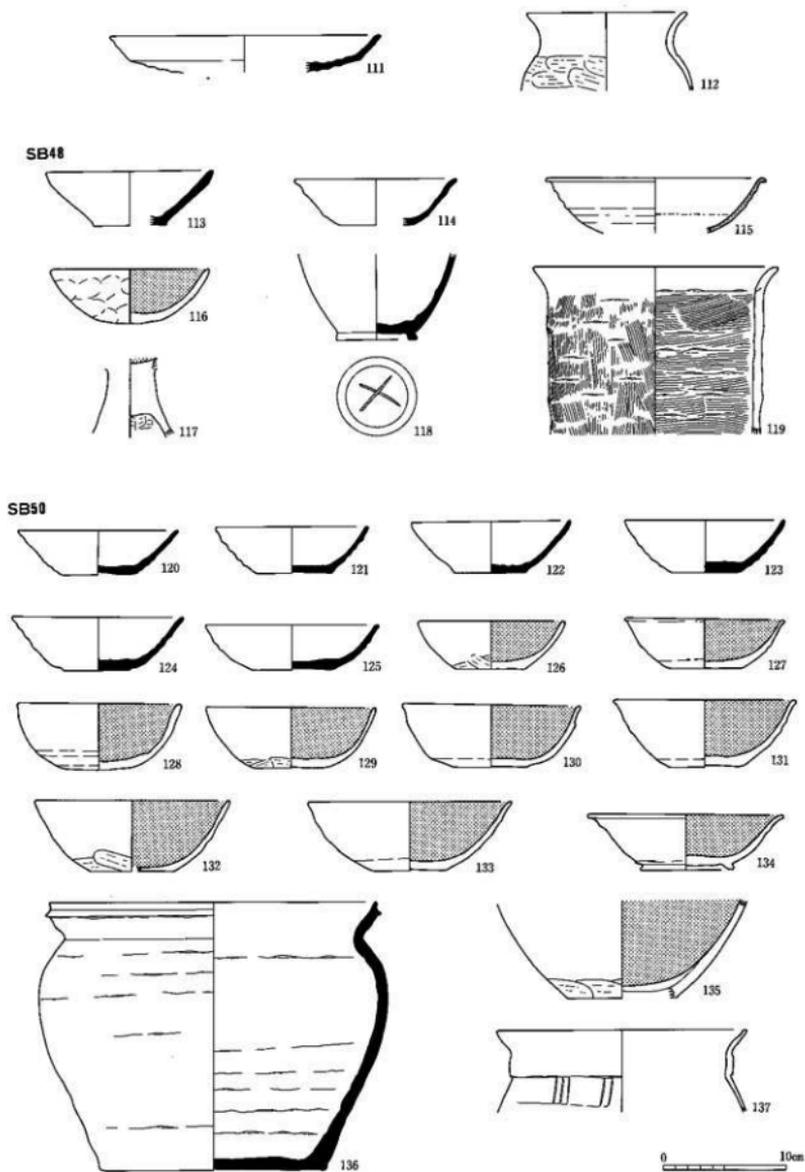
SB34



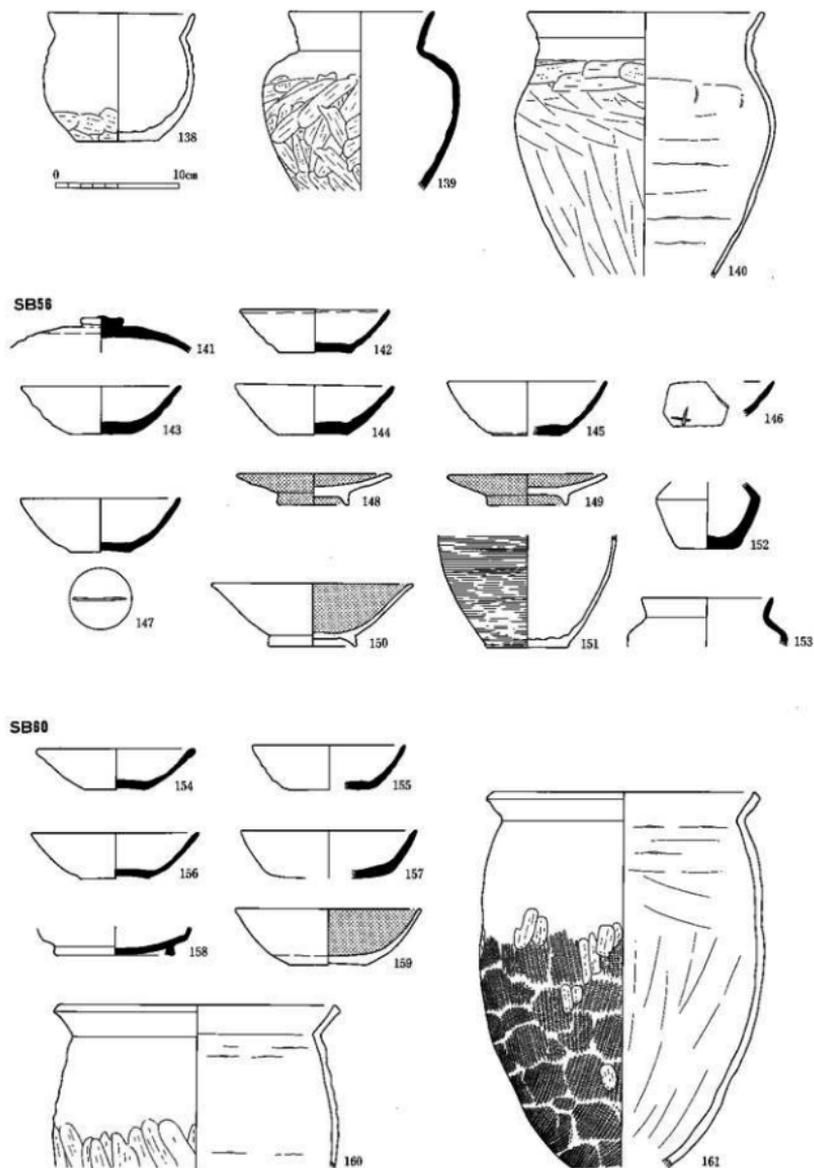
SB46



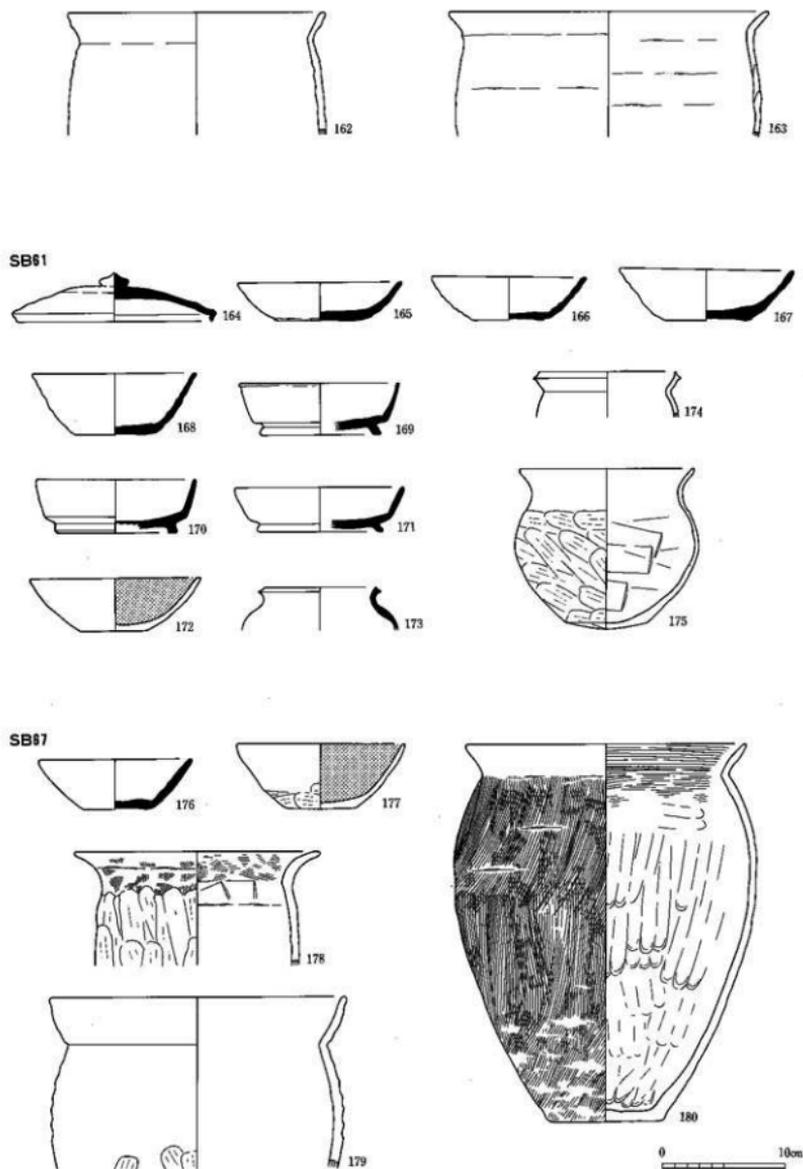
第52図 飛鳥・平安時代の土器 5



第53図 飛鳥・平安時代の土器 6

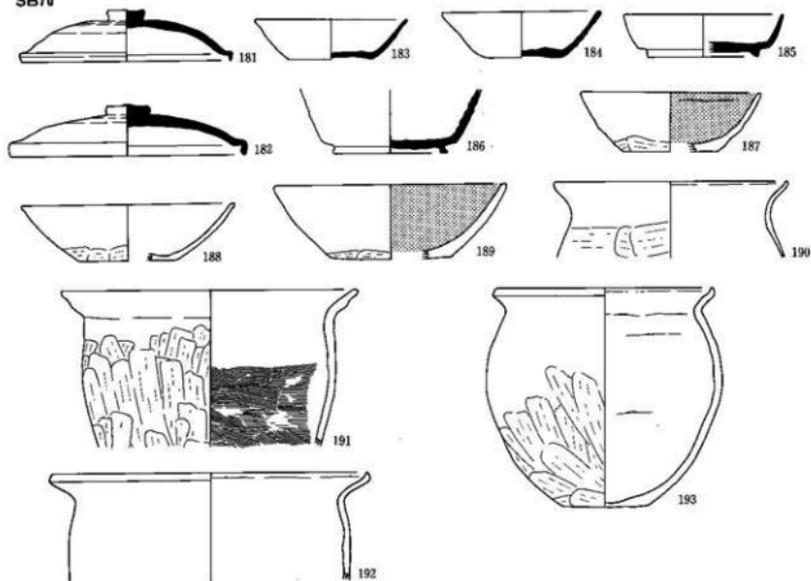


第54図 飛鳥・平安時代の土器 7



第55図 飛鳥・平安時代の土器 8

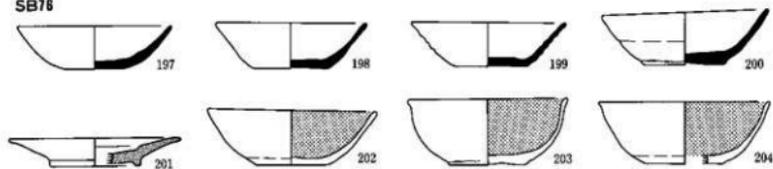
SB70



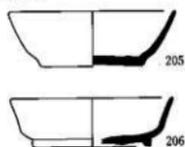
SB71



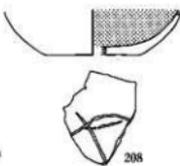
SB76



SB77

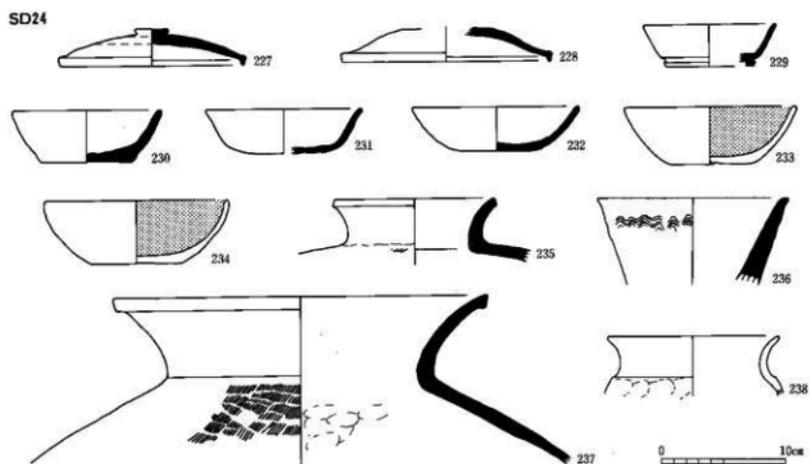
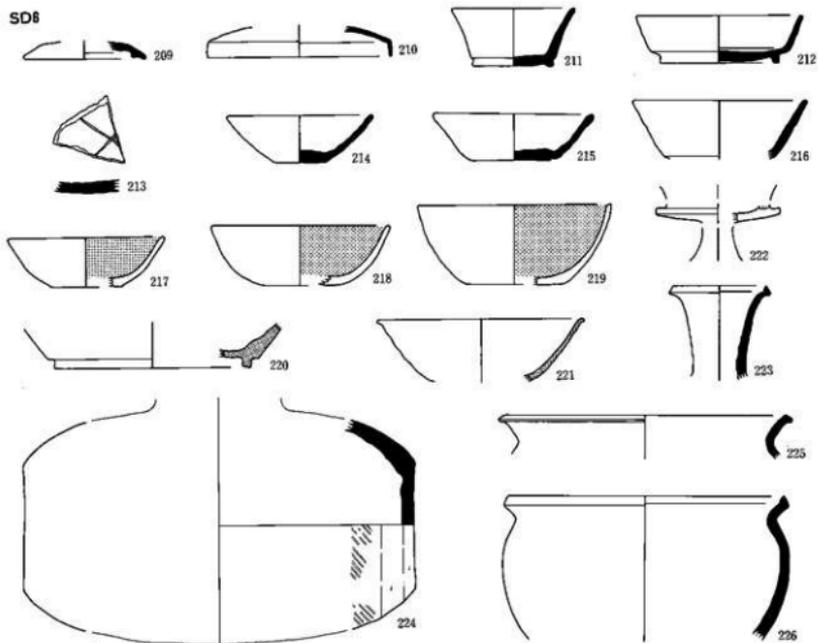


SB88

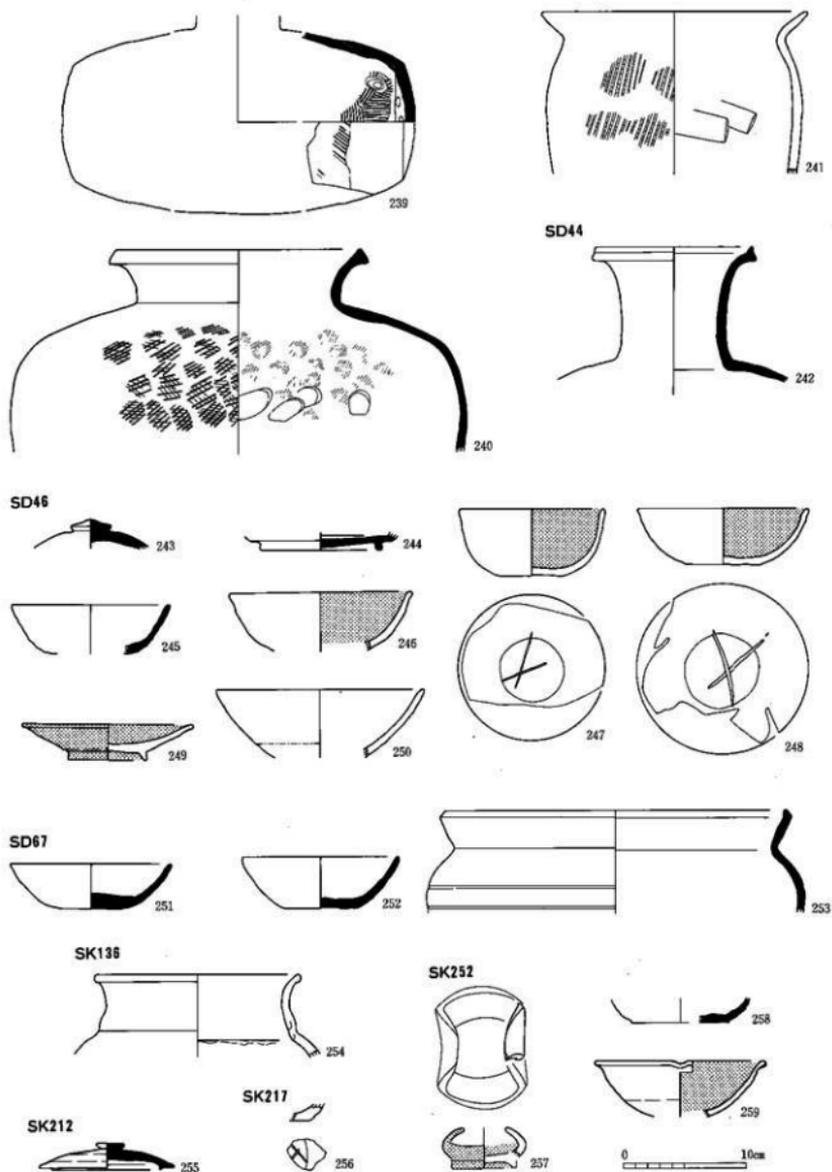


0 10cm

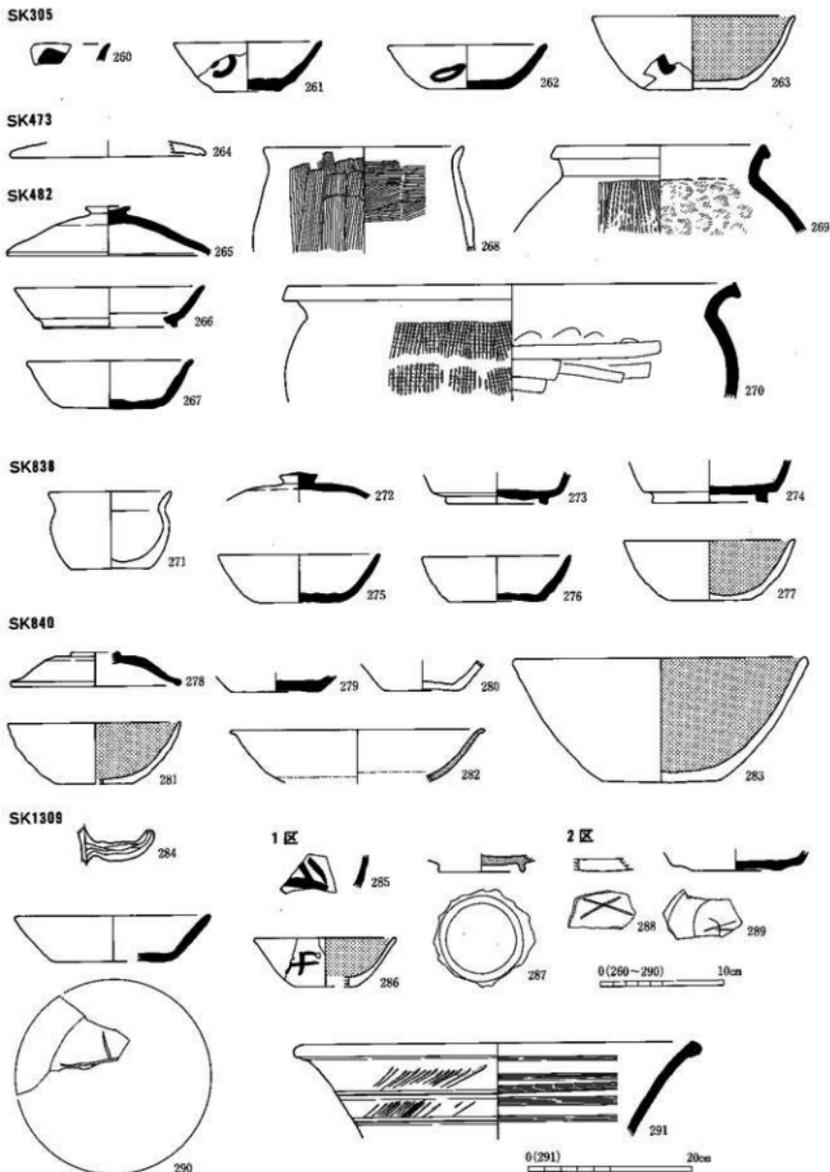
第56図 飛鳥・平安時代の土器 9



第57図 飛鳥・平安時代の土器 10

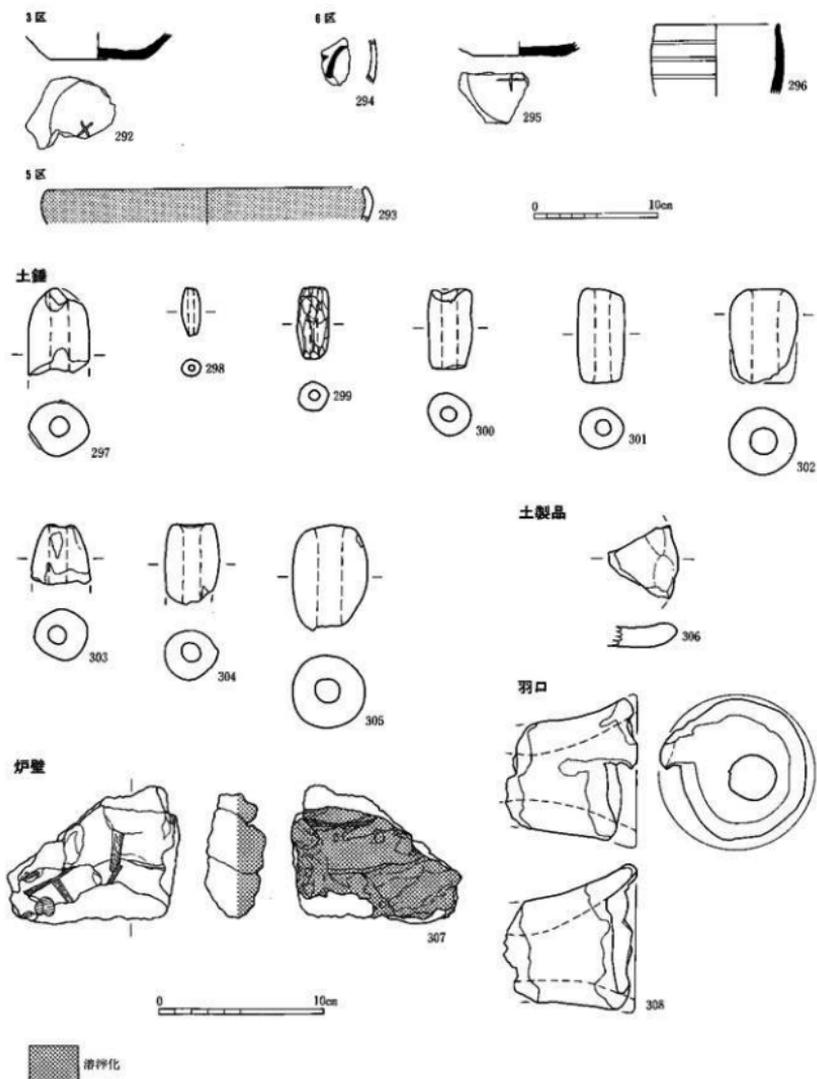


第58図 飛鳥・平安時代の土器 11



第59図 飛鳥・平安時代の土器 12

第2章 遺構と遺物



第60図 飛鳥・平安時代の土器 13 土鍾・土製品・炉壁・羽口

表16-1 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

決機番号	図番	出土状況	器種	器高	口径	底径	器内径	残存率	色 調	外面形状	内面形状	底部形状	備 考
SB3	48	1 床	甗	灰黒	15.6	—	3.3	完	外に白・黄、内赤黒	縁部ヘラツズリ、ロコロナデ	ロコロナデ	—	
SB3	48	2 カマド、床下、礎石	杯	灰黒	15.8	11.9	—	2/5	外明赤黒、内黒	上半ロコロナデ、下部縁部ヘラツズリ	ロコロナデ	高台ナデ、高台内ヘラツズリ	
SB3	48	3 床	杯	灰黒	12.8	8.2	4.9	4/5	黒黒	ロコロナデ	ロコロナデ	縁部ヘラツズリ	
SB3	48	4 礎石	杯	灰黒	14.0	8.2	4.2	1/4	オリブ灰	ロコロナデ	ロコロナデ	縁部ヘラツズリ	
SB3	48	5 床、礎石	杯	灰黒	14.6	8.4	4.8	ほぼ完	浅黄	ロコロナデ	ロコロナデ	縁部ヘラツズリ	底部破損
SB3	48	6 カマド	小甗	土師	—	—	—	1/3	外縁部、内におい煙	縁部タケツズリ	口縁ナデ	ケズリ	外面スス
SB3	48	7 礎石	甗	土師	—	8.6	—	1/5	におい煙	ケズリ	口縁ナデ、ナデ	木炭灰	外面スス
SB3	48	8 床、礎石	甗	土師	16.4	—	—	1/5	黒	口縁ヘケーナデ、縁部ハケ	ハケ	—	
SB3	48	9 床、カマド、礎石	甗	土師	21.4	—	—	1/4	黒	口縁ヘケーナデ、縁部ハケ	ハケ	—	
SB3	48	10 カマド	甗	土師	—	9.0	—	1/3	外におい煙部、内赤黒	工員ナデ	工員ナデ、ナデ	木炭灰	
SB3	48	11 床、カマド、礎石、礎石、礎石	甗	灰黒	—	—	—	1/3	外赤黒、内赤黒	平行タケキ→ロコロナデ	ナデ、ロコロナデ	—	
SB4	48	12 カマド	杯	灰黒	14.0	9.2	4.0	2/3	灰	ロコロナデ	ロコロナデ	縁部ヘラツズリ	底部破損
SB4	48	13 礎石	杯	黒色A	—	—	—	底1/2	外赤、内黒	ミダキ	ミダキ・黒色処理	ミダキ	内面、縁部
SB4	48	14 礎石	小甗	土師	—	7.0	—	2/5	黒	ナデ	ナデ、工員、ナデ	木炭灰	内面スス
SB4	48	15 礎石、SK298	甗	土師	17.6	—	—	1/6	浅黄	口縁ナデ→ミダキ、縁部ミダキ	口縁ナデ、縁部ミダキ	—	
SB4	48	16 床	甗	土師	19.0	—	—	1/6	におい煙	口縁ナデ、縁部ミダキ	口縁ナデ、他コソミダキ	—	
SB4	48	17 カマド、P1、礎石	甗	土師	16.8	5.6	—	1/2	外赤、内明赤黒	口縁ナデ、縁部タケツズリ	口縁ナデ、他工員ナデ	木炭灰	外面スス、内面スス
SB11	49	18 床下	杯	灰黒	13.3	5.4	4.3	2/3	灰	ロコロナデ	ロコロナデ	両面赤塗り	
SB11	49	19 礎石	杯	灰黒	13.2	5.4	3.9	4/5	灰白	ロコロナデ	ロコロナデ	両面赤塗り	軟質灰黒A
SB11	49	20 床フキ	杯	黒色A	12.6	5.6	4.2	3/4	外浅黄黒、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他タケミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	21 カマド、c、床、礎石、床下	杯	黒色A	12.6	5.5	4.3	1/2	外縁部、内黒	ロコロナデ	上半コソミダキ、下半ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	22 床	杯	黒色A	12.0	5.3	4.5	ほぼ完	外におい煙、内黒	ロコロナデ	ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	23 床	杯	黒色A	12.3	3.6	4.3	1/6	外赤、内黒	ロコロナデ	上半コソミダキ、下半ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	24 床	杯	黒色A	12.5	5.4	4.8	ほぼ完	外赤、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	25 礎石	杯	黒色A	12.2	6.2	5.0	4/5	外浅黄黒、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	26 礎石	杯	黒色A	12.6	6.2	4.5	ほぼ完	外赤、内黒	ロコロナデ	ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	27 礎石	杯	黒色A	12.6	5.8	4.8	4/6	外縁部、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	28 礎石	杯	黒色A	12.4	5.6	4.8	2/3	外灰白、内黒	ロコロナデ	上半コソミダキ、下部放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	29 カマドc	杯	黒色A	13.0	5.1	4.0	4/5	外におい煙、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	30 礎石	杯	黒色A	12.6	5.6	4.6	4/5	外浅黄、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	31 カマド、c、礎石	杯	黒色A	12.6	5.6	4.7	2/3	外におい煙、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他放射状ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	32 礎石	杯	黒色A	13.0	5.2	4.5	1/3	外赤、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	33 礎石	杯	黒色A	13.1	5.4	5.2	完	外浅黄、内黒	ロコロナデ	上半コソミダキ、下半ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	
SB11	49	34 礎石	杯	黒色A	13.0	5.0	4.4	3/4	外赤、内黒	ロコロナデ	ミダキ→黒色処理	両面赤塗り	縁部ヘラツズリ
SB11	49	35 床下	杯	黒色A	13.4	5.7	4.1	3/4	外赤、内黒	ロコロナデ	口縁コソミダキ、他タケミダキ→黒色処理	両面赤塗り	

表16-2 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	同番号	発掘番号	出土位置	器種	形状	口径	高さ	器高	残存率	色 調	外面形状	内面形状	施釉形状	備 考
SB11	49	36	礎土	杯A	黒色A	13.2	5.8	5.1	3/4	外洗黄緑、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色施釉	回転糸切り	
SB11	49	37	礎土	杯A	黒色A	13.2	5.1	3.6	完	外洗緑、内黒	ロクロナデ	口縁コシダキ、他ミダキ→白色施釉	回転糸切り	
SB11	49	38	礎土	杯A	黒色A	13.2	5.8	5.0	4/5	外洗緑、内黒	ロクロナデ	上半コシダキ、下半斜状ミダキ→白色施釉	回転糸切り	
SB11	49	39	床	杯A	黒色A	13.4	5.8	5.0	1/2	外洗黄緑、内黒	ロクロナデ	上半コシダキ、下半斜状ミダキ→黒色施釉	回転糸切り	
SB11	49	40	礎土	碗	灰緑	14.6	-	-	1/5	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB11	49	41	床D	碗	灰緑	-	9.3	-	1/3	灰灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	高台ナデ、高台内回転へつ切り
SB11	49	42	礎上	杯A	灰黒	-	-	-	小片	明オリープ	ロクロナデ	ロクロナデ	-	遺物
SB11	49	43	床	杯A	黒色A	18.4	5.4	6.7	1/2	外洗、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色施釉	回転糸切り	
SB11	49	44	カマドa、c	杯A	黒色A	27.9	-	-	2/3	外にふい、内黒	ロクロナデ、ナデ	ミダキ→黒色施釉	-	
SB11	49	45	床D	鉢B	黒色B	13.4	6.8	3.0	1/2	黒	ミダキ→黒色施釉	ミダキ→黒色施釉	-	高台ナデ、高台内回転へつ切り→ミダキ→黒色施釉
SB11	49	46	礎中	鉢B	白色A	14.5	7.4	2.4	1/4	外洗緑、内黒	ロクロナデ	ミダキ→白色施釉	-	高台ナデ
SB11	49	47	カマドa	碗	黒色A	-	7.4	-	1/3	外洗緑、内黒	ロクロナデ	杯縁斜状ミダキ→白色施釉	-	高台ナデ、高台内回転へつ切り・ナデ
SB11	49	48	礎土	?	土輝	-	10.2	-	3/4	外明赤褐、内におい	斜縁タミダキ	脚部ハケ→ナデ、他ミダキ	-	
SB11	49	49	カマドc、壁土	土輝	土輝	23.4	-	-	1/3	外洗、内におい	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	-	芥スス、内側成二ツ子口縁面取り
SB11	49	50	カマドc、礎上	土輝	土輝	23.1	4.0	32.0	1/2	外洗、内明黄緑	口縁ロクロナデ、他ケズリ	上半コシダキ、下半ケズリ	-	ケズリ 口縁面取り 内側成二ツ子
SB11	50	51	礎土	小笠D	土輝	14.0	-	-	1/5	外赤褐、内灰緑	ロクロナデ	ロクロナデ	-	内側成二ツ子
SB11	50	52	壁、カマドa、c	土輝	土輝	38.0	-	-	1/4	外洗緑、内におい	ロクロナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	-	外面スス
SB11	50	53	カマドc	小笠D	土輝	18.0	-	-	1/5	外明赤褐、内におい	ロクロナデ	ロクロナデ	-	外面スス、内側成二ツ子
SB18	50	34	礎土	杯A	土輝	12.6	9.4	4.2	3/4	黄緑	ロクロナデ	ロクロナデ	-	回転糸切り
SB18	50	35	礎土(壁)11、床下	杯A	黒色A	12.8	5.6	4.6	3/4	外洗、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色施釉	回転糸切り	内側成二ツ子
SB18	50	56	床	杯A	黒色A	16.0	6.2	6.2	1/2	外におい黄緑、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色施釉	回転へつ切り	外面スス、内側成二ツ子
SB18	50	57	礎土	杯A	黄赤	-	-	-	小片	明オリープ灰	-	-	-	遺物
SB18	50	58	P7	鉢B	白色B	13.2	7.8	2.3	1/2	黒	ロクロナデ→ミダキ→白色施釉	ミダキ→白色施釉	-	高台ナデ、高台内回転へつ切り
SB18	50	59	礎土	小笠D	土輝	11.8	-	-	1/5	外明赤褐、内におい	ロクロナデ	ロクロナデ	-	内側成二ツ子
SB18	50	60	カマド、P5	土輝	土輝	34.0	-	-	1/5	外洗、内明赤褐	上半ロクロナデ、下半ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	-	内側成二ツ子
SB21	50	61	礎上	杯A	黄赤	13.4	10.4	5.6	2/3	内灰白、内明オリープ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	回転へつ切り
SB21	50	62	床	杯A	黄赤	14.0	5.3	5.6	2/3	外におい赤褐、内灰黄緑	ロクロナデ	ロクロナデ	-	静止へつ切り
SB21	50	63	床	杯B	灰白	-	16.4	-	底のみ	灰		ロクロナデ	-	高台ナデ、高台内回転へつ切り
SB21	50	64	床	杯B	黄赤	5.3	4.8	7.9	完	外輪赤灰白、内輪灰白	ロクロナデ、底付足付へつ切り	ロクロナデ	-	回転へつ切り
SB21	50	65	床	黄赤	黄赤	19.0	-	-	坏1/6	灰灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB21	50	66	カマド、床	土輝	土輝	19.0	-	-	1/3	外におい赤褐、内黒	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	-	
SB21	50	67	カマド、礎上	土輝	土輝	19.0	9.0	31.2	1/2	外におい、内黒	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	-	水浸灰 外面スス、内側成二ツ子
SB21	50	68	床、礎土	土輝	土輝	12.6	5.8	35.8	2/3	外明赤褐、内におい黄赤	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	-	ナデ 外面スス、内側成二ツ子

表16-3 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺跡番号	図番	埋蔵層番号	出土位置	器種	見取図	口径	底径	高さ	残存率	色 調	外面整形	内面整形	底面整形	備 考
SB21	51	69	PI、床下	甕A	土師	—	—	—	1/4	外灰白、内黒焼	ナデ	1線ロクロナデ	ケズリ	内面直こげ
SB21	51	70	カマド、埋土	甕	土師	—	8.9	—	1/3	外明赤焼、内焼	工具ナデ	1線ナデ	—	
SB21	51	71	床	小甕A	土師	13.2	—	—	2/3	外焼、内焼	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	—	2次焼成?
SB21	51	72	カマド、床、埋土	甕A	土師	16.6	—	—	4/5	外明赤焼、内明焼	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	—	外面スス
SB23	51	73	埋土	杯D	黒色A	—	—	—	小片	—	—	ミダキ	ナデ	へう書き
SB23	51	74	埋土	杯D	黒色A	10.5	5.0	4.3	3/4	外焼、内黒	ヨコミダキ	上平ヨコミダキ、下平ミダキ→黒色処理	—	へう書き
SB25	51	75	埋土	甕B	黒色	17.1	—	3.8	完	外オリーブ灰	ロクロナデ、口縁ヘラケズリ	ロクロナデ	—	
SB25	51	76	埋土	杯A	黒色	12.4	5.8	4.3	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	口縁糸切り	
SB25	51	77	床、埋土	甕C	土師	21.6	3.0	27.0	2/5	外焼灰、内黒焼	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	ケズリ	外面スス、内面直こげ
SB25	51	78	カマド、埋土	甕D	灰赤	—	—	—	1/3	暗灰	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	—	可はけ?
SB27	31	79	床	杯A	灰赤	14.0	5.6	4.6	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	口縁糸切り	軟質黒色A
SB27	31	80	床	杯A	灰赤	14.4	6.2	4.4	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	口縁糸切り	軟質黒色A
SB27	31	81	床フキン	杯A	灰赤	14.0	6.8	4.4	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	口縁糸切りナデ	軟質黒色A
SB27	51	82	床	杯A	黒色A	12.8	5.2	4.2	完	外洗灰焼、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミダキ、他ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB27	51	83	床	杯A	黒色A	13.0	5.4	4.3	3/4	外洗灰焼、内黒	ロクロナデ	上平ヨコミダキ、下平ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB27	51	84	カマド、埋土	杯A	黒色A	13.0	—	—	1/2	外焼、内黒	ロクロナデ	ヨコミダキ→ナデミダキ→黒色処理	—	口縁部付着物
SB27	51	85	埋土	杯A	黒色A	13.2	3.5	4.2	3/4	外焼、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	黒青
SB27	51	86	埋土	杯A	黒色A	13.5	6.0	4.3	ほぼ完	外にふいね、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミダキ、他口縁部ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB27	52	87	床	杯A	黒色A	13.6	5.9	4.5	2/3	外焼灰、内黒	ロクロナデ	上平ヨコミダキ、下平部付ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB27	52	88	埋土	杯A	黒色A	13.8	5.2	4.3	3/4	外洗灰焼、内黒	ロクロナデ	上平ヨコミダキ、下平ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB27	52	89	床	杯	土師	22.6	—	—	1/4	外焼、内にふいね	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SB27	52	90	カマド、床	甕I	土師	24.0	—	—	1/3	灰	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	—	内面直こげ
SB27	52	91	埋土	長頸甕A	黒色	—	10.2	—	1/8	洗灰焼	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SB34	52	92	カマド、床、床下、埋土	内筒形土師	土師	11.6	—	—	1/2	外焼、内灰白	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	口縁ナデ	—	口縁部取り
SB41	52	93	埋土	杯A	黒色	13.4	6.3	4.4	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	口縁糸切り	軟質黒色A
SB41	52	94	埋土	杯A	土師	12.2	—	—	1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SB41	52	96	埋土	杯A	黒色A	15.1	5.5	5.4	1/4	外にふいね、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色処理	口縁糸切り	
SB41	52	96	灰、埋土	甕A	黒色A	13.3	4.3	1.9	1/2	外洗灰焼、内	ロクロナデ	口縁ヨコミダキ、他ミダキ→黒色処理	高台内筒糸切り	
SB41	52	97	埋土	杯	灰赤	13.1	—	—	1/5	外洗灰、内灰白	口縁ロクロナデ、他口縁ヘラケズリ	ロクロナデ	—	
SB41	52	98	埋土	甕	土師	—	5.6	—	底1/5	灰赤	ケズリ	ナデ	ケズリ	へう書き
SB41	52	99	埋土、埋土	甕D	黒色	18.2	—	—	1/5	黒焼	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他ナデ	—	
SB41	52	100	埋土	甕A	灰赤	21.0	—	—	11/5	外赤赤灰、内灰赤	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SB41	52	101	埋土	甕I	土師	24.0	—	—	1/4	外洗灰、内にふいね	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ハケ	—	外面スス、内面直こげ、口縁部取り
SB41	52	102	埋土、内筒	甕A	黒色	30.0	—	—	口1/4	外洗灰、内灰オリーブ	口縁ロクロナデ、口縁部ミダキ→ロクロナデ→洗灰文	ロクロナデ	—	

表16-4 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図面番号	出土層番号	出土位置	器種	器名	口径	高さ	体高	口径率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB41	52	103	竪土	杯A	灰赤	50.0	-	-	11/3	外オリーブ皿、内灰	口縁ロクロナデ、隆クエ→ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB46	52	104	竪土、SK1311	杯A	灰赤	12.2	6.8	3.3	1/3	外裾輪尻、内隆オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	禁止へう切り	
SB46	52	105	竪土	杯A	灰赤	14.0	8.0	3.3	1/3	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪へう切り	
SB46	52	106	竪土	杯A	灰赤	12.8	5.6	4.1	4/5	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	
SH49	52	107	竪土	杯A	灰赤	-	6.7	-	2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	
SH49	52	108	竪土	杯B	灰赤	13.4	10.3	4.3	2/3	外周オリーブ灰、内オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高内ナデ、高内内裾へうケズリ	
SB46	52	109	竪土	杯B	灰赤	-	11.0	-	高4/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高合ナデ、高内内裾へうケズリ	
SB46	52	110	埴土	杯A	黒色A	-	9.2	-	1/3	外唇、内黒	ロクロナデ	上中ヨコミガキ、下中ミガキ→黒色処理	禁止へう切り	
SB46	53	111	埴土	高麗	灰赤	22.0	-	-	高1/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB46	53	112	埴土	盤C	上脚	13.0	-	-	1/5	外灰黄輪、内においふ湯	口縁ロクロナデ、隆クエズリ	ロクロナデ	-	
SB48	53	113	カマド跡	杯A	灰赤	13.5	6.0	4.5	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	灰質灰赤B
SB48	53	114	埴土	杯A	灰赤	13.1	6.0	3.8	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	灰質灰赤A
SH48	53	115	埴土	筒	灰赤	18.0	-	-	1/4	灰白	上中ロクロナデ、下中隆へうケズリ	ロクロナデ	-	鼻、ハケ
SH48	53	116	埴土	杯A	灰色A	13.0	5.4	4.5	1/4	外においふ湯、内黒	口縁ロクロナデ、隆クエズリ	上中ヨコミガキ、下中ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SH48	53	117	埴土	高麗	灰色A	-	-	-	高2/3	脚外赤輪、脚内灰	脚ナデミガキ	脚内ミガキ→黒色処理、脚内ケズリ、ナデ	-	
SB48	53	118	カマド跡、SK727	高麗	盤A	6.6	-	-	1/3	外赤灰、内灰赤	ロクロナデ	ロクロナデ	高合ナデ、高内内裾へうケズリ	へうケズリ
SH48	53	119	床、遺土、SB49	雙口	土脚	20.0	-	-	1/5	外灰赤、内黒	口縁ロクロナデ、隆クエのハケ	口縁ロクロナデ、隆クエのハケ	-	外周スス、内周底こじ
SB59	53	120	埴土	杯A	灰赤	13.0	6.1	3.7	4/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	灰質灰赤B
SB59	53	121	埴土	杯A	灰赤	12.4	6.2	3.8	3/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	裾輪赤切り	灰質灰赤B
SB59	53	122	埴土	杯A	灰赤	13.0	5.8	4.2	3/4	灰赤	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	内面付遺物
SB59	53	123	埴土	杯A	灰赤	13.0	5.4	4.3	4/5	外周輪尻、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	外面付遺物、軟質灰赤B
SB59	53	124	遺土	杯A	灰赤	14.0	5.5	4.4	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	軟質灰赤C
SB59	53	125	埴土	杯A	灰赤	14.1	6.7	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	軟質灰赤A
SB60	53	125	灰	杯A	黒色A	12.0	5.6	4.0	壳	外においふ湯、内黒	ロクロナデ、底付ケズリ	上中ナデミガキ、下中ミガキ→黒色処理	裾輪赤切り	ナデ
SH60	53	127	灰	杯A	灰色A	12.9	5.8	4.7	11/12壳	外においふ湯、内黒	ロクロナデ、底付同輪へうケズリ	ミガキ→黒色処理	裾輪へう切り	
SB60	53	128	灰	杯A	灰色A	13.5	5.0	5.5	3/4	外灰黄輪、内黒	上中ロクロナデ、下中隆へうケズリ	口縁ヨコミガキ、隆クエミガキ→黒色処理	裾輪へう切り	
SB60	53	129	埴土	杯A	黒色A	13.8	5.7	5.0	3/4	外周尻、内黒	ロクロナデ、底付ケズリ	上中ヨコミガキ、下中ミガキ→黒色処理	禁止へう切り	外面付遺物
SB60	53	130	埴土	杯A	黒色A	14.6	6.0	5.1	3/4	外周赤輪、内黒	ロクロナデ、底付同輪へうケズリ	上中ヨコミガキ、下中隆へうケズリ	同輪赤切り→同輪へうケズリ	
SB60	53	131	埴土、SB54	杯A	黒色A	14.8	5.6	5.5	2/3	外唇、内黒	ロクロナデ、底付同輪へうケズリ	口縁ヨコミガキ、隆クエミガキ→黒色処理	同輪へう切り	
SB60	53	132	埴土	杯A	黒色A	15.0	6.9	5.8	1/3	外灰輪、内隆	ロクロナデ、底付ケズリ	ミガキ→黒色処理	禁止へう切り	
SB60	53	133	埴土	杯A	灰色A	16.6	5.9	5.7	12/12壳	外灰輪、内赤	ロクロナデ、底付同輪へうケズリ	口縁ヨコミガキ、隆クエミガキ→黒色処理	同輪へう切り	外周スス
SB60	53	134	埴土	筒	黒色A	16.0	7.6	4.6	12/12壳	外唇、内黒	ロクロナデ	ロクロナデ	高合ナデ、高内内裾へうケズリ	
SB60	53	135	カマド、遺土	盤D	黒色A	9.0	-	-	1/5	外灰黄、内黒	ロクロナデ、底付ケズリ	放射状ミガキ→黒色処理	-	
SB60	53	136	竪土、床下	雙口	灰赤	27.1	18.5	21.9	2/3	外周青尻、内灰	ロクロナデ	ロクロナデ	禁止へう切り	
SB60	53	137	埴土	盤C	土脚	20.0	-	-	1/5	におい湯	口縁ナデ、施工具ナデ	ロクロナデ	-	

表16-5 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覽

遺跡番号	図番	出土位置	形状	見かけ	材質	年代	出土層	出土率	色	調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB30	54	138	甕上・床下	小壺 D	灰土	11.9	6.7	10.5	3/4	にぶい産	ロクロナデ、底付蓋ケズリ	ロクロナデ	回転糸切り	外周スス、内周黄コゲ
SB30	54	139	甕上	短瓶 壺 B	灰土	11.8	-	-	1/4	外周灰、内周黄	口縁、甕上平ロクロナデ他ケズリ	ロクロナデ		
SB30	54	140	甕上	壺 C	灰土	19.2	-	-	1/3	外産、内におい産	口縁ロクロナデ、底ケズリ	口縁ロクロナデ、他ケズリ	-	外周スス、内周黄コゲ
SB36	54	141	甕上	壺 B	灰土	-	-	-	1/2	灰白	ロクロナデ、口縁へラケズリ	ロクロナデ	-	
SB36	54	142	甕上	杯 A	灰土	12.2	-	3.5	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB36	54	143	甕上	杯 A	灰土	13.0	5.0	3.9	3/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB36	54	144	甕上	杯 A	灰土	13.1	5.7	4.1	ほぼ全	外灰、内オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB36	54	145	甕上・床下	杯 A	灰土	13.0	5.5	4.4	1/3	外灰黄産、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質灰土 C
SB36	54	146	甕上	杯 A	灰土	-	-	-	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	-	へラ書き
SB36	54	147	甕上	杯 A	灰土	13.0	5.2	4.4	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	へラ書き 軟質灰土 B
SH36	54	148	床・床下	皿 B	黒色 B	12.6	2.9	2.6	4/5	黒	ヨコミダキ	ミダキ一色色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SH36	54	149	甕上	皿 B	黒色 B	13.0	6.6	2.5	2/3	黒	ヨコミダキ	ミダキ一色色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB36	54	150	床・甕上・床下	碗	黒色 A	16.5	7.3	5.2	2/3	外産、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミダキ、下半ミダキ一色色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB36	54	151	甕上・床下	小壺 D	灰土	-	6.7	-	1/3	外産、内におい産	カキノ	ロクロナデ	回転糸切りナデ	
SB36	54	152	床下 D	短瓶 壺 B	灰土	-	4.4	-	1/3	にぶい産	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB36	54	153	甕上	短瓶 壺 B	灰土	10.7	-	-	1/5	黄産	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB60	54	154	甕上	杯 A	灰土	12.9	3.0	3.3	3/4	にぶい産	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	155	甕上	杯 A	灰土	12.6	6.4	3.7	1/3	産	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	156	床下	杯 A	灰土	14.6	5.7	3.7	4/5	外灰産、内灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	157	床下	杯 A	灰土	14.4	10.4	-	1/6	外赤産、内赤産	ロクロナデ	ロクロナデ	ナデ	
SB60	54	158	カマド	杯 B	灰土	-	9.8	-	1/3	黄産	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SH60	54	159	カマド袖	杯 A	黒色 A	15.2	6.4	4.6	2/3	外灰黄産、内黒	ロクロナデ、底付蓋付へラケズリ	上半ヨコミダキ、下半ミダキ一色色処理	回転糸切り・回転へラケズリ	
SH60	54	160	カマド	壺	土器	22.4	-	-	1/5	にぶい産	上半ロクロナデ、下半ケズリ	ロクロナデ	-	口縁黄取り
SB60	54	161	床、カマド、甕上、カマド袖	壺	土器	22.0	-	-	1/3	外産、内黒産	上半ロクロナデ、下半ケズリ	口縁ロクロナデ、他ケズリ	-	
SB69	55	162	床下	壺	土器	21.0	-	-	1/5	外におい産、内産	ロクロナデ	ロクロナデ	-	内周黄コゲ?
SB69	55	163	カマド袖	壺	土器	26.0	-	-	1/5	灰黄産	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB61	55	164	床	壺 B	灰土	-	15.9	4.0	4/5	外周オリーブ灰、内オリーブ灰	回転へラケズリ、ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SB61	55	165	甕上	杯 A	灰土	13.4	7.6	3.2	1/3	灰灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転へラケズリ	底縁黄産
SB61	55	166	甕上	杯 A	灰土	12.5	3.7	3.6	ほぼ全	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB61	55	167	床下、カマド	杯 A	灰土	14.1	6.8	4.2	3/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	磨上へラケズリ	軟質灰土 C
SB61	55	168	甕上	杯 A	灰土	13.4	6.0	5.9	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SH61	55	169	甕上	杯 B	灰土	13.0	9.7	4.3	1/5	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り?	
SH61	55	170	甕上	杯 B	灰土	13.0	9.9	4.4	1/2	外オリーブ灰、内黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB61	55	171	甕上	杯 B	灰土	13.8	10.2	3.6	1/4	外オリーブ灰、内におい産	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り・回転へラケズリ	
SH61	55	172	床	杯 A	黒色 A	13.9	5.4	6.3	6/5	外産、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミダキ、下半ミダキ一色色処理	回転へラケズリ	

表16-6 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺物番号	図番号	出土位置	器種	長径	口径	底径	高さ	器容	色 調	外観形状	内面形状	底部形状	備 考
SB61	55	173 坪上	煎茶碗D	10.0	—	—	1/6	外赤黒、内暗赤灰	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SB61	55	174 坪上	小壺D	11.1	—	—	1/6	外にふいぶ風、内におい風	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SB61	55	175 カマド、坪上	甕C	14.2	6.7	13.2	2/3	外にふいぶ、内におい風	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	ケズリ		
SB67	55	176 坪	杯A	12.6	5.3	4.1	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A	
SB67	55	177 坪下	杯A	13.7	—	—	2/3	外灰白、内灰	ロクロナデ、底付近ケズリ	ミガキ→灰色処理	ヘラケズリ		
SB67	55	178 カマド	甕I	20.0	—	—	1/6	におい風	口縁ハケナデ、他ケズリ	口縁ハケナデ、他ケズリ	—		
SB67	55	179 カマド・埋土	甕I	24.2	—	—	1/6	外浅黄、内暗黒灰	上半ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	—	内面黒こげ	
SH67	55	180 カマド・埋土	甕I	22.8	9.7	30.9	2/5	外明黄褐色、内黒灰	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ハケナデ、他ケズリ	ナデ	外層スス、内面黒こげ	
SH70	56	181 カマド・埋土	甕B	19.0	—	4.2	1/4	灰白	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	—		
SH70	56	182 カマド	甕B	19.0	—	4.2	2/3	灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	—		
SB70	56	183 埋土・床下	杯A	12.4	6.4	3.3	1/3	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		
SB70	56	184 埋土	杯A	13.0	6.0	3.8	ほぼ完	外オリーブ灰、内明オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		
SB70	56	185 坪上	杯B	12.9	9.0	3.5	1/4	暗灰	ロクロナデ	ロクロナデ	溝白ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ		
SB70	56	186 カマド・埋土・カマド下	杯B	12.9	—	9.2	—	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SH70	56	187 埋土・床下	杯A	14.5	7.6	4.8	1/3	外浅黄褐色、内黒灰	ロクロナデ、底付近ケズリ	口縁ヨコミガキ、他ケズリ ミガキ→灰色処理	ケズリ		
SH70	56	188 埋土	杯I	17.3	7.9	4.6	1/6	黒褐色	ロクロナデ、底付近ケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ケズリ	内面付着物	
SB70	56	189 カマド下・埋土	杯A	13.6	—	8.1	1/8	外におい風、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	口縁ヨコミガキ、他ケズリ ミガキ→灰色処理	ヘラケズリ		
SB70	56	190 カマド下	甕C	18.8	—	—	1/5	外黒、内黒褐色	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	—		
SB70	56	191 床・埋土	甕I	24.0	—	—	1/5	外黒褐色、内黒	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、底ハケ	—	外国スス	
SB70	56	192 カマド	甕I	26.0	—	—	1/6	黒	ロクロナデ、ナデ	ロクロナデ	—	外国スス	
SB70	56	193 カマド、カマド下、埋土、床下	小壺D	13.4	6.9	17.9	1/4	外におい風、内におい風	上半ロクロナデ、下半ケズリ	ロクロナデ、ナデ	ケズリ		
SB71	56	194 埋土	甕	10.9	—	—	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	—	ヘラ書き	
SB71	56	195 坪上	小壺B	15.0	—	—	1/6	暗灰	口縁ナデ、他ハケ	口縁ハケナデ、他ナデ	—		
SB71	56	196 坪上、SB83	高脚	17.6	11.3	6.3	1/2	外黒暗褐色、内灰オリーブ	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	ロクロナデ	—		
SB76	56	197 埋土	杯A	12.6	4.6	3.5	1/2	明黄褐色	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		
SB76	56	198 埋土	杯A	12.3	6.1	3.8	1/3	外灰、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		
SH76	56	199 床	杯A	12.6	5.7	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A	
SH76	56	200 埋土	杯A	13.6	6.7	4.3	ほぼ完	外灰白、内暗灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵B	
SB76	56	201 埋土	絞蓋	13.9	7.4	2.3	1/3	外灰白、内明オリーブ灰	口縁ロクロナデ、他暗褐色ケズリ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り	黒人	
SB76	56	202 埋土	杯A	13.7	5.7	4.5	1/3	外におい風、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→灰色処理	回転ヘラケリ		
SB76	56	203 坪上	杯A	13.1	6.2	5.4	1/3	外浅黄、内黒色	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラケリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→灰色処理	
SB76	56	204 坪上	杯A	14.0	6.2	5.0	1/3	外浅黄、内黒色	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	ミガキ→灰色処理	回転ヘラケリ		
SB77	56	205 埋土	杯A	13.6	8.3	4.5	1/6	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		
SB77	56	206 埋土	杯B	13.2	9.8	4.0	1/2	外黒褐色、内暗灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ		

表16-7 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺 跡 番 号	国 郡 番 号	総合番 号	出土状況	器種	器体形状	口径	高さ	底径	体高	残存率	色 澤	外面形状	内面形状	底部形状	備 考
SH77	56	207	灰	短瓶	黒色 A	10.0	6.0	8.5	1/2	1/2	外滑作灰、内滑	ロクロナデ	ロクロナデ	底縁未切り	
SH88	56	208	埴土	杯A	黒色 A	-	8.0	-	1/6	-	外にふいね、内	ヨコミダキ、底付近クズ リーミダキ	上半ヨコミダキ、下半ミ ダキ→黒色処理	ナズリーミダキ	ヘラ書き
SD6	57	209	埴土	盃A	黒色	16.0	-	-	1/8	-	灰	同軸ヘラクズリ、ロクロ ナデ	ロクロナデ		
SD6	57	210	埴土	盃	灰黒	15.0	-	-	1/8	-	外底オリーブ、内 灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD6	57	211	埴土	杯B	黒色	-	5.8	-	1/8	-	外縁灰、内灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底縁未切り、高台ナデ、高台 内縁未切り	
SD6	57	212	埴土	杯B	黒色	13.4	8.8	3.9	1/2	1/2	縁縁灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台 内縁未切り	
SD6	57	213	埴土	杯	灰黒	-	-	-	小穴	-	-	-	ロクロナデ、ナデ	底縁未切り	ヘラ書き
SD6	57	214	埴土	杯A	灰黒	12.0	4.3	1.9	1/8	-	外底、内縁縁	ロクロナデ	ロクロナデ	底縁未切り	
SD6	57	215	埴土	杯A	灰黒	13.0	6.8	1.0	2/3	-	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底縁未切り	
SD6	57	216	埴土	杯B	灰黒	14.0	-	-	1/8	-	縁灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD6	57	217	埴土	杯A	黒色 A	12.8	5.6	4.1	1/8	-	外底、内黒	ロクロナデ	ダミダキ→黒色処理	底縁未切り	
SD6	57	218	埴土	杯A	黒色 A	14.6	5.4	4.9	1/8	-	外底縁、内黒	ロクロナデ	ミダキ→黒色処理	ヘラクズリ	
SD6	57	219	埴土	杯A	黒色 A	15.8	7.8	6.5	1/6	-	外底縁、内滑	ロクロナデ	口縁ヨコミダキ、底付ミ ダキ→黒色処理	同軸ヘラ切り	
SD6	57	220	埴土	杯B	灰黒	-	16.0	-	底1/8	-	外にふいね、内 にふいね	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台 内ロクロナデ	
SD6	57	221	埴土	碗	灰黒	17.0	-	-	1/8	-	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD6	57	222	埴土	結合部有 十割	十割	-	-	-	小穴	-	産	ナデ、ヘラミダキ	ヘラミダキ	-	混入
SD6	57	223	埴土	長頸壺A	灰黒	7.4	-	-	1/3	-	外縁青灰、内滑 灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD6	57	224	埴土	横瓶	灰黒	-	10.5	-	1/6	-	外にふいね、内 灰	ロクロナデ→ダミダキ、底 縁ヘラクズリ	ロクロナデ、ナデ	-	
SH6	57	225	埴土	盃	灰黒	24.0	-	-	11/8	-	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SH6	57	226	埴土	盃	黒色	22.5	-	-	1/8	-	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD64	57	227	埴土	盃B	黒色	15.0	-	3.1	1/3	-	外滑灰、内灰オ リーブ	ロクロナデ、同軸ヘラク ズリ	ロクロナデ	-	
SD64	57	228	埴土	盃B	黒色	17.0	-	-	1/3	-	外灰白、内灰	ロクロナデ、同軸ヘラク ズリ	ロクロナデ、ナデ	-	
SD64	57	229	埴土	杯B	黒色	10.8	6.0	3.4	1/6	-	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SD64	57	230	埴土	杯A	黒色	12.2	7.3	4.8	1/2	-	にふいね	ロクロナデ	ロクロナデ	底縁未切り	
SD64	57	231	埴土	杯A	黒色	12.8	7.0	3.7	1/4	-	外灰、内オリ ーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	同軸ヘラ切り	
SD64	57	232	埴土	杯A	黒色	13.7	7.3	3.6	1/3	-	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	同軸ヘラ切り	
SD64	57	233	埴土	杯A	黒色 A	14.0	7.2	4.7	1/4	-	外底、内滑	ロクロナデ	上半ヨコミダキ、下半ミ ダキ→黒色処理	同軸未切り→ヘ ラクズリ	
SD64	57	234	埴土	杯A	黒色 A	15.0	7.4	5.2	1/2	-	外底、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミダキ、下半ミ ダキ→黒色処理	同軸未切り→ヘ ラクズリ	
SD64	57	235	埴土	横瓶	灰黒	13.0	-	-	11/4	-	灰	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	-	
SD64	57	236	埴土		灰黒	15.6	-	-	11/4	-	外滑必灰、内黒 滑	ロクロナデ→底付文	ロクロナデ	-	
SD64	57	237	埴土	盃A	灰黒	46.0	-	-	1/6	-	必灰	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	-	
SD64	57	238	埴土	盃C	土師	14.0	-	-	1/6	-	産	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	-	
SD64	58	239	埴土	横瓶	灰黒	-	-	-	1/6	-	灰	ロクロナデ、ダミダキナ デ	同付文由て具灰、底ナ デ	-	美濃産
SD64	58	240	埴土	盃A	灰黒	19.6	-	-	1/6	-	外灰、内底灰	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ	口縁ロクロナデ、底付長 柄、縁止ふ、ナデ	-	
SD64	58	241	埴土	盃I	十割	21.5	-	-	1/8	-	外滑、内滑	口縁ロクロナデ、底付タ ダキ→ロクロナデ	口縁ロクロナデ、他工具 ナデ	-	

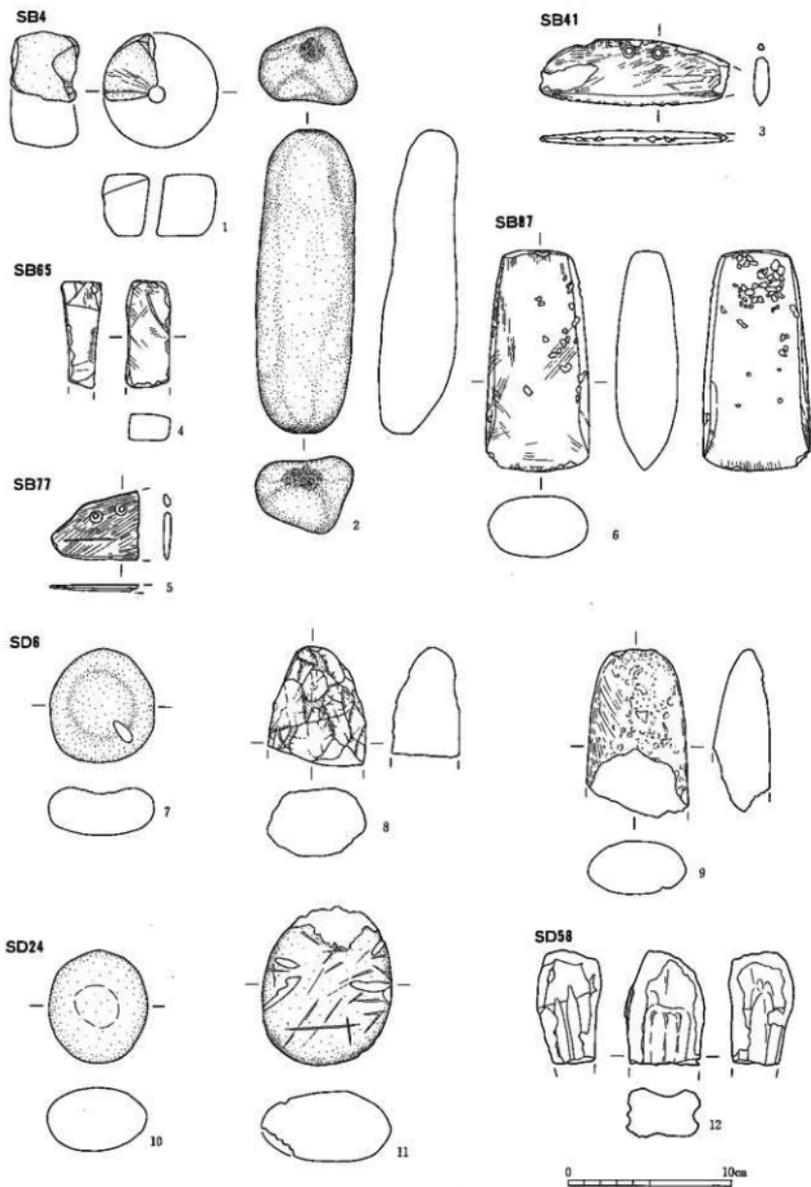
第2章 遺構と遺物

表18-8 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

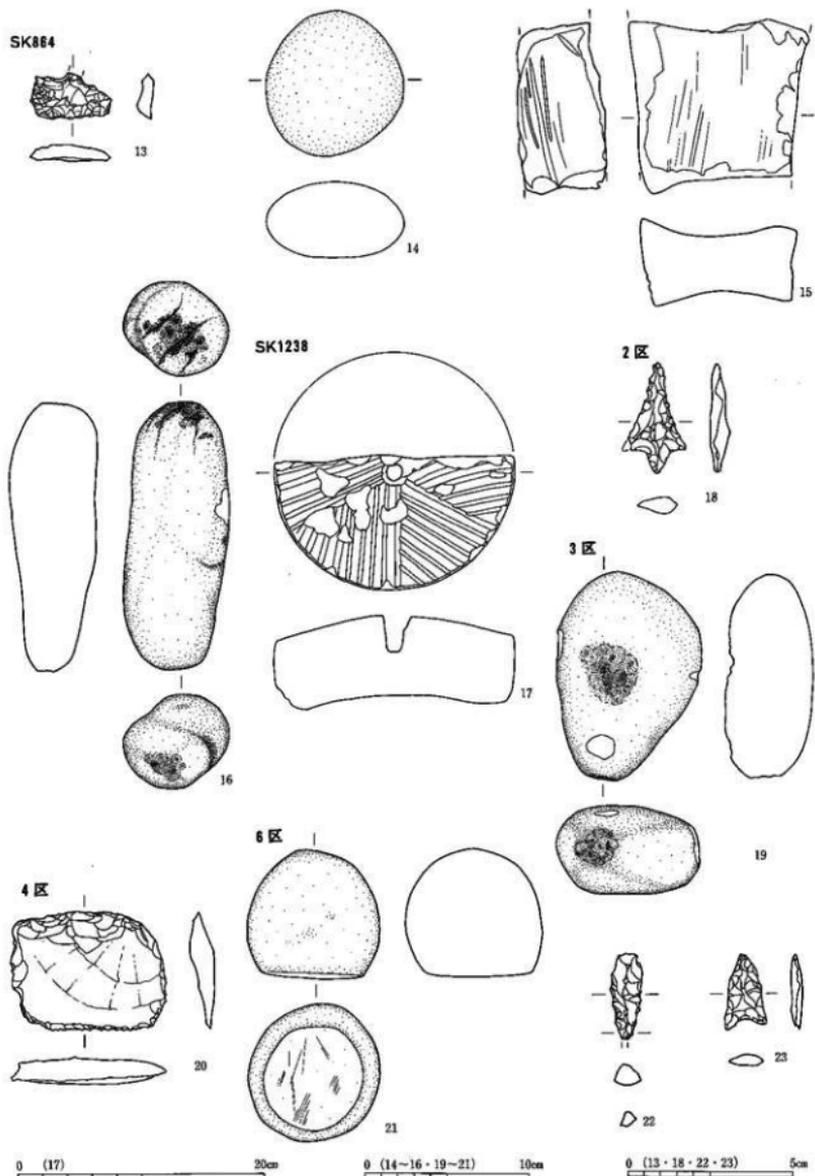
遺物番号	図番号	所在地	出土状況	器種	形状	口径	底径	高さ	胴径	色調	外観形状	内観形状	底部形状	備考
SD44	58	242	埴土	長筒壺A	褐色	12.8	—	—	1/8	外にふいぶ痕、内褐色	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SD46	58	243	埴土	蓋付	褐色	—	—	—	1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SD46	58	244	埴土	杯形	褐色	—	10.6	—	縦1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内段転へラケズリ	
SD46	58	245	埴土	杯A	褐色	13.0	—	—	1/6	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	へうきり?	
SD46	58	246	埴土	杯A	黒色A	15.0	—	—	1/8	外燈、内黒	ロクロナデ、底付近同転へラケズリ	ヨコミダキ→黒色焼成	へラケズリ	
SD46	58	247	埴土	杯A	黒色A	12.0	5.2	5.5	1/3	外燈、内黒	ロクロナデ、底付近同転へラケズリ	口縁ヨコミダキ、他ミダキ→黒色焼成	段転へうきり	へうきり
SD46	58	248	埴土	杯A	黒色A	14.0	6.0	4.6	1/2	外燈、内黒	ロクロナデ、底付近同転へラケズリ	口縁ヨコミダキ、他蓋付状ミダキ→黒色焼成	段転へうきり	へうきり
SD46	58	249	埴土	蓋付	黒色B	14.0	—	2.1	1/3	黒	ヨコミダキ→黒色焼成	上中ヨコミダキ、下中ミダキ→黒色焼成	高台ナデ、高台内段転へうきり→黒色焼成	
SD46	58	250	埴土	平輪	陶器	17.0	—	—	1/8	オリーブ黄	輪	輪	—	古瀬口、遺人
SD67	58	251	埴土	杯A	褐色	13.2	5.0	3.7	段状	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	
SD67	58	252	埴土	杯A	褐色	13.6	6.0	4.2	1/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	
SD67	58	253	埴土	壺	褐色	28.0	—	—	1/8	外段縁尻、内底灰	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
SK136	58	254	埴土	壺	土師	16.6	—	—	1/8	外明赤褐色、内燈	ヨコミダキ	ヨコミダキ	—	
SK212	58	255	埴土	蓋付	褐色	11.0	—	2.3	1/2	外灰、内オリーブ黄	ロクロナデ、同転へラケズリ	ロクロナデ	—	
SK217	58	256	埴土	土師	—	—	—	—	小片	外にふいぶ、内におい煙	ナデ	ナデ	木漆碗	へうきり
SK252	58	257	埴土	耳黒	黒色B	—	—	—	1/5	黒	ミダキ→黒色焼成	ナデ→黒色焼成	—	
SK252	58	258	埴土	杯A	褐色	—	8.0	—	1/3	明オリーブ黄	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	
SK252	58	259	埴土	杯	黒色A	14.8	—	—	1/8	外段黄褐色、内黒	上中ロクロナデ、下中同転へラケズリ	ミダキ→黒色焼成	—	片!!!
SK305	59	260	埴土	杯A	褐色	—	—	—	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	—	漆書
SK305	59	261	埴土	杯A	褐色	12.0	5.4	4.0	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	漆書
SK305	59	262	埴土	杯A	褐色	12.8	6.6	3.6	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	漆書
SK305	59	263	埴土	杯A	褐色A	16.4	7.8	6.0	1/3	外段黄褐色、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミダキ、他蓋付状ミダキ→黒色焼成	同転へラケズリ	漆書
SK473	59	264	埴土、SK472	蓋付	褐色	16.0	—	—	1/8	黄褐色	ロクロナデ	ナデ	—	漆書
SK472	59	265	埴土	蓋付	褐色	16.6	—	4.0	1/2	外にふいぶ痕、内明赤褐色	ロクロナデ、同転へラケズリ	ロクロナデ	—	
SK482	59	266	埴土	杯形	褐色	14.4	10.6	3.4	1/6	赤褐色	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SK482	59	267	埴土	杯A	褐色	13.6	7.6	3.8	段状	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同転へうきり	灰質
SK482	59	268	埴土	横目	土師	16.0	—	—	1/8	外赤褐色、内赤褐色	口縁、ロクロナデ、他ハケ、他ナデ	口縁ロクロナデ、胴1部ハケ、他ナデ	—	
SK482	59	269	埴土	壺	褐色	16.8	—	—	4/5	外黒、内段灰	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他ミダキ	—	
SK482	59	270	埴土	壺	褐色	36.6	—	—	1/8	灰	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他ミダキ	—	
SK838	59	271	埴土	小壺	土師	9.8	6.4	6.3	1/2	におい赤褐色	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	
SK838	59	272	埴土	蓋付	褐色	—	—	—	1/3	灰	ロクロナデ、同転へラケズリ	ロクロナデ	—	
SK838	59	273	埴土	杯形	褐色	—	8.1	—	1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内段転へうきり、同転へラケズリ	
SK838	59	274	埴土	杯形	褐色	—	9.3	—	1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内段転へうきり、同転へラケズリ	
SK838	59	275	埴土	杯A	褐色	13.0	6.0	4.0	1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	同転転切り	

表16-9 飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図号	発見層	出土位置	器種	器物種類	口径	底径	胎高	胎厚	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考	
SK038	29	2区	瓦十	杯A	黒色A	12.0	7.5	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁未切り		
SK038	30	277	瓦十	杯A	黒色A	13.8	6.7	4.9	1/3	外明赤褐色、内黒	ロクロナデ、焼付後ナズリ	口縁ヨコミガキ、龍紋射抜ミガキ→黒色地肌	ナズリ		
SK040	50	278	瓦十	蓋H	灰赤	—	14.0	2.8	1/8	灰	ロクロナデ、筒縁ヘウケナズリ	ロクロナデ	—		
SK040	59	279	瓦十	杯A	灰赤	—	7.0	—	龍2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁未切り		
SK040	59	280	瓦十	小蓋D	土輝	—	6.4	—	1/5	外に白い黄緑、内におい黄緑	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁未切り		
SK040	59	281	瓦十	杯A	黒色A	15.8	6.2	5.0	1/4	外緑、内黒	ロクロナデ、遠付近ヘウケナズリ	口縁ヨコミガキ、龍ミガキ→黒色地肌	ヘウ切り?	底部摩滅	
SK040	59	282	瓦十	瓶	灰赤	20.0	—	—	1/8	灰白	上ホクロナデ、下半は転ヘウケナズリ	ロクロナデ	—	輪ハケ	
SK040	59	283	瓦十	杯A	灰色A	23.6	10.0	10.2	1/6	外緑、内黒	上ホクロナデ、下半は転ヘウケナズリ	口縁ヨコミガキ、龍紋射抜ミガキ→黒色地肌	磨滅ヘウ切り		
SK1309	59	284	瓦十	把子	土輝	—	—	—	—	把子	外緑、内黒	ナズリ・ナデ	工具ナデ	—	外面摩滅
	59	285	1区IV層	杯	黒色	—	—	—	—	小片	外明赤褐色、内黒	ロクロナデ	ロクロナデ	—	摩滅
	59	286	1区IV層	杯A	灰色A	11.6	5.0	4.0	1/4	外緑、内黒	ロクロナデ	ヨコミガキ→黒色地肌	ヘウミガキ	摩滅	
	59	287	IIQ20IV層	杯	灰赤	—	7.0	—	—	瓶	外灰赤、内におい黄	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内ヘウケナズリ・ナデ	高台未
	59	288	2区IV層	杯D	灰色A	—	—	—	—	小片	外緑、内黒	ナデ	灰色地肌	—	ヘウ磨き、内面摩滅
	59	289	2区IV層	杯A	黒色	—	6.8	—	—	小片	外オリーブ灰、内オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁未切り	ヘウ磨き
	59	290	2区IV層	杯A	黒色	16.0	10.0	3.8	1/6	外灰、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁ヘウ切り、瓦肌	ヘウ磨き	
	59	291	2区クラン	鍔A	黒色	50.0	—	—	—	口1/8	灰	ロクロナデ、沈線4本、斜行磨滅木	ロクロナデ、ホキメ	—	
	60	292	3区IV層	杯A	黒色B	—	7.4	—	—	龍1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	筒縁ヘウ切り、瓦肌	ヘウ磨き
	60	293	5区	鉢	黒色B	25.8	—	—	—	口1/8	黒色	ヨコミガキ→黒色地肌	ヨコミガキ→黒色地肌	—	
	60	294	6区	釜	土輝	—	—	—	—	小片	外緑、内赤黒	ロクロナデ	ロクロナデ	—	磨滅
	60	295	6区IV層	杯A	灰赤	—	—	—	—	龍1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	胴縁ヘウ切り	ヘウ磨き
	60	296	6区IV層	鉢	灰赤	10.0	—	—	—	口1/8	灰	ロクロナデ、沈線3本	ロクロナデ	—	
SH1	60	297	瓦十	土輝	土輝	3.6	—	—	—	2/3	におい黄緑	ナデ			
SB11	60	298	瓦十	土輝	土輝	1.1	—	—	—	2/3	灰赤	ナデ			
SB11	60	299	瓦十	土輝	土輝	1.8	—	—	—	2/3	灰赤	ナデ			
SB11	60	300	瓦十	土輝	土輝	2.7	—	—	—	2/3	灰赤	ナデ			
SB41	60	301	瓦十	土輝	土輝	2.7	—	—	—	2/3	におい黄	ナデ			
SK531	60	302	瓦十	土輝	土輝	4.0	—	—	—	2/3	におい黄	ナデ			
	60	303	IIQ13IV層	土輝	土輝	3.5	—	—	—	1/2	黒褐色	ナデ			
	60	304	IIQ20IV層	土輝	土輝	3.2	—	—	—	2/3	におい黄	ナデ			
	60	305	6区IV層	土輝	土輝	4.3	—	—	—	2/3	におい黄	ナデ			
	60	306	1区IV層	土輝	土輝	1.3	—	—	—	1/6	外に白い黄緑、内灰赤	ナデ	ナズリナデ		
SK03	60	307	IIQ20IV層	伊吹	土輝	5.0	—	—	—	小片	外緑赤、内明赤	スチル	磨滅		
	60	308	瓦十	土輝	土輝	2.7	—	—	—	小片	外に白い黄緑、内におい黄緑	ナデ	ナデ		
PL14	309	4区	土輝	土輝	土輝	1.9	—	—	—	小片	黄	ナデ			
PL14	310	4区	土輝	土輝	土輝	2.4	—	—	—	小片	黄	ナデ			



第61図 飛鳥・平安時代の石器・石製品 1



第62図 飛鳥・平安時代の石器・石製品 2

表17 飛鳥・平安時代出土石器組成表

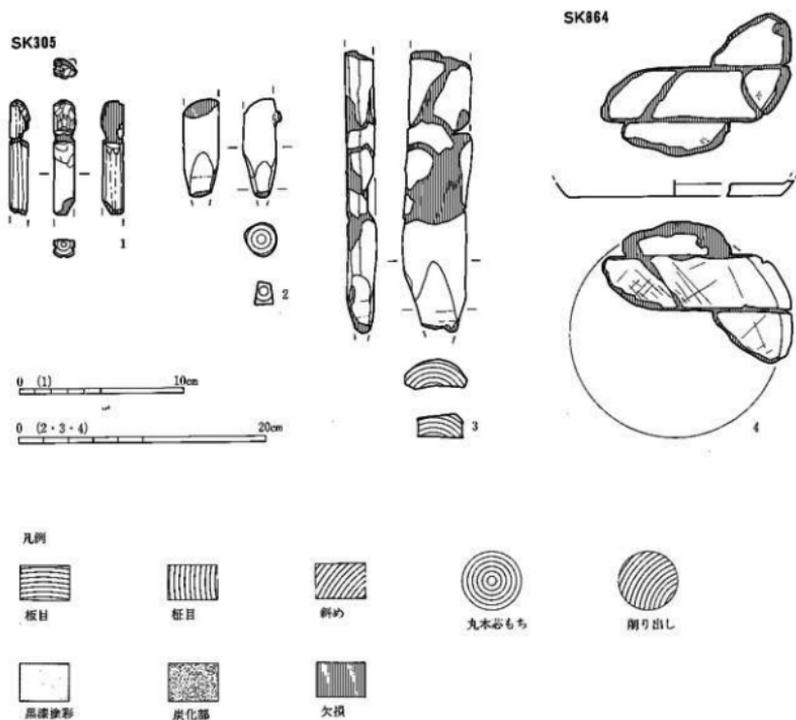
名称	総数	原石	石核	剥片	砕片	石鏃	刃器	敲石	磨石	くぼみ石	石臼	石錐	石包丁
数量	791	85	24	232 (4061.23)	235 (204.65)	21	33	21	23	7	1	7	2
砥石	磨製石斧	石匙	こもみ石	玉石	みがき石								
52	4	1	7	16	20								

() 内は数量 < 重さ > を示す

表18 飛鳥・平安時代の石器・石製品属性表

図番号	番号	遺構番号	出土位置	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
61	1	SB4	P1	石製品	1/4残存	(4.2)	(3.3)	(4.2)	(25.0)	軽石	
61	2	SB11	埋土	敲石	完形	18.9	6.2	5.0	835.0	安山岩	
61	3	SB41	床	石包丁	一部欠損	(11.7)	4.1	0.9	(61.35)	珪質頁岩	
61	4	SB65	埋土	砥石	1/2残存	(6.7)	(2.7)	(2.4)	(55.0)	凝灰岩	
61	5	SB77	埋土	石包丁	1/3残存	(5.4)	(4.2)	(0.4)	(13.5)	珪質頁岩	
61	6	SB87	埋土	磨製石斧	ほぼ完形	13.6	6.5	3.85	(570.0)	変質輝緑岩	大型蛤刃
61	7	SD6	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	6.5	7.3	2.9	175.0	安山岩	
61	8	SD6	埋土	磨製石斧	1/2残存	(7.5)	(6.1)	(4.1)	(240.0)	変質安山岩	未製品
61	9	SD6	埋土	磨製石斧	2/3残存	(10.4)	(6.4)	(3.4)	(350.0)	変質輝緑岩	大型蛤刃
61	10	SD24	埋土	磨石	完形	6.1	7.0	3.8	205.0	安山岩	
61	11	SD24	埋土	磨石	一部欠損	(8.0)	9.6	4.4	(280.0)	安山岩 砂岩	
61	12	SD58	埋土	砥石	1/4残存	(7.2)	(4.7)	(3.1)	(190.0)	砂岩	
62	13	SK864	埋土	石匙	つまみ部欠損	(1.4)	2.5	0.5	(1.5)	黒曜石	
62	14	SK864	埋土	磨石	完形	8.4	9.0	4.6	510.0	安山岩	
62	15	SK864	埋土	砥石	1/4残存	(10.8)	(10.4)	(5.3)	(850.0)	砂岩	
62	16	SK864	埋土	敲石	ほぼ完形	16.7	6.1	5.3	860.0	閃緑岩	
62	17	SK1238	埋土	石臼	1/2残存		径 29.4	9.9	(6600.0)	安山岩	
62	18		IT-14	石鏃	ほぼ完形	3.3	(1.8)	0.6	(1.85)	凝灰岩	
62	19		IT-11	敲石	ほぼ完形	13.0	8.8	5.5	(815.0)	安山岩	
62	20		4区	刃器	完形	9.5	7.25	1.7	120.0	頁岩	
62	21		6区	磨石	一部欠損	8.5	8.1	8.0	(840.0)	安山岩	
62	22		6区IV層	石錐	錐部欠損	(2.6)	1.0	0.65	(1.4)	黒曜石	
62	23		IQ-24	石鏃	完形	2.3	1.2	0.4	0.8	石英質 安山岩	下品石

() 内の数字は残存している所の最大値



第63図 飛鳥・平安時代の木製品

表19 飛鳥・平安時代の木製品一覧

図版No	図No	出土地点	手法	木目	名称	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	樹 種	備 考
63	1	SK305	丸木材	芯持ち	不明	7.0	1.3	1.1	クリ	
63	2	SK305	丸木材	芯持ち	杭	7.9	径 2.7		フジキ	
63	3	SK305	割り材	1/2	杭	22.8	5.2	2.3	ケンボナシ属	
63	4	SK864	挽物	横木取り	皿		底径 (17.2)	1.0	ケヤキ	内面一部炭化 刃痕有

(3) 木製品

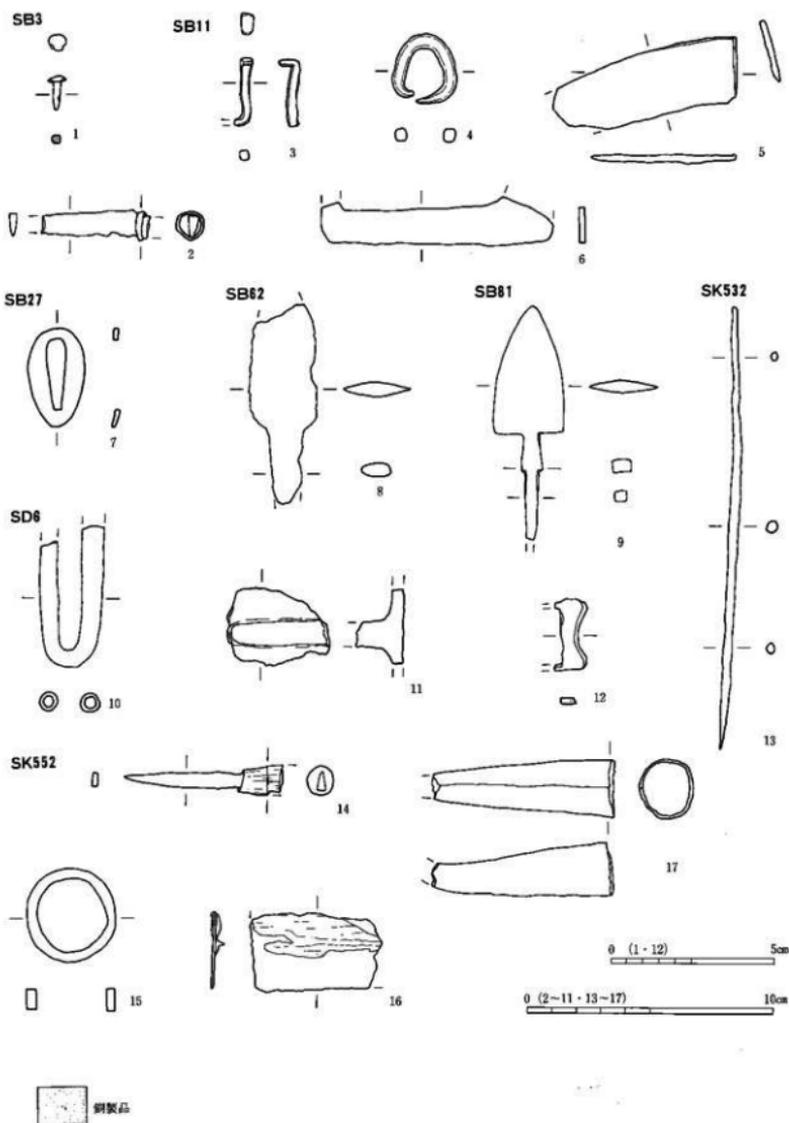
飛鳥・平安時代の遺構から出土した木製品は、12点で、器種の判明したものを中心に4点を図示し(図63)、掲載した遺物の属性を一覧表(表19)に示した。木製品は全て、井戸跡から出土している。

(4) 金属製品・鉄生産関連遺物

IV層及び飛鳥・平安時代に該当する遺構から出土した金属製品は、鉄製品47点、銅製品4点で、器種の判明したものを中心に17点を図示し(図64)、掲載した遺物の属性を一覧表(表20)に示した。鉄生産関連遺物は鍛冶滓64点363.6g、椀形鍛冶滓15点772.45g、椀形鍛錬鍛冶滓1点15.6g、鍛造剥片0.71g、粒状滓5点0.85g及び、羽口や炉壁の破片が出土している。鉄生産関連遺物は、SK1109からのものをのぞいて、ほとんどが竪穴住居の埋土中からの出土である。

表20 飛鳥・平安時代の金属製品一覧

図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出七地点	遺構時期	長軸cm	短軸cm	厚さcm	重量g	備 考
64	1	不明	ほぼ完	SB3	埋土	2期	1.0	0.5	0.2	0.11	
64	2	刀子	1/3残存	SB3	埋土	2期	4.2	1.1	0.4	2.7	
64	3	釘	先端欠	SB11	床下	7期後半	2.7	0.4	0.3	0.65	
64	4	不明	完	SB11	埋土	7期後半	2.5	0.5	0.5	3.0	
64	5	鎌	2/3残存	SB11	埋土	7期後半	7.5	2.7	0.15	7.0	
64	6	不明	不明	SB11	カマド	7期後半	9.4	2.0	0.2	6.6	
64	7	刀装具	完	SB27	埋土	7期	4.0	2.2	0.2	2.7	
64	8	鎌	先端・基部一部欠	SB62	埋土	平安	8.3	2.7	0.5	13.05	
64	9	鎌	基部一部欠	SB81	埋土	飛鳥	9.5	2.8	0.3	7.9	
64	10	不明	不明	SD6	埋土	平安	5.6	2.5	0.8	7.5	
64	11	不明	不明	SD6	埋土	平安	4.3	2.8	0.5	35.15	
64	12	不明	不明	SK484	埋土		2.2	0.8	0.2	0.95	
64	13	紡錘車(紡輪)	ほぼ完	SK532	埋土		18.1	0.35	0.35	8.05	
64	14	刀子	基部一部欠	SK552	埋土		6.5	1.2	0.3	3.65	一部木質残存
64	15	不明	完		IIQ-20 IV層		3.8	3.7	0.9	14.62	
64	16	不明	不明		2区 IV層		5.3	3.1	0.08	4.4	一部木質残存
64	17	キセル(雁首)	火風欠		4区 IV層		7.2	2.4	2.2	15.62	



第64図 飛鳥・平安時代の金属製品

第5節 平安時代（9世紀末）

9世紀末の洪水砂に覆われた遺構を本項で扱う。洪水砂の堆積は第1章第4節で述べたように、1区東側・5区北側をのぞいてはほぼ全域で認められ、溝2条・土坑16基・畝跡3ヵ所・畦畔状の遺構が1ヵ所確認されている。

1 遺構各説

(1) 溝

当該期の溝は、2条で、1区と2区で、それぞれ2条ずつ確認されている。SD1は、前時代のSD6とはほぼ同じプランを呈する。溝の詳細な説明は表22に示した。

(2) 土坑

当該期の土坑は、6区で1基確認された他は、全て2区と4区に分布している。SK867は掘り抜きの井戸で、埋土中より木製品が出土している。その他の土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は表23に示した。

(3) 畝跡

当該期の畝跡は3区と6区で確認された。SL1は東西方向の、SL2・4は南北方向の畝跡が良好に確認された。SL1より4歳前後の幼児のものと思われる人骨⁽²¹⁾が出土している。5区中央付近に、畦畔状に盛り上がる東西方向の地形が確認された。狭い調査区を横切る形で検出されており、畦畔とは断定できないが、その形態からSC1とした。

2 遺物

(1) 土器・土製品

Ⅲ層と平安時代（9世紀末）の遺構から出土した、土器・土製品は2箱である。このうち9点を図示し（図67）、掲載した遺物の属性を一覧表（表24）に示した。土器の器種分類は屋代遺跡群高速道地点の分類に準じた。

(2) 石器・石製品

洪水砂層と平安時代（9世紀末）の遺構から出土した資料は石器101点、石製品1点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても出土遺構の時代により、本項で扱うこととした。遺物中56点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、21点が道具として認定できた石器である。その内訳については表21に示した。出土した遺物のうち5点を図示し（図68）、掲載した遺物の属性を一覧表（表25）に示した。

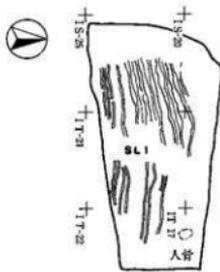
表21 平安時代（9世紀末）出土石器組成表

名称	総数	原石	石核	剥片	砕片	石鉄	刃器	磨石	くぼみ石	石錐	砥石	磨製石斧	玉石	みがき石
数量	101	17	7	33(1046.2)	23(24.41)	2	4	3	1	1	2	1	1	6

() 内は数量 <8> を示す

(3) 木製品

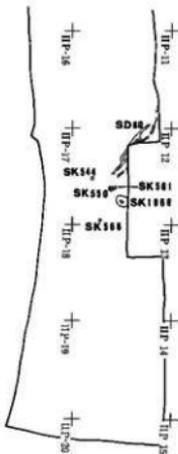
当該期の遺構から出土した木製品は、3点で、いずれもSK867井戸跡からの出土である。出土した資料のうち1点を図示（図69）した。1は形態的には題箋軸と思われるが、他の遺跡から出土している題箋



人骨出土状態

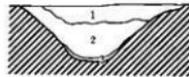


0 1m



A 355.6

B



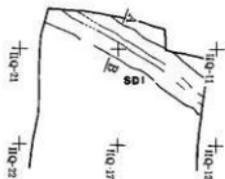
1 楊灰色砂質土 (10YR4/1)

黒褐色砂質土含む、II層

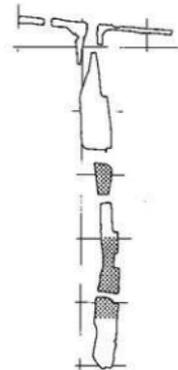
2 におい黄褐色砂質土 (10YR5/4) III層

3 楊灰色砂質土 (10YR4/1) III層

0 2m



0 16m



第65図 平安時代（9世紀末）の遺構分布図 1

表22 平安時代（9世紀末）溝（SD）一覧

地区	SD番号	時期	中地区	区番号	平面形	形状	方位	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土質	堆積状況	遺物出土状況	遺物	発見関係(市)→(館)	備考
1	1	平安	F15, 20	Q11, 16	長條形	-	[19.50]	2.88	1.09	褐色 →灰褐色	砂	1層田層主体	土器、石器、鉄製品、鉄線、骨	67	SD6, SK1167-SK65, 1143, 1156, 1243		
2	80		P11, 12	65	緩やかに湾曲	南東-北西	(7.10)	0.86	0.25	上へ・黄褐色	砂	1層田層主体	土器、お通	68	SD37-SU79, SK396, 433, 1207, 1218, 1219, 1220		

表23 平安時代（9世紀末）土坑（SK）一覧

地区	SK番号	時期	遺構区	中地区	平面形	断面形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色標定号	堆積状況	遺物	遺物区	備考
2	544		65	P12	円形	C	0.20	0.20	0.14	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
2	530		65	P12	不整形	G	0.50	0.32	0.16	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2- 2.5Y4/3	1層田層主体	土器	-	
2	561		65	P12	円形	B	0.18	0.16	0.40	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
2	566		65	P12	円形	C	0.16	0.15	0.11	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
6	654		66	V19	楕円形	C	0.31	0.20	0.50	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	721		66	S17	円形	C	1.14	1.13	1.22	黄灰色 →オリーブ褐色	2.5Y5/1 →2.5Y4/3	3層田層主体	-	-	
4	723		66	R25 S21	長楕円形	G	1.82	0.34	0.46	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	724		66	S17	円形	A	0.30	0.30	0.18	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	728		66	R20	-	C	-	-	0.20	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	土器、7羽	-	
4	729		66	S16	楕円形	A	0.52	0.24	0.19	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	756		66	S16	不整形	-	-	-	0.20	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	761		66	S17	円形	C	0.24	0.24	0.30	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	762		66	S17	-	C	-	-	0.15	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	-	-	
4	763		66	R19, 20	楕円形	G	2.12	1.80	1.06	暗灰黄色 →オリーブ褐色	2.5Y4/2 →2.5Y4/3	1層田層主体	土器	-	
4	867		66	S17	円形	C	1.22	1.16	-	-	-	礎を埋入	土器、石器、木製品	68 69	片戸
2	1066	平安	65	P12	-	-	1.00	0.80	-	-	-	10-20cmの石が多く入る	土器、石器	-	

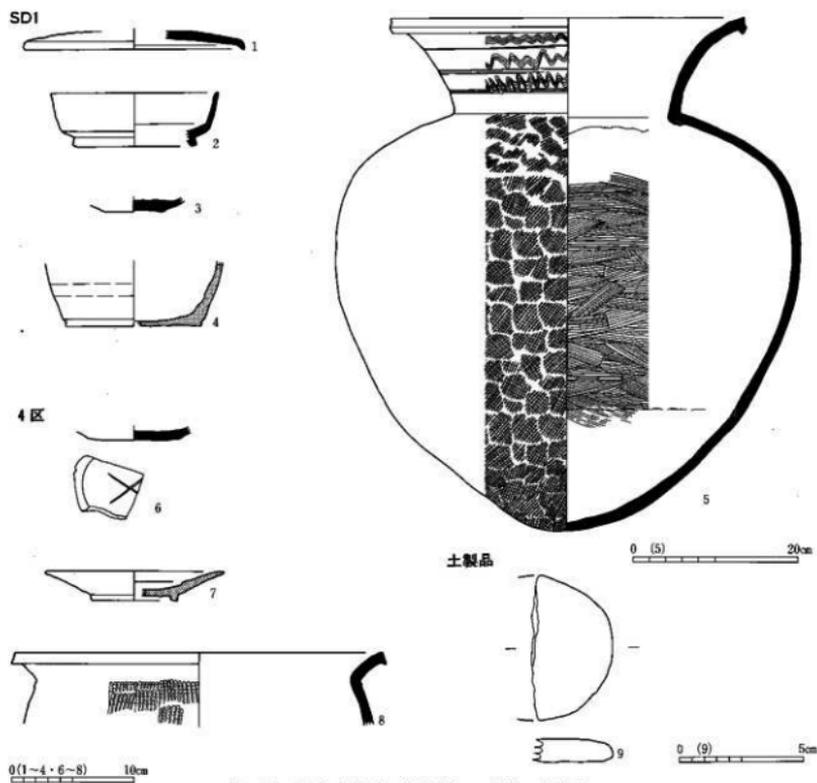
軸に比べると、軸部の幅がやや細く墨書も認められないことから題箋軸状木製品^[12]とした。題箋部の長さは69mm、幅24mm、厚さ5mm、軸部は大部分が欠損しているが現存する長さは8mm、幅5mm、厚さ2mmを計る。木取りは板目取りで、樹種はヒノキである。

(4) 金属製品・鉄生産関連遺物

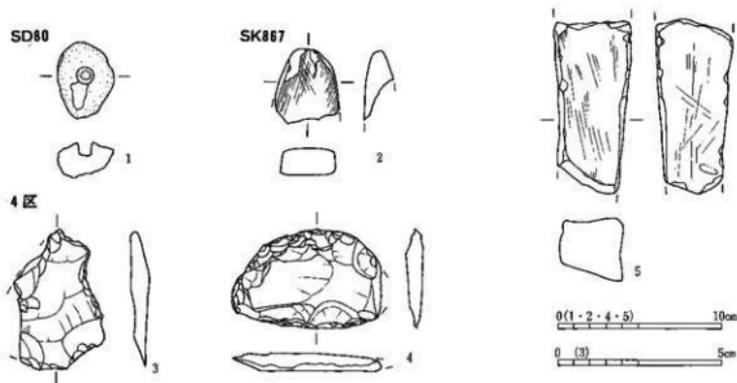
III層及び当該期の遺構から出土した金属製品は、鉄製品13点、銅製品1点で、うち8点を図示(図69)し、掲載した遺物の属性を一覧表(表26)に示した。鉄生産関連遺物は、鍛冶率8点39.65g、橢形鍛冶率5点286.45g及び、羽口や炉壁の破片が出土している。鉄生産関連遺物の出土はほとんどが包含層からである。

註

- 1 茂原恒生氏の御教示による。肋骨・椎骨の一部及び乳犬歯が出土している。
- 2 平川 南氏の御教示による。



第67図 平安時代（9世紀末）の土器・土製品



第68図 平安時代（9世紀末）の石器・石製品

表24 平安時代(9世紀末)の土器・土製品

図番号	図形番号	出土位置	器種	口径	底径	器高	残存率	色 別	外面彫刻	内面彫刻	底面彫刻	備 考
SD1	67 1	埋土	甕	18.0	—	—	1/6	外灰、内白灰	羅紗ヘラズリ、ロコロナデ	羅紗ヘラズリ→ロコロナデ	—	
SD1	67 2	埋土	杯形	13.5	10.0	4.4	1/8	灰	ロコロナデ	ロコロナデ	高台ナデ	
SD1	67 3	埋土	杯A	—	3.0	—	1/4	にひい密柄	ロコロナデ	ロコロナデ	羅紗未切り	
SD1	67 4	埋土	盃形	—	11.0	—	底2/3	灰	ロコロナデ、羅紗ヘラズリ	ロコロナデ	羅紗未切りのみナデ	
SD1	67 5	埋土	寛A	43.0	—	63.3	3/4	灰	ロコロナデのみ直状文、他子紋タタキ	ナデ、ヨコハケ	—	破片の残存
	67 6	4区	杯A	—	7.6	—	底1/4	灰	ロコロナデ	ロコロナデ	羅紗ヘラズリ	ヘラ抜き
	67 7	4区Ⅲ、Ⅳ層	段蓋	14.4	7.2	2.3	2/3	外灰白、内灰白 リープ	ロコロナデ、釉	釉	高台ナデ、高台 内面ヘラズリ	
	67 8	4区Ⅲ層	甕	30.0	—	—	1/18	灰白	1) 羅紗ロコロナデ、胴部タタキ	口縁ロコロナデ、他ナデ	—	
	67 9	4区Ⅲ層	土製品	径6.0 厚1.0	—	—	1/2	にひい密柄	ナデ	ナデ	—	

表25 平安時代(9世紀末)の石器・石製品属性表

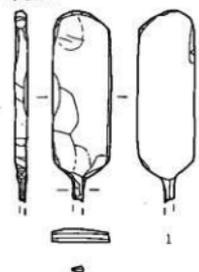
図番号	番号	遺構番号	出土位置	器 種	状 態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材 質	備 考
68	1	S D80	埋土	石製品	ほぼ完形	4.65	3.50	2.20	10.0	輝石	
68	2	S K867	埋土	磨製石斧	頭部のみ残存	(4.6)	4.0	1.75	(35.0)	蛇紋岩	定角式磨製石斧
68	3		4区Ⅲ層	刃器	一部欠損	4.3	(2.8)	0.5	(7.24)	珪質岩	
68	4		4区Ⅲ層	刃器	一部欠損	7.1	(9.3)	1.1	(80.0)	頁岩	
68	5		4区Ⅲ層	砥石	1/3残存	10.7	4.8	3.9	305.0	砂岩	

() 内の数字は残存している所の最大値

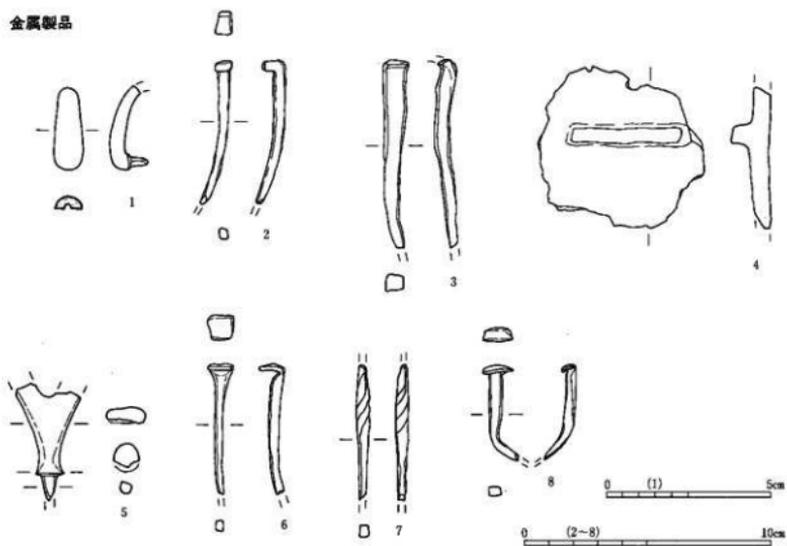
表26 平安時代(9世紀末)の金属製品一覧

図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出土地点	遺構時期	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備 考
69	1	不明	1/2残存		3区Ⅲ層		2.7	0.9	0.4	4.92	
69	2	釘	先端欠		3区Ⅲ層		6.0	0.6	0.4	3.0	
69	3	釘	頭部・先端欠		3区Ⅲ層		7.6	0.8	0.5	8.6	
69	4	不明	不明		3区Ⅲ層		7.1	6.5	0.7	85.0	
69	5	鎌	1/3残存		4区Ⅲ層		4.1	2.5	0.7	9.54	
69	6	釘	先端欠		4区Ⅲ層		5.3	1.0	0.4	2.25	
69	7	不明	両端欠		4区Ⅲ層		5.5	0.5	0.4	1.45	
69	8	釘	先端欠		6区Ⅲ層		4.1	1.3	0.4	1.7	

木製品



金属製品



第69図 平安時代（9世紀末）の木製品・金属製品

第6節 平安後期～中世

本項に掲載した遺構は表土及びII層を剥いて検出された遺構で、平安後期～中世に所属する遺構である。粗密の差はあるが、1～6区のほぼ全域に分布している。当該期に所属する遺構は、遺物の出土も少なく、検出面で判断したものが多く若干前後する時代の遺構も含まれると思われる。検出された遺構は、溝10状、土坑524基である。

1 遺構各説

(1) 溝

当該期の溝跡は、10条で、2区及び4～6区で検出されている。4区～5区で確認されたSD51・57は、中世の館を囲む堀跡と思われ、深さ3.5mを計る。両溝跡は、たいへん深く湧水が激しいうえ、調査区が狭いということもあり、遺構の範囲の確認と、トレンチによる埋土の様子・底部の確認のみの調査となった。2区のSD75～79は、並行する浅い溝で、畝跡の可能性も考えられる。溝の詳細な説明は表28に示した。

(2) 土坑

当該期の土坑は524基で、1～6区の全ての調査区に分布している。このうち71基は井戸跡で、SK376の1基を除いて、ほかは全て掘り抜き井戸である。井戸跡のうち多くの井戸の埋土より拳大～人頭大の礫が多量に出土しており、井戸廃棄時に何らかの埋設行為が行われた可能性も考えられる。SK448からは人骨(推定年齢16～18歳)の一部⁽¹¹⁾が出土している。SK1146からは、幅0.6cmの紐状の植物を纏んだ、籠状の容器の一部が出土している。4区からは方形や長方形の土坑がいくつか確認されており、それらは中世の館に関連する室のような遺構かと思われるが、遺物の出土もなくその詳細は不明である。その他に柱穴と思われる土坑がいくつかあるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表29に示した。

2 遺物

(1) 土器・土製品

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した土器・土製品は11箱である。ここでは、全てを紹介することができない為、中世の資料を中心に図示(図76～77)し、掲載した遺物の属性を一覧表(表30)に示した。

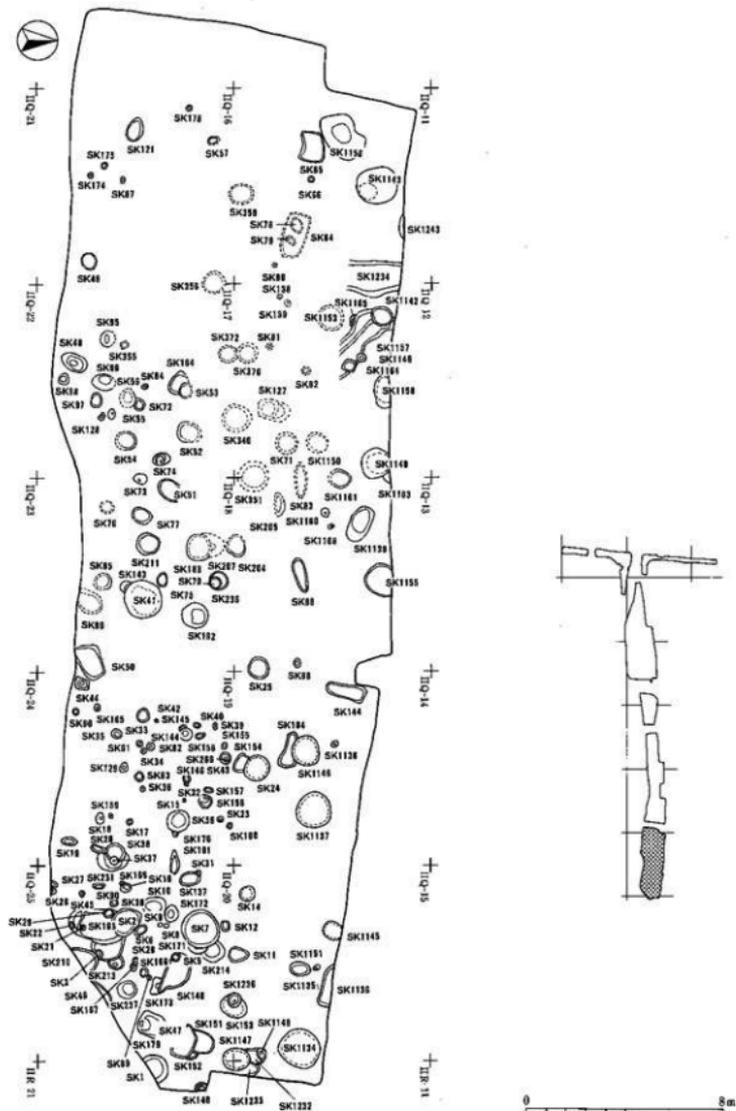
(2) 石器・石製品

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した資料は石器254点、石製品2点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により本項で扱うこととした。また、SK1046より出土したヒスイ製の勾玉も、本項で扱うこととする。遺物中92点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、112点が道具として認定できた石器である。その内訳については表27に示した。ここでは全てを紹介することができない為主なもの34点を図示(図78～82)、掲載した遺物の属性を一覧表(表31)に示した。

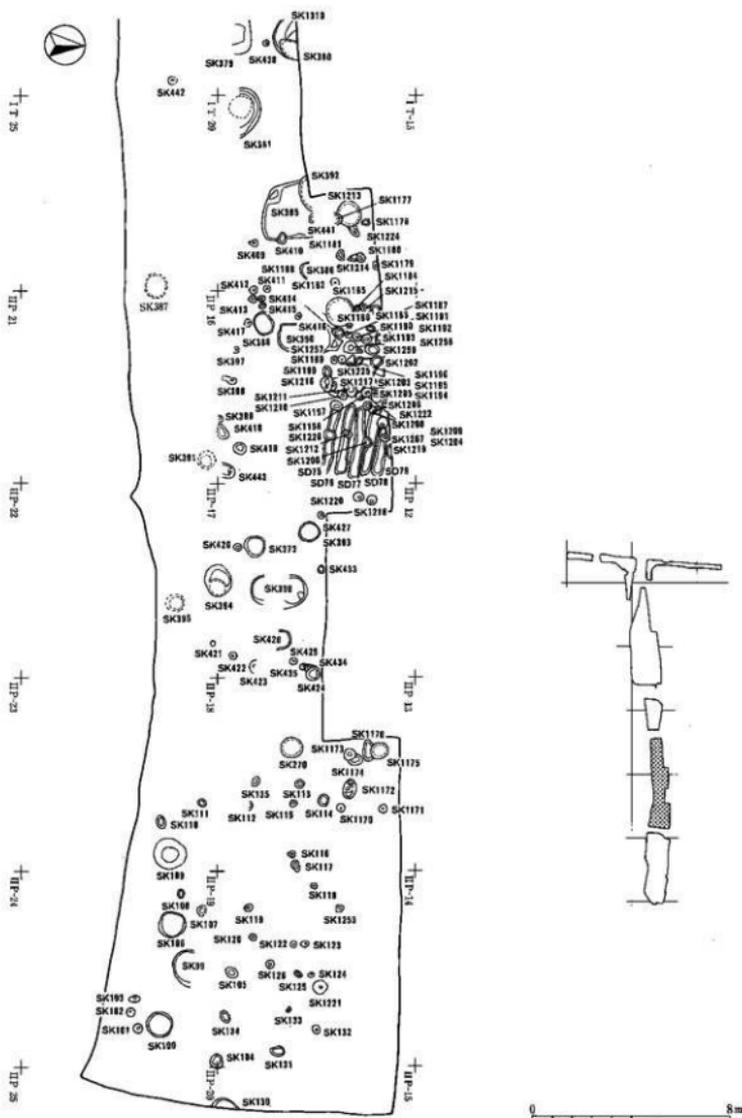
表27 平安時代後期～中世出土石器組表

名称	総数	原石	石核	剥片	砕片	片	石鏃	刃器	敲石	磨石	石鉢	くぼみ石	石臼	石錐	砥石	玉石	みがき石
数量	254	46	4	72(4717.55)	20(14.25)		1	7	16	8	4	39	3	2	19	1	12

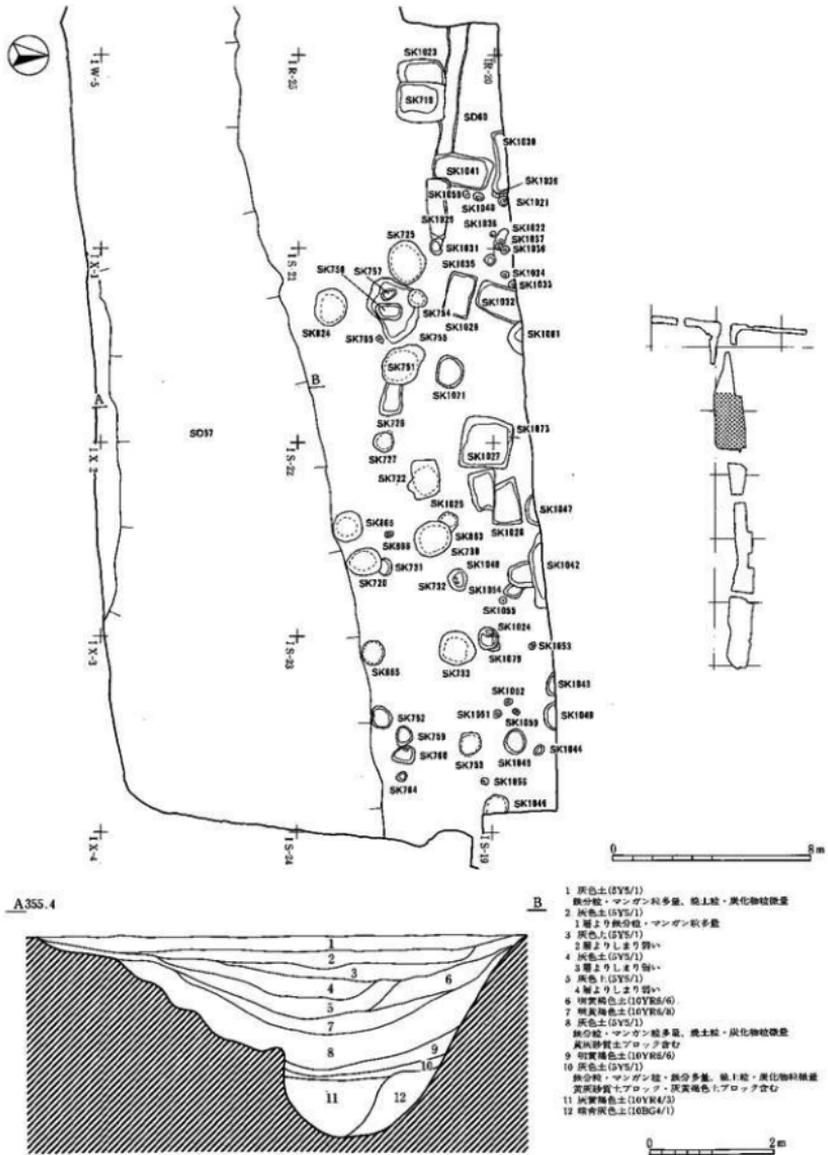
() 内は数量 <8> を示す



第70図 平安後期～中世の遺構分布図 1

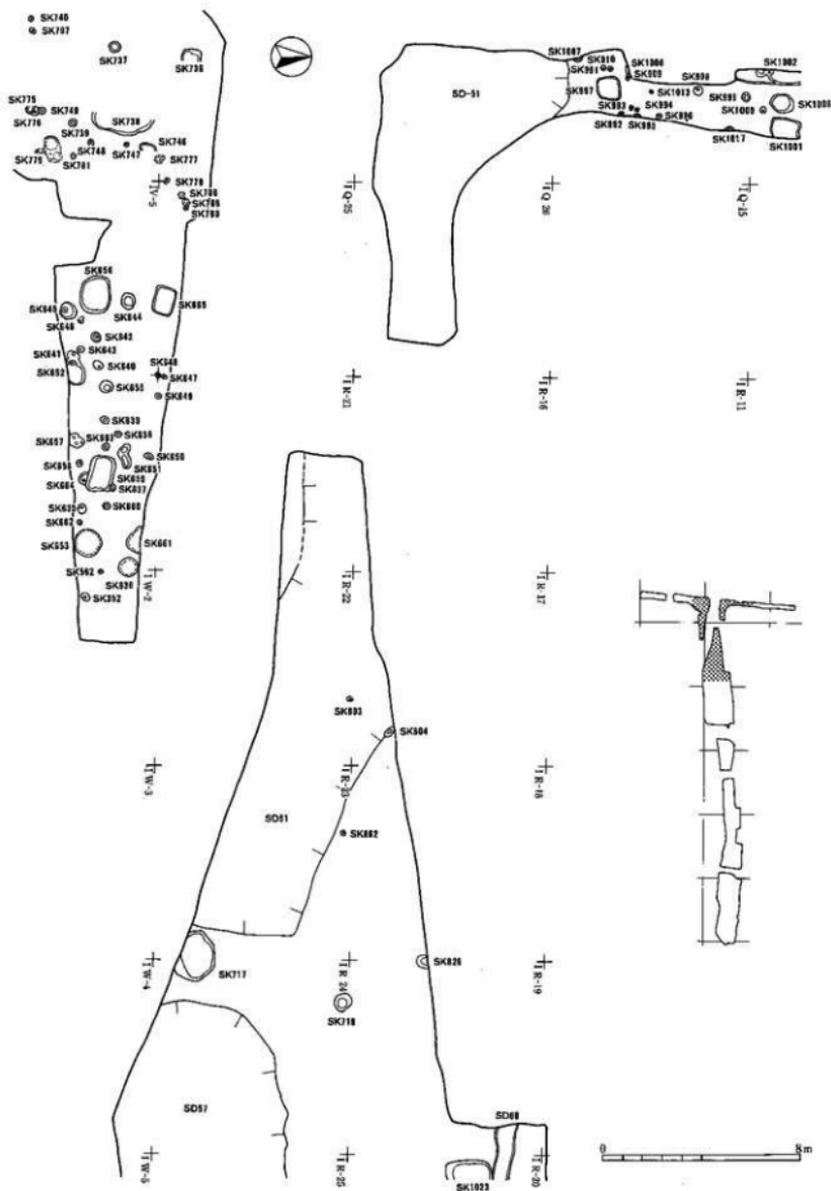


第71図 平安後期～中世の遺構分布図 2



第73図 平安後期～中世の遺構分布図 4

第2章 遺構と遺物



第74図 平安後期～中世の遺構分布図 5

表28 平安後期～中世の溝 (SD) 一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	四角番号	平面形	走向 方向	全長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	色 質	土性	堆積状況	遺物の土 状	遺物 例	切欠関係 (色) → (前)	備考
2	7		T19	72	直線的	南→北	1.021	0.40	0.23	灰黄色色	砂	1層目層主体	-	-	-	-
6	43	平安	V18, 19	75	直線的	東→西	3.561	1.30	0.91	灰褐色～暗褐色	砂・シルト	4層目層主体 炭化物を多く混入	土器、石器	SH47, 47→	-	-
4	51	中世	P16, 17, 18, 21, 22, 23, Q14, 19	74 75	-	-	(37.00)	7.00	3.48	-	-	-	土器、石器、 鉄、鉄滓	76- 87	SB 37, 61, 77, 80, 81 SK887→SK803, 804, 1061	堀
4	57	中世	R24, 25, X1, S16, 17, 18, 21, 22, 23, W4, 5	73 74	-	-	(38.66)	9.10	1.30	明灰黄色 →暗青灰色	シルト	12層 鉄分・鉄分粒・鉄分 ブロック・マンガン 酸を多く混入	土器・石器、 鉄・鉄滓	78- 87	SB 50, 60, 82, 63, 64, 65, 66, 67, 69, 70, 73, 75→	堀
4	60		R19, 20	73 74	直線的	西→東	(5.30)	0.84	0.38	暗灰黄色	砂	1層目層主体	土器	SK763 -SK719, 1023 1041	-	-
2	75		P11	71	直線的	東→西	(2.64)	0.48	0.96	暗褐色	砂	1層	土器	-	→SK1197, 1228	-
2	76		P11	71	直線的	東→西	2.84	0.42	0.07	暗褐色	砂	1層	土器	-	→SK1212	-
2	77		P11	71	直線的	西→東	2.88	0.45	0.65	暗褐色	砂	1層	土器	-	→SK1250	-
2	78		P11	71	直線的	西→東	2.52	0.42	0.09	暗褐色	砂	1層	土器	-	→SK 1200, 1208, 1209, 1222	-
2	79		P11	71	直線的	西→東	(1.98)	0.44	0.10	暗褐色	砂	1層	土器	-	→SK1207, 1208	-

表28-1 平安後期～中世の土坑 (SK) 一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構ID	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 質	土色調記号	堆積状況	遺物	遺物ID	備考
1	1		70	Q20, 数16	-	C	-	-	2.80	-	-	-	土器、鉄滓		井戸
1	2		70	Q20	円形	C	1.23	1.07	3.74	-	-	-	土器		井戸
1	3		70	Q20	円形	C	0.36	0.36	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	5		70	Q20	円形	C	0.34	0.34	0.87	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	7		70	Q20	円形	C	1.56	1.44	3.09	-	-	-	土器、石器		井戸
1	10		70	Q20	楕円形	A	9.96	0.68	0.55	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 堆土粒・地上ブロッ クを多く混入	土器		
1	11		70	Q15, 20	不整形	C	0.80	0.63	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、鉄滓		
1	12		70	Q20	楕円形	E	0.42	0.30	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
1	14		70	Q15	円形	C	0.75	0.72	-	-	-	-	土器		井戸
1	15		70	Q19	円形	A	0.16	0.16	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
1	16		70	Q20	円形	C	0.30	0.28	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
1	17		70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	18		70	Q19	円形	B	0.42	0.22	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	19		70	Q19	楕円形	C	0.64	0.22	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 堆土粒・地上ブロッ クを多く混入	土器		
1	20		70	Q19	楕円形	C	0.64	0.28	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 堆土粒・地上ブロッ クを多く混入	土器		
1	21		70	Q30	円形	C	0.21	0.20	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	22		70	Q20	円形	C	0.23	0.20	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	23		70	Q19	円形	A	0.23	0.22	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	24		70	Q14	円形	C	1.08	1.04	3.33	-	-	-	土器、鉄滓	87	井戸
1	25		70	Q13, 14	円形	C	0.90	0.84	3.09	-	-	-	土器、鉄滓	76	井戸
1	26		70	Q20	-	-	-	-	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
1	27		70	Q20	-	-	-	-	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	28		70	Q20	円形	C	0.40	0.36	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	-		
1	29		70	Q20	楕円形	C	0.40	0.31	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	30		70	Q20	円形	C	0.30	0.28	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表29-2 平安後期～中世の土坑(SK)一覽

仮 地区	SK番号	時期	遺構ID	中地区	平面形	断面 傾斜	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	十色層記号	基礎状況	遺物	遺物ID	備考
1	31	70	Q20	内影	C	0.18	0.18	0.23	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	32	70	Q19	内影	A	0.18	0.16	0.23	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	33	70	Q19	内影	C	0.60	0.60	0.33	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	34	70	Q19	内影	A	0.28	0.26	0.14	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	35	70	Q19	内影	A	0.34	0.32	0.16	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	36	70	Q19	内影	A	0.18	0.18	0.19	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	37	70	Q19	内影	A	0.32	0.32	0.22	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器、石器	78	
1	38	70	Q19	内影	C	0.86	0.86	3.39	—	—	—	—	土器、骨	骨片	
1	39	70	Q19	内影	A	0.36	0.30	0.19	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	40	70	Q19	内影	H	0.24	0.18	0.29	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	41	70	Q18	内影	C	1.60	1.54	—	—	—	—	壁を多く乱入	土器、石器、骨	骨片	
1	42	70	Q19	内影	A	0.18	0.18	0.11	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	43	70	Q19	内影	C	0.46	0.46	0.17	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	44	70	Q19	長方形	E	0.66	0.46	0.32	12.20~黄褐色	10YR4/3	2層	—	—	—	
1	45	70	Q20	内影	C	0.26	0.26	0.06	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	46	70	Q20	—	—	—	—	0.49	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	47	70	Q20	不整形	C	1.33	(0.82)	0.16	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	48	70	Q17	長方形	E	1.12	0.70	0.41	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	49	70	Q16	内影	C	0.72	0.64	0.44	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	50	70	Q18、19	長方形	C	1.52	0.96	0.23	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	51	70	Q18	内影	A	0.58	0.78	0.97	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	52	70	Q17	内影	C	1.00	0.90	2.68	—	—	—	—	土器	76	骨片
1	53	70	Q17	内影	C	0.64	0.60	0.81	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器、石器	—	
1	54	70	Q17	内影	A	0.74	0.70	0.56	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器、種子	—	
1	56	70	Q17	内影	E	0.46	0.30	0.36	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	56	70	Q17	内影	C	0.78	0.76	0.31	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	壁土粒・焼土ブロックを多量に乱入	土器	—	
1	57	70	Q16	—	—	—	—	0.15	12.20~黄褐色	10YR4/3	2層	—	土器	—	
1	59	70	Q19	内影	A	0.90	0.90	0.20	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	壁土粒・焼土ブロックを多く乱入	土器、骨	—	
1	60	70	Q19	内影	A	0.26	0.26	0.16	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	61	70	Q19	内影	A	0.28	0.26	0.18	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	62	70	Q19	内影	C	0.50	0.46	0.18	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	63	70	Q19	内影	A	0.41	0.36	0.20	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	64	70	Q11	長方形	C	1.94	0.90	0.10	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	65	70	Q11	長方形	C	1.20	0.78	0.19	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	66	70	Q11	内影	A	0.14	0.14	0.07	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	68	70	Q13	内影	A	0.34	(0.28)	0.12	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	70	70	Q18	内影	C	0.62	0.48	0.15	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	71	70	Q12	内影	C	0.86	0.84	1.01	12.20~黄褐色	10YR4/3	2層	—	土器	—	
1	72	70	Q17	内影	C	(0.52)	0.42	0.12	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	73	70	Q17、18	内影	E	0.46	0.40	0.31	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	74	70	Q17	長方形	G	0.74	0.58	0.27	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	75	70	Q18	内影	C	0.62	0.44	0.19	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	76	70	Q18	内影	C	0.66	0.50	0.17	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	壁土粒・焼土ブロックを多く乱入	—	—	
1	77	70	Q18	内影	C	0.84	0.64	0.28	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	壁土粒・焼土ブロック・灰化物粒・灰化物ブロックを多量に乱入	土器、小器	—	
1	78	70	Q11	内影	C	0.58	0.44	0.40	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	鉄製品	87	
1	79	70	Q11	内影	C	0.46	0.36	0.12	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	80	70	Q11	内影	A	0.14	0.14	0.06	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	81	70	Q12	内影	A	0.10	0.16	0.14	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	82	70	Q12	内影	B	0.34	0.32	0.27	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	83	70	Q12、13	横内影	D	1.46	0.56	0.29	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	84	70	Q17	内影	B	0.22	0.20	0.22	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	—	—	
1	85	70	Q18	内影	C	0.72	0.72	0.37	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	86	70	Q18	(内影)	C	(1.06)	0.88	0.20	12.20~黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	
1	87	70	Q16	内影	H	0.30	0.24	0.19	12.20~灰褐色	10YR4/3	1層	—	土器	—	

表29-3 平安後期～中位の土坑 (SK) 一覧

保土区	SK番号	時期	遺構ID	中地区	平面形	断面形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 質	土色統記号	堆積状況	遺物	遺物ID	備考
1	88	70	Q13	横円形	K	1.60	0.44	0.17	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	89	70	Q20	円形	C	0.20	0.20	0.09	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	90	70	Q20	横円形	C	0.56	0.54	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	95	70	Q17	円形	B	0.64	0.54	0.43	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器、灰口			
1	96	70	Q17	横円形	C	0.92	0.58	0.35	にじみ黄褐色	10YR4/3	2層	土器			
1	97	70	Q17	円形	C	0.58	0.46	0.28	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	98	70	Q17	円形	H	0.45	0.41	0.22	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	99	71	P19	—	—	—	—	0.18	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器、鉄			
2	100	71	P19	円形	A	1.10	1.54	0.20	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	101	71	P19	円形	B	0.22	0.32	0.29	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	102	71	P19	円形	B	0.30	0.26	0.17	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	103	71	P19	横円形	B	0.42	0.39	0.35	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	104	71	P14、19	円形	C	0.50	0.47	0.30	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	105	71	P14	横円形	H	0.56	0.42	0.22	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	106	71	P19	円形	C	1.10	1.06	0.34	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	107	71	P19	円形	B	0.26	0.36	0.50	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器、鉄			
2	108	71	P19	円形	A	0.28	0.24	0.09	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	109	71	P19	円形	A	1.24	1.22	0.13	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
3	110	71	P18	横円形	C	0.38	0.30	0.13	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	111	71	P18	円形	C	0.32	0.26	0.13	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	112	71	P13	—	H	—	—	0.47	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	113	71	P13	円形	C	0.30	0.28	0.19	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	114	71	P13	円形	C	0.44	0.38	0.24	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	115	71	P13	円形	H	0.34	0.30	0.57	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	116	71	P13	円形	A	0.24	0.20	0.07	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	117	71	P13	横円形	A	0.44	0.56	0.07	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	118	71	P14	円形	A	0.42	0.20	0.24	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	119	71	P14	円形	E	0.34	0.32	0.50	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	120	71	P14	円形	A	0.22	0.18	0.08	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
1	121	70	Q16	横円形	C	1.00	0.64	0.16	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層 (炭化物層)	土器、石器			
2	122	71	P14	円形	B	0.21	0.20	0.16	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	123	71	P14	円形	B	0.22	0.22	0.18	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	124	71	P14	円形	C	0.24	0.22	0.15	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	125	71	P14	横円形	C	0.34	0.26	0.11	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	126	71	P14	円形	C	0.21	0.24	0.15	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
1	127	70	Q12	長方形	G	1.24	0.85	2.63	—	—	—	土器、木製品		井戸	
1	128	70	Q17	横円形	A	0.34	0.26	0.14	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
2	130	71	P15、20	—	—	—	—	—	褐色	10YR3/4	1層(砂層)	土器			
2	131	71	P14	不整形	A	0.46	0.28	0.06	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	132	71	P14	円形	A	0.26	0.24	0.09	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	133	71	P14	円形	C	0.18	0.15	0.10	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	134	71	P14	横円形	C	0.48	0.39	0.24	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
2	135	71	P13	横円形	E	0.46	0.32	0.32	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器			
1	137	70	Q26	横円形	C	0.80	0.60	2.57	—	—	—	土器		井戸	
1	138	70	Q12	円形	A	0.16	0.16	0.30	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	139	70	Q12	円形	E	0.36	0.26	0.25	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器、炭化物を多く含む土器			
1	140	70	R16	—	—	—	—	0.46	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	143	70	Q18	円形	—	—	—	0.45	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	144	70	Q19	円形	C	0.34	0.34	0.19	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	145	70	Q19	円形	A	0.28	0.28	0.20	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	146	70	Q19	円形	C	0.26	0.24	0.26	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	148	平安?	70	Q20	不整形	C	1.38	0.94	0.31	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器、骨		
1	151	70	Q20	—	—	—	—	0.25	褐色	7.5YR4/4	1層	土器		土器、炭化物を多く含む土器	
1	152	70	Q20	—	—	—	—	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
1	153	中世?	70	Q15、20	円形	C	0.98	0.90	2.82	—	—	土器、六面		70-78・井戸	

表28-4 平安後期～中世の土坑(SK)一覧

塚 加号	SK番号	時期	遺跡同	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色編記号	堆積状況	遺物	遺物類	備考	
1	154	70	Q14, 19	楕円形	C	0.70	0.46	0.27	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	155	70	Q19	円形	B	0.30	0.30	0.20	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	156	70	Q19	円形	E	0.58	0.54	0.39	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	157	70	Q19	楕円形	A	0.34	0.25	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	158	70	Q19	楕円形	A	0.36	0.22	0.14	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	159	70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.07	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	160	70	Q15	円形	A	0.18	0.15	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	162	70	Q18	円形	H	1.00	0.96	0.91	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	明黄褐色土ブロック を多く混入	土器		
1	163	平安?	70	Q20	不整形	G	(2.60)	1.54	0.40	灰黄褐色	10YR4/2	1層	(砂質) 粘土粒・炭化 物粒を多く混入	土器		
1	164	70	Q17	不整形	C	0.90	(0.72)	0.23	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	165	70	Q19	円形	A	0.30	0.28	0.19	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	166	70	Q20	円形	C	0.40	0.40	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	167	70	Q20	楕円形	C	0.54	0.27	0.08	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	169	70	Q20	円形	C	0.28	0.18	0.08	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	170	70	Q19	円形	A	0.22	0.20	0.12	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	171	70	Q20	—	—	—	—	0.97	—	明黄褐色 —にじみ・黄褐色	2.5Y6/6-10YR4/ 3	—	—	土器、石器、 骨		
1	172	70	Q20	楕円形	A	0.77	0.56	0.45	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	173	70	Q20	—	—	—	—	0.27	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	174	70	Q16	円形	A	0.24	0.23	0.14	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	175	70	Q16	円形	A	0.34	0.30	0.19	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	178	70	Q16	円形	C	0.30	0.28	0.39	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	179	70	Q20	不整形	G	(1.14)	0.94	0.86	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器、石器、 骨		
1	183	平安?	70	Q18	円形	C	1.16	1.64	—	—	—	—	—	土器、石器	79	井戸
1	184	70	Q14	不整形	C	1.45	0.35	0.41	—	にじみ・黄褐色	45YR4/3	1層	—	土器		
1	187	70	Q20	不整形	C	1.56	1.16	0.44	—	褐色～灰黄褐色	10YR4/1-4/2	2層	明黄褐色土ブロック 混入土ブロック、粘土 粒、炭化物粒、炭化 物土ブロックを多量に 混入	土器		
1	191	70	Q19, 20	不整形	C	1.02	0.32	0.15	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	204	70	Q13, 18	円形	C	0.80	0.80	0.34	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	205	70	Q13	楕円形	A	0.90	0.40	0.11	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	207	70	Q18	—	—	—	—	0.72	—	にじみ・黄褐色	10YR5/4	1層	粘土粒・炭土ブロック を多量に混入	土器		
1	210	70	Q20	円形	C	—	—	2.90	—	—	—	—	—	土器、石器、 鉄片	79	井戸
1	211	70	Q18	円形	C	1.00	0.88	0.54	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	213	70	Q20	円形	E	0.62	(0.56)	0.53	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	214	70	Q20	楕円形	C	1.01	0.90	0.70	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器、石器		
1	231	70	Q16, 20	円形	C	1.24	(1.10)	0.50	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器、石器		
1	236	70	Q18	円形	G	0.74	0.56	0.35	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	土器		
1	237	70	Q20	円形	E	0.80	0.72	0.42	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	明黄褐色土ブロック を多く混入	—		
1	285	70	Q19	円形	A	0.16	0.16	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	266	70	Q19	円形	A	0.18	0.12	0.10	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
2	270	71	P13	円形	C	0.88	0.80	—	—	—	—	—	—	土器、木製品、 土器	77-83	井戸
1	340	70	Q12, 17	円形	C	1.10	1.07	1.94	—	—	—	—	—	土器、石器	80	井戸
1	351	70	Q12, 13	円形	C	1.20	1.14	—	—	—	—	—	—	土器、石器、 木製品	83	井戸
6	352	74	W2	円形	G	0.36	0.33	0.41	—	黒褐色	10YR3/1	1層	1層目層と体 化物を多く 混入	—		
1	355	70	Q17	方形	C	0.36	0.28	0.35	—	にじみ・黄褐色	10YR4/3	1層	—	—		
1	356	70	Q16, 17	円形	C	0.98	0.92	2.23	—	—	—	—	—	土器		
1	358	70	Q11, 16	円形	C	0.94	0.84	3.00	—	—	—	—	—	土器、石器、 木製品、骨、 鉄製品	83-87	井戸
1	370	70	Q12	円形	C	0.88	0.88	2.27	—	—	—	—	—	—	作付	
1	372	70	Q12, 17	円形	C	0.70	0.70	2.56	—	—	—	—	—	土器	井戸	
2	373	71	P12	円形	C	0.88	0.84	0.27	—	灰黄褐色～にじみ 黄褐色	10YR4/2-4/3	2層	2層目層も体 化物を多く混入	土器		

表28-5 平安後期～中世の土坑(SK)一覽

区画 地区	SK番号	時期	道幅	中地区	平面形	断面 形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	色 調	土色表記号	埋積状況	遺物	遺物図	備考
2	374	72	T15, 18	円形	C	0.72	0.72	3.03	—	—	—	土器を乱入	土器、種子、木製品		井戸
2	375	中世	72	T10	—	—	—	2.85	—	—	—	—	土器、石器	76-80	井戸
2	376	72	T19	楕円形	C	1.00	1.20	1.20	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	6	層目層主体 粘土ナフ ロツクを多量に混入	土器、石器		井戸
2	377	72	T19	楕円形	G	1.38	1.16	3.64	2.64に濃い黄褐色 ～灰黄褐色	10YR5/3～4/2	—	—	土器、石器		井戸
2	378	72	T14	円形	C	0.76	0.70	—	灰黄褐色 ～に濃い黄褐色	10YR4/2～4/3	—	礫を混入	土器、石器	80	井戸
2	379	71-72	T14	—	G	—	—	0.38	褐色	10YR2/1	1	層目層主体 炭化物を多 く混入	土器		
2	380	71-72	T14	—	C	0.75	0.60	—	—	—	—	—	土器、石器	80	井戸
2	381	71-72	T14, 15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	土器、石器、 木製品		井戸
3	382	72	T16	円形	G	0.35	0.36	0.36	2.35に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
3	383	72	T16	円形	C	0.78	0.70	—	—	—	—	—	土器、石器	80	井戸
3	384	72	T16	円形	C	0.88	0.84	—	—	—	—	—	—		井戸
2	385	71	T15	—	—	—	—	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	土器、石器		
2	386	71	T15	—	A	—	—	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	土器		
2	387	71	P16, T20	円形	C	1.04	0.96	—	—	—	—	—	土器	76	井戸
2	388	71	P11	円形	A	0.94	0.80	0.30	灰黄褐色 ～に濃い黄褐色	10YR4/2～4/3	2	層目層主体 炭化物を多 く混入	土器、骨		
2	389	72	T14	—	—	—	—	—	灰黄褐色	10YR4/2	2	層目層主体 粘土ナフ ロツクを多く混入	土器、石器	76-80	
2	390	71	P11	—	C	—	—	0.31	灰黄褐色 ～に濃い黄褐色	10YR4/2～4/3	2	層目層主体	土器、鉄製 品	87	
2	391	71	P16	円形	C	0.76	0.74	0.33	2.35に濃い黄褐色～暗 褐色	10YR4/3～3/2	3	層目層主体	土器		
2	392	71	T15	—	C	—	—	—	—	—	—	—	土器、石器		井戸
2	393	71	P12	円形	C	0.86	0.82	0.27	2.27灰黄褐色 ～に濃い黄褐色	10YR4/2～4/3	2	層目層主体	土器		
2	394	71	P12, 17	円形	G	1.20	1.10	—	—	—	—	—	土器、種子、 木製品	83	井戸
2	395	71	P17	円形	C	0.72	0.68	—	—	—	—	—	木製品		井戸
2	396	71	P12	長方形	—	2.18	1.20	0.31	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	土器		
2	397	71	P11	楕円形	A	0.26	0.18	0.18	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	398	71	P11	小楕円形	G	0.56	0.24	0.17	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	399	71	P11	円形	A	0.20	0.18	0.11	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	400	72	T18, 19	—	C	—	—	0.25	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	土器		
2	401	72	T18	—	A	—	—	0.86	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	402	72	T18	方形	C	0.28	0.28	0.15	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	403	72	T18	長方形	C	0.28	0.18	0.07	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	404	72	T18	方形	C	0.18	0.18	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	405	72	T18	円形	C	0.32	0.30	0.09	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	406	72	T18	長方形	C	0.34	0.28	0.11	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	407	72	T18	楕円形	A	0.50	0.34	0.10	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	408	72	T18	—	—	—	—	0.29	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	2	層目層主体	—		
2	409	71	T15	長方形	C	0.22	0.20	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	410	71	T15	楕円形	A	0.44	0.28	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	411	71	T15	円形	B	0.16	0.16	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	412	71	P11, T15	円形	A	0.20	0.24	0.14	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	413	71	P11	円形	C	0.24	0.22	0.19	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	414	71	P11	楕円形	C	0.22	0.16	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	415	71	P11	円形	C	0.24	0.22	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	416	71	P11	円形	C	0.16	0.16	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	417	71	P11	円形	C	0.24	0.20	0.10	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	418	71	P11, 15	楕円形	G	0.60	0.46	0.14	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	419	71	P11	円形	A	0.48	0.44	0.07	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	420	71	P12	円形	A	0.20	0.18	0.05	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	421	71	P17	楕円形	A	0.18	0.14	0.09	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		
2	422	71	P12	円形	A	0.28	0.28	0.07	2.25に濃い黄褐色	10YR4/3	1	層目層主体	—		
2	423	71	P12	—	—	—	—	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	1	層目層主体	—		

表29-6 平安後期～中世の土坑(SK)一覽

坑 地 名	SK番号	時期	遺跡形	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 質	土色記号	堆積状況	遺物	埋没期	備考
2	424	71	P12	楕円形	A	0.46	0.46	0.16	0.46	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	423	71	P12	円形	A	0.18	0.17	0.07	0.17	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	426	71	P12	-	C	-	-	0.23	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
2	427	71	P12	楕円形	A	0.22	0.18	0.07	0.18	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	428	72	T19	円形	A	0.29	0.28	0.11	0.28	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	439	72	T19	楕円形	C	0.20	0.18	0.10	0.18	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	430	72	T19	円形	A	0.30	0.30	0.15	0.30	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	431	72	T19	円形	C	-	-	0.18	0.18	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	432	72	T19	-	-	-	-	0.25	-	灰黄色～ に、 黄褐色	10YR4/2-4/3	2層目(砂層)	-	-	-
2	433	71	P12	円形	B	0.34	0.30	0.42	0.42	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	434	71	P12	円形	A	0.32	0.28	0.06	0.28	に、 黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	-	-	-
2	435	71	P12	楕円形	-	(0.88)	(0.18)	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	436	72	T18	円形	A	0.34	(0.34)	0.20	0.34	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
2	437	72	T16	楕円形	B	(0.42)	0.30	0.28	0.28	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
2	438	71-72	T14	円形	E	0.22	0.22	0.22	0.22	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	439	72	T18	円形	A	0.22	0.18	0.18	0.18	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	441	71	T15	円形	E	0.28	(0.26)	0.23	0.28	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	442	71-72	T19	楕円形	D	0.32	0.24	0.30	0.30	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
2	443	71	P11	-	-	-	-	0.39	0.39	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	444	72	S20	楕円形	-	0.26	0.19	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
3	445	72	S20	円形	-	0.31	0.28	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	446	72	S20	楕円形	-	0.26	0.22	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
3	447	72	S20	円形	-	0.26	0.24	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	448	72	S20	円形	-	0.57	0.54	-	-	-	-	-	土器、骨	井戸	-
3	449	72	S15	楕円形	-	0.22	0.19	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	450	72	T16	楕円形	-	0.26	0.38	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	土器	-	-
3	451	72	S20	不整形	-	0.47	0.36	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	452	72	T16	円形	-	0.16	0.16	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	453	72	T16	円形	-	0.30	0.29	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	454	72	T17	円形	-	0.34	0.22	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	455	72	T17	円形	-	0.20	0.20	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	456	72	T17	楕円形	-	0.26	0.22	-	-	灰黄色	10YR4/2	1層目層主体	-	-	-
3	457	72	T11、 S15	楕円形	E	1.12	1.00	0.47	0.47	灰黄色 に、 黄褐色	10YR4/2-4/3	6層目層主体	土器	-	-
3	458	72	T16	不整形	C	0.52	0.34	0.59	0.59	灰黄色	10YR4/2	4層目層主体	土器	-	柱穴状
3	481	72	T11	円形	C	-	-	-	-	-	-	-	-	井戸	-
6	502	74	W2	円形	C	0.32	0.17	0.26	0.26	褐色～ 黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	-	-	-
6	535	74	W1	楕円形	A	0.48	0.40	0.22	0.22	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	536	74	W1、S	円形	C	0.70	0.72	-	-	-	-	-	土器	-	井戸
6	537	74	W1	円形	C	0.26	0.25	0.20	0.20	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	538	74	W1	円形	C	0.28	0.26	0.06	0.06	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	539	74	W1	円形	C	0.30	0.34	0.12	0.12	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	540	74	V5	円形	E	0.45	0.35	0.17	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	土器	-	-
6	541	74	V5	楕円形	E	0.53	0.35	0.22	-	-	-	-	土器	-	-
6	542	74	V5	円形	C	0.41	0.40	0.16	0.16	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	543	74	V5	円形	B	0.28	0.28	0.18	0.18	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	544	74	V5	円形	C	0.65	0.59	0.23	0.23	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	土器	-	-
6	545	74	V5	円形	E	0.66	0.66	0.53	0.53	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	土器	-	-
6	546	74	V5	円形	E	0.27	0.24	0.18	0.18	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-
6	547	74	R21	円形	B	0.18	0.16	0.27	0.27	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物多 く混入	-	-	-

表23-7 平安後期～中世の土坑(SK)一覧

坑 地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色図記号	基礎状況	遺物	遺物図	備考	
	648	74	Q28, R21	円形	A	0.26	0.26	0.12	黄灰色	2.5YR4/1	1層目層主体	-				
	649	74	R21	円形	C	0.28	0.28	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	650	74	W1	楕円形	C	0.38	0.24	0.19	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	651	74	W1	不整形	G	1.05	0.32	0.20	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	652	74	V5, W1	不整形	K	-	-	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器、石砂				
	653	74	W1	円形	C	1.10	1.06	-	-	-	-	土器、石器、骨、鉄製品	87	井戸		
	655	74	W1	円形	A	0.38	0.31	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	656	74	V5	方形	C	1.24	1.24	0.42	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	657	74	W1	不整形	G	0.60	0.57	0.15	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	658	74	W1	円形	C	0.35	0.29	0.25	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	659	74	W1	長方形	C	1.48	0.95	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	660	74	W1	円形	E	0.37	0.36	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	661	74	W1	円形	C	-	-	-	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	662	74	W1	円形	A	0.25	0.20	0.07	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器				
	663	74	W1	円形	C	0.36	0.34	0.15	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	664	74	W1	楕円形	E	-	-	0.24	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	-				
	665	74	Q25, V5	長方形	C	1.24	0.84	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層目層主体 炭化物较多く混入	土器、石器				
	6706	74-75	Q25	円形	C	0.34	0.30	0.14	にじみ炭褐色	10YR4/1	1層	-				
	6708	74-75	Q25	楕円形	C	0.38	0.25	0.11	にじみ炭褐色	10YR4/3	1層	-				
	717	74	R23, 24	-	-	-	-	0.60	黒褐色	10YR4/1	1層目層主体 褐色土+ワックを多く混入	土器				
	718	74	R19, 24	円形	H	0.74	0.62	0.84	にじみ炭褐色	10YR5/4	1層	土器、石器				
	719	73	R20	方形	C	1.80	0.74	0.75	黄灰色	2.5Y4/1	3層目層主体 黄褐色土+ワックを多く混入	土器、石器、鉄器				
	720	中世?	73	S17	円形	C	1.30	1.24	-	-	-	土器		井戸		
	722	73	S17	不整形	-	1.74	1.44	-	-	-	-	土器、石器	81	井戸		
	723	73	R28, S16	円形	C	1.82	(1.58)	-	-	-	-	土器、石器、鉄器、種子		井戸		
	726	73	S16	楕円形	C	-	-	0.25	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	-				
	727	73	S46, 17	円形	C	0.84	0.84	-	-	-	-	土器、石器、木製品	84	井戸		
	730	73	S17	円形	-	1.64	1.41	-	-	-	壁を混入	土器、石器		井戸		
	731	73	S17	-	A	-	-	0.20	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	土器、石器、鉄器				
	732	73	S17	-	C	-	-	0.18	黒褐色	7.5YR3/2	1層	土器				
	733	中世?	73	S18	円形	C	1.48	1.26	-	-	-	壁を多く混入	土器、石器	76-81	井戸	
	736	74-75	Q24	-	-	-	-	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器				
	737	74-75	V4	円形	C	0.48	0.36	0.09	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	738	74-75	V4	不整形	C	-	-	0.18	暗褐色	10YR3/4	2層目層主体	土器				
	739	74-75	V4	円形	C	0.38	0.28	0.08	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	740	74-75	V4	円形	C	0.24	0.24	0.07	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	741	75	V4	-	-	-	-	0.20	黄灰色-黒褐色	10YR4/-2/1	2層目層主体	鉄		86		
	742	75	V4	-	E	-	-	0.33	暗褐色	10YR3/4	4層目層主体 炭化物较多く混入	土器、石器				
	743	75	V4	円形	C	0.30	0.42	0.33	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器				
	744	75	V9	円形	B	0.26	0.24	0.13	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	745	75	V9	円形	B	0.32	0.28	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	746	74-75	V4	-	C	-	-	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器				
	747	74-75	V4	円形	C	0.20	0.18	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				
	748	74-75	V4	円形	B	0.26	0.20	0.41	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	-				

表29-8 平安後期～中世の土坑 (SK) 一覧

取 組 区	SK番号	時期	遺構区	中地区	平面形	断面 形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	色 調	土色顔色号	層位状況	遺物	遺物区	備考
6	749	74-75	V 4	円形	B	0.26	0.24	0.33	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	750	75	V 4	円形	C	0.28	0.28	0.18	暗褐色	10YR2/4	1層目層主体	—			
4	751	75	S18	楕円形	C	2.02	1.50	—	—	—	—	土器、人形 土器、鉄製 品、種子	84	井戸	
4	752	75	S18	円形	C	0.94	0.76	—	—	—	—	—	—	井戸	
4	753	75	S16	円形	C	0.88	(0.80)	—	—	—	—	土器	—	井戸	
4	754	75	S16	円形	C	(0.80)	(0.76)	—	—	—	—	土器	—	井戸	
4	755	75	S16	不規則	C	2.34	2.04	0.40	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	—			
4	757	75	S16	不規則	A	0.60	0.49	0.16	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	—			
4	758	75	S16	反方形	C	0.90	0.62	0.30	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	土器			
4	759	75	S18	楕円形	C	0.96	0.66	0.26	黒褐色	7.5Y3/2	1層	土器、石器			
4	760	75	S18	不規則	G	1.02	0.79	0.22	当紅色	7.5YR3/2	1層	—			
4	764	75	S18	円形	C	0.36	0.34	0.33	黄灰色	2.5Y4/1	1層目層主体	土器			
4	765	75	S16	円形	C	0.24	0.20	0.17	灰白色	2.5Y4/1	1層目層主体	—			
6	766	75	V 4	楕円形	C	0.28	0.18	0.06	にじみ黄褐色	10YR6/3	1層	—			
6	767	74-75	V 4	円形	B	0.24	0.20	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	—			
6	768	75	V 9	円形	B	0.28	0.28	0.26	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	—			
6	769	75	V 8、9	楕円形	C	0.60	0.38	0.11	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	770	75	V14	円形	E	0.30	0.30	0.27	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	771	75	V 9	円形	C	—	—	0.28	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	772	75	V 4	円形	C	0.28	0.26	0.18	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	—			
6	773	76	V 4	円形	C	0.28	0.24	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	—			
6	774	76	V 4	円形	C	0.34	(0.34)	0.21	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	—			
6	775	74-75	V 4	—	—	—	—	0.17	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器、鉄製 石器			
6	776	74-75	V 4	—	B	—	—	0.25	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	777	74-75	Q24、 V 4	楕円形	E	0.46	0.38	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	778	74-75	Q24、25	楕円形	C	0.40	0.24	0.16	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	土器			
6	779	74-75	V 4	不規則	G	1.06	0.60	0.40	暗褐色	10YR3/4	2層目層主体	土器、鉄器			
6	780	74-75	Q25	円形	C	0.20	0.14	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	—			
6	781	74-75	V 4	楕円形	C	0.24	0.16	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	2層目層主体	—			
6	785	75	V 9	長方形	A	0.64	0.46	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	786	75	V 9	円形	H	0.28	0.22	0.15	暗褐色	10YR3/4	1層目層主体	土器			
6	790	75	V 9	円形	B	0.32	0.28	0.25	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	—			
4	803	74	R22	円形	C	0.38	0.32	0.19	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層	—			
4	804	74	R17	楕円形	A	1.54	0.24	0.28	灰黄褐色	10YR4/2	1層目層主体	—			
4	824	75	S16	円形	C	1.44	1.24	—	—	—	—	土器、石器、 銅製品		井戸	
4	826	74	R18、19	—	—	—	—	0.33	—	—	—	土器			
4	822	74	R23	円形	B	0.22	0.22	0.50	灰色	5Y6/1	1層	—			
4	865	75	S17	円形	C	1.28	1.24	—	—	—	—	土器、木製 品	84	井戸	
4	866	75	S17	円形	E	0.24	0.22	0.29	褐灰色～当紅色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	土器			
4	883	75	S17	円形	C	—	—	—	—	—	—	土器、石器		井戸	
4	885	75	S18	円形	C	0.98	0.90	—	—	—	—	土器、鉄製 品、種子、木 製品	76-84	井戸	
5	909	74-75	Q14	—	C	—	—	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器			
5	910	74-75	Q14	円形	A	0.16	0.14	0.99	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	991	74-75	Q14	円形	B	0.16	0.16	0.15	当紅色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	992	74-75	Q14	円形	B	0.16	0.12	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	993	74-75	Q14	方形	K	0.18	0.14	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	994	74-75	Q14	円形	B	0.16	0.15	0.20	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	995	74-75	Q14	—	R	—	—	0.21	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	996	74-75	Q14	円形	B	0.24	0.18	0.16	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	997	74-75	Q14	方形	C	0.96	0.94	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器			
5	998	74-75	Q14	円形	E	0.34	0.32	0.21	暗褐色	10YR2/3	1層目層主体	—			
5	999	74-75	Q14	楕円形	C	0.38	0.30	0.43	暗褐色	10YR2/3	1層目層主体	—			
5	1000	74-75	Q 9	楕円形	B	0.30	0.22	0.41	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			
5	1001	74-75	Q 9	—	A	—	—	0.15	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—			

表28-9 平安後期～中世の土坑(SK)一覧

遺構区	SK番号	時期	遺構区	中世区	平面形	断面形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色 調	土色鑑定号	埋積状況	遺物	遺物図	備考
5	1002	74-75	Q 9	14	A			0.30		にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3-3/3	3層目層主体	にぶい黄褐色土アワツタを多く混入	土器、骨	
5	1003	75	Q 9		円形	H	0.26	0.27		暗褐色	10YR2/3	1層目層主体		土器、骨	
5	1005	75	Q 4		楕円形	E	0.58	0.21		にぶい黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	にぶい黄褐色土を多く混入	土器	
5	1006	74-75	Q 9		楕円形	A	0.90	0.08		暗褐色	10YR3/3	1層目層主体		土器	
5	1007	74-75	Q14			C		0.38		灰黄褐色	10YR4/2	1層目層主体	にぶい黄褐色の砂を多く混入		
5	1008	74-75	Q14							暗褐色	10YR3/3	1層目層主体		土器	
5	1013	74-75	Q14		円形	A	0.22	0.32	0.09	暗褐色	10YR2/3	1層目層主体			
5	1017	74-75	Q14							暗褐色	10YR3/3	1層目層主体			
4	1021	73	R15		円形	A	0.38	0.34	0.10	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1022	73	R15		不規則形	B	0.55	0.32	0.56	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1023	73-74	R20		楕円形	A	1.00	0.32		暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1024	73	S12, 13, 17, 18		楕円形	G	0.90	0.81	0.25	暗褐色～黒褐色	10YR5/5-5/1	2層目層主体			土器、石器
4	1025	73	S12, 17		長方形	F	1.02	1.06	0.21	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入	土器	
4	1026	平安	73	S12	長方形	C	1.74	1.04	0.44	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入	土器、石器	
4	1027	73	S11, 12, 16, 17		方形	C	2.06	2.02	0.54	暗黄褐色～暗褐色	10YR6/6-3/1	3層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入	土器、石器	
4	1028	平安	73	S16	長方形	G	1.76	1.08	0.73	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物、黄褐色土アワツタを多く混入	土器	
4	1029	73	R20		長方形	C			0.35	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体		土器、骨、漆器	
4	1030	73	R15						0.47	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入		
4	1031	73	R20, S16		不規則形	A	0.54	0.46	0.22	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入		
4	1032	73	S11, 16		長方形	C			0.36	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入		
4	1033	73	S11		楕円形	A	0.32	0.26	0.14	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1034	73	S11		円形	A	0.22	0.23	0.13	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1035	73	S11, 16		円形	A	0.44	0.36	0.22	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1036	73	R15, S11		楕円形	E	0.35	0.30	0.13	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1037	73	R15		円形	B	0.20	0.18	0.18	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1038	73	R20		円形	A	0.28	0.28	0.30	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1039	73	R15		円形	A	0.26	0.26	0.23	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1040	73	R20		楕円形	H	0.42	0.32	0.43	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1041	73	R20		長方形	C	2.36	1.30	0.43	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2-3/1	2層目層主体	焼土、炭化物などを多く混入		
4	1042	73	S12						0.84	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1043	73	S13						0.39	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1044	73	S13			E	0.40	0.28	0.63	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1045	73	S13		円形	C	0.92	0.84	3.02						土器、石器、木製品
4	1046	中世	73	S13, 18	円形	C									土器、石器、木製品
4	1047	73	S12						0.30	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1048	73	S12		円形	C									土器、石器
4	1049	73	S13						0.32	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1050	73	S13		円形	A	0.22	0.18	0.14	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1051	73	S13		楕円形	C	0.28	0.26	0.40	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1052	73	S13		楕円形	C	0.23	0.20	0.21	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1053	73	S13		楕円形	A	0.23	0.18	0.25	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1054	73	S12			C			0.20	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			土器
4	1055	73	S12		円形	A	0.26	0.23	0.24	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			土器
4	1056	73	S18		円形	B	0.20	0.20	0.32	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1059	73	R20		円形	E	0.26	0.22	0.30	暗褐色～暗褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			
4	1071	73	S16		円形	C	1.20	1.12	3.53	黄褐色～黄褐色	2.5Y5/1-5/3	1層目層主体			土器、石器、木製品
4	1073	73	S11						0.32	暗褐色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体			

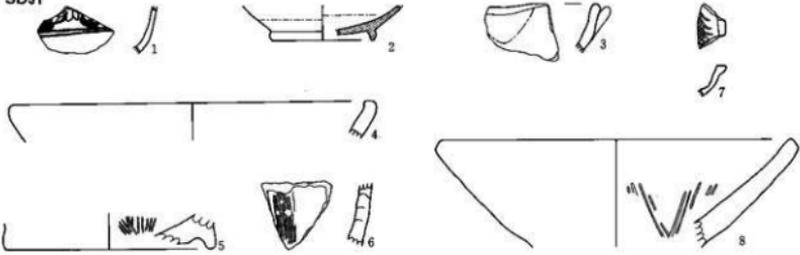
表29-10 平安後期～中世の土坑(SK)一覽

取 出 地	SK番号	時期	遺構内	中地区	平面形	断面 形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	色 調	土色記号	埋没状況	遺物	透物	備考
4	1079	73	S13, 18	不整形	C	0.56	0.56	0.39	—	桃灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	土器		
4	1081	73	S11	—	—	—	—	0.34	—	桃灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	土器		
5	1108	73	L19	—	C	—	—	0.61	—	にじみ黄褐色 ～黒褐色	10YR4/3-3/1	2層 明実褐色土ブロック を多く混入	土器、石器、 鉄		
5	1110	76	L24	—	—	—	—	—	—	にじみ黄褐色 ～黒褐色	10YR4/3-3/1	2層 明実褐色土ブロック を多く混入	土器、不器		
1	1134	70	Q15, R11	円形	C	1.64	1.36	—	—	—	—	壁を多く混入	土器、不器、 骨、木製品	井戸	
1	1135	70	Q15	楕円形	C	0.84	0.66	0.10	—	桃灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	土器		
1	1136	70	Q15	—	C	—	—	0.16	—	桃灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	2層目層主体	土器		
1	1137	70	Q14	円形	C	1.27	1.36	—	—	—	—	—	土器、不器、 鉄、木製品	85	井戸
1	1138	70	Q14	円形	C	0.20	0.18	0.07	—	桃灰色～黒褐色	10YR4/1-3/1	1層目層主体	—		
1	1139	70	Q13	長楕円形	C	1.46	0.84	0.34	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質) 鉄分・焼土 粒・炭化物を多く 混入	土器、石器		
1	1140	70	Q12	円形	C (1.20)	1.12	—	—	—	—	—	—	土器、貝殻、 木製品、磁 子	85	井戸
1	1142	70	Q12	円形	C	0.85	0.74	—	—	—	—	—	土器、石器、 木製品	85	井戸
1	1143	70	Q11	円形	C	1.66	1.42	—	—	—	—	—	土器、石器、 昆虫遺体、 鉄製品、炭 屑、木製品	76-85 87	井戸
1	1144	70	Q14	長方形	C	1.57	0.37	0.35	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器		
1	1145	70	Q15	円形	C	0.84	0.77	—	—	—	—	—	土器		井戸
1	1146	中世	Q14	円形	C	1.12	1.05	—	—	—	—	—	土器、不器	76-77 82	井戸
1	1147	70	Q15, 20 R11, 16	円形	C	1.10	1.08	—	—	—	—	—	土器、鉄、 木製品	85	井戸
1	1148	70	Q15	楕円形	C	0.63	0.36	0.32	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器		
1	1149	70	Q12	円形	C	0.51	0.30	0.33	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器、石器		
1	1150	70	Q12	円形	C	0.84	0.89	2.82	—	—	—	—	土器、不器	77-82	井戸
1	1151	70	Q15	円形	A	0.26	0.25	0.30	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質) 鉄分・焼土 粒・炭化物を多く 混入	—		
1	1153	中世?	Q12	円形	C	0.97	0.96	—	—	—	—	—	土器、石器、 鉄、木製 品、陶製品	77-87	井戸
1	1156	70	Q13	—	C	—	—	0.19	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器		
1	1156	70	Q11	不整形	A	1.96	1.28	0.59	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層 明実褐色土ブロック を多く混入	土器、石器		
1	1157	70	Q12	不整形	G	—	—	0.42	—	桃灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器、石器		
1	1168	70	Q12	円形	C	—	—	—	—	—	—	—	土器、磁子		井戸
1	1160	70	Q13	円形	A	0.30	0.30	0.54	—	灰黄褐色	10YR4/2	1層 明実褐色土ブロック を多く混入	土器		
1	1161	70	Q12, 13	円形	C	1.02	0.80	2.71	—	—	—	—	土器、石器、 骨、木製品		井戸
1	1163	70	Q12, 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	土器		井戸
1	1164	70	Q12	方形	C	0.51	0.44	0.32	—	桃灰色	10YR4/1	1層	土器		
1	1165	70	Q12	円形	G	—	—	0.50	—	桃灰色	10YR4/1	1層	土器		
1	1168	70	Q13	円形	A	0.18	0.17	0.22	—	桃灰色	10YR4/1	1層	土器		
2	1170	71	P13	円形	H	0.28	0.28	0.31	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—		
2	1171	71	P13	円形	E	0.28	0.28	0.24	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—		
2	1172	71	P13	楕円形	E	0.76	0.42	0.43	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器、鉄		
2	1173	71	P13	円形	B	0.46	0.42	0.32	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器		
2	1174	71	P13	円形	C	0.66	0.40	0.27	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器		
2	1175	71	P13	円形	C	0.74	0.70	—	—	—	—	—	土器、石器、 鉄製品	77-87	井戸
2	1176	71	P13	楕円形	A	—	—	0.19	—	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—		
2	1177	71	T15	円形	C	0.28	0.28	0.12	—	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器		
2	1178	71	T15	長方形	C	0.30	0.20	0.11	—	暗褐色	10YR3/3	1層(砂質)	土器		
2	1179	71	T15	円形	A	0.22	0.20	0.05	—	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—		
2	1180	71	T15	円形	A	0.42	0.28	0.09	—	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—		
2	1181	71	T15	楕円形	C	0.34	0.28	0.12	—	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—		

表29-11 平安後期～中世の土坑(SK)一覽

発掘地区	SK番号	時期	遺構別	中心座	平面形	断面形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色 調	七色鑑別号	床積状況	遺物	遺物IV	備考
2	1182	71	T15	円形	A	0.30	0.32	0.37	暗褐色	10YR2/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1183	71	P11	円形	A	0.30	0.28	0.33	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1184	71	P11	円形	C	0.24	0.24	0.40	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1185	中世?	71	P11	円形	C	1.24	1.14	—	—	—	—	土器、石器、鉄鏝、木釘、瓦	77	片戸
2	1186	71	P11	円形	C	0.18	0.16	0.32	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1187	71	P11	方形	G	0.26	0.26	0.19	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1188	71	P11	不整形	G	0.44	0.38	0.36	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1189	71	P11	方形	B	0.28	0.28	0.37	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1190	71	P11	楕円形	C	0.38	0.30	0.34	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1191	71	P11	円形	B	0.28	0.26	0.32	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1192	71	P11	楕円形	B	0.38	0.32	0.30	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1193	71	P11	不整形	C	0.52	0.38	0.31	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1194	71	P11	円形	A	0.28	0.24	0.31	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1195	71	P11	不整形	B	0.38	0.30	0.25	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器、石器	—	—	—
2	1196	71	P11	楕円形	A	0.34	0.26	0.34	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1197	71	P11	楕円形	A	0.40	0.28	0.32	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1198	71	P11	楕円形	B	0.36	0.30	0.20	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1199	71	P11	楕円形	C	0.48	0.36	0.30	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1200	71	P11	円形	B	0.36	0.36	0.34	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1201	71	P11	円形	E	0.26	0.26	0.42	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1202	71	P11	楕円形	D	0.46	0.36	0.38	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1203	71	P11	不整形	G	0.46	0.34	0.38	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1204	71	P11	楕円形	B	0.42	0.32	0.39	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1205	71	P11	方形	B	0.34	0.30	0.19	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1206	71	P11	楕円形	B	0.34	0.20	0.17	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1207	71	P11	楕円形	B	0.42	0.30	0.35	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1208	71	P11	円形	G	0.46	0.44	0.16	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1209	71	P11	円形	A	0.28	0.24	0.31	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1210	71	P11	円形	A	0.24	0.24	0.11	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1211	71	P11	不整形	A	0.62	0.38	0.15	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1212	71	P11	楕円形	B	0.30	0.26	0.20	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1213	71	T15	円形	C	1.06	0.96	—	—	—	—	土器、石器	片戸	—	—
2	1214	71	T15	—	A	—	—	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1216	71	P11	不整形	A	—	—	0.07	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1216	71	P11	楕円形	G	—	—	0.31	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器、骨	—	—	—
2	1217	71	P11	長方形	C	1.32	0.84	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体 炭化物を多く 混入	土器	—	—	—
2	1218	71	P12	円形	E	0.34	0.34	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1219	71	P11	—	C	—	—	0.24	褐色～黒褐色	10YR4/1-2/1	1層目層主体	—	—	—	—
2	1220	71	P12	円形	B	0.44	0.38	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1221	71	P14	—	—	—	—	0.23	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1222	71	P11	円形	C	0.29	0.26	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1224	71	T15	—	A	—	—	0.10	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1225	71	P11	楕円形	G	0.80	0.66	0.33	暗褐色	10YR4/3	1層目層主体	土器、骨	—	—	—
2	1226	71	P11	楕円形	C	0.42	0.34	0.17	にじみ黄褐色	10YR4/3	1層目層主体	—	—	—	—
1	1232	70	Q15, R21	—	C	—	—	0.19	褐色～黒褐色	10YR4/1-2/1	1層目層主体	土器	—	—	—
1	1233	70	R11	—	C	—	—	0.26	褐色～黒褐色	10YR4/1-2/1	1層目層主体	土器	—	—	—
1	1234	70	Q11, 12	—	C	—	—	0.12	褐色	10YR4/1	1層(砂層)	土器	—	—	—
1	1236	70	Q15, 10	円形	C	0.54	0.30	0.45	黒褐色	10YR3/2	1層 炭化物・焼土・ 明黄褐色のブロック を多く混入	土器	—	—	—
1	1243	70	Q11	—	—	—	—	0.44	暗褐色	10YR3/3	1層	—	—	—	—
2	1253	71	P14	円形	A	0.32	0.32	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1257	平安	71	P11	不整形	G	—	0.31	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	土器	—	—	—
2	1258	71	P11	不整形	G	0.80	0.52	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1259	71	P11	楕円形	A	0.56	0.44	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1266	71	P11	—	—	—	—	0.29	暗褐色	10YR3/3	1層目層主体	—	—	—	—
2	1310	71-72	T14	—	—	—	—	1.02	褐色～黒褐色	10YR4/2-4/4	3層目層主体	土器	—	—	—

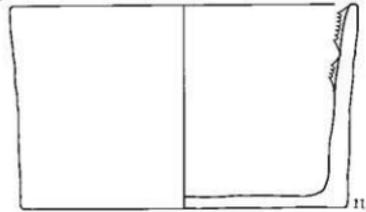
SD51



SK25



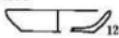
SK153



SK52



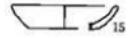
SK375



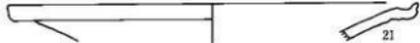
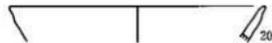
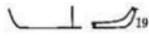
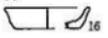
SK387



SK388



SK733



SK885



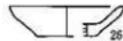
SK1046



SK1045



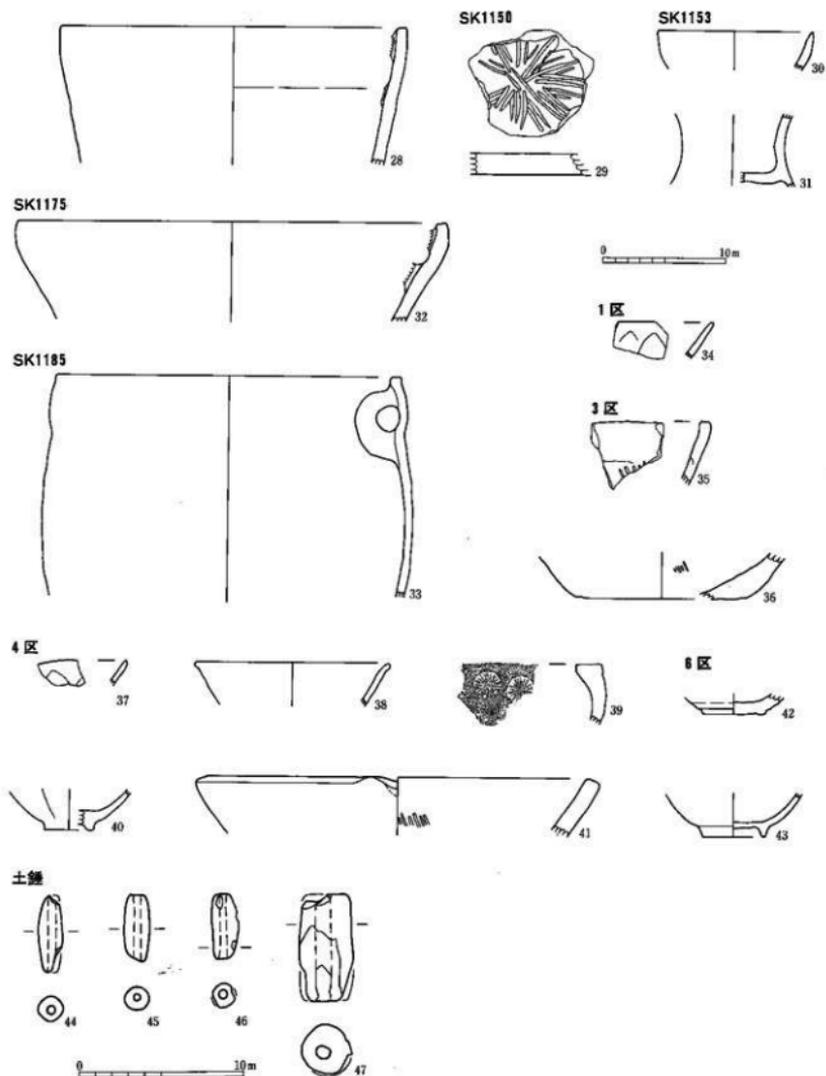
SK1143



SK1146



第76図 平安後期～中世の土器 1



第77図 平安後期～中世の土器 2 土鏝

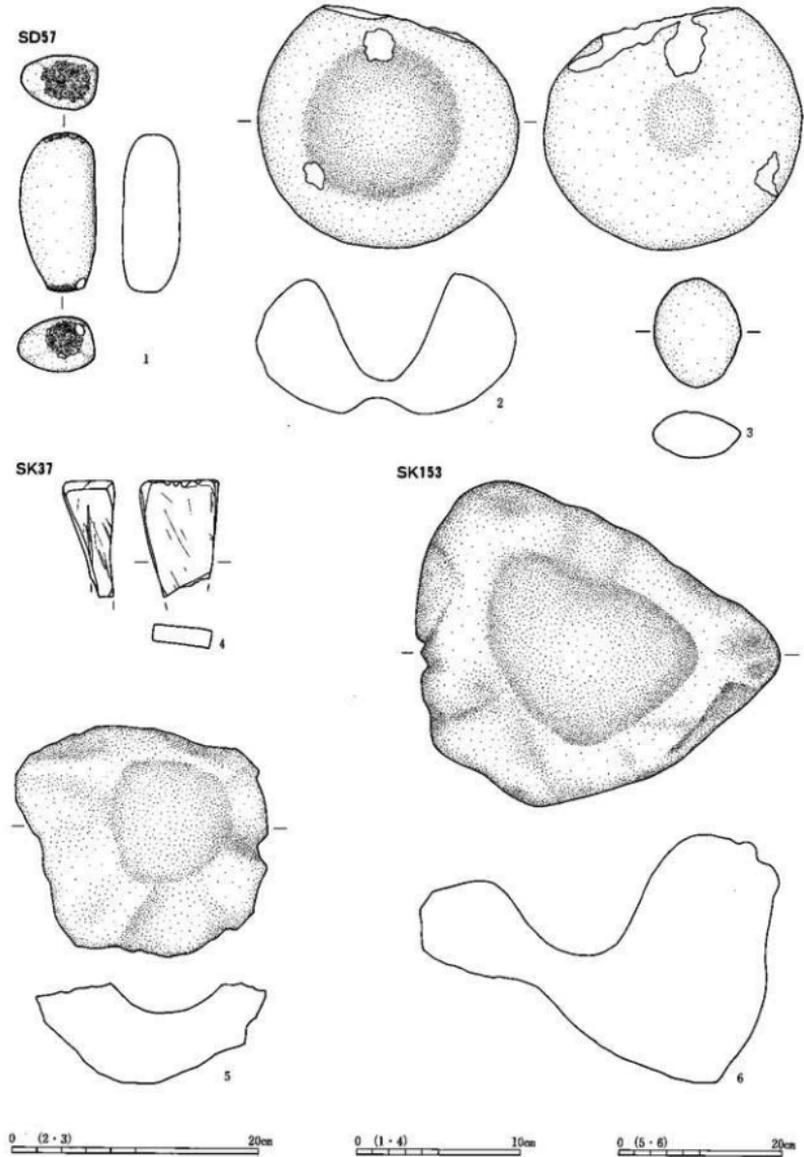
表30-1 平安後期～中世の土器・土製品一覧

遺跡番号	図番	発見番号	出土位置	器種	器高	口径	底径	器高	器口径	色調	外面整形	内面整形	追加整形	備考
SD61	76	1	礎土	碗	磁器	-	-	-	小片	明緑灰	輪	輪	-	
SD61	76	2	礎土	碗	灰釉	-	8.0	-	1/8	にじい黄	ロクロナデ・輪	ロクロナデ・輪	同輪へラ切り	輪・ハケ、 先ヶ丘
SD61	76	3	礎土	陶器	-	-	-	-	小片	にじい黄釉	ロクロナデ	ロクロナデ	-	内漆
SD64	76	4	礎土	瓦葺	30.0	-	-	-	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD64	76	5	礎土	すり鉢	陶器	-	17.2	-	小片	外緑赤灰、内緑	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SD64	76	6	礎土	すり鉢	土師	-	-	-	小片	浅黄	ナデ	ナデ・沈線	-	
SD67	76	7	礎土	鉢	陶器	-	-	-	小片	灰白	ナデ・輪	ナデ・沈線・輪	-	古瀬戸
SD67	76	8	礎土	すり鉢	瓦葺	28.6	-	-	1/8	灰	ナデ	ナデ	-	
SK25	76	9	礎土	すり鉢	瓦葺	-	-	-	小片	外緑釉、内灰	ナデ	ナデ・沈線	-	赤地産
SK32	76	10	礎土	内耳鉢	瓦葺	-	10.0	-	小片	黒	ナデ	ヨコナデ	柳打	外製家こげ
SK123	76	11	礎土	内耳鉢	土師	28.2	26.0	16.5	1/4	外黒釉、内黄	ナデ	ナデ	柳打	
SK375	76	12	礎土	かみかけ	土師	8.6	6.0	1.8	1/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK375	76	13	礎土	かみかけ	土師	10.0	6.2	2.8	1/8	浅黄釉	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK387	76	14	礎土	平鉢	陶器	-	5.6	-	1/3	外灰、内灰白	同輪へラケズリ	輪	同輪赤切り→同輪へラケズリ	古瀬戸
SK389	76	15	礎土	かみかけ	土師	8.6	6.0	1.9	1/8	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SK733	76	16	礎土	かみかけ	土師	7.0	5.5	1.8	1/6	黄緑	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK733	76	17	礎土	かみかけ	土師	8.8	-	-	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
SK733	76	18	礎土	かみかけ	土師	-	5.6	-	小片	外にじい黄釉、 内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK733	76	19	礎土	かみかけ	土師	-	8.8	-	1/8	灰内	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK733	76	20	礎土	平鉢	陶器	20.8	-	-	小片	灰白	輪	輪	-	古瀬戸
SK733	76	21	礎土	土師	33.6	-	-	-	小片	外赤釉	ナデ	ナデ	-	
SK688	76	22	礎土	すり鉢	陶器	28.6	-	-	小片	灰	ナデ	ナデ・沈線	-	
SK 1045	76	23	礎土	すり鉢	瓦葺	19.8	-	-	小片	にじい黄	ナデ	ナデ・沈線	-	赤地産
SK 1045	76	24	礎土	すり鉢	瓦葺	-	10.6	-	兼1/6	にじい黄	ナデ	ナデ・沈線	ナデ	
SK 1046	76	25	礎土	すり鉢	瓦葺	-	-	-	小片	灰	ナデ	ナデ・沈線	-	赤地産
SK 1143	76	26	礎土	かみかけ	土師	9.2	5.0	2.4	1/5	にじい黄釉	ロクロナデ	ロクロナデ	同輪赤切り	
SK 1146	76	27	礎土	平鉢	陶器	21.8	-	-	1/8	灰白	ロクロナデ・輪	ロクロナデ・輪	-	古瀬戸
SK 1146	76	28	礎土	内耳鉢	土師	28.2	-	-	1/3	外黒釉、内にじい黄	ナデ	ナデ	-	
SK 1150	76	29	礎土	すり鉢	土師	-	-	-	小片	外明赤灰、内黄	ナデ	ナデ・沈線	-	内外漆塗、 赤地産
SK 1153	76	30	礎土	又目茶碗	陶器	12.6	-	-	1/8	赤灰	輪	輪	-	古瀬戸
SK 1153	76	31	礎土	瓶子	陶器	-	-	-	小片	外オリーブ灰、 内灰白	輪	ロクロナデ	ロクロナデ	古瀬戸
SK 1175	76	32	礎土	内耳鉢	瓦葺	35.0	-	-	小片	外緑灰、内黒釉	ナデ	ナデ	-	口縁赤切り
SK 1185	76	33	礎土	内耳鉢	土師	29.0	-	-	1/6	にじい黄釉	ナデ	ナデ	-	口縁赤切り、 耳子
	76	34	1区カクラン	碗	磁器	-	-	-	小片	外緑灰、内オリーブ灰	輪	輪	-	内外漆塗、 黒分文
	76	35	3区田番	すり鉢	瓦葺	-	-	-	小片	赤釉	ナデ	ナデ・沈線	-	
	76	36	3区田番	すり鉢	滑石	-	13.8	-	小片	外灰黄、内灰	ナデ	ナデ・沈線	ナデ	赤地産

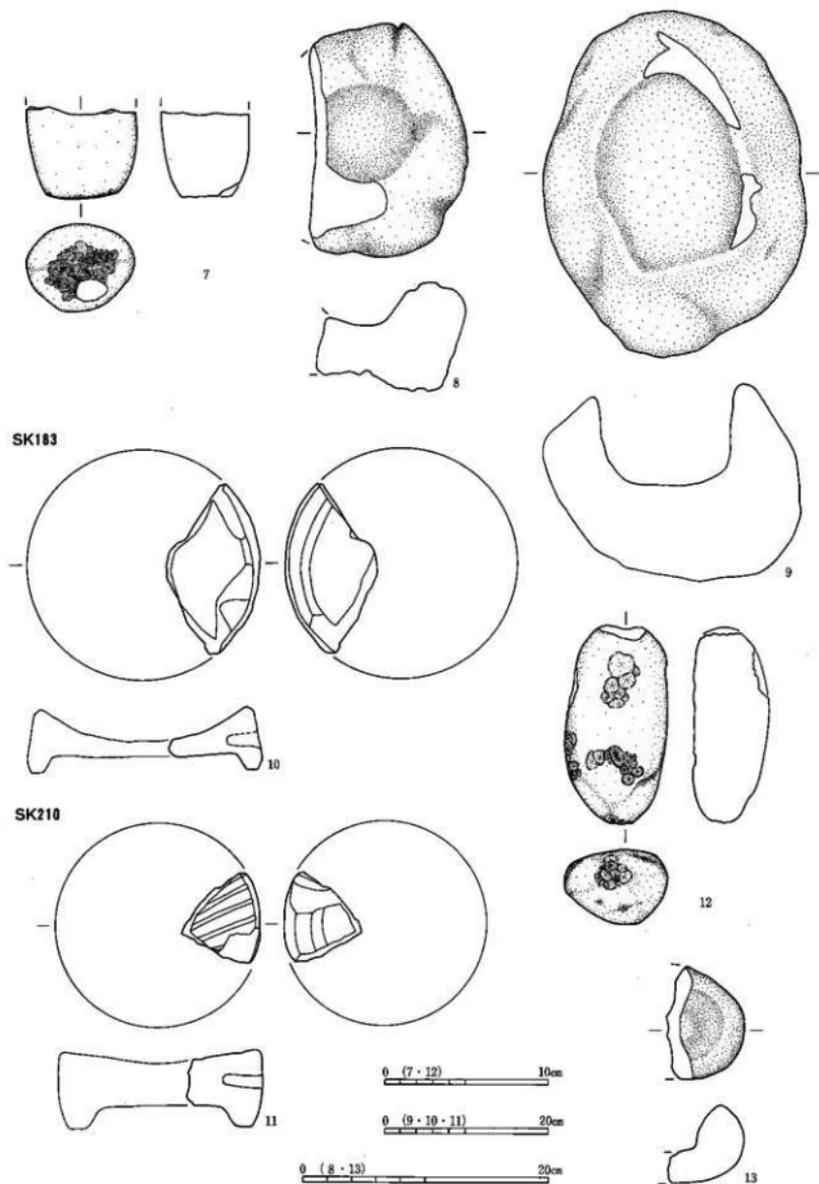
第2章 遺構と遺物

表30-2 平安後期～中世の土器・土製品一覧

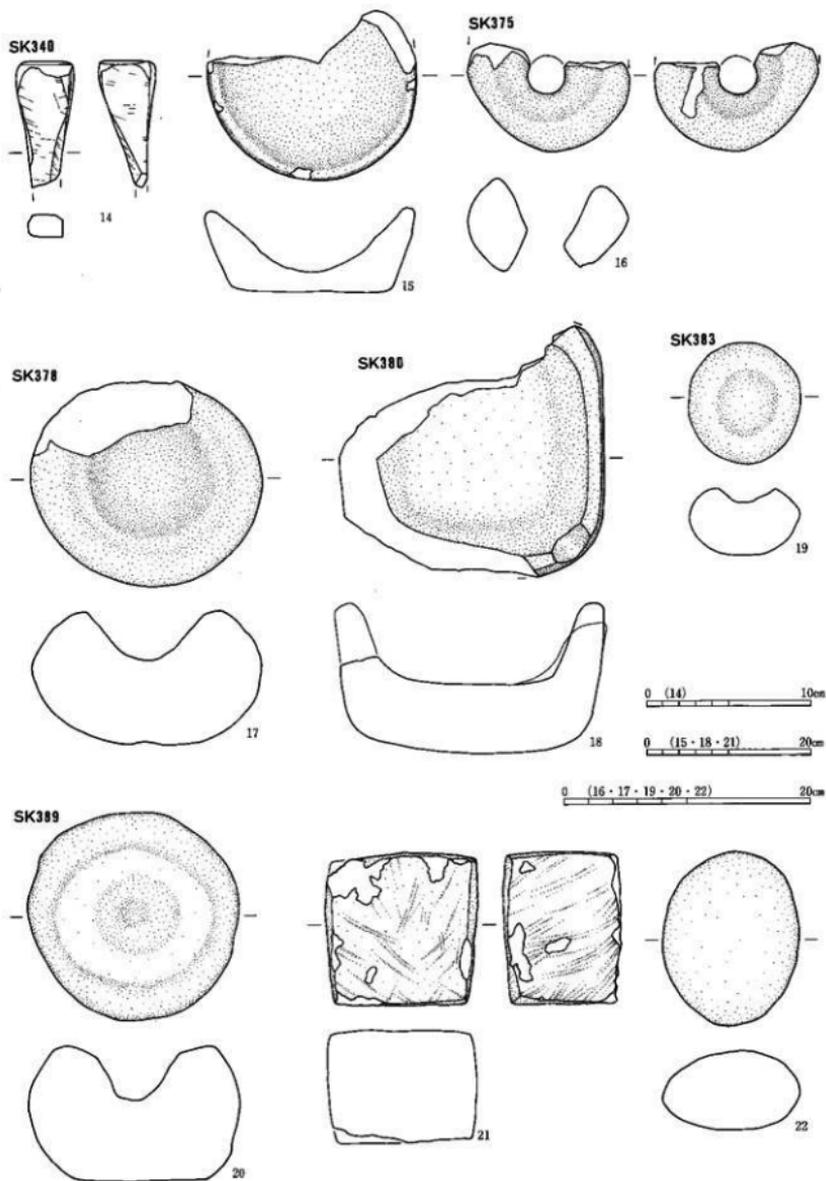
遺構番号	図番	遺物番号	出土位置	器種	器体	口径	底径	器高	器径小	色 調	外面整形	内面整形	底部整形	備 考	
77	37	4区目層	陶	磁器	—	—	—	—	小片	緑灰	輪	輪	—	龍島系系鉢 遺存文	
77	38	4区目層	陶	磁器	15.0	—	—	—	小片	明オリーブ灰	輪	輪	—	中国産	
77	39	4区目層	大鉢	瓦質	—	—	—	—	小片	外肌、内肌純	ナデ・凸線	ナデ	—	口縁取 り	
77	40	4区目層	青磁 陶	磁器	—	4.6	3.3	1/8	—	オリーブ灰	輪	輪	ナデ・ケズリ	龍島系系 磁器文	
77	41	4区目層	すり鉢	灰土	31.0	—	—	—	小片	磁灰	ナデ	ナデ・凸線	—	口縁取 り、在地産	
77	42	6区目層	陶	磁器	—	5.2	—	1/2	—	外肌黄、内オリーブ灰	回転ヘラケズリ	輪	回転ヘラケズリ	古瀬戸	
77	43	6区目層	陶	磁器	—	5.0	—	1/4	—	緑灰	輪	輪	ナデ・ケズリ	龍島系	
SK270	77	44	掘上	土師	土師	径 1.6	径 4.7	—	2/3	—	にぶい青	ナデ	ナデ	—	
77	45	1区目層	土師	土師	径 1.5	径 4.1	—	—	1/2	—	にぶい青	ナデ	ナデ	—	
77	46	4区目層	土師	土師	径 1.6	径 4.1	—	—	1/2	—	にぶい青	ナデ	ナデ	—	
77	47	6区目層	土師	土師	径 3.1	径 6.5	—	—	3/4	—	にぶい青	ナデ	ナデ	—	
SD43	PL 18	48	礎土	甄子	陶器	—	—	—	小片	外オリーブ灰、 内灰白	輪	ナデ	—		
SD61	PL 18	49	礎土	陶	磁器	—	—	—	小片	オリーブ灰	輪	輪	—	龍島系系 磁器文	
SK25	PL 18	50	礎土	水注	磁器	—	—	—	小片	外肌緑灰、内灰 口	型打、輪	ナデ	—	中国産青白 磁	
SK867	PL 18	51	礎土	瓦	磁器	—	—	—	小片	灰白	輪	輪	—	中国産白磁	
SK867	PL 18	52	礎土	青磁 鉢	陶器	27.0	—	—	小片	灰白	輪	輪	—	古瀬戸	
SK780	PL 18	53	礎土	すり鉢 ?	灰土	—	—	—	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	—		
	PL 18	54	3区目層	加	磁器	—	—	—	小片	灰白	輪	輪	—	白磁	
	PL 18	55	3区目層	陶	磁器	—	—	—	小片	灰白	回転ヘラケズリ、輪	輪	—	中国産白磁	
	PL 18	56	3区目層	すり鉢	瓦質	—	—	—	小片	外黄焼、内にお い灰	ナデ	ナデ・凸線	—	内面黄焼、 在地産	
	PL 18	57	4区目層	小皿	陶器	—	—	—	小片	灰オリーブ	ナデ、輪	輪	—	古瀬戸	
	PL 18	58	4区目層	皿	磁器	—	—	—	小片	黄灰	回転ヘラケズリ、輪	輪	—	中国産白磁	
	PL 18	59	4区目層	葉	陶器	—	—	—	小片	外におい青焼、 内明焼	輪	ナデ	—	常滑	



第78図 平安後期～中世の石器・石製品 1

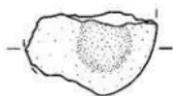
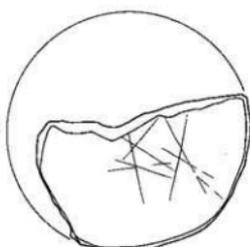
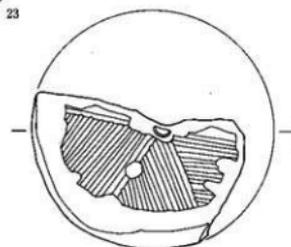
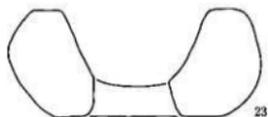
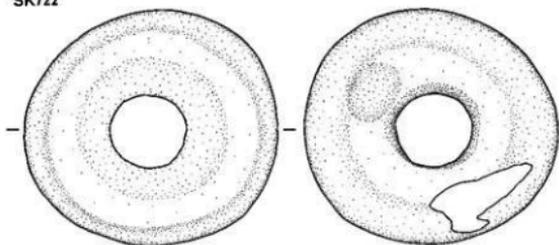


第79図 平安後期～中世の石器・石製品 2

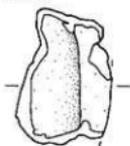


第80図 平安後期～中世の石器・石製品 3

SK722



SK733



24

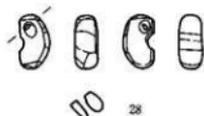
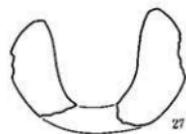
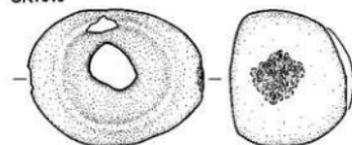


0 (28) 5cm

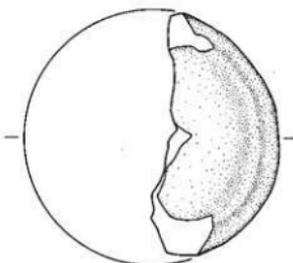
0 (23-25・27・29) 20cm

0 (26) 20cm

SK1046

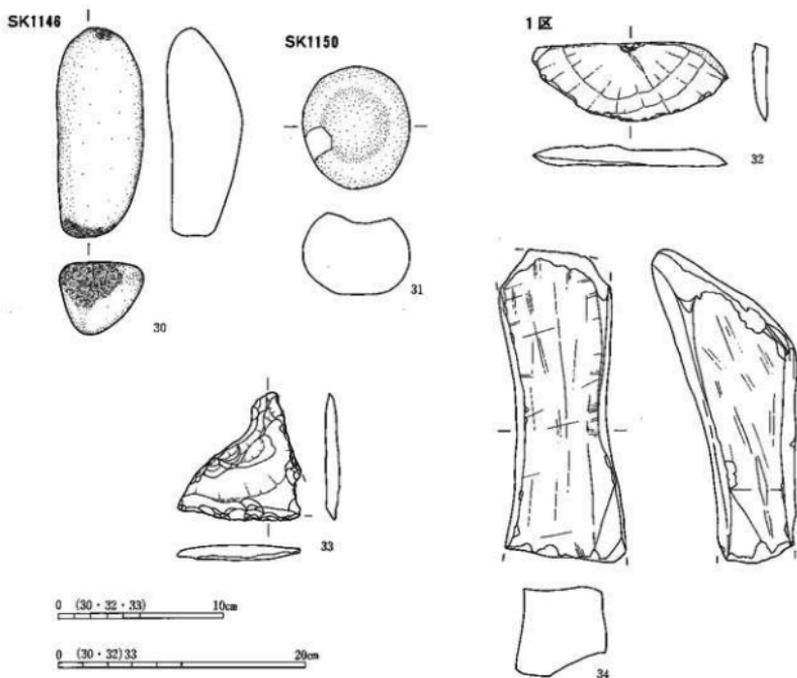


28



29

第81図 平安後期～中世の石器・石製品 4



第82図 平安後期～中世の石器・石製品 5

(3) 木製品

平安後期～中世の遺構から出土した木製品は、96点で全て井戸跡からの出土である。うち26点を図示し(図83～85)、掲載した遺物の属性を一覧表(表32)に示した。

(4) 貨幣

本遺跡から出土した貨幣は、II層及び平安後期～中世に属する遺構から出土した5点と、4区の攪乱から出土した1点の合計6点で、すべての資料の拓本を図86に示し、その属性を表33に示した。

(5) 金属製品・鉄生産関連遺物

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した資料は銅製品2点、鉄製品25点で、器種の判明したものを中心に17点を図示し(図87)、掲載した遺物の属性を一覧表(表34)に示した。鉄生産関連遺物は、鍛冶滓13点158.57g、橢形鍛冶滓9点379.15g(含鉄鍛冶滓1点78.2gを含む)、羽口及び炉壁の破片が出土している。

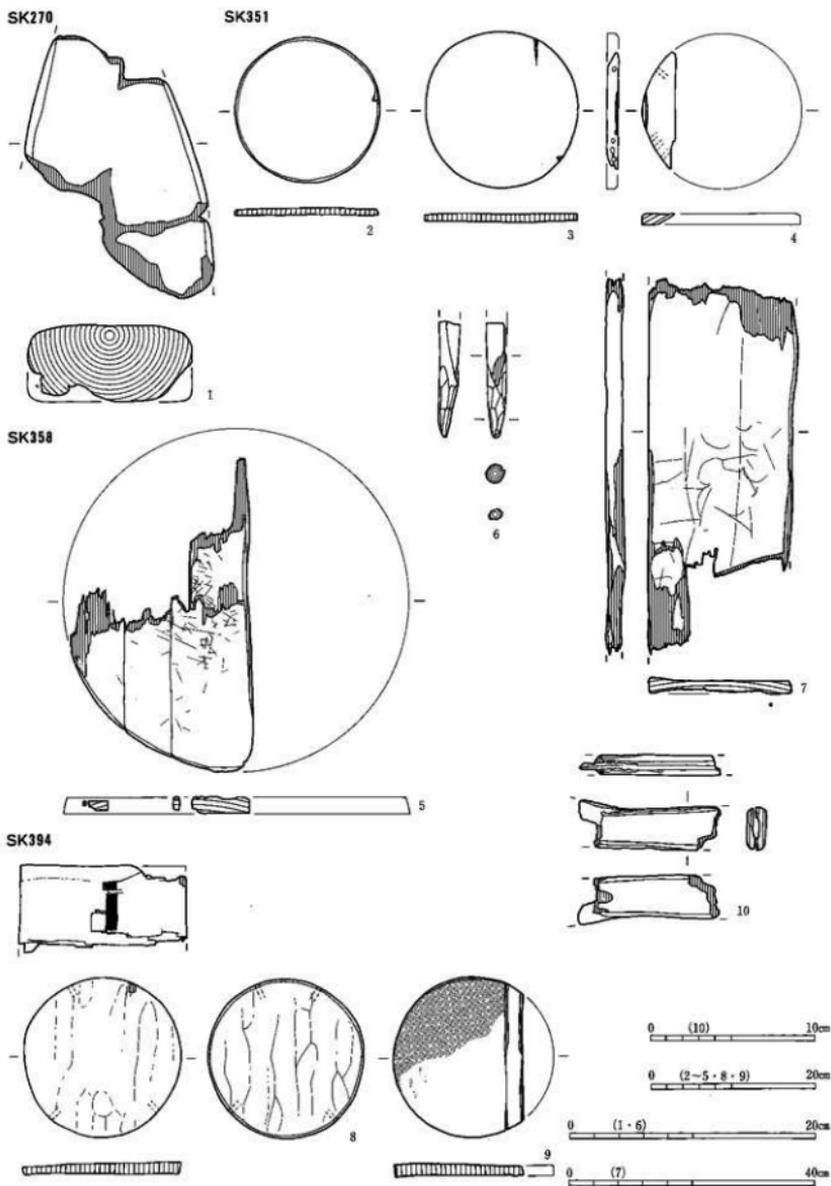
註

- 1 茂原信生氏の御教示による。下顎骨・歯及び椎弓の一部が出土している。

表31 平安後期～中世の石器・石製品属性表

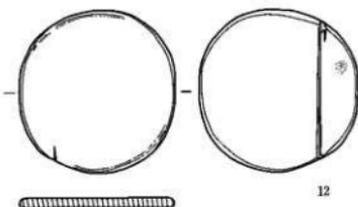
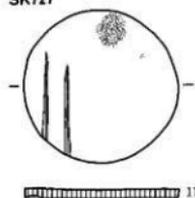
図番号	番号	遺構番号	出土位置	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
78	1	S D57	埋土	敲石	ほぼ完形	9.9	4.6	3.5	255.0	安山岩	
78	2	S D57	埋土	くぼみ石	一部欠損	21.4	(19.2)	10.7	(4250.0)	安山岩	
78	3	S D57	埋土	磨石	完形	9.0	7.1	3.6	300.0	安山岩	
78	4	S K37	埋土	砥石	1/3残存	(7.3)	(4.8)	(3.2)	(110.0)	凝灰岩	
78	5	S K153	埋土	くぼみ石	完形	31.6	28.1	11.0	12000.0	安山岩	
78	6	S K153	埋土	くぼみ石	完形	45.0	36.3	31.2	47500.0	石英斑岩	
79	7	S K153	埋土	敲石	1/2残存	(6.8)	(5.7)	(5.6)	(305.0)	安山岩	
79	8	S K153	埋土	くぼみ石	2/3残存	19.1	(12.4)	8.9	(845.0)	磨石	
79	9	S K153	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	43.1	31.6	21.9	(16850.0)	安山岩	
79	10	S K183	埋土	石臼	1/4残存		径 28.2	8.0	(1225.0)	安山岩	
79	11	S K210	埋土	石臼	1/5残存		径 24.9	9.3	(760.0)	安山岩	
79	12	S K210	埋土	敲石	一部欠損	(12.2)	6.3	4.8	(530.0)	安山岩	
79	13	S K210	埋土	くぼみ石	1/2残存	(9.3)	(6.2)	5.5	(160.0)	安山岩 滑岩	
80	14	S K340	埋土	砥石	1/2残存	(7.7)	(3.5)	(3.2)	(100.0)	凝灰岩	
80	15	S K340	埋土	くぼみ石	2/3残存	25.4	(17.2)	7.7	(2960.0)	安山岩	
80	16	S K375	埋土	くぼみ石	1/2残存	13.0	(7.2)	7.8	(420.0)	安山岩 滑岩	
80	17	S K378	埋土	くぼみ石	一部欠損	18.6	16.5	10.6	(4100.0)	安山岩	
80	18	S K380	埋土	石鉢	1/2残存	32.0	(28.5)	15.7	(11650.0)	凝灰岩	
80	19	S K383	埋土	くぼみ石	完形	10.0	9.0	5.9	420.0	安山岩	
80	20	S K389	埋土	くぼみ石	完形	17.3	17.2	11.2	2380.0	安山岩	スス付着
80	21	S K389	埋土	台石	ほぼ完形	18.9	18.7	14.0	(5150.0)	安山岩	五輪塔
80	22	S K389	埋土	磨石	完形	14.3	11.2	6.5	830.0	安山岩 滑岩	
81	23	S K722	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	20.6	19.3	9.0	(2820.0)	安山岩	スス付着
81	24	S K733	埋土	石鉢	ほとんど欠損	(11.1)	(7.3)	(3.7)	(285.0)	安山岩	
81	25	S K733	埋土	くぼみ石	2/3残存	10.2	(6.4)	4.4	(230.0)	安山岩 滑岩	
81	26	S K733	埋土	石臼	1/2残存		径 29.4	11.6	(6200.0)	安山岩	
81	27	S K1046	埋土	くぼみ石	一部欠損	13.9	11.1	(9.3)	(1200.0)	安山岩 滑岩	
81	28	S K1046	埋土	勾石	完形	1.6	0.9	0.7	1.93	ヒスイ	
81	29	S K1046	埋土	くぼみ石	1/2残存		径 31.0	7.1	(910.0)	安山岩 滑岩	スス付着
82	30	S K1146	埋土	敲石	完形	12.7	5.3	4.4	450.0	閃緑岩	
82	31	S K1150	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	10.0	8.7	6.7	(650.0)	凝灰岩	
82	32		II Q-20	刃器	完形	12.0	4.9	1.3	67.75	頁岩	
82	33		I Q-9	刃器	ほぼ完形	8.0	(7.5)	0.9	(50.0)	頁岩	
82	34		1区	砥石	2/3残存	(25.0)	9.1	7.2	(2675.0)	砂岩	

() 内の数字は残存している所の最大値

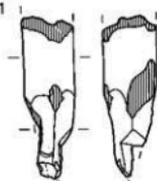


第83図 平安後期～中世の木製品 1

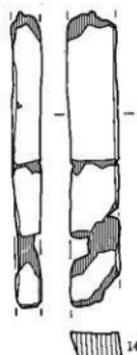
SK727



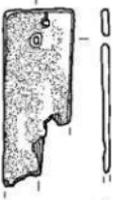
SK751



SK885

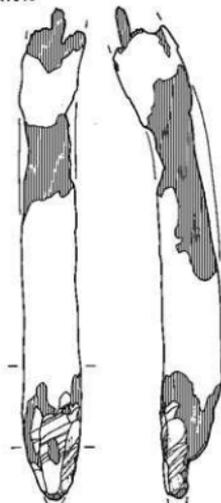


SK885



16

SK1045



18

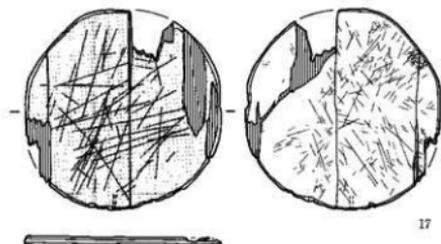
SK1071



19

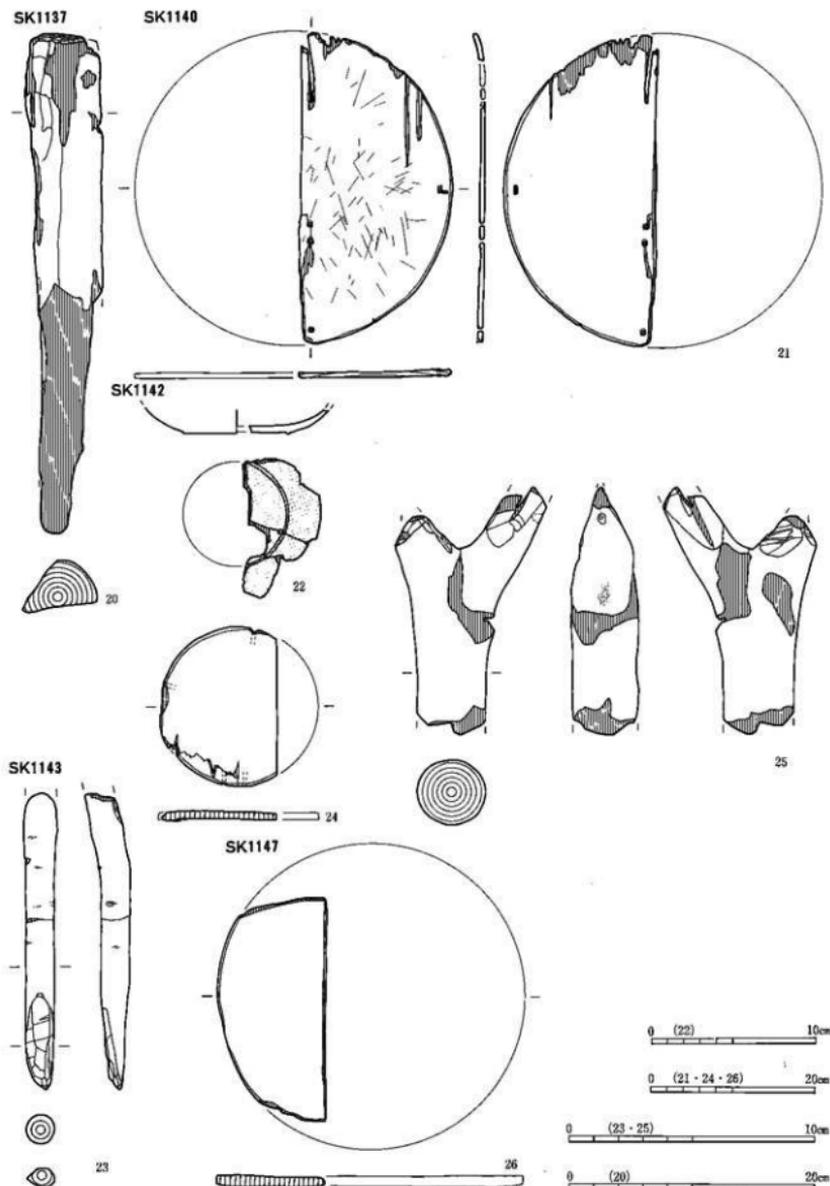
0 (11・12・14・17-19) 20cm

0 (13・15・16) 20cm



17

第84図 平安後期～中世の木製品 2



第85図 平安後期～中世の木製品 3

表32 平安後期～中世の木製品一覧

図版No	図No	出土地点	手法	木目	名称	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	樹種	備考
83	1	S K 270	削りだし	芯もち	部材	17.3	13.7	6.2	グミ属	
83	2	S K 351	板材	柾目	曲物・ 底板		径 17.8	0.8	ヒノキ	
83	3	S K 351	板材	柾目	曲物・ 底板		径 19.3	0.9	ヒノキ	
83	4	S K 351	板材	板目	曲物・ 底板		径 (19.0)	1.3	ヒノキ	釘穴4
83	5	S K 358	板材	板目	柾・ 底板		径 (42.2)	2.0	ヒノキ	刃痕有
83	6	S K 358	丸木材	芯持ち	杭	9.4	径 1.6		ニシキギ属	
83	7	S K 358	板材	板目	部材	61.5	24.2	2.8	ヒノキ	刃痕有
83	8	S K 394	板材	柾目	曲物・ 底板		径 19.5	1.6	ヒノキ	釘穴4
83			板材	柾目	曲物・ 側板		12.0	0.3	ヒノキ	ケビキ線有、結 合部榫皮残存
83	9	S K 394	板材	柾目	曲物・ 底板		径 19.7	1.6	スギ	内面黒漆、一部炭 化、側板破片有
83	10	S K 394	板材	板目	刀子 ?	8.7	2.6	1.2	カラマツ属	金属一部残存
84	11	S K 727	板材	柾目	曲物・ 底板		径 19.1	1.2	ヒノキ	一部炭化
84	12	S K 727	板材	柾目	曲物・ 底板		径 20.1	1.2	ヒノキ	一部炭化
84	13	S K 751	丸木材	芯持ち	杭	13.2	径 4.3		アカマツ	再利用?
84	14	S K 865	板材	柾目	部材	35.6	6.1	3.3	ブナ属	
84	15	S K 885	削り だし	芯持ち	不明	8.6	2.5	2.3	コナラ節	
84	16	S K 885	板材	柾目	部材	14.2	5.5	0.7	ヒノキ	一部炭化、小穴2
84	17	S K 885	板材	板目	曲物・ 底板		径 24.8	1.0	ヒノキ	内面黒漆、一部 炭化、刃痕有
84	18	S K 1045	丸木材	芯持ち	杭	59.8	径 7.0		クリ	樹皮残存 再利用?
84	19	S K 1071	丸木材	芯持ち	杭	90.5	径 4.7		散孔材	樹皮残存
85	20	S K 1137	丸木材	芯持ち	不明	82.0	径 12.0		コナラ節	
85	21	S K 1140	板材	板目	曲物・ 蓋板?		径 (38.3)	0.6	ヒノキ属	刃痕有、結合部榫 皮残存、小穴5
85	22	S K 1142	逸物	横木取り	皿		底径 (6.4)	器高 (1.5)	ブナ属	内外面黒漆
85	23	S K 1143	丸木材	芯持ち	杭	24.1	径 2.6		サクラ属	樹皮残存、破 片有
85	24	S K 1143	板材	柾目	曲物・ 底板		径 (19.4)	1.0	ヒノキ	釘穴4
85	25	S K 1143	丸木材	芯持ち	不明	20.0	径 5.5		キハダ	一部炭化
85	26	S K 1147	板材	柾目	曲物・ 底板		径 (37.0)	1.4	スギ	

表33 貨幣一覧

図番号	番号	銭貨名	出土遺構	出土地点	初鋳造年	王朝名	外径(mm)
86	1	祥符通寶	S K741	埋土	1008	宋	25
86	2	紹聖元寶		3区 II層	1094	宋	23
86	3	元豊通寶		3区 II層	1078	宋	24
86	4	宣和通寶		4区 II層	1119	宋	24
86	5	景祐元寶		4区 II層	1034	宋	25
86	6	一銭		4区 カクラン	1880	明治15年	27

表34 平安後期～中世の金属製品一覧

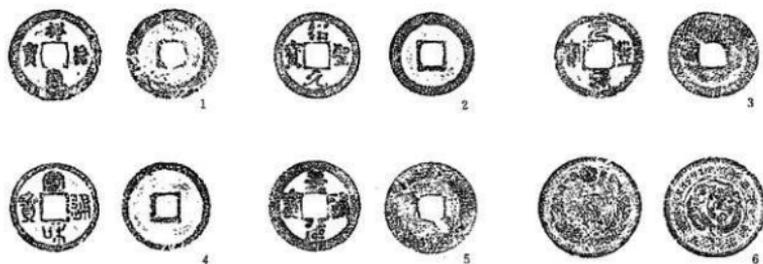
図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出土地点	遺構時期	長軸cm	短軸cm	厚さcm	重量g	備考
87	1	釘	頭部・先端欠	S D51	埋土	中世	3.3	1.3	0.3	2.6	
87	2	釘	先端欠	S D57	埋土	中世	4.8	0.6	0.4	5.0	
87	3	不明	完	S D57	埋土	中世	4.3	1.1	1.1	29.3	
87	4	不明	一端欠	S K24	埋土		4.0	0.3	0.3	0.9	
87	5	鎌	1/2残存	S K78	埋土		10.1	3.5	0.1	10.5	
87	6	釘	完	S K358	埋土		3.4	0.4	0.4	1.6	
87	7	釘	ほぼ完	S K390	埋土		4.5	0.4	0.3	0.8	
87	8	釘	先端欠	S K653	埋土		5.2	0.4	0.3	1.43	
87	9	刀子	2/3残存	S K775	埋土		7.0	0.8	0.3	2.3	
87	10	釘	頭部・先端欠	S K1143	埋土		4.5	0.6	0.5	3.52	
87	11	不明	1/2残存	S K1153	埋土		3.8	1.4	0.2	3.32	
87	12	釘	先端欠	S K1175	埋土		3.5	0.7	0.4	2.1	
87	13	釘	頭部・先端欠		1区		7.1	0.7	0.6	3.3	
87	14	鎌	茎部欠		1区		10.5	1.0	1.0	13.45	
87	15	不明	一部欠		1区		1.6	1.5	0.1	0.75	
87	16	不明	不明		4区 II層		1.6	1.5	0.6	2.42	
87	17	鈴	1/4残存		6区 II層		2.2	1.4	0.1	2.84	

参考文献

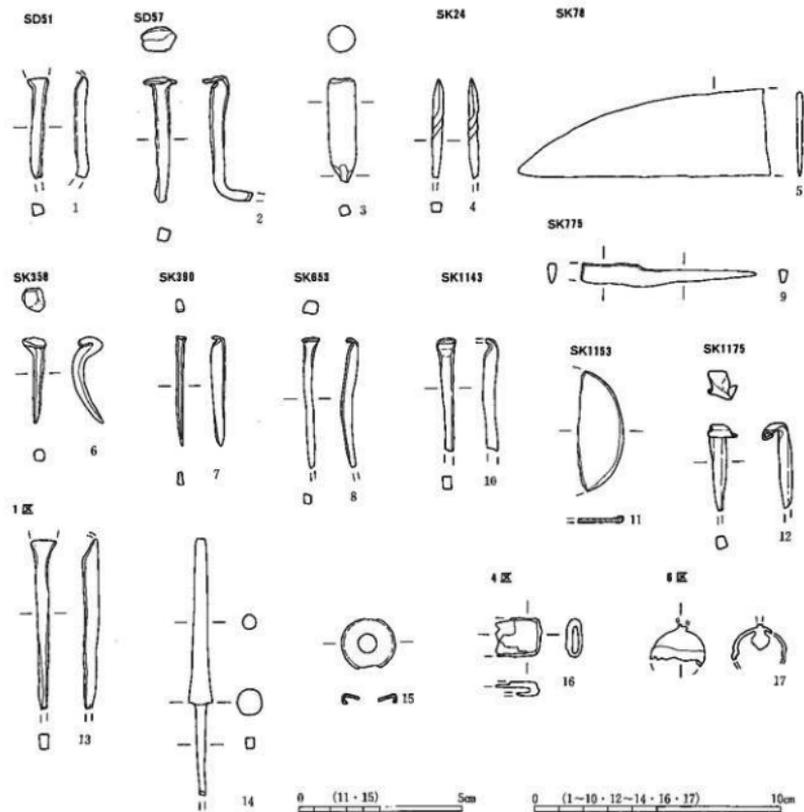
板橋 秀一編 1986 考古学ライブラリー45 出土銭一冊—中世—

跡見長野県埋蔵文化財センター 1998 『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 25—更埴市内その4— 更埴桑田遺跡・屋代遺跡群 弥生・古墳時代編』

長野県埋蔵文化財センター 1999 『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 26 更埴市内その5— 更埴桑里・屋代遺跡群 古墳時代編』



第86図 貨幣



第87図 平安後期～中世の金属製品

第3章 まとめ

今回の発掘調査では、調査区の形状から、屋代遺跡群高速道地点でたくさんの貴重な資料が得られた地表面下4mにおよぶ縄文時代中期の面まで調査することはできなかった。しかしながら、広大な屋代遺跡群を南北方向に調査した高速道地点に対して、それに直交する形で西方への広がりを調査することができたことは、今後の屋代遺跡群を研究していく上で貴重な資料を提供することができた。以下に、調査の成果を述べて、まとめとしたい。

1 集落の変遷について

今回の調査では、縄文時代後期～中世にかけての遺構が確認されている。そして、この調査区が居住区として最初に利用されるのは、弥生時代中期後半の粟林期に入ってからである。この時期の住居跡は、2区と3区に点在するだけであるが、同じ屋代遺跡群の荒井遺跡からも、わずかではあるが同時期の住居跡が検出されていて、粟林式成立期の集落を考えるうえで、今後の研究に貴重な資料となろう。次に居住区が確認されたのは、古墳時代に入ってからで、屋代遺跡群高速道地点から広がる、古墳時代中期～後期の集落の西端が、2区で確認できた。7世紀後半～9世紀中頃は、細かい時期によって、若干住居跡の集中する地区の移動が認められるものの、ほぼ調査区全域に集落が広がっている。しかし、9世紀末の大洪水の前には、ほとんどの遺構は廃棄されてしまい集落は調査区から忽然と姿を消す。そして、9世紀末の大洪水のときには3区と6区の一部が、島として使用されているだけである。しばらくの断絶の後中世になって、4区から5区にかけて館に関係すると思われる、堀などの遺構が確認された。

2 出土遺物について

1) 縄文時代の土器 資料は2点と少ないが、普光寺平では出土例の少ない後期後葉の安行Ⅰ・Ⅱ式の希少な資料を提示することができた。

2) 弥生時代の土器 屋代遺跡群国道403号七ロバイパスの調査では、弥生中期後半の粟林土器様式成立に関する重要な土器資料を採集することができた。今日の長野盆地の調査・研究の成果では、松原、榎田遺跡等の調査成果に看取されるように、粟林様式後半段階の拡大した集落像が明らかになりつつあるが、粟林様式成立期の遺構、遺物の調査は限られている。今回の調査では、当該期における数軒の竪穴住居址と包含層を明らかにした。他時期の遺物混入をあまり考慮しなくてもよい検出状態で、今後長野盆地の基準資料となることは間違いなく、集落のあり方、石器生産と流通等、社会構造復元のためにも重要な調査となった。ここでは、基礎作業の土器研究を行うためにもごく簡単な整理を行う。

器種 破片資料が多いため、器種構成を復元することには困難を伴うが、器種は、細頸壺、太頸壺、甕、鉢、蓋、小型土器によって構成され、無頸壺の存在が予想される。その主体となるのは壺と甕である。壺は太頸壺(64)が例外的存在であり、主体となるのは細頸壺である。高杯、有孔鉢は当資料群では欠落している。蓋もつまみがつくタイプは存在しない。壺、甕、鉢で構成される様相は、粟林様式古相に位置付けられる資料も出土している長野市篠ノ井遺跡群高速道地点SD7110等でも同様な要素が指摘される。

看見にふれたところでは赤彩破片が提示されていないことになる。赤彩鉢は直立、あるいは内彎口縁の鉢が主体であるが、当資料群の鉢は大型で外反する口縁の鉢である。直立する口縁を持つ小型の赤彩壺は、

時に胴部に注口部を有すが、こういった器種は土口バイパス地点の資料には見当たらない。集落拡大期の松原、榎田遺跡等の栗林式土器の器種構成と大きな隔たりがあり、栗林式土器様式を理解する手がかりが同遺跡の破片資料の中に埋もれている。

甕の様相 プロポーションは、頸部と胴最大径の数値があまり変化のない倒錐形を基本とする。第13図17に代表されるプロポーションであるが、52のように頸部がやや括れ、胴部が張り出す例もある。倒錐形の特徴は、口径 > 胴部最大径にある。ただし、55、76のようなプロポーションの存在を考慮しなくてはならない。篠ノ井遺跡 S D7110では、口径 < 胴部最大径となる器形が散見される。ここでは倒錐形のプロポーションを注意しておくことにする。また、胴最大径下位の外面に有段部をもつ破片もないことを指摘しておきたい。

次に文様構成について触れる。口縁部の文様帯は、外反する口縁部に文様を施文するもの(11・12)と、施文しないもの(13・17)とがある。その比率は、2:1の割合で、施文を行うものが多い。提示した資料では、S B36ではその両者が共存し、松原遺跡の報告で様相1とした資料では口縁部に文様施文するものはない⁽¹¹⁾。当該期では両者の共存が指摘されるが、文様施文を行わない17の口縁部には強いヨコナデが施されている。一方、施文する12を観察すると文様の背後に、ヨコナデ痕跡を認めることができ、両者が混在する背景に口縁部ヨコナデ技法が見え隠れする。文様は横方向の羽状文と縦方向の羽状文、波状文という構成で、横方向の羽状文が圧倒的に多い。波状文の場合、波状文のみで構成されるものではなく、波状横帯文を縦区画する垂下文が認められる(53)。甕の文様構成には、羽状文、波状文、縦に区画する垂下文という文様構成を当データから読み取っておくことにする。羽状文に原体は、ヒゴを結束したもので、12のように3本結束、63のように4本結束のものがあり、その本数は少ない。一方、波状文、直線文の場合、その本数が多い傾向にある。施文原体については今後追求する必要がある。

壺の様相 壺は細頸壺と太頸壺があり、太頸壺は63の1点のみである。細頸壺には、細頸で口縁部が短く外反するもの(1・47・48・67・80・83・90)と、頸部がやや太く緩やかに外反するもの(49a・81・91)とがある。前者の場合、1を除いて、口縁部に至るまで施文することが基本となる。破片資料であり、一概には語れないが、同資料群の壺は、細頸で口縁部が短く外反する口縁形態がめだつ。胴上半の肩部から頸部の形態は、肩部から頸部にかけて変換点があり、頸部が筒状に立ち上がるもの(8)と、肩部から頸部にかけて変換点がなく、頸部が筒状にならずに立ち上がるものがある。後者が多いように看取されるが、破片資料が多いため詳細は不明である。ただし、両者が共存していることを重視したい。プロポーションから理解できることは、栗林様式以前の様相と栗林様式の様相が混在することである。

次に、文様構成についてまとめてみたい。壺は形状の全容を知り得るものがなく、文様構成を復元する情報は限られている。しかしながら、断片の情報を組み合わせていくといくつかの類型に分類することができる。

- A 口唇端部から口縁部にかけて文様帯をもつもの(47・48・83・90)
- B 口縁部に無文帯を有し、頸部以下の胴部に至るまで文様帯をもつもの(40・54・67・68・71・94)
- C 頸部と胴部に文様帯を有し、その狭間の口縁部ならびに肩部に無文帯をもつもの(9・75)
- D 頸部のみに文様帯をもつもの(49a・b)

上記4類型の中でDは2点のみで例外的存在である。Cも多くはない。主体となるものはAとBで、Bが文様構成の基本となっている。Bは頸部から胴部にかけて文様を連続させる文様充填型で、従来栗林様式でも古相の基準とされた構成である。これらの文様は沈線文、帯描文、縄文によって多段横帯文を構成する点の特徴である。沈線による横帯区画内には、帯描文と沈線文で充塞される。帯描文の場合、直線文、羽状文(54)、短斜線文(72)、波状文(45)があり、沈線文の場合、連弧文(54)、山形文(54)、重菱形文

(25)、鋸齒状文(38)等がある。沈線文施文原体による押し引き列点文もめだつところである。文様帯の分析は今後深めていかねばなるまい。

今後の課題 私どもは長野市松原遺跡の報告で、栗林様式最盛期の土器様相について、膨大な実測図を提示した⁽²²⁾。しかしながら、長野盆地における栗林様式成立期の資料は松原遺跡で確認できるのはごく僅かな資料である。一方、長野盆地南部の当該期の資料はごく限られた資料で、断片的な破片資料となる。私どもは、弥生時代中期前半期から栗林様式成立期の断片的資料をひとつひとつ積み重ね解析し、その基準を作成していかなくてはなるまい。長野盆地を見つめ、広く他地域を見つめることと、その中で長野盆地の地域編年の作成を行うことが急務となっている。その為には地道な作業が必要で、地域社会構造を他地域の研究成果を引用する形で究明することを急ぐべきではない。

3) 弥生時代の石器

土器などの遺物の出土量に対して、多くの石器が出土した。中でもSB38からは、黒曜石の石鎌、石鎌や石鎌の未製品、原石一碎片まで、また頁岩や閃緑岩・凝灰岩の大型剥片など、石器製作に係わるたくさんの遺物が出土しており、栗林期における、石器の製作・石材の流通などについて考えるひとつの資料となろう。また、包含層からではあるが、県内では希少な資料である、アメリカ式石鎌が出土している。

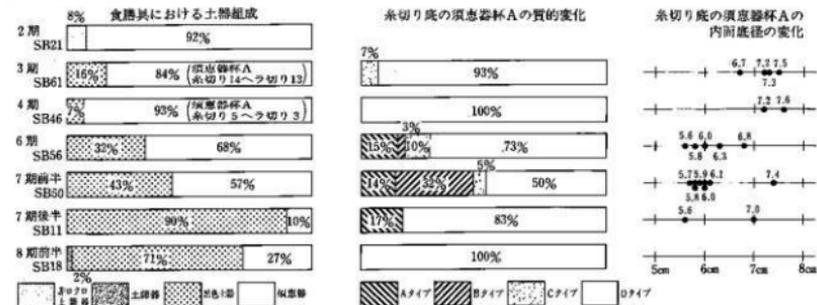
4) 飛鳥・平安時代の土器

飛鳥・平安時代の土器は、屋代遺跡群高速道地点と比較・検討できるように、その分類及び統計を基本的に、屋代遺跡群高速道地点と同様の方法で行った⁽²³⁾。各時期の特徴的な遺構をあげて、食膳具の組成比また、須恵器杯Aの質的变化・内面底径の変化について、分析した結果を、表35⁽²⁴⁾に示す。

全体的に、遺構からの土器の出土量が少なく、さらに変化の指標となる須恵器杯Aの出土量の少ない遺構が多く、その分析結果にはっきりと特徴の得るものが少なかった。しかし食膳具の組成表からは、古代6期になると、それまで主体だった須恵器の比率が低下し、黒色土器が増大し始め、7期には、その主体が黒色土器に変わり、8期になると土師器の食膳具が現れるといった、屋代遺跡群高速道地点と同じような結果が得られた。

また、須恵器の質的变化でも、6期から質の粗悪なものが認められるようになり、7期には、さらにその傾向が進むといった、同様な結果が認められた。

表35 飛鳥・平安時代の土器の消費



5) 木製品

当遺跡から出土している木製品はすべて井戸跡からの出土である。製品と認められるものは、曲げ物などの容器類がほとんどであるが、題箋軸状木製品としたものが、1点出土している。墨書が認められないためはっきりと題箋軸とはいえないものの、形状は題箋軸と同一である。題箋軸は官衙遺跡からの出土がほとんどで、屋代遺跡群高速道地点でも木簡の出土があり官衙の可能性が指摘されておりその可能性を裏付けるひとつの資料となろう。

最後になりましたが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、ご指導して下さった皆様、数多くの御教示をいただいた所内外の皆様、発掘調査・整理作業に参加していただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本書が多くの皆様にご活用頂くことを念願して、まとめとしたい。

註

- 1 青木一男 1996年「松原遺跡弥生銅整理中間報告」『長野県埋蔵文化財センター紀要』5 助長野県埋蔵文化財センター
- 2 長野県埋蔵文化財センター 1998年『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書5 松原遺跡 弥生・縄論4 弥生中期・七器図版』
- 3 統計処理する基礎データは、器種が明確に認定できるもの、口縁部または底部が、8分の1以上残存しているものを推定の1個体と考え、その推定の個体数を数え集計した。
- 4 各遺構の食器具の組成比及び糸切り底の須恵器杯Aの質的变化は、推定個体を基本資料として個体数比で表した。小数第1位を四捨五入するため、合計が100%にならない場合がある。

参考文献

- 更埴市教育委員会 1990 『更埴市埋蔵文化財調査報告書—平成元年度—』
- 助長野県埋蔵文化財センター 1996 『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書23—更埴市内その2—長野県屋代遺跡群出土木簡』
- 助長野県埋蔵文化財センター 1997 『中央自動車道長野県埋蔵文化財発掘調査報告書16 篠ノ井遺跡群』
- 鳥羽 英雄 1999 『屋代遺跡群における古代の土器—善光寺平南線の7世紀前半～9世紀後半の土器編年—』『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書26—更埴市内その5— 更埴県屋代遺跡・屋代遺跡群—古代1編—』

付章 自然科学的分析

第1節 出土黒曜石の原産地推定

網干 守・二宮修治（成城学園高等学校・東京学芸大学教育学部）

1 はじめに

今回は、屋代遺跡群国道403号土ロバイパスから出土した黒曜石の原産地推定を試みた。本研究では、遺跡より出土した黒曜石について、エネルギー分散型蛍光X線分析により、主成分元素組成と原産地推定に有効な指標元素の測定を行い、原産地推定を試みた。エネルギー分散型蛍光X線分析は、分析資料を破壊することなく、簡便かつ短時間に定量分析が行えるという特徴を有することから、文化財資料の非破壊分析や考古遺物の原産地推定などで多くの成果が報告されている。

2 分析資料および分析方法

分析に供した資料を表1に示す。

原産地推定の基準となる原産地としては、関東地方周辺の主な原産地である高原山（栃木県塩谷郡）、星ヶ塔（長野県諏訪郡下諏訪町）、小深沢（同県小県郡和田村）、男女倉（同）、菱草峠（同県南佐久郡八千穂村）、恩地島（東京都神津島村、ここでは、神津島として扱うこととする）、畑宿（神奈川県足柄下郡箱根町）、上多賀（静岡県熱海市上多賀町）、柏峠（同県四方郡中伊豆町）の9原産地である。

エネルギー分散型蛍光X線分析により黒曜石資料中の主成分元素および指定元素の測定を行った。用いた装置は、セイコー電子工業製卓上型エネルギー分散型蛍光X線分析装置（エレメントモニター：SEA-2001）である。本研究では、測定する諸元素の適正条件を考慮して、同一視量に対し2種類の測定条件（測定1、測定2）で蛍光X線分析を行った。測定1は、岩石学的な特徴を見出すものであり、黒曜石のようなケイ酸塩岩石で一般的に行われている主成分の8元素〔ケイ素（Si）、チタン（Ti）、アルミニウム（Al）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、カルシウム（Ca）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）〕の定量を目的とするものである。分析装置資料室を真空雰囲気下、照射X線の加速電圧15kVで、180秒間計測した。同一資料に対して測定箇所を変えて3回繰り返し測定した。定量は、標準資料として和田峠小深沢産黒曜石を用いてファンダメンタル・パラメータ法により行い、各元素の存在量は、岩石学の慣例に従って酸化物の形で計算した。

測定2は、原産地の識別・分類に有効な指標元素として、先の主成分8元素のうち特徴が認められる鉄、カルシウム、カリウムの3元素に、これらの元素と挙動が地球科学的にそれぞれ類似しているマンガン（Mn）、ストロンチウム（Sr）、ルビジウム（Rb）の3元素を加えた6元素の測定を目標とするものである。資料室大気雰囲気、加速電圧50kVで、計測時間、回数については、測定1と同じである。この測定では、標準資料を用いないファンダメンタル・パラメータ法により、6元素の酸化物を100とする濃度比として

求めた。

3 結果および考察

エネルギー分散型蛍光X線分析による、屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土5点の黒曜石の測定1および測定2の結果をまとめて表2に示す。同様に、同一条件で測定した関東地方周辺の黒曜石の原産地9地点の結果を表3に示す。遺跡出土黒曜石の原産地推定は、原産地黒曜石の化学組成と対比することにより可能である。

本研究に供した屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土5点の黒曜石の主成分化学組成（測定1）および指標6元素の値（測定2）は、比較的類似しており、同一の原産地から供給されたものと考えられる。遺跡より出土した黒曜石の原産地として、長野県の星ヶ塔産と推定される。

今回分析に供した屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土の5点の黒曜石は、いずれも、県内の星ヶ塔（長野県諏訪郡）であった。この周辺の上信越自動車道屋代遺跡群・更埴条里遺跡、松原遺跡、春山B遺跡、榎田遺跡出土の黒曜石の原産地もすべて星ヶ塔であったことから、この付近の遺跡では、少なくとも縄文時代中期以降では、星ヶ塔（長野県諏訪郡）の黒曜石の使用が中心であったといえるであろう。さらに、周辺のほかの遺跡出土黒曜石について総合的な検討が待たれる。

〈参考文献〉

- 二宮修治・網千守（1994）「東京都練馬区栗山遺跡、東早瀬遺跡出土黒曜石の原産地推定—非破壊蛍光X線分析による主成分元素組成にもとづく検討—」『練馬区栗山遺跡第2地点』栗山遺跡第2地点調査会・東京都住宅局：272—234
- 二宮修治（1995）「第3節 久保田遺跡出土黒曜石の原産地推定」『久保田遺跡』東京都板橋区久保田遺跡発掘調査報告書、久保田遺跡調査会：233—234
- 二宮修治・網千守（1996）「第2節 エネルギー分散型蛍光X線分析による千田第遺跡出土黒曜石の原産地」『多古町千田遺跡—BR/W南側NDB用地（無線施設埋蔵文化財報告書）—』千葉県埋蔵文化財センター調査報告 第283集：345—357
- 網千守・二宮修治（1998）「榎田遺跡（長野県長野市若穂線内所在）出土黒曜石の原産地推定」『長野県埋蔵文化財センター』

表1 分析試料—屋代遺跡群園道403号土ロバイバス出土黒曜石

分析No	器種名	出土地区	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
BYO 01	碎片	SB 67	1.8	1.8	0.3	1.0
BYO 02	碎片	SD 68	2.5	1.2	0.6	2.8
BYO 03	切片B	SD 68	1.9	2.3	0.6	2.1
BYO 04	碎片	SL 3	1.7	2.0	0.7	2.2
BYO 05	碎片	4区	1.6	2.2	0.6	2.1

表2 エネルギー分散型蛍光X線分析による屋代遺跡群園道403号土ロバイバス出土黒曜石の測定結果

	測定1 (%)								測定2 (6成分を100とする比)					
	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	MnO	Fe ₂ O ₃	SrO	CaO	Rb ₂ O	K ₂ O
BYO 01	77.7	0.1	13.1	0.8	0.0	0.5	3.4	4.3	3.1	32	0.3	7.7	1.2	56
BYO 02	77.3	0.1	12.9	0.8	0.0	0.5	3.9	4.4	3.7	31	0.3	6.7	1.1	58
BYO 03	76.8	0.1	13.1	0.8	0.0	0.5	4.3	4.3	3.1	31	0.3	8.6	1.2	56
BYO 04	76.0	0.1	13.0	0.8	0.0	0.5	5.3	4.2	3.0	38	0.3	9.0	1.2	49
BYO 05	77.5	0.1	13.0	0.8	0.1	0.5	3.8	4.2	2.8	31	0.4	8.6	1.0	56

表3 エネルギー分散型蛍光X線分析による東日本の主な原産地黒曜石の測定結果

	測定1 (%)								測定2 (6成分を100とする比)					
	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	MnO	Fe ₂ O ₃	SrO	CaO	Rb ₂ O	K ₂ O
GO2 星ヶ塔	76.2	0.2	13.2	1.1	0.1	0.7	3.7	4.9	3.4	32	0.3	9.9	1.1	54
GO1 高原山	75.3	0.5	12.9	2.5	0.1	2.0	3.7	3.1	1.3	56	0.8	16	0.8	24
GO2 星ヶ塔	76.2	0.2	13.2	1.1	0.1	0.7	3.7	4.9	3.4	32	0.3	9.9	1.1	54
GO3 小深沢	76.6	0.1	13.1	1.0	0.1	0.6	4.1	4.5	4.2	32	0.04	10	2.4	50
GO4 男女倉	74.9	0.6	13.4	1.9	0.1	1.0	3.5	4.8	2.2	38	0.7	11	1.2	46
GO5 麦草峠	76.3	0.4	12.9	1.3	0.1	1.0	3.8	4.3	1.6	40	1.1	13	0.8	43
GO6 神津島	76.6	0.3	13.1	1.2	0.1	1.0	4.5	3.3	3.3	39	0.8	14	0.7	42
GO7 畑宿	74.6	0.7	12.7	3.4	0.1	2.3	4.8	1.3	2.2	69	1.3	18	0.1	9
GO8 上多賀	76.1	0.4	12.8	2.4	0.1	2.0	4.3	1.9	1.7	61	1.2	20	0.3	16
GO9 柏峠	73.6	0.6	12.6	2.7	0.1	2.3	3.7	2.4	1.1	58	0.9	25	0.2	15

第2節 出土木製品の樹種同定

松葉礼子 (パレオ・ラボ)

1 はじめに

屋代遺跡群国道403号土ロバイパスから出土した木製品の樹種、計32点を同定した。これらの木製品の時期は、飛鳥・平安時代5点、平安後期～中世27点で、杭、曲物、皿、刀子といった木製品が中心である。これらの木製品の樹種を明らかにする事で、遺物を理解する一助となす事を目的として樹種を同定した。

2 方法と記載

同定には木製品から直接、もしくは切り欠いたサンプルから片削刺刀を用いて、木材組織切片を横断面(木口と同義・写真図版a)、接線断面(板目と同義・写真図版b)、放射断面(柀目と同義・写真図版c)の3方向作成した。これらの切片はガムクロラルにて封入し、永久標本とした。樹種の同定はこれらの標本を光学顕微鏡下で観察し、現生標本との比較により樹種を決定した。これらの内、各分類群を代表させる標本については写真図版を添付し、同定の証拠とするとともに同定根拠を後述する。結果は、表1に示す。なお、作成した木材組織プレパラートは、併パレオ・ラボで保管されている。

第1表 屋代遺跡群国道403号土ロバイパス出土木製品の樹種同定結果

PAL No.	樹種	製品名	部位	木取り	出土地点	遺物番号	図番号	時期
PAL 1	ヒノキ	題箋軸状木製品		板目	BYO SK 867	No. 1	69-1	平安時代
PAL 2	カラマツ属	刀子?	柄	板目	BYO SK 394	No. 4	83-10	平安後期～中世
PAL 3	クリ	不明		芯もち	BYO SK 305	No. 10	63-1	飛鳥・平安時代
PAL 4	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 727	No. 1	84-11	平安後期～中世
PAL 5	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 727	No. 2	84-12	平安後期～中世
PAL 6	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 351	No. 1	83-3	平安後期～中世
PAL 7	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 351	No. 2	83-2	平安後期～中世
PAL 8	スギ	曲物	底板	柀目	BYO SK 1147	No. 1	85-26	平安後期～中世
PAL 9	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 394	No. 1-1	83-8	平安後期～中世
PAL 10	ヒノキ属	曲物	蓋板?	柀目	BYO SK 1140	No. 1	85-21	平安後期～中世
PAL 11	ケンボナシ属	部材		削材1/2	BYO SK 305	No. 8	63-3	飛鳥・平安時代
PAL 12	グミ属	不明		芯もち	BYO SK 270		83-1	平安後期～中世
PAL 13	アカマツ	杭		芯もち	BYO SK 751	No. 9	84-13	平安後期～中世
PAL 14	ヒノキ	曲物	側板	柀目	BYO SK 394	No. 1-2	83-8	平安後期～中世
PAL 15	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 351	No. 3	83-4	平安後期～中世
PAL 16	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 1143	No. 1	85-24	平安後期～中世
PAL 17	ヒノキ	部材		柀目	BYO SK 358	No. 4	83-7	平安後期～中世
PAL 18	ブジキ	杭		芯もち	BYO SK 305	No. 6	63-2	飛鳥・平安時代
PAL 19	クリ	杭		芯もち	BYO SK 1045	No. 5	84-18	平安後期～中世
PAL 20	ブナ属	漆器	皿	横木	BYO SK 1142	No. 1	85-22	平安後期～中世
PAL 21	ヒノキ	曲物	底板	柀目	BYO SK 885	No. 1	84-17	平安後期～中世
PAL 22	ヒノキ	桶	底板	柀目	BYO SK 358	No. 2	83-5	平安後期～中世
PAL 23	コナラ属	不明		削出し	BYO SK 885	No. 7	84-15	平安後期～中世
PAL 24	ニシキギ属	杭		芯もち	BYO SK 358	No. 1	83-6	平安後期～中世
PAL 25	散孔材	杭		芯もち	BYO SK 1071	No. 1	84 19	平安後期～中世
PAL 26	コナラ属	不明		芯もち	BYO SK 1137	No. 1	85-20	平安後期～中世
PAL 27	キハダ	不明		芯もち	BYO SK 1143	No. 13	85-25	平安後期～中世
PAL 28	ブナ属	部材		柀目	BYO SK 865	No. 1	84-14	平安後期～中世
PAL 29	スギ	曲物	底板	柀目	BYO SK 394	No. 2	83-9	平安後期～中世
PAL 30	ヒノキ	部材		柀目	BYO SK 885	No. 5	84-16	平安後期～中世
PAL 31	サクラ属	杭		芯もち	BYO SK 1143	No. 9	85-23	平安後期～中世
PAL 32	ケヤキ	皿		横木	BYO SK 864	No. 13	63-4	飛鳥・平安時代

同定根拠

アコマツ *Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. PINACEAE 写真図版1a~1c: PAL13

水平・垂直両樹脂道をともに持つ針葉樹。樹脂道の周囲にはエビセリウム細胞があるが、腐朽の為欠落している。早材から晩材への移行はやや急で、年輪界は明瞭。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管と放射樹脂道からなり、単列と紡錘形のものがある。放射組織の上下端に放射仮道管があり、水平壁には鋭角な鋸歯状の肥厚が著しい。分野壁孔は大型の窓状で、1分野に1~2個。

以上の形質から、マツ科のアコマツの材と同定した。アコマツは、常緑高木の針葉樹で、北海道~屋久島の温帯~暖帯に分布する。

カラマツ属 *Larix* PINACEAE 写真図版2a~2c: PAL2

水平・垂直両樹脂道を共に持つ針葉樹材。樹脂道の周囲には8~9個のエビセリウム細胞がある。早材から晩材への移行は急で、年輪界は明瞭。早材部仮道管は薄壁で大きく、有緑壁孔は2列対列状に並ぶ。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管と放射樹脂道からなり、単列のものと同定した。放射組織の上下端に放射仮道管があり、放射柔細胞の垂直壁には単穿孔が数珠状を呈す。分野壁孔はきわめて小型のトウヒ型で、1分野に2~4個。放射仮道管の内壁は通常平滑で断面形は丸い。

以上の形質により、マツ科のカラマツ属の材と同定した。日本に自生するカラマツ属はカラマツのみで、カラマツは、本州(宮城県・新潟県以南~中部山岳地帯)の主に亜高山帯に分布する落葉高木の針葉樹である。

スギ *Cryptomeria japonica* (L. fil.) D. Don TAXODIACEAE 写真図版3a~3c: PAL29

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹材。早材から晩材にかけての移行は急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部から晩材部にかけて接線方向に散在する。放射組織は放射柔細胞のみからなり単列。分野壁孔は大型のスギ型で、通常1分野あたり2個存在する。

以上の形質により、スギ科のスギの材と同定した。スギは、常緑の針葉樹で、本州~屋久島の温帯~暖帯に分布している。

ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. CUPRESSACEAE 写真図版4a~4c: PAL16

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹。早材から晩材への移行はやや急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部と晩材部の境に接線状に散在しており、水平壁は結節状に肥厚している。放射組織は放射柔組織のみからなり、単列。分野壁孔は中型のトウヒ~ヒノキ型で、1分野に1~3個。

以上の形質から、ヒノキ科のヒノキの材と同定した。ヒノキは、常緑高木の針葉樹で、福島県~屋久島の温帯に分布する。ヒノキ、サワラ両者の区別が曖昧なものについてはヒノキ属と同定した。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. FAGACEAE 写真図版5a~5c: PAL19

年輪の始めに、やや放射方向に伸びた大型の丸い管孔が1列に並ぶ環孔材。晩材部では小型で薄壁の角張った管孔が、火炎状から放射状に配列する。道管の穿孔は単一。木部柔組織は、晩材部で接線状から短接線状。放射組織は単列同性で、道管との壁孔は対列状を呈す。

以上の形質より、ブナ科のクリの材と同定した。クリは北海道~九州までの温帯~暖帯にわたって広く分布する落葉性高木あるいは中高木である。

ブナ属 *Fagus* FAGACEAE

写真図版6a~6c:PAL20

小型で丸い管孔が年輪界に向けて徐々に径を減じながら散在する散孔材。道管の穿孔は単一もしくは横棒の少ない階段状。放射組織は巾の広い複合状と単列のものがあり同性。

以上の形質により、ブナ科のブナ属の材と同定された。ブナ属には北海道~九州の温帯に分布するブナと本州(岩手県以南)~九州の中間温帯に分布するイヌブナが含まれる。

コナラ属コナラ節 *Quercus* Sect. *Prinus* FAGACEAE

写真図版7a~7c:PAL23

大型で丸い道管が単独、時に複合して年輪界に一列に並ぶ環孔材。晩材部では急激に径を減じた多角で薄壁の道管が散在し火災状を呈し、木部柔組織は接線状に配列する。放射組織は単列と大型の複合放射組織からなり、同性。道管放射組織間壁は楕円形の対列状~柵状。

以上の形質により、ブナ科のコナラ節の材と同定した。コナラ節には、カシワ、ミズナラ、コナラ、ナラカシワ等が含まれ、いずれも落葉高木である。

ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ULMACEAE

写真図版8a~8c:PAL32

年輪の始めに大型で丸い管孔が一列に並ぶ環孔材。晩材部で、薄壁の多角形の小道管が多数集合して接線方向~斜め接線方向に配列する。道管穿孔は単一、小道管内部には螺旋肥厚を持つ。木部柔組織は、周囲状~連合翼状を呈し、放射組織は1~8列程度の異性で、その上下端は時に大きめの結晶細胞が見られる。

以上の形質により、ニレ科のケヤキの材と同定した。ケヤキは、本州~九州の暖帯~温帯に広く分布する落葉広葉樹である。

サクラ属 *Prunus* ROSACEAE

写真図版9a~9c:PAL31

小型の丸い道管が、単独あるいは数個放射方向に複合して散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁には明瞭な螺旋肥厚をもつ。放射組織は1~5細胞幅程度で、同性に近い異性。

以上の形質から、バラ科のサクラ属の材と同定した。日本のサクラ属には落葉・常緑の低木~高木の25種が含まれる。

フジキ *Cladrastis platycarpa* (Maxim.) Makino LEGMINOSAE

写真図版10a~10c:PAL18

大型で丸い道管が、単独もしくは2個程度複合して年輪界に並ぶ環孔材。晩材部では、小型で薄壁の道管が塊状をなして、斜め~接線方向に連なる。道管の穿孔は単一。内壁には螺旋肥厚があり、道管内部に褐色のゴム状の物質が詰まることがある。木部柔組織は周囲状。放射組織は、7細胞幅程度の同性に近い異性。時に糊状になる。

以上の形質により、マメ科のフジキの木材と同定した。フジキは、福島県阿武隈山地以南~四国の暖温帯に分布する落葉高木である。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. RUTACEAE

写真図版11a~11c:PAL27

年輪のはじめに大道管が並び、そこから順次径を減じた小道管が早材部では多数複合して斜め接線方向につながる環孔材で、障害ゴム道があり、道管の穿孔は単一、小道管の内壁には螺旋肥厚があり、放射組織は同性で、4細胞幅くらいである。

以上の形質により、ミカン科のキハダの材であると同定した。キハダは、北海道~九州の温帯に分布する落葉高木である。

ニシキギ属 *Euonymus* CELASTRACEAE

写真図版12a~12c:PAL24

小型で丸い道管がほぼ単独で、均一に散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁には螺旋肥厚が有る。管孔の直径は年輪界付近でやや径を減じる。放射組織は、単列で同性。

以上の形質により、ニシキギ科のニシキギ属の材と同定した。日本に自生するニシキギ属には18種が含まれる。

ケンボナシ属 *Hovenia* RHAMNACEAE

写真図版13a~13c:PAL11

年輪界に中~大型の道管が並び、晩材部では厚壁の道管が単独もしくは2~数個放射方向に複合して散在する散孔材。道管穿孔は、単穿孔。木部柔組織は周囲状~連合翼状。放射組織は異性で1~4細胞幅程度比較的外形は滑らかである。

以上の形質からクロウモドキ料のケンボナシ属の材と同定した。日本に自生するケンボナシ属には、ケンボナシ(北海道~九州)とケンボナシ(本州~四国)が含まれ、いずれも落葉高木である。

グミ属 *Elaeagnus* ELAEAGNACEAE

写真図版14a~14c:PAL12

年輪のはじめに中型で丸い道管が一列に並び、晩材部に向かって徐々に径を減じた単独の丸い管孔がややまばらに散在する散孔材。管孔の直径は、早材部から晩材部にかけて急に減じ、木部柔組織は晩材部で散在状~短接線状。道管の穿孔は単一、螺旋肥厚を持つ。放射組織は1~7細胞幅程度の同性に近い異性。

以上の形質により、グミ科のグミ属の材と同定した。グミ属には16種が含まれ、落葉もしくは常緑の低木~小高木である。

第2表 歴代遺跡群国道403号土ロバイパス出土木製品 時代・製品名別一覧

時期	製品名	アカマツ属	カラマツ属	スギ	ヒノキ	ヒノキ属	クリ	ブナ属	コナラ属	ケヤキ	サクラ属	フジキ	キハダ	ニシキギ属	ケンボナシ属	グミ属	散孔材	総計
飛鳥・平安時代	皿									1								1
	廻鑿軸状木製品				1													1
	杭											1			1			2
	不明						1											1
飛鳥・平安時代 計					1		1			1		1			1			5
平安後期 ↓ 中世	曲物 側板				1													1
	曲物 底板			2	8	1												11
	桶 底板				1													1
	杭	1					1				1			1			1	5
	漆器 皿							1										1
	刀子		1															1
平安後期~中世 計		1	1	2	12	1	1	2	2		1		1	1		1	1	27
総計		1	1	2	13	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	32

3 考察

今回調査した木製品は、飛鳥・平安時代が計5点、平安後期～中世が計27点の合計32点が確認され、樹種は14種類であった。(表2)特徴的な傾向を中心に考察する。

飛鳥・平安時代の皿や平安後期～中世の漆器などの挽物は回転整形のため、均質な木材が好まれる傾向があり、ケヤキ、ブナ属、サクラ属、モクレン属、トネリコ属など数種の木材が選択的に使用される。この傾向は、全国的に確認されているが、付近の植生等の影響で使用樹種は微妙に異なる。今回確認された製品2点もこれらの樹種に含まれており、他遺跡の傾向と一致する。同様に、曲物の側板・底板、桶の底板は、ヒノキ、スギが使用される傾向が強い。桶は中世以降広まったとされているが、ヒノキ・スギの分布圏以外でも広くこれらの樹種が利用されている。石川桑里遺跡ではサワラが多量に確認されているが、中世の曲物・折敷に関しては、逆にヒノキが多く使用されており、より材質の優れたヒノキ材を利用していた事が分かり(能城・鈴木, 1997)、本遺跡の結果と一致する。

逆に、杭には、古代・中世に関わらず樹種を選択している様子が何れもない。今回確認された杭には、特に耐久性や見た目の質感等が問題にされなかったため、周辺の手に入りやすい木材を利用したものと考えられる。ほかに不明とされた遺物にもコナラ節、キハダ、グミ属など周辺の広葉樹材が見出される事から、周辺に植物が豊富な環境が何れられる

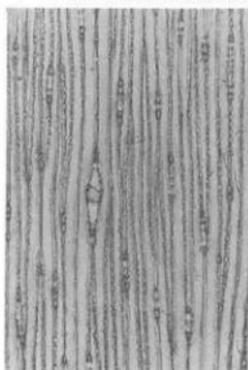
引用文献

能城修一・鈴木三男, 1997, 石川桑里遺跡出土木製品の樹種. 中央自動車道長野県埋蔵文化財発掘調査報告書15—長野市その3—石川桑里遺跡 第3分冊, 財団法人長野県埋蔵文化財センター, 68-138pp.

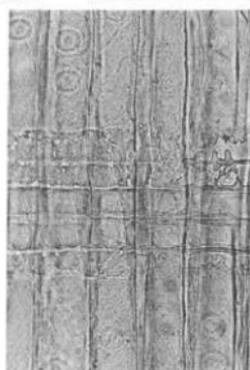
図版1 屋代遺跡群国道403号土ロバイバス出土木材組織顕微鏡写真 Bar:



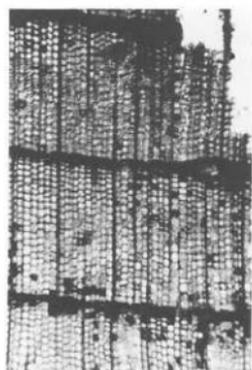
1 a アカマツ bar: 1mm PAL 13



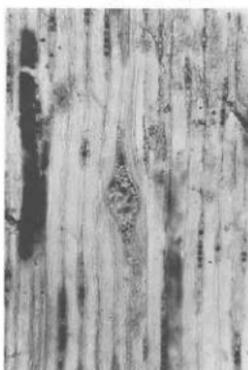
1 b 同 bar: 0.4mm



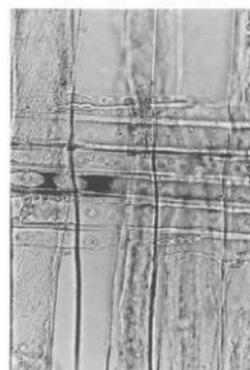
1 c 同 bar: 0.1mm



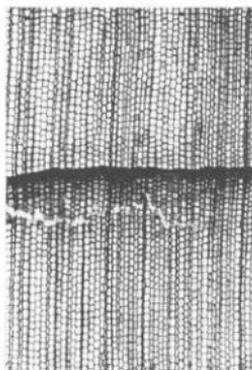
2 a カラマツ属 bar: 1mm PAL 2



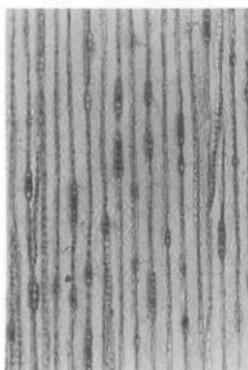
2 b 同 bar: 0.4mm



2 c 同 bar: 0.1mm



3 a スギ bar: 1mm PAL 29



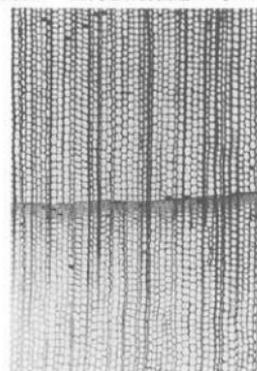
3 b 同 bar: 0.4mm



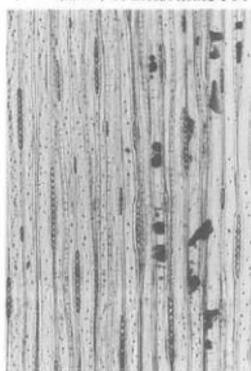
3 c 同 bar: 0.1mm

図版2 屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真

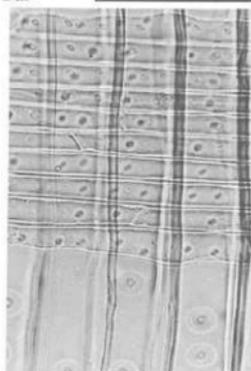
Bar:



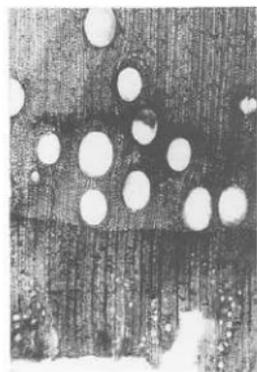
4 a ヒノキ bar: 1mm PAL 16



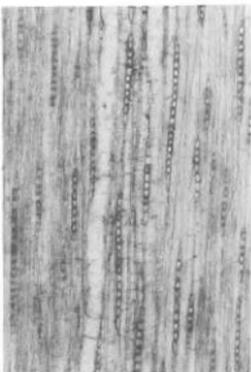
4 b 同 bar: 0.4mm



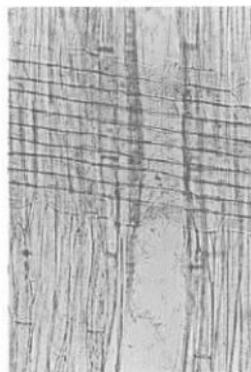
4 c 同 bar: 0.1mm



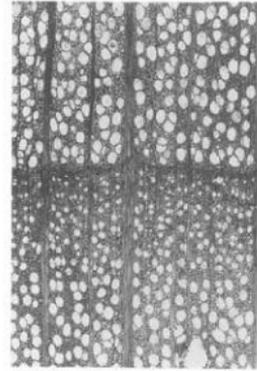
5 a クリ bar: 1mm PAL 19



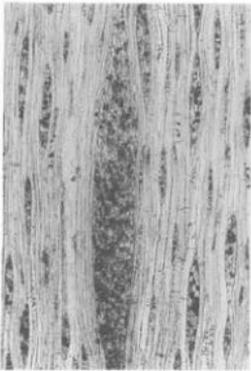
5 b 同 bar: 0.4mm



5 c 同 bar: 0.2mm



6 a ブナ属 bar: 1mm PAL 20

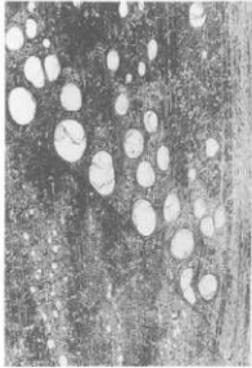


6 b 同 bar: 0.4mm

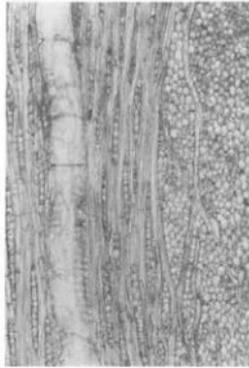


6 c 同 bar: 0.2mm

図版3 屋代遺跡群国道403号土ロバイバス出土木材組織顕微鏡写真 Bar:



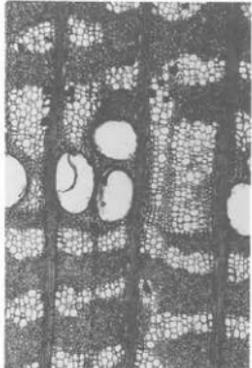
7 a コナラ節 bar: 1mm PAL 23



7 b 同 bar: 0.4mm



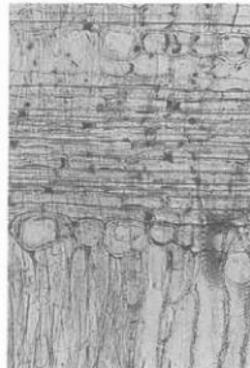
7 c 同 bar: 0.2mm



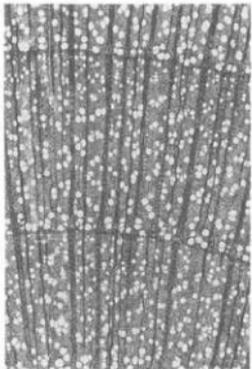
8 a ケヤキ bar: 1mm PAL 32



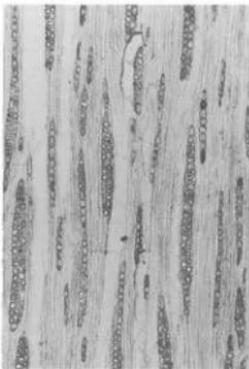
8 b 同 bar: 0.4mm



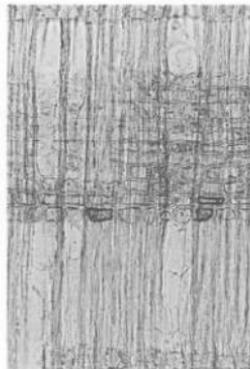
8 c 同 bar: 0.2mm



9 a サクラ属 bar: 1mm PAL 31



9 b 同 bar: 0.4mm

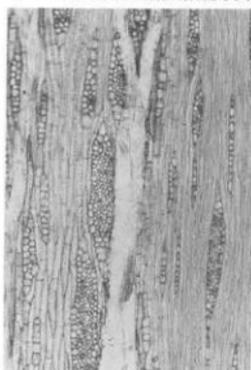


9 c 同 bar: 0.2mm

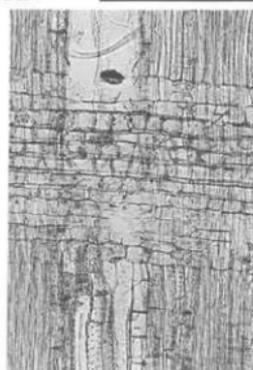
図版4 屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真 Bar:



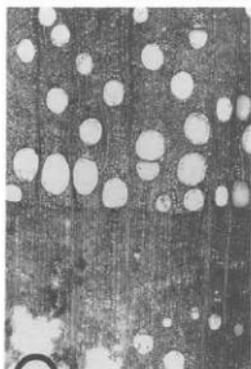
10a フジキ bar: 1mm PAL 18



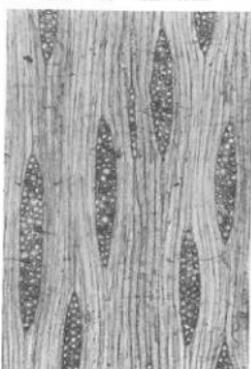
10b 同 bar: 0.4mm



10c 同 bar: 0.2mm



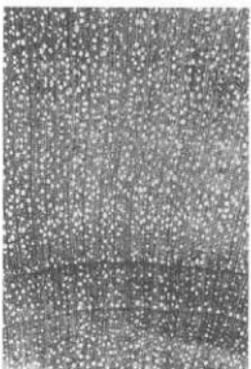
11a キハダ bar: 1mm PAL 27



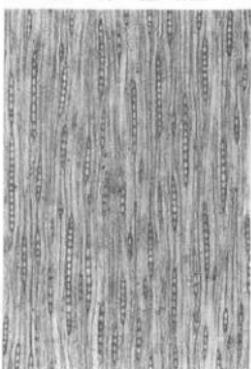
11b 同 bar: 0.4mm



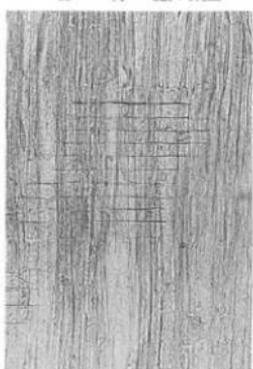
11c 同 bar: 0.1mm



12a ニシキガ属 bar: 1mm PAL 24



12b 同 bar: 0.4mm

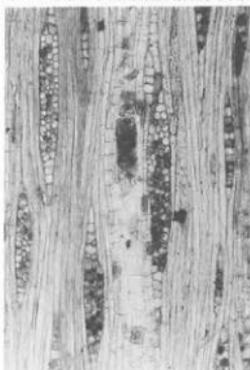


12c 同 bar: 0.1mm

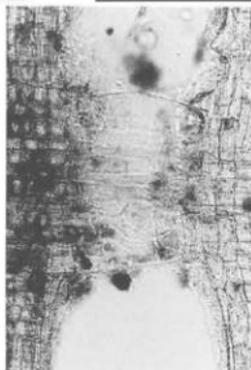
図版5 屋代遺跡群国道403号土ロバイパス出土木材組織顕微鏡写真 Bar:



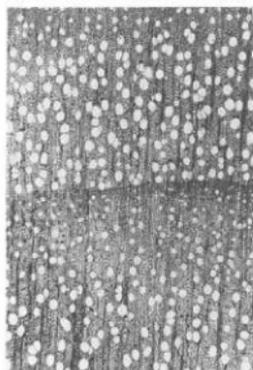
13a ケンボシナ属 bar: 1mm PAL 11



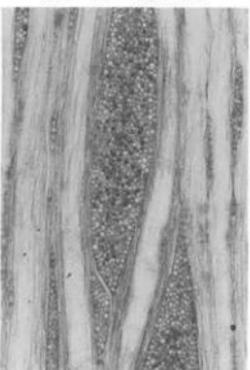
13b 同 bar: 0.4mm



13c 同 bar: 0.1mm



14a グミ属 bar: 1mm PAL 12



14b 同 bar: 0.4mm



14c 同 bar: 0.1mm

写 真 图 版

左：SB36

右：SB36

土器出土状態



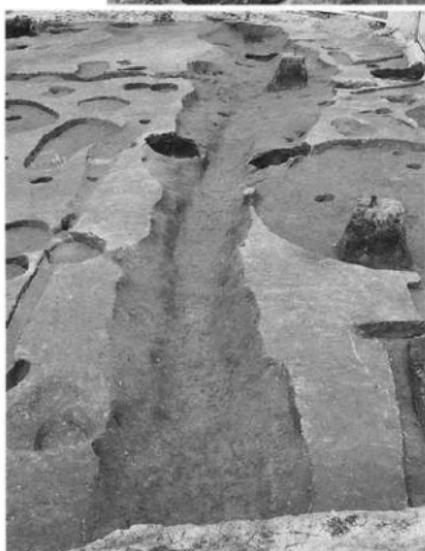
SB38



左：SD33

右：2区

全景





1



2

縄文時代の土器

1 SK371

2 1区



1



2



3



4



5

弥生時代の土器

1-17 SB36

18-26 SB38



6



7



8



9



10



12



13



14



11



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24

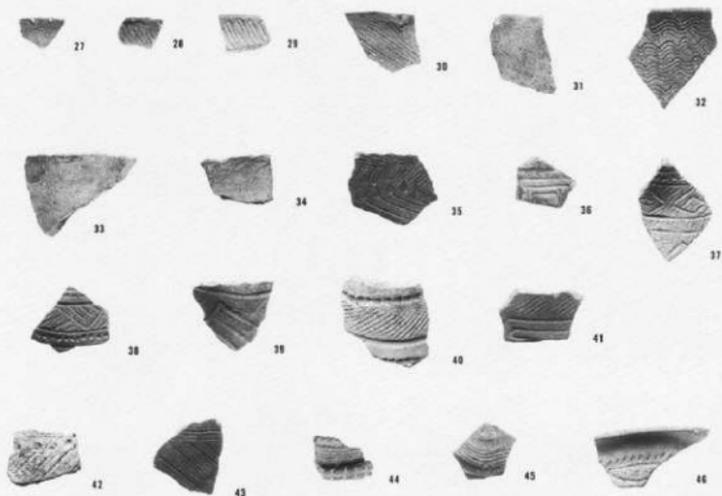


25



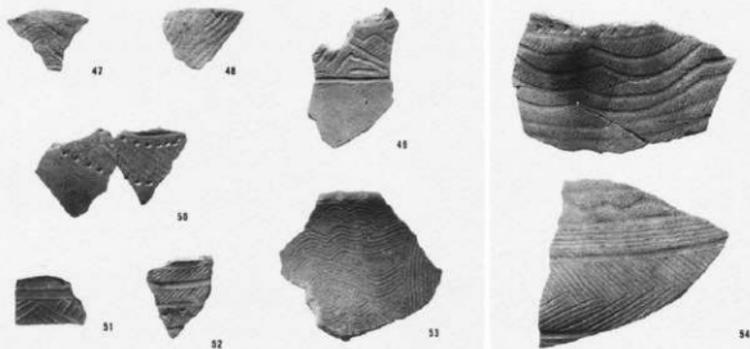
26

27-46 SD33



47-53 SD70

54 SK600



55 SK614

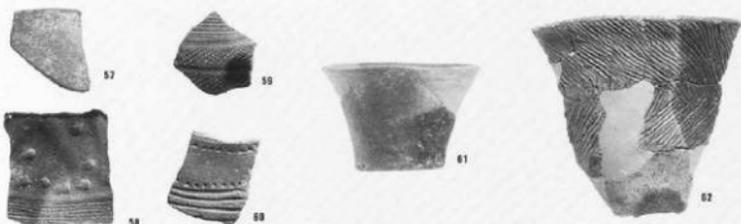
56 SK939



55



56



57-62 SK951



63 SK952

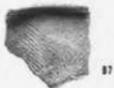
66 1区

67-78 2区

80-89 3区

90-92 4区

94-95 5区



石器

3 SB38

6・8・9 SD33

11 2区

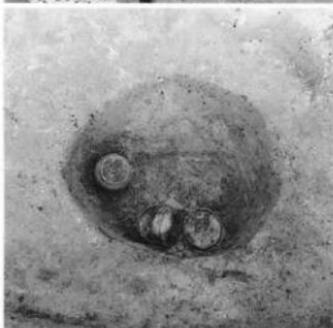
12-14・16 3区

左：SB7
右：SB7

土器出土状態



左：SB7ヒット1
土器出土状態
右：SB20



1区全景



SB24カマド
土器出土状態



2



6



17

土器

2・6 SB1



9



14



20

9~20,
24~26,
28~29 SB7



10



15



18



11



16



22



12



13



25



26



24



21



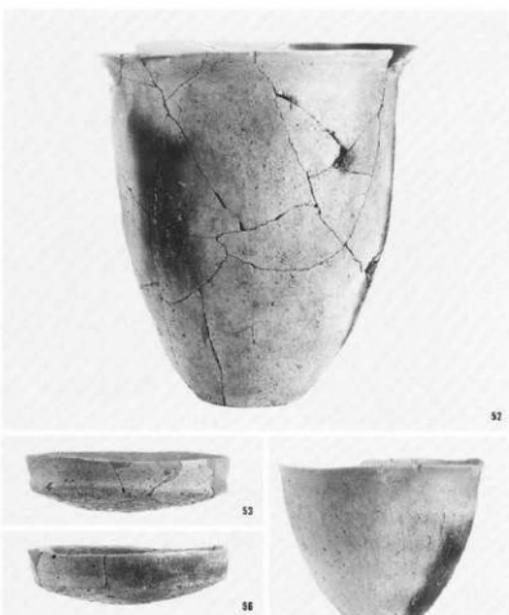
28



47

47 SB16

43・48・49
51・52 SB16



53・56・61
SB20

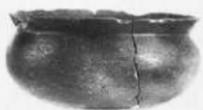


62・63・67
68・72・75
SB24





64



106



68



76



129

64・69・76
SB24
106 SB91

129 3区



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



36

玉類・石製模造品
1～4・34 SB1
5 SB16
6～29・31 SB24
30・32 1区
33 IIQ-11
35 SB20
36 SB11



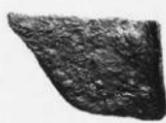
1



2

石器

1 SB7
2 SB8



1



2

鉄製品

1 SB1
2 SB7

左: SB3
右: SB3
カマド



左: SB11
右: SB11
カマド



左: SB18
右: SB18
カマド

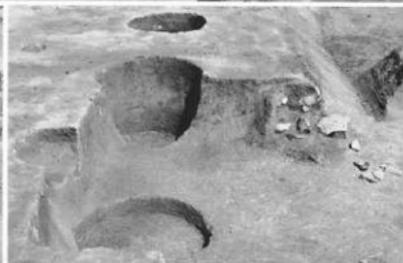


左: SB27
右: SB41

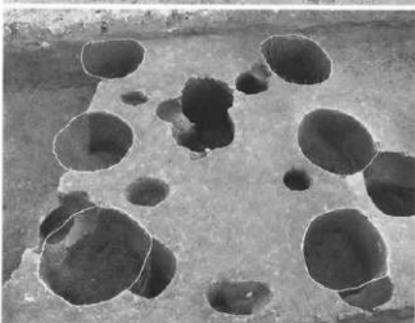




左：SB50
右：SB56



左：SB60
カマド
右：SB67



左：ST1
右：SD24



左：3区全景
右：6区全景

土器

1・3・5 SB3

13 SB4



1



5



13



42

22-27、29-35

37・38・43 SB11



3



19



22



23



24



25



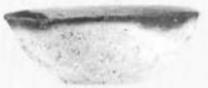
26



27



28



30



31



32



33



34



37



38



43

54・55・57

SB18



54



55



57

61・62・64

71 SB21



61



64



62



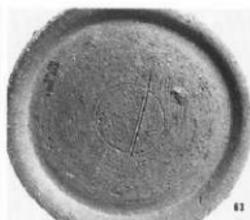
71



66



67



63

63・67・68

SB21



73

73・74

SB23



75



76



75~78

SB25



79



80



74

79~83・85

86・88

SB27



81



82



83



85



86



88



77



78

98 SB41

118 SB48

121・126・128

129・133・134

136・138

SB50

